AX6700S・AX6600S・AX6300S ソフトウェアマニュアル

メッセージ・ログレファレンス

Ver. 11.9 対応

AX63S-S008-D0

AlaxalA

■対象製品

このマニュアルはAX6700S，AX6600SおよびAX6300Sモデルを対象に記載しています。また，AX6700S，AX6600SおよびAX6300Sのソフトウェア Ver. 11.9の機能について記載しています。ソフトウェア機能は，基本ソフトウェアOS-SEおよびオプションライセンスによってサポートする機能について記載します。

■輸出時の注意

本製品を輸出される場合には，外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ，必要な手続きをお取りください。なお，不明な場合は，弊社担当営業にお問い合わせください。

■商標一覧

Ciscoは，米国Cisco Systems, Inc.の米国および他の国々における登録商標です。
Ethernetは，富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
Internet Explorerは，米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
IPXは，Novell,Inc.の商標です。
Microsoftは，米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Octpowerは，日本電気（株）の登録商標です。
OpenSSLは，米国およびその他の国における米国OpenSSL Software Foundationの登録商標です。
RSAおよびRC4は，米国およびその他の国における米国EMC Corporationの登録商標です。
sFlowは，米国およびその他の国における米国InMon Corp.の登録商標です。
sshは，SSH Communications Security,Inc.の登録商標です。
UNIXは，The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
VitalQIP，VitalQIP Registration Managerは，アルカテル・ルーセントの商標です。
VLANaccessClientは，NECソリューションイノベータ株式会社の登録商標です。
VLANaccessController，VLANaccessAgentは，NECの商標です。
Windowsは，米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
イーサネットは，富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
そのほかの記載の会社名，製品名は，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■マニュアルはよく読み，保管してください。

製品を使用する前に，安全上の説明をよく読み，十分理解してください。
このマニュアルは，いつでも参照できるよう，手近な所に保管してください。

■ご注意

このマニュアルの内容については，改良のため，予告なく変更する場合があります。

■発行

２０１８年　　９月 （第１４版） ＡＸ６３Ｓ－Ｓ００８－Ｄ０

■著作権

All Rights Reserved, Copyright(C), 2006, 2018, ALAXALA Networks, Corp.

変更履歴

【Ver. 11.9 対応版】

表　変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
3.11.5　イベント発生部位＝ NK10G-4RXA	• 本項を追加しました。
3.11.7　イベント発生部位＝ NK10G-8RXA	• 本項を追加しました。
3.12.8　イベント発生部位＝ NH10G-4RXA	• 本項を追加しました。
3.12.10　イベント発生部位＝ NH10G-8RXA	• 本項を追加しました。

なお，単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

【Ver. 11.7 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
ログの確認	• トラッキングオブジェクトログの記述を追加しました。
PIM-SM/PIM-DM	• 系切替時の IPv4 PIM-SM 中継継続機能に関するログを追加しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• ポリシーベースルーティングおよびポリシーベーススイッチングのログを追加しました。 • ポリシーベースルーティングのトラッキング機能のログを追加しました。
トラッキングオブジェクトログ	• 本章を追加しました。

【Ver. 11.5 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
ログの種類	•「表 1-4 運用ログと種別ログの特徴」に注を追加しました。
PIM-SM/PIM-DM	• PIM-DM 関連の記述を追加しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• 装置の管理関連のログを追加しました。 • トラッキング機能についての記述を変更しました。 • IPv4 マルチキャスト関連のログを追加しました。
イベント発生部位＝ BCU	• 装置の管理関連のログを追加しました。
イベント発生部位＝ CSU	• 装置の管理関連のログを追加しました。
イベント発生部位＝ MSU	• 装置の管理関連のログを追加しました。

【Ver. 11.4 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ ACCESS	• VRF の記述を追加しました。

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• SNMP 関連のログに VRF の記述を追加しました。 • IPv6 DHCP リレーに関するログを追加しました。 • トラフィック量による省電力機能に関するログを追加しました。 • 省電力機能関連のログにトラフィック量による省電力機能の記述を追加しました。 • DHCP snooping に関するログを追加しました。
イベント発生部位＝ NIF	• NIF 冗長機能に関するログを追加しました。

【Ver. 11.3 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
ログの確認	• アクセスリストログの記述を追加しました。
IPv6 マルチキャストルーティング情報（MR6）	• VRF 関連のログを追加しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• IPv6 マルチキャスト関連のログに VRF の記述を追加しました。 • IPv6 マルチキャスト関連のログを追加しました。 • アクセスリストロギング関連のログを追加しました。
アクセスリストログ	• 本章を追加しました。

【Ver. 11.2 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
BGP4+	• VRF の記述を追加しました。
IPv6 ユニキャストルーティングプロトコル共通	• VRF 関連のログを追加しました。
イベント発生部位＝ VLAN（Ring Protocol）	• 経路切り戻し抑止機能に関するログを追加しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• NTP 関連のログに VRF の記述を追加しました。 • VRRP のトラッキング機能に関するログを追加しました。
イベント発生部位＝ BCU	• ヘルスチェック関連のログを追加しました。
イベント発生部位＝ CSU	• ヘルスチェック関連のログを追加しました。
イベント発生部位＝ MSU	• ヘルスチェック関連のログを追加しました。

【Ver. 11.1 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
RIP	• 認証に関するログを追加・変更しました。
イベント発生部位＝ VLAN（CFM）	• 本項を追加しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• 省電力機能に関するログを追加しました。
イベント発生部位＝ PS	• CSU の記述を追加しました。
制御スイッチング機構	• 本節を追加しました。
イベント発生部位＝ MSU	• 不明な MSU ボードに関するログを追加しました。

項目	追加・変更内容
システム操作パネルの操作ログ情報(KEY)	• AX6600S の記述を追加しました。
システム操作パネルの操作ログ情報(RSP)	• AX6600S の記述を追加しました。

【Ver. 11.0 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
RIP	• VRF の記述を追加しました。
OSPF	• VRF の記述を追加しました。
BGP4	• VRF の記述を追加しました。
IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通	• VRF 関連のログを追加しました。
PIM-SM	• VRF の記述を追加しました。
イベント発生部位＝ VLAN	• 汎用 Flush Request フレーム受信による MAC アドレステーブルクリア時のログを追加しました。
イベント発生部位＝ VLAN（GSRP）	• 自動マスタ遷移待ち時間が経過したときのログを追加しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• VRRP のグループ切替に関するログを追加しました。 • マルチキャスト関連のログを追加しました。 • マルチキャスト関連のログに VRF の記述を追加しました。 • オプションライセンス OP-NPAR サポートに伴いログを追加しました。
イベント発生部位＝ NIF	• 階層化シェーパ関連のログを追加しました。
イベント発生部位＝ PORT	• ポートの半二重固定モードをサポートしていない旨のログを追加しました。 • 階層化シェーパ関連のログを追加しました。
イベント発生部位＝ NK1GS-8M	• 本項を追加しました。
イベント発生部位＝ NH1GS-6M	• 本項を追加しました。

【Ver. 10.7 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
BGP4	• BGP4 に関するログを追加しました。
BGP4+	• BGP4+ に関するログを追加しました。
PIM-SM	• Register パケットに関するログを変更しました。
イベント発生部位＝ VLAN	• Ring Protocol とマルチプルスパニングツリーの併用動作に関連する記述を変更しました。
イベント発生部位＝ VLAN（GSRP）	• Ring Protocol と GSRP の併用動作に関連する記述を変更しました。
イベント発生部位＝ VLAN（L2 ループ検知）	• 本項を追加しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• L2 ループ検知に関するログを追加しました。

【Ver. 10.6 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ CONFIG	• NIF とコンフィグレーションの一致に関するログを追加しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• MAC 認証関連のログを追加しました。
イベント発生部位＝ BSU	• BSU の固定モードサポートに伴いログを追加しました。

【Ver. 10.5 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通	• 新規ログメッセージ（項番 2）を追加しました。

【Ver. 10.4 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
イベント発生部位＝ VLAN（Ring Protocol）	• 本項を追加しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• Ring Protocol 関連のログを追加しました。

【Ver. 10.3 対応版】

表　変更履歴

項目	追加・変更内容
OSPF	• 新規ログメッセージ（項番 13 ～ 16）を追加しました。
BGP4	• 新規ログメッセージ（項番 103 ～ 105）を追加しました。
OSPFv3	• 新規ログメッセージ（項番 13 ～ 16）を追加しました。
BGP4+	• 新規ログメッセージ（項番 100 ～ 102）を追加しました。
IPv6 PIM-SM	• 新規ログメッセージ（項番 23 ～ 24）を追加しました。
イベント発生部位＝ ACCESS	• ローカルコマンド認証関連のログを追加しました。 • ダイアルアップ IP 接続関連のログを追加しました。
イベント発生部位＝ VLAN	• IGMP snooping/MLD snooping 関連のログを追加しました。
イベント発生部位＝ SOFTWARE	• IEEE802.3ah/UDLD 関連のログを追加しました。 • Web 認証関連のログを追加しました。 • IGMP snooping/MLD snooping 関連のログを追加しました。 • sFlow 関連のログを追加しました。
イベント発生部位＝ BSU	• 本項を追加しました。
イベント発生部位＝ PORT	• IEEE802.3ah/UDLD 関連のログを追加しました。 • ストームコントロール関連のログを追加しました。
イベント発生部位＝ BCU	• 本項を追加しました。
基本スイッチング機構	• 本節を追加しました。
AX6700S のネットワークインタフェース機構	• 本節を追加しました。

項目	追加・変更内容
AX6300S のネットワークインタフェース機構	• 以下を追加しました。 ・イベント発生部位 =NH1G-24T ・イベント発生部位 =NH1G-24S ・イベント発生部位 =NH10G-4RX ・イベント発生部位 =NH10G-8RX

はじめに

■対象製品およびソフトウェアバージョン

このマニュアルはAX6700S，AX6600SおよびAX6300Sモデルを対象に記載しています。また，AX6700S，AX6600SおよびAX6300Sのソフトウェア Ver. 11.9の機能について記載しています。ソフトウェア機能は，基本ソフトウェアOS-SEおよびオプションライセンスによってサポートする機能について記載します。
操作を行う前にこのマニュアルをよく読み，書かれている指示や注意を十分に理解してください。また，このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使いやすい場所に保管してください。
なお，このマニュアルでは特に断らないかぎりAX6700S，AX6600SおよびAX6300Sに共通の機能について記載しますが，機種固有の機能については以下のマークで示します。

【AX6700S】：
AX6700Sについての記述です。

【AX6600S】：
AX6600Sについての記述です。

【AX6300S】：
AX6300Sについての記述です。

また，このマニュアルでは特に断らないかぎり基本ソフトウェアOS-SEの機能について記載しますが，オプションライセンスでサポートする機能については以下のマークで示します。

【OP-BGP】：
オプションライセンスOP-BGPについての記述です。

【OP-DH6R】：
オプションライセンスOP-DH6Rについての記述です。

【OP-MBSE】：
オプションライセンスOP-MBSEについての記述です。

【OP-NPAR】：
オプションライセンスOP-NPARについての記述です。

【OP-TRCK】：
オプションライセンスOP-TRCKについての記述です。

【OP-VAA】：
オプションライセンスOP-VAAについての記述です。

■このマニュアルの訂正について

このマニュアルに記載の内容は，ソフトウェアと共に提供する「リリースノート」および「マニュアル訂正資料」で訂正する場合があります。

■対象読者

本装置を利用したネットワークシステムを構築し，運用するシステム管理者の方を対象としています。
また，次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識

■このマニュアルのURL

このマニュアルの内容は下記URLに掲載しております。

http://www.alaxala.com

■マニュアルの読書手順

本装置の導入，セットアップ，日常運用までの作業フローに従って，それぞれの場合に参照するマニュアルを次に示します。

●装置の開梱から，初期導入時の基本的な設定を知りたい

AX6700S クイックスタートガイド (AX67S-Q001)	AX6600S クイックスタートガイド (AX66S-Q001)	AX6300S クイックスタートガイド (AX63S-Q001)

●ハードウェアの設備条件，取扱方法を調べる

AX6700S ハードウェア取扱説明書 (AX67S-H001)	AX6600S ハードウェア取扱説明書 (AX66S-H001)	AX6300S ハードウェア取扱説明書 (AX63S-H001)

●ソフトウェアの機能，コンフィグレーションの設定，運用コマンドを知りたい

▽まず，ガイドで使用する機能や収容条件についてご確認ください。

- **収容条件**
- **ログインなどの基本操作**
- **VLAN，スパニングツリー**
- **フィルタ，QoS**
- **レイヤ2認証**
- **高信頼化機能**
- **IPv4，IPv6パケット中継**
- **IPv4，IPv6ルーティングプロトコル**

コンフィグレーションガイド Vol.1 (AX63S-S001)	コンフィグレーションガイド Vol.2 (AX63S-S002)	コンフィグレーションガイド Vol.3 (AX63S-S003)

▽必要に応じて，レファレンスをご確認ください。

・コマンドの入力シンタックス，パラメータ詳細について

コンフィグレーション コマンドレファレンス Vol.1 (AX63S-S004)	コンフィグレーション コマンドレファレンス Vol.2 (AX63S-S010)	コンフィグレーション コマンドレファレンス Vol.3 (AX63S-S005)
運用コマンドレファレンス Vol.1 (AX63S-S006)	運用コマンドレファレンス Vol.2 (AX63S-S011)	運用コマンドレファレンス Vol.3 (AX63S-S007)

・メッセージとログについて

メッセージ・ログレファレンス (AX63S-S008)

・MIBについて

MIBレファレンス (AX63S-S009)

●トラブル発生時の対処方法について知りたい

トラブルシューティングガイド (AX36S-T001)

■このマニュアルでの表記

AC	Alternating Current
ACK	ACKnowledge
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line
AES	Advanced Encryption Standard
ALG	Application Level Gateway
ANSI	American National Standards Institute
ARP	Address Resolution Protocol

AS	Autonomous System
AUX	Auxiliary
BCU	Basic Control Unit
BGP	Border Gateway Protocol
BGP4	Border Gateway Protocol - version 4
BGP4+	Multiprotocol Extensions for Border Gateway Protocol - version 4
bit/s	bits per second　　*bpsと表記する場合もあります。
BPDU	Bridge Protocol Data Unit
BRI	Basic Rate Interface
BSU	Basic Switching Unit
CA	Certificate Authority
CBC	Cipher Block Chaining
CC	Continuity Check
CDP	Cisco Discovery Protocol
CFM	Connectivity Fault Management
CIDR	Classless Inter-Domain Routing
CIR	Committed Information Rate
CIST	Common and Internal Spanning Tree
CLNP	ConnectionLess Network Protocol
CLNS	ConnectionLess Network System
CONS	Connection Oriented Network System
CRC	Cyclic Redundancy Check
CSMA/CD	Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection
CSNP	Complete Sequence Numbers PDU
CST	Common Spanning Tree
CSU	Control and Switching Unit
DA	Destination Address
DC	Direct Current
DCE	Data Circuit terminating Equipment
DES	Data Encryption Standard
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
DIS	Draft International Standard/Designated Intermediate System
DNS	Domain Name System
DR	Designated Router
DSA	Digital Signature Algorithm
DSAP	Destination Service Access Point
DSCP	Differentiated Services Code Point
DTE	Data Terminal Equipment
DVMRP	Distance Vector Multicast Routing Protocol
E-Mail	Electronic Mail
EAP	Extensible Authentication Protocol
EAPOL	EAP Over LAN
ECDHE	Elliptic Curve Diffie-Hellman key exchange, Ephemeral
EFM	Ethernet in the First Mile
ES	End System
FAN	Fan Unit
FCS	Frame Check Sequence
FDB	Filtering DataBase
FTTH	Fiber To The Home
GBIC	GigaBit Interface Converter
GCM	Galois/Counter Mode
GSRP	Gigabit Switch Redundancy Protocol
HMAC	Keyed-Hashing for Message Authentication
HTTP	Hypertext Transfer Protocol
HTTPS	Hypertext Transfer Protocol Secure
IANA	Internet Assigned Numbers Authority
ICMP	Internet Control Message Protocol
ICMPv6	Internet Control Message Protocol version 6
ID	Identifier
IEC	International Electrotechnical Commission
IEEE	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.
IETF	the Internet Engineering Task Force
IGMP	Internet Group Management Protocol
IP	Internet Protocol
IPCP	IP Control Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPV6CP	IP Version 6 Control Protocol
IPX	Internetwork Packet Exchange
ISO	International Organization for Standardization
ISP	Internet Service Provider
IST	Internal Spanning Tree
L2LD	Layer 2 Loop Detection
LAN	Local Area Network

LCP	Link Control Protocol
LED	Light Emitting Diode
LLC	Logical Link Control
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
LLPQ	Low Latency Priority Queueing
LLQ+3WFQ	Low Latency Queueing + 3 Weighted Fair Queueing
LLRLQ	Low Latency Rate Limited Queueing
LSP	Label Switched Path
LSP	Link State PDU
LSR	Label Switched Router
MA	Maintenance Association
MAC	Media Access Control
MC	Memory Card
MD5	Message Digest 5
MDI	Medium Dependent Interface
MDI-X	Medium Dependent Interface crossover
MEP	Maintenance association End Point
MIB	Management Information Base
MIP	Maintenance domain Intermediate Point
MRU	Maximum Receive Unit
MSTI	Multiple Spanning Tree Instance
MSTP	Multiple Spanning Tree Protocol
MSU	Management and Switching Unit
MTU	Maximum Transfer Unit
NAK	Not AcKnowledge
NAS	Network Access Server
NAT	Network Address Translation
NCP	Network Control Protocol
NDP	Neighbor Discovery Protocol
NET	Network Entity Title
NIF	Network Interface
NLA ID	Next-Level Aggregation Identifier
NPDU	Network Protocol Data Unit
NSAP	Network Service Access Point
NSSA	Not So Stubby Area
NTP	Network Time Protocol
OADP	Octpower Auto Discovery Protocol
OAM	Operations,Administration,and Maintenance
OSPF	Open Shortest Path First
OUI	Organizationally Unique Identifier
packet/s	packets per second　　*ppsと表記する場合もあります。
PAD	PADding
PAE	Port Access Entity
PC	Personal Computer
PCI	Protocol Control Information
PDU	Protocol Data Unit
PGP	Pretty Good Privacy
PICS	Protocol Implementation Conformance Statement
PID	Protocol IDentifier
PIM	Protocol Independent Multicast
PIM-DM	Protocol Independent Multicast-Dense Mode
PIM-SM	Protocol Independent Multicast-Sparse Mode
PIM-SSM	Protocol Independent Multicast-Source Specific Multicast
PRI	Primary Rate Interface
PS	Power Supply
PSNP	Partial Sequence Numbers PDU
PSP	Packet Switching Processor
QoS	Quality of Service
RA	Router Advertisement
RADIUS	Remote Authentication Dial In User Service
RDI	Remote Defect Indication
REJ	REJect
RFC	Request For Comments
RGQ	Rate Guaranteed Queueing
RIP	Routing Information Protocol
RIPng	Routing Information Protocol next generation
RMON	Remote Network Monitoring MIB
RPF	Reverse Path Forwarding
RQ	ReQuest
RSA	Rivest, Shamir, Adleman
RSTP	Rapid Spanning Tree Protocol
SA	Source Address
SD	Secure Digital
SDH	Synchronous Digital Hierarchy

SDU	Service Data Unit
SEL	NSAP SELector
SFD	Start Frame Delimiter
SFP	Small Form factor Pluggable
SHA	Secure Hash Algorithm
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SNAP	Sub-Network Access Protocol
SNMP	Simple Network Management Protocol
SNP	Sequence Numbers PDU
SNPA	Subnetwork Point of Attachment
SOP	System Operational Panel
SPF	Shortest Path First
SSAP	Source Service Access Point
SSH	Secure Shell
SSL	Secure Socket Layer
STP	Spanning Tree Protocol
TA	Terminal Adapter
TACACS+	Terminal Access Controller Access Control System Plus
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
TLA ID	Top-Level Aggregation Identifier
TLS	Transport Layer Security
TLV	Type, Length, and Value
TOS	Type Of Service
TPID	Tag Protocol Identifier
TTL	Time To Live
UDLD	Uni-Directional Link Detection
UDP	User Datagram Protocol
UPC	Usage Parameter Control
UPC-RED	Usage Parameter Control - Random Early Detection
uRPF	unicast Reverse Path Forwarding
VAA	VLAN Access Agent
VLAN	Virtual LAN
VPN	Virtual Private Network
VRF	Virtual Routing and Forwarding/Virtual Routing and Forwarding Instance
VRRP	Virtual Router Redundancy Protocol
WAN	Wide Area Network
WDM	Wavelength Division Multiplexing
WFQ	Weighted Fair Queueing
WGQ	Weighted Guaranteed Queueing
WRED	Weighted Random Early Detection
WS	Work Station
WWW	World-Wide Web
XFP	10 gigabit small Form factor Pluggable

■ kB(バイト) などの単位表記について

1kB(キロバイト), 1MB(メガバイト), 1GB(ギガバイト), 1TB(テラバイト) はそれぞれ 1024 バイト, 1024^2 バイト, 1024^3 バイト, 1024^4 バイトです。

目次

1 運用メッセージとログ 1

1.1 運用メッセージの確認 2

1.1.1 メッセージの種類 2

1.1.2 運用メッセージの内容 2

1.1.3 運用メッセージのフォーマット 3

1.1.4 運用メッセージの出力 3

1.2 ログの確認 5

1.2.1 ログの種類 5

1.2.2 ログの内容 5

1.2.3 運用ログのフォーマット 6

1.2.4 種別ログのフォーマット 7

1.2.5 ログのコード情報 8

1.2.6 ログの自動保存と参照 11

2 ルーティングのイベント情報 13

2.1 IPv4 ルーティングプロトコル情報 (RTM) 14

2.1.1 RIP 14

2.1.2 OSPF 17

2.1.3 BGP4【OP-BGP】 22

2.1.4 IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通 43

2.2 IPv6 ルーティングプロトコル情報 (RTM) 45

2.2.1 RIPng 45

2.2.2 OSPFv3 47

2.2.3 BGP4+【OP-BGP】 51

2.2.4 IPv6 ユニキャストルーティングプロトコル共通 71

2.3 IPv6 ルーティング情報 (RTM) 73

2.3.1 RA 73

2.4 IPv4 マルチキャストルーティング情報 (MRP) 75

2.4.1 PIM-SM/PIM-DM 75

2.5 IPv6 マルチキャストルーティング情報 (MR6) 82

2.5.1 IPv6 PIM-SM 82

3 装置関連の障害およびイベント情報 89

3.1 コンフィグレーション 90

3.1.1 イベント発生部位＝ CONFIG 90

3.2 アクセス 93

3.2.1 イベント発生部位＝ ACCESS 93

3.3 プロトコル 100

3.3.1 イベント発生部位＝ IP 100
3.3.2 イベント発生部位＝ VLAN 103
3.3.3 イベント発生部位＝ VLAN（Ring Protocol） 118
3.3.4 イベント発生部位＝ VLAN（GSRP） 120
3.3.5 イベント発生部位＝ VLAN（L2 ループ検知） 124
3.3.6 イベント発生部位＝ VLAN（CFM） 126
3.3.7 イベント発生部位＝ MAC 128
3.4 装置の各部位 133
3.4.1 イベント発生部位＝ SOFTWARE 133
3.4.2 イベント発生部位＝ SOFTWARE(認証 VLAN)【OP-VAA】 169
3.4.3 イベント発生部位＝ BSU【AX6700S】 171
3.4.4 イベント発生部位＝ NIF 176
3.5 ポート 181
3.5.1 イベント発生部位＝ PORT 181
3.6 オプション機構 188
3.6.1 イベント発生部位＝ FAN 188
3.6.2 イベント発生部位＝ PS 190
3.7 基本制御機構【AX6700S】 192
3.7.1 イベント発生部位＝ BCU 192
3.8 基本スイッチング機構【AX6700S】 207
3.8.1 イベント発生部位＝ BSU-LA 207
3.8.2 イベント発生部位＝ BSU-LB 207
3.9 制御スイッチング機構【AX6600S】 209
3.9.1 イベント発生部位＝ CSU 209
3.10 管理スイッチング機構【AX6300S】 227
3.10.1 イベント発生部位＝ MSU 227
3.11 AX6700S および AX6600S のネットワークインタフェース機構【AX6700S】【AX6600S】 244
3.11.1 イベント発生部位＝ NK1G-24T 244
3.11.2 イベント発生部位＝ NK1G-24S 245
3.11.3 イベント発生部位＝ NK1GS-8M 246
3.11.4 イベント発生部位＝ NK10G-4RX 246
3.11.5 イベント発生部位＝ NK10G-4RXA 247
3.11.6 イベント発生部位＝ NK10G-8RX 248
3.11.7 イベント発生部位＝ NK10G-8RXA 249
3.12 AX6300S のネットワークインタフェース機構【AX6300S】 251
3.12.1 イベント発生部位＝ NH1G-16S 251
3.12.2 イベント発生部位＝ NH1G-24T 252
3.12.3 イベント発生部位＝ NH1G-24S 253
3.12.4 イベント発生部位＝ NH1G-48T 254
3.12.5 イベント発生部位＝ NH1GS-6M 255
3.12.6 イベント発生部位＝ NH10G-1RX 256
3.12.7 イベント発生部位＝ NH10G-4RX 257

3.12.8 イベント発生部位＝ NH10G-4RXA 258
3.12.9 イベント発生部位＝ NH10G-8RX 259
3.12.10 イベント発生部位＝ NH10G-8RXA 260

4 アクセスリストログ 263
4.1 アクセスリストログ 264

5 トラッキングオブジェクトログ 267
5.1 トラッキングオブジェクトログ 268

6 システム操作パネルの操作ログ情報 269
6.1 システム操作パネルの操作ログ情報 (KEY)【AX6700S】 270
6.2 システム操作パネルの操作ログ情報 (KEY)【AX6600S】【AX6300S】 272
6.3 システム操作パネルの操作ログ情報 (RSP)【AX6700S】 274
6.4 システム操作パネルの操作ログ情報 (RSP)【AX6600S】【AX6300S】 279

索引 283

1 運用メッセージとログ

この章ではトラブルが発生した場合にどの部分で障害が発生しているかを特定するための手段となる障害部位，運用メッセージ，ログについて説明しています。

1.1 運用メッセージの確認

1.2 ログの確認

1.1　運用メッセージの確認

本装置は動作状態の変化や障害情報など，管理者に通知することを目的とした情報を運用メッセージとして運用端末に出力します。運用メッセージは運用端末に出力するほか，運用ログとして装置内に保存します。この情報で装置の運用状態を管理できます。

1.1.1　メッセージの種類

本装置が出力するメッセージの種類と参照先を，次の表に示します。メッセージの種類のうち，本装置が出力するルーティングプロトコルのイベント情報，および装置関連の障害情報やイベント情報を運用メッセージと呼びます。

表 1-1　メッセージの種類と参照先

メッセージの種類	内容	参照先
コンフィグレーションエラーメッセージ	コンフィグレーションコマンド入力に対して本装置が出力するメッセージ	「コンフィグレーションコマンドレファレンス」の「コンフィグレーション編集時のエラーメッセージ」
コマンド応答メッセージ	コマンド入力に対して本装置が出力するメッセージ	「運用コマンドレファレンス」の各コマンドの［応答メッセージ］
運用メッセージ	ルーティングプロトコルのイベント情報	「2　ルーティングのイベント情報」
	装置関連の障害情報およびイベント情報	「3　装置関連の障害およびイベント情報」

1.1.2　運用メッセージの内容

ルーティングプロトコルのイベント情報は，本装置が運用メッセージとして出力する機能項目と，運用メッセージとして出力しない機能項目があります。運用メッセージとして出力しない場合も運用ログは取得します。運用メッセージのサポート内容を次の表に示します。

表 1-2　運用メッセージのサポート内容

分類	機能項目	運用 メッセージ
ルーティングプロトコルのイベント情報	IPv4 ルーティング情報	○
	IPv4 マルチキャストルーティング情報	×
	IPv6 ルーティング情報	○
	IPv6 マルチキャストルーティング情報	×
装置関連の障害およびイベント情報	装置のイベント発生部位ごとの障害情報	○
	装置のイベント発生部位ごとのイベント情報	○

（凡例）
　○：メッセージ表示します。
　×：メッセージ表示しません。

1.1.3　運用メッセージのフォーマット

(1) ルーティングプロトコルのイベント情報

ルーティングプロトコルのイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-1　ルーティングプロトコルのイベント情報のフォーマット

```
mm/dd hh:mm:ss        ttttttt
```

分類	コマンド名	内容
IPv6 マルチキャストルーティング情報	―	メッセージ表示しません。

（凡例）　―：該当しません。

(2) 装置関連の障害およびイベント情報

装置関連の障害およびイベント情報は，運用端末に画面出力します。障害重度またはイベントの内容によって，イベントレベルと呼ばれる E3 ～ E9 の 7 段階にレベル分けされています。set logging console コマンドでイベントレベルを指定すると，指定したレベル以下のメッセージの画面出力を抑止できます。

1.2　ログの確認

1.2.1　ログの種類

本装置が取得するログは運用ログと種別ログの 2 種類があります。運用ログは入力したコマンド，コマンド応答メッセージおよび運用メッセージとして運用端末に出力する情報で選択した操作情報および操作によるイベント情報をログとして時系列に取得します。種別ログは運用メッセージのうち装置関連の障害およびイベント情報の統計情報をログとして取得します。

運用ログと種別ログの特徴を次の表に示します。

表 1-4　運用ログと種別ログの特徴

項目	運用ログ	種別ログ
ログの内容	• 発生したイベントを時系列に取得します。※1※2	• 同一のイベントにつき，最も古い発生時刻と最新の発生時刻，累積回数の統計情報を記録します。
取得の対象とする保守情報	• 入力したコマンド • コマンド応答メッセージ • ルーティングプロトコルのイベント情報 • 装置関連の障害およびイベント情報 • アクセスリストログ	• 装置関連の障害およびイベント情報
ログの取得数	• ログの取得数は 10000 エントリです。このうち，先頭から 5000 エントリはすべてのログを時系列に保存します。 • 残り 5000 エントリは上記 5000 エントリから溢れた古いログのうち，ログ種別が 'KEY'，'RSP'，'ERR'，'EVT' のログだけ時系列に保存します。 • 1 エントリは 80 文字となります。取得したログが 100 文字の場合は 2 エントリ分となります。	• ログ取得数は 500 エントリです。 • ログ取得数を超えた場合は，新たに取得されたログよりもイベントレベルの低いログを削除し，新しいログを取得します。
ログの取得数オーバ処理	• ログ取得数が 5000 エントリを超えた場合は，溢れた古いログの種類により削除処理が異なります。 • 溢れた古いログのうち，ログ種別が 'KEY'，'RSP'，'ERR'，'EVT' 以外のログは削除されます。 • 溢れた古いログのうち，ログ種別が 'KEY'，'RSP'，'ERR'，'EVT' のログは，5001 ～ 10000 エントリに保存されます。10000 エントリを超えた場合は，古いログを削除します。	• ログ取得数が 500 エントリを超えた場合は，新たに取得されたログよりもイベントレベルの低いログを削除して新しいログを取得します。

注※1　装置のリブート要因ログは，装置の起動ログのあとに収集されますが，時刻は装置の起動ログより前になります。
注※2　装置関連の障害およびイベント情報のログが同時に発生した場合には，同一時刻で表示されるイベントがイベント発生順に表示されないことや，装置関連の障害およびイベント情報のログとそれ以外のログで時系列が逆転して表示されることがあります。

1.2.2　ログの内容

運用ログ，種別ログとして取得する情報を次の表に示します。

表 1-5　運用ログ，種別ログとして取得する情報

分類	内容	運用ログ	種別ログ	参照先
入力したコマンド	オペレータが運用端末より入力したコマンド	○	×	－
コマンド応答メッセージ	コマンド入力に対して装置が出力するメッセージ	○	×	「運用コマンドレファレンス」の各コマンドの［応答メッセージ］
ルーティングプロトコルのイベント情報	IPv4 ルーティングプロトコル情報	○	×	「2　ルーティングのイベント情報」
	IPv4 マルチキャストルーティング情報	○	×	
	IPv6 ルーティングプロトコル情報	○	×	
	IPv6 マルチキャストルーティング情報	○	×	
装置関連の障害およびイベント情報	装置のイベント発生部位ごとの障害情報	○	○	「3　装置関連の障害およびイベント情報」
	装置のイベント発生部位ごとのイベント情報	○	○	
アクセスリストログ	アクセスリストロギングが出力する，フィルタで廃棄したパケットの情報	○	×	「4　アクセスリストログ」
トラッキングオブジェクトログ	ポリシーベースルーティングのトラッキング機能情報	○	×	「5　トラッキングオブジェクトログ」

（凡例）
　○：メッセージ表示，またはログを取得します。
　×：メッセージ表示しません。また，ログも取得しません。
　－：該当しません。

1.2.3　運用ログのフォーマット

運用中のメッセージは運用ログとして装置内に保存します。ログの格納時は運用メッセージとして画面出力する情報に**ログ種別**を付加したフォーマットになります。

(1) ルーティングプロトコルのイベント情報

入力コマンド，コマンド応答メッセージ，ルーティングプロトコルのイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-3　入力コマンド，コマンド応答メッセージ，ルーティングプロトコルのイベント情報のフォーマット

```
kkk    mm/dd hh:mm:ss     ttttttttttttt～ttttttttttttt
 1          2                          3
```

1. ログ種別・・・提供機能単位に識別コードを 3 文字の文字列で表示したもの。
   - KEY：入力コマンドで選択した操作情報
   - RSP：コマンド応答メッセージの操作によるイベント情報
   - RTM，MRP，MR6：ルーティングプロトコルのイベント情報
2. 時刻・・・採取月，日，時，分，秒をテキスト表示します。
3. メッセージテキスト

(2) 装置関連の障害およびイベント情報

装置関連の障害およびイベント情報のフォーマットを次の図に示します。

図 1-4　装置関連の障害およびイベント情報のフォーマット

```
kkk   mm/dd hh:mm:ss   ee   kkkkkkkk   [iii・・・iii]   xxxxxxxx   yyyy:yyyyyyyyyyyy
 1          2           3      4            5               6          7

ttt～ttt
   8
```

1. ログ種別・・・提供機能単位に識別コードを 3 文字の文字列で表示したもの。
   - ERR：装置のイベント発生部位ごとの障害情報
   - EVT：装置のイベント発生部位ごとのイベント情報
2. 時刻・・・採取月，日，時，分，秒をテキスト表示します。
3. イベントレベル
4. イベント発生部位または機能
5. イベント発生インタフェース識別子（表示の有無はイベント部位に依存）
6. メッセージ識別子
7. 付加情報
8. メッセージテキスト

(3) アクセスリストログ

アクセスリストログのフォーマットを次の図に示します。

図 1-5　アクセスリストログのフォーマット

```
kkk    mm/dd hh:mm:ss     ttttttttttttt～ttttttttttttt
 1          2                          3
```

1. ログ種別・・・提供機能単位に識別コードを 3 文字の文字列で表示したもの。
   - ACL：アクセスリストログ
2. 時刻・・・採取月，日，時，分，秒をテキスト表示します。
3. メッセージテキスト

(4) トラッキングオブジェクトログ

トラッキングオブジェクトログのフォーマットを次の図に示します。

図 1-6　トラッキングオブジェクトログのフォーマット

```
kkk    mm/dd hh:mm:ss     ttttttttttttt～ttttttttttttt
 1          2                          3
```

1. ログ種別・・・提供機能単位に識別コードを 3 文字の文字列で表示したもの。
   - TRO：ポリシーベースルーティングのトラッキング機能のイベント情報
2. 時刻・・・採取月，日，時，分，秒をテキスト表示します。
3. メッセージテキスト

1.2.4　種別ログのフォーマット

装置関連の障害情報およびイベント情報は発生順に運用ログとして保存しますが，このほかに種別ログと

しても保存します。種別ログは，情報をメッセージ識別子ごとに分類した上で，同事象が最初に発生した日時および最後に発生した日時と累積回数を記録します。

種別ログのフォーマットを次の図に示します。

図 1-7　種別ログのフォーマット

```
ee    kkkkkkkk    [iii・・・iii]    xxxxxxxx    yyyy:yyyyyyyyyyyy
1        2            3                4            5

  mm/dd hh:mm:ss     mm/dd hh:mm:ss    ccc
        6                  7           8
```

1. イベントレベル（E9 ～ E3）
2. イベント発生部位または機能
3. イベント発生インタフェース識別子（表示の有無はイベント発生部位に依存）
4. メッセージ識別子
5. 付加情報
6. 該当障害の最新の発生時刻
7. 該当障害の最旧の発生時刻
8. 該当障害の発生回数

1.2.5　ログのコード情報

(1) ログ種別

運用ログに付加されるログ種別には次の種類があります。

- ユーザのコマンド操作とその結果
- 装置が出力する動作情報
- 障害情報

ログとして取得する情報とログ種別の対応を次の表に示します。運用ログのうち装置関連の障害およびイベント情報，および種別ログにはイベントレベルを付加します。

表 1-6　ログとして取得する情報とログ種別の対応

取得する情報	ログ種別	内容	イベントレベル
入力コマンドで選択した操作情報	KEY	オペレータが運用端末から入力したコマンドで選択した操作情報	－
コマンド応答メッセージの操作によるイベント情報	RSP	コマンド入力に対して装置が出力するメッセージの操作によって発生したイベント情報	－
ルーティングプロトコル情報	RTM	IPv4 ルーティング情報または IPv6 ルーティング情報	－
	MRP	IPv4 マルチキャストルーティング情報	－
	MR6	IPv6 マルチキャストルーティング情報	－
装置関連の障害およびイベント情報	ERR	装置の各イベント発生部位ごとの障害情報	E9 ～ E5
	EVT	装置の各イベント発生部位ごとのイベント情報	E4，E3，R8 ～ R5
アクセスリストログ	ACL	アクセスリストロギングが出力する，フィルタで廃棄したパケットの情報	－

取得する情報	ログ種別	内容	イベントレベル
レイヤ 2 認証情報	AUT	レイヤ 2 認証機能の各プログラムで採取する情報。対応する運用コマンドで表示。 • show dot1x logging • show web-authentication logging • show mac-authentication logging	－
DHCP snooping 情報	DSN	DHCP snooping で採取する情報。対応する運用コマンドで表示。 • show ip dhcp snooping logging	－
トラッキングオブジェクトログ	TRO	ポリシーベースルーティングのトラッキング機能情報	－

（凡例）　－：該当しません。

(2) イベントレベル

種別ログで示されるイベントは，重要度によって 7 段階でレベル分けされます。イベントレベルと内容を次の表に示します。

表 1-7　イベントレベルと内容

イベントレベル	表示内容（種別）	内容
9	E9（致命的障害）	装置全体が停止する障害 （装置再起動または装置運用停止）
8	E8（重度障害） R8（重度障害回復）	ファン，電源機構または装置の一部が停止する障害 • 障害がハードウェア部分障害の場合，該当ハードウェアの再起動を伴う
7	E7（ソフトウェア部分障害） R7（ソフトウェア部分障害回復）	ソフトウェアの一部が停止する障害
6	E6（部分障害） R6（部分障害回復）	装置の構成部位の一部（NIF 部を含む）が停止する障害
5	E5（他系障害） R5（他系障害回復）	二重化に関する障害（系切替不可）
4	E4（ネットワーク障害）	回線に関する情報（LAN）
3	E3（警告）	警告

なお，イベントレベル E9 から E5 の障害が回復した場合，各レベルに対応して R8 から R5 までのレベル表示で運用メッセージを出力します。また，E9 から E5 の障害が発生した場合，運用ログおよび種別ログを「/usr/var/log/system.log」，「/usr/var/log/error.log」として装置内メモリに自動保存を行います。

(3) イベント発生部位

種別ログでは発生したイベントの部位または機能を識別子で示します。イベント発生部位を次の表に示します。

表 1-8　イベント発生部位

項番	識別子	イベント発生部位または機能
1	CONFIG	コンフィグレーション
2	ACCESS	装置アクセス権制御

項番	識別子	イベント発生部位または機能
3	IP	IP 制御機能
4	VLAN	VLAN 制御機能
5	MAC	MAC 制御機能
6	SOFTWARE	ソフトウェア制御機能
7	BSU	BSU 制御機能
8	NIF	NIF 制御機能
9	PORT	ポート制御機能
10	FAN	ファンユニット制御機能
11	PS	電源制御機能
12	BCU	基本制御部
13	BSU-LA	基本スイッチング部 BSU-LA
14	BSU-LB	基本スイッチング部 BSU-LB
15	CSU	制御スイッチング部
16	MSU	管理スイッチング部
17	NK1G-24T	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T・24 回線
18	NK1G-24S	1000BASE-X・SFP・24 回線
19	NK1GS-8M	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T または 1000BASE-X・SFP・選択型 4 回線・階層化シェーパ機能付き +1000BASE-X・SFP・4 回線・階層化シェーパ機能付き
20	NK10G-4RX	10GBASE-R・XFP・4 回線
21	NK10G-4RXA	10GBASE-R・XFP・4 回線
22	NK10G-8RX	10GBASE-R・XFP・8 回線
23	NK10G-8RXA	10GBASE-R・XFP・8 回線
24	NH1G-16S	1000BASE-X・SFP・16 回線
25	NH1G-24T	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T・24 回線
26	NH1G-24S	1000BASE-X・SFP・24 回線
27	NH1G-48T	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T・48 回線
28	NH1GS-6M	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T・4 回線・階層化シェーパ機能付き +1000BASE-X・SFP・2 回線・階層化シェーパ機能付き
29	NH10G-1RX	10GBASE-R・XFP・1 回線
30	NH10G-4RX	10GBASE-R・XFP・4 回線
31	NH10G-4RXA	10GBASE-R・XFP・4 回線
32	NH10G-8RX	10GBASE-R・XFP・8 回線
33	NH10G-8RXA	10GBASE-R・XFP・8 回線

(4) イベント発生インタフェース識別子

イベントが発生したインタフェース部位を識別子で示します。本装置のインタフェース部位の部位識別子の表示形式を次の表に示します。

表 1-9　インタフェース部位識別子の表示形式

識別子の表示形式	インタフェース部位
BSU:<bsu no.>	BSU 部
NIF:<nif no.>	NIF 部
GigabitEthernet <nif no.>/<port no.>	最大回線速度が 1000Mbit/s のイーサネットインタフェース
TenGigabitEthernet <nif no.>/<port no.>	最大回線速度が 10Gbit/s のイーサネットインタフェース
MGMT 0	マネージメントポート部

（凡例）

<bsu no.>：BSU 番号

<nif no.>：NIF 番号

<port no.>：ポート番号

(5) メッセージ識別子および付加情報

発生したイベントの内容をコードで示したものです。内容の詳細は「3　装置関連の障害およびイベント情報」を参照してください。

(6) 該当イベントの最新および最旧の発生時刻

該当イベントが最初に発生した時刻および最新の発生時刻を示します。

(7) 該当イベントの発生回数

該当イベントが繰り返し発生している場合にその累計を示します。累計はログの採取開始から現在までに発生したイベントの回数となります。該当イベントが 255 以上発生している場合，発生回数の表示は 255 となります。

1.2.6　ログの自動保存と参照

(1) ログの自動保存

運用ログと種別ログは，以下に示す契機で内蔵フラッシュメモリ上へ自動的に保存されます。またログの保存先を次の表に示します。なお，コンフィグレーションコマンド no logging syslog-dump を設定している場合は，以下の 1. の契機にだけ自動的に保存されます。

ログを自動保存する契機

1. 本装置を起動させた場合
2. イベントレベル E9 から E5 の重度障害が発生した場合
3. reload コマンドにより装置の再起動を行った場合
4. ログインまたはログアウトを行った場合
5. ppupdate に伴う装置の再起動を行った場合
6. リセットスイッチを押して装置再起動を行った場合

表 1-10　ログの保存先

ログの種類	装置内メモリの保存先
運用ログ	/usr/var/log/system.log へ保存

ログの種類	装置内メモリの保存先
種別ログ	/usr/var/log/error.log へ保存

(2) ログの参照とファイルの作成方法

運用ログおよび種別ログは show logging コマンドを使用して参照します。これらのログはファイルとして取り出すこともできます。ファイルは show logging コマンド実行時にリダイレクト指定して作成します。show logging コマンド以外のコマンド出力結果をファイルとして取り出す場合も，同様にリダイレクト指定します。コマンドのリダイレクトによってファイルを作成する場合の格納ディレクトリを次の表に示します。

表 1-11　格納ディレクトリ

項目	格納ディレクトリ	備考
ユーザホームディレクトリ	/usr/home/< ユーザアカウント名 >/	装置内メモリに格納
テンポラリディレクトリ	/tmp/	装置が電源断や reload コマンドによって停止した場合，格納ファイルは削除されます。

次に，show logging コマンドを実行し，ログ情報のバックアップを作成する例を示します。

運用ログを装置内メモリにバックアップ

```
> show logging > /usr/home/<ユーザアカウント名>/<ファイル名>
>
```

(3) リモートホストでのログ取得

syslog 出力機能を使用してリモートホスト側にもログを取得できます。ただし，syslog 出力機能ではフレームロスなどによってログ情報が紛失する可能性があります。

syslog 出力機能については，「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2　logging facility」を参照してください。

(4) ログの E-Mail 送信機能

E-Mail 送信機能を使用してリモートホスト，PC などにログ情報を送ることができます。この機能ではメールの受信には対応していません。この機能によって送付されたメールに対して返信を行うと送信エラーとなります。

E-Mail 送信機能については，「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2　logging email-from，コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2　logging email-server」を参照してください。

2 ルーティングのイベント情報

この章ではルーティングのイベント情報の内容について説明します。ルーティングプロトコルのイベント情報では，IPv4 ルーティングプロトコル，IPv6 ルーティングプロトコルの動作状態を通知します。メッセージを運用端末に画面出力する場合は，コマンドで指定します。なお，マルチキャストルーティングプロトコルはメッセージを表示しないで，運用ログとして取得するだけです。

2.1 IPv4 **ルーティングプロトコル情報** (RTM)

2.2 IPv6 **ルーティングプロトコル情報** (RTM)

2.3 IPv6 **ルーティング情報** (RTM)

2.4 IPv4 **マルチキャストルーティング情報** (MRP)

2.5 IPv6 **マルチキャストルーティング情報** (MR6)

2.1　IPv4 ルーティングプロトコル情報 (RTM)

IPv4 ルーティングプロトコルのイベント情報について説明します。

2.1.1　RIP

IPv4 ルーティングプロトコル情報（RTM）のイベント情報を次の表に示します。

表 2-1　IPv4 ルーティングプロトコル (RIP) イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	rip_recv_response: Bad metric (<metric>) for net <destination address> from <source address> [(VRF <vrf id>)]	エラー（相手装置）
		不正なメトリック値 (0 または 17 以上のメトリック) を持つ経路情報を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <metric>　経路情報のメトリック値 <destination address>　経路情報の宛先アドレス <source address>　送信元ゲートウェイ <vrf id>　VRF ID [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を調査してください。
2	rip_recv_response: Bad mask (<mask>) for net <destination address> from <source address> [(VRF <vrf id>)]	エラー（相手装置）
		不正なネットワークマスクを持つ経路情報を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mask>　経路情報のネットワークマスク <destination address>　経路情報の宛先アドレス <source address>　送信元ゲートウェイ <vrf id>　VRF ID [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を調査してください。
3	rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - ignoring version 0 packets	エラー（相手装置）
		バージョンフィールドが 0 のため，受信した RIP パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <rip command>　受信メッセージタイプ • Invalid，Request，Response，TraceOn，TraceOff，Poll，PollEntry <source address>　送信元ゲートウェイ <vrf id>　VRF ID [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を調査してください。
4	rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - reserved field not zero	エラー（相手装置）
		リザーブフィールドが 0 ではないため，受信した RIP パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <rip command>　受信メッセージタイプ • Invalid，Request，Response，TraceOn，TraceOff，Poll，PollEntry <source address>　送信元ゲートウェイ <vrf id>　VRF ID [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
5	rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - authentication failure [(Key-ID <key id>)]	エラー（自装置／相手装置） 認証エラーのため，受信した RIP パケットを無視します。 この運用メッセージは，次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは，すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は，256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は，上記 1，2 の契機で出力されます。 ただし，上記回数には，次のメッセージの回数を含みます。 rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - illegal authentication type rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - illegal authentication key identifier (Key-ID <key id>) rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - illegal authentication sequence number (Key-ID <key id>) [メッセージテキストの表示説明] <rip command>　受信メッセージタイプ • Invalid，Request，Response，TraceOn，TraceOff，Poll，PollEntry <source address>　送信元ゲートウェイ <vrf id>　VRF ID <key id>　キー識別子 [対応] 自装置と相手装置の RIP で認証キーが一致しているか調査してください。認証キーが一致していない場合は，認証キーが一致するように設定してください。
6	rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - TRACE packets not supported	ワーニング（相手装置） TRACE パケットは未サポートのため，受信した RIP パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <rip command>　受信メッセージタイプ • TraceOn，TraceOff <source address>　送信元ゲートウェイ <vrf id>　VRF ID [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) の仕様を確認してください。
7	rip_init: Old copy of rtm is running	エラー（自装置） すでにユニキャストルーティングプログラムが動作している可能性があります。 ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って処置してください。
8	RIP: The total number of RIP targets is more than the maximum permitted	エラー（自装置） RIP ターゲット（隣接）の総数が最大許容数をオーバしています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 隣接ルータの最大数が収容条件を超えないように RIP の設定を見直してください。

項番	メッセージテキスト	内容
9	rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - illegal authentication type	エラー（相手装置） 認証情報の認証タイプが不正なため，受信した RIP パケットを無視します。 この運用メッセージは，次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは，すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は，256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は，上記 1，2 の契機で出力されます。 ただし，上記回数には，次のメッセージの回数を含みます。 rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - authentication failure [(Key-ID <key id>)] rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - illegal authentication key identifier (Key-ID <key id>) rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - illegal authentication sequence number (Key-ID <key id>) [メッセージテキストの表示説明] <rip command>　受信メッセージタイプ • Invalid，Request，Response，TraceOn，TraceOff，Poll，PollEntry <source address>　送信元ゲートウェイ <vrf id>　VRF ID [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIP）を調査してください。
10	rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - illegal authentication key identifier (Key-ID <key id>)	エラー（自装置／相手装置） 認証情報のキー識別子が不正なため，受信した RIP パケットを無視します。 この運用メッセージは，次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは，すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は，256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は，上記 1，2 の契機で出力されます。 ただし，上記回数には，次のメッセージの回数を含みます。 rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - authentication failure [(Key-ID <key id>)] rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - illegal authentication type rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - illegal authentication sequence number (Key-ID <key id>) [メッセージテキストの表示説明] <rip command>　受信メッセージタイプ • Invalid，Request，Response，TraceOn，TraceOff，Poll，PollEntry <source address>　送信元ゲートウェイ <vrf id>　VRF ID <key id>　キー識別子 [対応] 自装置と相手装置の RIP で認証情報のキー識別子が一致しているか調査してください。 認証情報のキー識別子が一致していない場合は，認証情報のキー識別子が一致するように設定してください。

項番	メッセージテキスト	内容
11	rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - illegal authentication sequence number (Key-ID <key id>)	エラー（相手装置）
		認証情報のシーケンス番号が不正なため，受信した RIP パケットを無視します。 この運用メッセージは，次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは，すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は，256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は，上記 1，2 の契機で出力されます。 ただし，上記回数には，次のメッセージの回数を含みます。 rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - authentication failure [(Key-ID <key id>)] rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - illegal authentication type rip_recv: Ignoring RIP <rip command> packet from <source address> [(VRF <vrf id>)] - illegal authentication key identifier (Key-ID <key id>) [メッセージテキストの表示説明] <rip command>　受信メッセージタイプ • Invalid，Request，Response，TraceOn，TraceOff，Poll，PollEntry <source address>　送信元ゲートウェイ <vrf id>　VRF ID <key id>　キー識別子 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIP）を調査してください。

2.1.2　OSPF

IPv4 ルーティングプロトコル情報（RTM）のイベント情報を次の表に示します。

表 2-2　IPv4 ルーティングプロトコル (OSPF) イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	OSPF SENT <source address> -> <destination address> [(VRF <vrf id>)] : <error string>	ワーニング（自装置）
		OSPF パケットの送信に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv4 アドレス <destination address>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
2	OSPF: Helper to adjacency <router id> address <address> [(VRF <vrf id>)] failed because restart time is up.	情報（相手装置）
		リスタート待ち時間が経過したため，ヘルパールータの動作を停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id>　隣接ルータのルータ ID <address>　隣接ルータの IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] 隣接ルータがリスタート動作を停止していないか確認してください。 停止していない場合，隣接ルータのリスタート時間を調整してください。

項番	メッセージテキスト	内容
3	OSPF: Helper to adjacency <router id> address <address> [(VRF <vrf id>)] failed because network topology is changed.	ワーニング（自装置／ネットワーク）
		トポロジー変更のため，ヘルパールータの動作を停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id>　隣接ルータのルータ ID <address>　隣接ルータの IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] なし。
4	OSPF RECV [Area <area id>] <source address> -> <destination address> [(VRF <vrf id>)] : <log type>.	ワーニング（自装置／相手装置）
		受信した OSPF パケットが不正です。 ただし，OSPF インタフェースとして設定していないブロードキャスト型インタフェースから受信したマルチキャストパケットは，ログ採取せずに廃棄します。 [メッセージテキストの表示説明] <area id>　エリア ID <source address>　送信元 IPv4 アドレス <destination address>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID <log type>　ログ種別 • IP: bad destination • IP: bad protocol • IP: received my own packet • OSPF: bad packet type • OSPF: bad version • OSPF: bad checksum • OSPF: packet too small • OSPF: packet size > ip length • OSPF: bad area id • OSPF: unknown neighbor • OSPF: area mismatch • OSPF: bad virtual link • OSPF: bad authentication type • OSPF: bad authentication key • OSPF: interface down • HELLO: netmask mismatch • HELLO: hello timer mismatch • HELLO: dead timer mismatch • HELLO: NBMA neighbor unknown • HELLO: extern option mismatch • DD: extern option mismatch • HELLO: router id confusion • DD: router id confusion • LS ACK: Unknown LSA type • LS REQ: empty request • LS REQ: bad request • LS UPD: LSA checksum bad [対応] ログ種別によって，対応が異なります。 • IP: bad destination <source address> が直結ネットワークではない，または <destination address> が OSPF 未設定のインタフェースの場合， OSPF インタフェースの設定を修正してください。

項番	メッセージテキスト	内容
		• IP: bad protocol • IP: received my own packet • OSPF: bad packet type • OSPF: bad version • OSPF: bad checksum • OSPF: packet too small • OSPF: packet size > ip length • OSPF: bad area id 隣接ルータが不正なパケットを送信しています。隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム（OSPF）を調査してください。 • OSPF: unknown neighbor Hello で認識していない隣接ルータから，Hello 以外のパケットを受信していますが対応不要です。 • OSPF: area mismatch • OSPF: bad virtual link 新規の隣接ルータからパケットを受信している場合，エリアの設定を修正してください。それ以外は対応不要です。 • OSPF: bad authentication type • OSPF: bad authentication key 認証の設定を修正してください。 • OSPF: interface down なし。 • HELLO: netmask mismatch • HELLO: hello timer mismatch • HELLO: dead timer mismatch • HELLO: NBMA neighbor unknown OSPF インタフェースの設定を修正してください。 • HELLO: extern option mismatch • DD: extern option mismatch スタブエリアの設定を修正してください。 • HELLO: router id confusion • DD: router id confusion ルータ ID の設定を修正してください。 • LS ACK: Unknown LSA type • LS REQ: empty request • LS REQ: bad request • LS UPD: LSA checksum bad 隣接ルータが不正なパケットを送信しています。隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム（OSPF）を調査してください。
5	OSPF: Abort due to <address> mask <mask1> advertisement was blocked by LSA <lsid> mask <mask2> Age <age>.	エラー（自装置）
		LSDB<lsid> と経路間で矛盾があります。 ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <address>　経路情報の宛先アドレス <mask1>　経路情報のネットワークマスク <lsid>　LSA の LSID <mask2>　LSA のネットワークマスク <age>　LSA を生成してからの時間 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って処置してください。

項番	メッセージテキスト	内容
6	OSPF: Lost adjacency <router id> address <address>(<interface name>) due to sequence mismatch (<sequence1> versus <sequence2>)	ワーニング（自装置／相手装置） シーケンスの不一致によって隣接ルータを失いました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id>　隣接ルータのルータ ID <address>　隣接ルータの IPv4 アドレス <interface name>　インタフェース名称 <sequence1>　制御データ上のシーケンス番号 <sequence2>　DD メッセージ内のシーケンス番号 [対応] 頻発する場合は OSPF パケット再送間隔（retransmitinterval）を長くしてください。
7	OSPF: Lost adjacency <router id> address <address>(<interface name>) because no Hello received recently.	ワーニング（相手装置／ネットワーク） 隣接ルータから定期的に送信されるはずの Hello パケットを一定時間受信しなかったため，隣接関係を打ち切りました。隣接ルータが動作を停止した場合，または本装置－隣接ルータ間の通信に不具合がある場合に発生します。 [メッセージテキストの表示説明] <router id>　隣接ルータのルータ ID <address>　隣接ルータの IPv4 アドレス <interface name>　インタフェース名称 [対応] 頻発する場合，Hello パケット送信間隔（hellointerval）を短くし，Hello パケット最大許容受信間隔（routerdeadinterval）を長くしてください。
8	OSPF: Lost adjacency <router id> address <address>(<interface name>) because neighbor didn't receive my Hello recently.	ワーニング（相手装置／ネットワーク） 隣接ルータが本装置を認識しなくなったため，隣接関係を打ち切りました。隣接ルータが再起動した場合，および本装置が送信した Hello パケットを隣接ルータが適切に受信していない場合に発生します。 [メッセージテキストの表示説明] <router id>　隣接ルータのルータ ID <address>　隣接ルータの IPv4 アドレス <interface name>　インタフェース名称 [対応] 頻発する場合，Hello パケット送信間隔（hellointerval）を短くし，Hello パケット最大許容受信間隔（routerdeadinterval）を長くしてください。
9	OSPF: Lost adjacency <router id1> address <address>(<interface name>) due to bad LS Request (<lsid> <router id2> <ls type>).	エラー（相手装置） 不正な LS リクエストによって隣接ルータを失いました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id1>　隣接ルータのルータ ID <address>　隣接ルータの IPv4 アドレス <interface name>　インタフェース名称 <lsid>　LSA の LSID <router id2>　LSA の広告ルータ ID <ls type>　LSA の LS タイプコード [対応] 隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム（OSPF）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
10	OSPF: Adjacency <router id> address <address>(<interface name>) is established.	情報（自装置／相手装置） OSPF の隣接ルータとの接続に成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id>　隣接ルータのルータ ID <address>　隣接ルータの IPv4 アドレス <interface name>　インタフェース名称 [対応] なし。
11	OSPF: Checksum failed at LSA type <ls type> ID <lsid> adv-router <router id> in this system's LSDB that belongs to Area <area id>, Domain <domain id> [on VRF <vrf id>].	エラー（自装置） LSDB のチェックサムが不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <ls type>　LSA の LS タイプコード <lsid>　LSA の LSID <router id>　LSA の広告ルータ ID <area id>　LSA のエリア ID <domain id>　LSA のドメイン ID <vrf id>　VRF ID [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従い，処置してください。
12	OSPF: Recovered from stub router (in [(VRF <vrf id>)] domain <domain id>).	情報（自装置） スタブルータ動作を終了します。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID <domain id>　OSPF のドメイン ID [対応] なし。
13	OSPF: Graceful restart failed (in [(VRF <vrf id>)] domain <domain id>) because adjacency <router id> address <address> doesn't help me.	ワーニング（相手装置／ネットワーク） 隣接ルータがヘルパールータとして動作していないため，グレースフル・リスタートに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID <domain id>　OSPF のドメイン ID <router id>　隣接ルータのルータ ID <address>　隣接ルータの IPv4 アドレス [対応] 隣接ルータのグレースフル・リスタートのコンフィグレーションを確認してください。
14	OSPF: Graceful restart failed (in [(VRF <vrf id>)] domain <domain id>) because adjacency <router id> address <address> gives up me	ワーニング（相手装置／ネットワーク） 隣接ルータがヘルパールータの動作を停止したため，グレースフル・リスタートに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID <domain id>　OSPF のドメイン ID <router id>　隣接ルータのルータ ID <address>　隣接ルータの IPv4 アドレス [対応] 頻発する場合は，隣接ルータの OSPF 状態，およびヘルパー機能の停止要因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
15	OSPF: Graceful restart failed (in [(VRF <vrf id>)] domain <domain id>) because restart time is up.	ワーニング（自装置）
		リスタート時間内に，再起動前に接続していた全隣接ルータとの再接続および LSA 同期ができなかったため，グレースフル・リスタートに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID <domain id>　OSPF のドメイン ID [対応] リスタート時間のコンフィグレーションを確認してください。
16	OSPF: Graceful restart finished successfully (in [(VRF <vrf id>)] domain <domain id>).	情報（自装置）
		グレースフル・リスタートに成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID <domain id>　OSPF のドメイン ID [対応] なし。

2.1.3　BGP4【OP-BGP】

IPv4 ルーティングプロトコル情報（RTM）のイベント情報を次の表に示します。

表 2-3　IPv4 ルーティングプロトコル (BGP4) イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	bgp_check_auth: Synchronization failure with BGP task <task name>	エラー（相手装置）
		BGP4 タスクが受信したメッセージのヘッダマーカーの値が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <task name>　BGP4 タスク名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
2	bgp_trace: Unsupported BGP version <version>!!!	エラー（自装置）
		制御データ上の BGP バージョン番号が不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <version>　制御データ上の BGP バージョン番号 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って，処置してください。
3	bgp_log_notify: Notify message received from <bgp name> [(<description>)] is truncated (length <length>)	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した NOTIFICATION メッセージのメッセージ長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
4	bgp_send: Sending <length> bytes to <bgp name> [(<description>)] blocked (no spooling requested): <error string>	ワーニング（自装置）
		ソケットバッファが一杯になり，該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <length>　送信要求メッセージ長 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
5	bgp_send: Sending <length> bytes to <bgp name> [(<description>)] failed: <error string>	ワーニング（自装置）
		該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <length>　送信要求メッセージ長 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
6	bgp_send: Sending <length> bytes to <bgp name> [(<description>)]: connection closed	ワーニング（自装置／相手装置／ネットワーク）
		コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <length>　送信要求メッセージ長 [対応] 頻発する場合は，コネクションの切断原因を調査してください。
7	bgp_send: Sending to <bgp name> [(<description>)] looping: <error string>	ワーニング（自装置）
		該当ピアへのメッセージ送信がリトライアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
8	bgp_send_open: Internal error! peer <bgp name> [(<description>)], version <version>	エラー（自装置）
		該当ピアに送信する OPEN メッセージの BGP バージョン番号が不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <version>　送信メッセージ内の BGP バージョン番号 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従い，処置してください。

項番	メッセージテキスト	内容
9	bgp_path_attr_error from <routine>: Update error subcode <code> (<error string>) for peer <bgp name> [(<description>)] detected. <length> bytes error data - 1st five:<error data>	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージでエラーを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <routine>　内部ルーチン名称 <code>(<error string>)　エラー要因 <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　エラーデータ長 <error data>　エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
10	bgp_recv: Read from peer <bgp name> [(<description>)] failed: <error string>	ワーニング（自装置）
		該当ピアからのメッセージ受信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
11	bgp_recv: Peer <bgp name> [(<description>)]: Received unexpected EOF	ワーニング（自装置／相手装置／ネットワーク）
		コネクションの切断によって該当ピアからのメッセージ受信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] 頻発する場合は，コネクションの切断原因を調査してください。
12	bgp_read_message: Peer <bgp name> [(<description>)]: <message type> message arrived with length <length>	エラー（相手装置）
		該当ピアから不正なメッセージ長のメッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <message type>　受信メッセージタイプ • invalid，Open，Update，Notification，KeepAlive <length>　受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
13	bgp_read_message: Peer <bgp name> [(<description>)]: <message type1> arrived, expected <message type2> [or <message type2>]	エラー（相手装置）
		該当ピアから状態に適切ではないメッセージタイプのメッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <message type1>　受信メッセージタイプ • invalid，Open，Update，Notification，KeepAlive <message type2>　状態に適切なメッセージタイプ • invalid，Open，Update，Notification，KeepAlive [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
14	bgp_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: received short version <version> message (<length> octets)	エラー（相手装置）
		該当ピアからメッセージ長が不正な OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <version>　受信メッセージ内の BGP バージョン番号 <length>　受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
15	bgp_get_open: Received unsupported version <version> message from peer <bgp name> [(<description>)]	ワーニング（相手装置）
		該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <version>　受信メッセージの BGP バージョン番号 <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアが BGP バージョン 4 をサポートしているか調査してください。
16	bgp_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: hold time too small (<holdtime>)	エラー（相手装置）
		該当ピアからホールドタイムが 3 秒より小さい OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <holdtime>　受信メッセージ内のホールドタイム [対応] ピアのコンフィグレーションを調査してください。
17	bgp_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: invalid BGP identifier <router id>	エラー（相手装置）
		該当ピアから不正な BGP 識別子の OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <router id>　受信メッセージ内の BGP 識別子 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
18	bgp_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: Unsupported optional parameter <option>	エラー（相手装置）
		該当ピアから不正なオプションコードを含む OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <option>　受信メッセージ内のオプションコード [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください

項番	メッセージテキスト	内容
19	bgp_recv_open: Peer <bgp name> [(<description>)] claims AS <as1>, <as2> configured	ワーニング（自装置／相手装置） 該当ピアから構成された AS 番号と異なる AS 番号の OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <as1>　受信メッセージの AS 番号 <as2>　コンフィグレーション上のピアの AS 番号 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
20	bgp_recv_open: Peer <bgp name> [(<description>)] accepted mismatched versions: peer <version1> this system <version2>	ワーニング（相手装置） 該当ピアから BGP バージョン番号が不一致の状態で KEEPALIVE メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <version1>　相手側の BGP バージョン番号 <version2>　自側の BGP バージョン番号 [対応] ピアが BGP バージョン 4 をサポートしているか調査してください。
21	bgp_pp_recv: No group for <bgpp name> found, dropping peer	ワーニング（自装置／相手装置） 設定されていないピアから OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgpp name>　送信元ピア名称 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
22	bgp_pp_recv: Rejecting connection from <bgp name> [(<description>)], peer in state <state>	ワーニング（相手装置／ネットワーク） Idle，OpenConfirm，Established 状態中に該当ピアから OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <state>　ピア状態 • Idle，OpenConfirm，Established [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は，不安定要因を調査してください。
23	bgp_pp_recv: Dropping <bgpp name> version <version>, <bgp name> [(<description>)] wants version 4	ワーニング（相手装置） 該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgpp name>，<bgp name>　送信元ピア名称 <version>　受信メッセージの BGP バージョン番号 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアがサポートしている BGP バージョンを調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
24	bgp_pp_recv: Peer <bgp name> [(<description>)] sent unexpected extra data, probably insane	エラー（相手装置）
		該当ピアからのメッセージに不要なデータが付加されています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
25	bgp_check_capability_match: Capability of peer <bgp name> [(<description>)] is unmatched	ワーニング（相手装置）
		本装置に設定されている Capability の設定が，該当ピアに設定されていません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
26	bgp_write_flush: Sending <length1> (sent <length2>) bytes to <bgp name> [(<description>)] failed: <error string>	ワーニング（自装置）
		該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length1>　送信要求データ長 <length2>　送信済データ長 <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
27	bgp_write_flush: Sending <length1> (sent <length2>) bytes to <bgp name> [(<description>)]: Connection closed	ワーニング（自装置／相手装置／ネットワーク）
		コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length1>　送信要求データ長 <length2>　送信済データ長 <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 [対応] 頻発する場合はコネクションの切断原因を調査してください。
28	bgp_write_flush: Sending to <bgp name> [(<description>)] (sent <length1>, <length2> remain[s]) looping: <error string>	ワーニング（自装置）
		該当ピアへのメッセージ送信がリトライアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <length1>　送信済データ長 <length2>　送信残データ長 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
29	bgp_peer_connected: task_get_addr_local(<bgp name> [(<description>)]): <error string>	ワーニング（自装置）
		該当ピアへのコネクション接続に使用するローカルアドレス取り出しに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
30	bgp_connect_start: Peer <bgp name> [(<description>)] local address <ipv4 address> unavailable, connection failed	ワーニング（自装置）
		該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスが利用できない (バインド失敗) ためにコネクション接続が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 <ipv4 address>　ピアリングに使用するローカルアドレス [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
31	bgp_traffic_timeout: Holdtime expired for <bgp name> [(<description>)]	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		該当ピアに対するホールドタイムアウトが発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を調査してください。
32	bgp_traffic_timeout: Error sending KEEPALIVE to <bgp name> [(<description>)]: <error string>	ワーニング（自装置）
		該当ピアへの KEEPALIVE メッセージの送信に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
33	bgp_listen_accept: accept(<socket>): <error string>	ワーニング（自装置）
		コネクションの受付が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <socket>　ソケットのディスクリプタ番号 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
34	bgp_listen_accept: task_get_addr_local() failed, terminating!!	エラー（自装置）
		コネクション接続に使用するローカルアドレス取り出しに失敗しました。コネクション接続をいったん終了します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 頻発する場合は，ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
35	bgp_listen_start: Couldn't get BGP listen socket!!	エラー（自装置）
		コネクション接続のためのソケット生成に失敗しました。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って，処置してください。
36	bgp_listen_start: listen: <error string>	エラー（自装置）
		コネクションの受付準備が失敗しました。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <error string>　エラー要因 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って，処置してください。
37	bgp_set_peer_if: BGP peer <bgp name> [(<description>)] interface not found. Leaving peer idled	ワーニング（自装置）
		該当ピアと接続されたインタフェースが見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
38	bgp_set_peer_if: BGP peer <bgp name> [(<description>)] local address <ipv4 address> not on shared net. Leaving peer idled	ワーニング（自装置）
		該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスが同一ネットワーク上にありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 <ipv4 address>　コネクション接続に使用するローカルアドレス [対応] コンフィグレーションを調査してください。
39	bgp_pp_timeout: Peer <bgpp name> timed out waiting for OPEN	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		該当ピアとの OPEN メッセージ待ちタイマがタイムアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgpp name>　接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
40	bgp_peer_init: BGP peer <bgp name> [(<description>)] local address <ipv4 address> not found. Leaving peer idled	ワーニング（自装置）
		該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスに対するインタフェースが見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 <ipv4 address>　コネクション接続に使用するローカルアドレス [対応] コンフィグレーションを調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
41	bgp_recv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)]: Strange message header length <length>	エラー（相手装置）
		該当ピアからの受信メッセージはメッセージヘッダ内のメッセージ長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信メッセージのヘッダのメッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
42	bgp_recv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] unrecognized message type <type>	エラー（相手装置）
		該当ピアからの受信メッセージはメッセージタイプが不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <type>　メッセージタイプ [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
43	bgp_recv_v4_update: Received OPEN message from <bgp name> [(<description>)], state is ESTABLISHED	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		ESTABLISHED 状態で該当ピアから OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は不安定要因を調査してください。
44	bgp_recv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE length <length> too small	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージ長が小さ過ぎます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
45	bgp_recv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE unreachable prefix length <length1> exceeds packet length <length2>	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長がパケット長を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length1>　受信メッセージ内の非到達経路情報のプレフィックス長 <length2>　受信パケット長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
46	bgp_recv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE zero attribute length followed by <length> bytes of garbage	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの属性長が 0 であるが，実体のデータが存在します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
47	bgp_recv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE path attribute length <length1> too large (<length2> bytes remaining)	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージのパス属性長が実体のパス属性の長さより大き過ぎます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length1>　受信メッセージのパス属性長 <length2>　実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
48	bgp_recv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE no next hop found	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージにネクストホップ属性が見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
49	bgp_recv_v4_update: External peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE included LOCALPREF attribute	エラー（相手装置）
		該当外部ピアからの UPDATE メッセージに LOCALPREF 属性を含んでいます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
50	bgp_recv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE no LOCALPREF attribute found	エラー（相手装置）
		該当内部ピアからの UPDATE メッセージに LOCALPREF 属性が見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア番号 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
51	bgp_recv_v4_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE has path attributes but no reachable prefixes!	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージはパス属性を持っているが到達性情報がありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
52	bgp_recv_v4_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid unreachable prefix length <length>	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信メッセージ内のプレフィックス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
53	bgp_recv_v4_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Prefix length <length1> exceeds unreachable prefix data remaining (<length2> bytes)	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が非到達経路情報のプレフィックスデータを超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length1>　受信メッセージ内のプレフィックス長 <length2>　実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
54	bgp_recv_v4_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Ignoring unreachable route with two or more labels (<length1> of <length2>)	ワーニング（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの複数ラベルを持つ非到達経路情報の経路を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length1> of <length2>　メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
55	bgp_recv_v4_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Ignoring unreachable route with RD 0 prefix (<length1> of <length2>)	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの RD 0 を持つ非到達経路情報の経路を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length1> of <length2>　メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
56	bgp_recv_v4_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Ignoring invalid unreachable route <ipv4 address>/<mask> (<length1> of <length2>)	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの非到達経路情報の不正な経路を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <ipv4 address>　非到達経路情報の宛先アドレス <mask>　非到達経路情報のネットワークマスク <length1> of <length2>　メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
57	bgp_recv_v4_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] AS <as1> received path with first AS <as2>	エラー（相手装置）
		AS 番号 <as1> のピアから次ホップの AS 番号が <as2> の AS パスを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <as1>　送信元ピアの AS 番号 <as2>　受信メッセージ内の次ホップ AS 番号 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
58	bgp_recv_v4_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid prefix length <length>	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージのプレフィックス長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信メッセージ内のプレフィックス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
59	bgp_recv_v4_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Prefix length <length1> exceeds prefix data remaining (<length2> bytes)	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージのプレフィックス長は実体のプレフィックス長を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length1>　受信メッセージ内のプレフィックス長 <length2>　実体のプレフィックス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
60	bgp_recv_v4_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Ignoring route with two or more labels (<length1> of <length2>)	ワーニング（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの複数ラベルを持つ経路を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length1> of <length2>　受信メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
61	bgp_recv_v4_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Ignoring route with RD 0 prefix (<length1> of <length2>)	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの RD 0 を持つ経路を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length1> of <length2>　受信メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
62	bgp_recv_v4_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE:Included invalid route <ipv4 address>/<mask> (<length1> of <length2>)	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージは不正な経路を含んでいます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <ipv4 address>　宛先アドレス <mask>　ネットワークマスク <length1> of <length2>　受信メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
63	bgp_recv_v4_reach: Ignoring network 0 route <ipv4 address>/<mask> from peer <bgp name> [(<description>)] (<length1> of <length2>)	ワーニング（相手装置） 該当ピアからのネットワーク 0 宛の経路を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv4 address>　宛先アドレス <mask>　ネットワークマスク <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length1> of <length2>　受信メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
64	bgp_recv_v4_reach: Ignoring loopback route from peer <bgp name> [(<description>)] (<length1> of <length2>)	ワーニング（相手装置） 該当ピアからのループバック経路を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length1> of <length2>　受信メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
65	bgp_recv_mp_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_UNREACH_NLRI attribute(<length>) : No address family	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_UNREACH_NLRI 属性長が不正です。アドレスファミリがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_UNREACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
66	bgp_recv_mp_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid address family (<address family>) in MP_UNREACH_NLRI attribute	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_UNREACH_NLRI 属性のアドレスファミリが不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <address family>　受信した MP_UNREACH_NLRI 属性のアドレスファミリ情報 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
67	bgp_recv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No address family	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。アドレスファミリがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
68	bgp_recv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid address family (<address family>) in MP_REACH_NLRI attribute	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性のアドレスファミリが不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <address family>　受信した MP_REACH_NLRI 属性のアドレスファミリ情報 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
69	bgp_recv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No nexthop length	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップ長がありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
70	bgp_recv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid nexthop length(<length>) in MP_REACH_NLRI attribute	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップ長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
71	bgp_recv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No nexthop	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
72	bgp_recv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid rd of nexthop (<rd1>:<rd2>) in MP_REACH_NLRI attribute	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップの RD が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <rd1>:<rd2>　受信した MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップの RD [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
73	bgp_recv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No reserved	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。Reserved フィールドがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
74	bgp_recv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No snpa length	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA 長がありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
75	bgp_recv_mp_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No snpa	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA がありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
76	bgp_peer_established: Peer <bgp name> [(<description>)] connection established	情報（自装置／相手装置） 該当ピアと BGP4 コネクションが確立しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] なし。
77	bgp_ifachange: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by changing interface state	情報（自装置／相手装置） インタフェース状態の変化によって，BGP4 コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] インタフェースの状態変化要因を調査してください。
78	bgp_terminate: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by terminating bgp	情報（自装置） BGP4 タスクの停止によって，BGP4 コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] BGP4 タスク停止要因を調査してください。
79	bgp_peer_delete: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by changing configuration	情報（自装置） コンフィグレーション変更（ピア情報の削除）によって，BGP4 コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] なし。
80	bgp_init: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by changing configuration	情報（自装置） コンフィグレーションの変更によって，BGP4 コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] なし。
81	bgp_peer_clear: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by clearing peer	情報（自装置） clear ip bgp コマンドの投入によって，BGP4 コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
82	bgp_pp_recv: Peer <bgp name> in graceful-restart failed to retain stale routes, deleting all the stale routes from the peer	エラー（相手装置）
		グレースフル・リスタートを実行したピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
83	bgp_recv_open: Peer <bgp name> in graceful-restart failed to retain stale routes, deleting all the stale routes from the peer	エラー（相手装置）
		グレースフル・リスタートを実行したピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
84	bgp_restart_timeout: Peer <bgp name> [(<description>)]: Timed out waiting for reconnect.	エラー（自装置／相手装置）
		グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから指定された restart-time 以内にピアルータに接続できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] ピアルータと通信できるかどうかを確認してください。ピアルータで BGP が動作しているかどうかを確認してください。ピアルータが動作している場合は，ピアルータの restart-time の値を，ピアルータが復旧し接続できる時間まで延ばしてください。
85	bgp_restart_timeout: Peer <bgp name> [(<description>)]: Timed out waiting for End-Of-RIB marker from restart router.	エラー（相手装置）
		グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから End-Of-RIB を受信できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] 該当するピアルータで BGP が動作しているかどうかを確認してください。動作している場合は，stalepath-time の値を延ばしてください。
86	bgp_peer_established: Peer <bgp name> [(<description>)] connection established with graceful restart.	情報（自装置／相手装置）
		該当ピアと BGP コネクションが再確立しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] なし。
87	bgp_receive_End-Of-RIB: End-Of-RIB marker received from <bgp name> [(<description>)].	情報（自装置）
		End-Of-RIB を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
88	bgp_send_End-Of-RIB: End-Of-RIB marker sent to <bgp name> [(<description>)].	情報（自装置） End-Of-RIB を送信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 [対応] なし。
89	BGP: NOTIFICATION sent to <bgp name> [(<description>)]: code <code> (<code string>) [subcode <subcode> (<subcode string>)] [value <value>] [data <data>]	ワーニング（相手装置） 該当ピアに NOTIFICATION メッセージを送信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <code> (<code string>)，<subcode> (<subcode string>)　エラーコード，エラーサブコード 1. エラーコード 1 （Message Header Error） ・エラーサブコード 1 （lost connection synchronization） ・エラーサブコード 2 （bad length） ・エラーサブコード 3 （bad message type） 2. エラーコード 2 （Open Message Error） ・エラーサブコード 0 （unspecified error） ・エラーサブコード 1 （unsupported version） ・エラーサブコード 2 （bad AS number） ・エラーサブコード 3 （bad BGP ID） ・エラーサブコード 4 （unsupported optional parameter） ・エラーサブコード 6 （unacceptable holdtime） 3. エラーコード 3 （Update Message Error） ・エラーサブコード 1 （invalid attribute list） ・エラーサブコード 2 （unknown well known attribute） ・エラーサブコード 3 （missing well known attribute） ・エラーサブコード 4 （attribute flags error） ・エラーサブコード 5 （bad attribute length） ・エラーサブコード 6 （bad ORIGIN attribute） ・エラーサブコード 9 （error with optional attribute） ・エラーサブコード 10 （bad address/prefix field） ・エラーサブコード 11 （AS path attribute problem） 4. エラーコード 4 （Hold Timer Expired Error） 5. エラーコード 5 （Finite State Machine Error） 6. エラーコード 6 （Cease） ・不正な <code> の場合 <code string> は "invalid" を，不正な <subcode> の場合 <subcode string> は "unknown" を表示します。 ・<value> または <data> に NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報を表示します。 <value>　10 進表示 <data>　16 進表示 [対応] ネットワーク構成およびピアのコンフィグレーションを調査してください。ネットワーク構成およびピアのコンフィグレーションに問題がない場合は，ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。
90	BGP:	ワーニング（自装置）

項番	メッセージテキスト	内容
	NOTIFICATION received from <bgp name> [(<description>)]: code <code> (<code string>) [subcode <subcode> (<subcode string>)] [value <value>] [data <data>]	該当ピアから NOTIFICATION メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <code> (<code string>), <subcode> (<subcode string>)　エラーコード，エラーサブコード 1. エラーコード 1 （Message Header Error） ・エラーサブコード 1 （lost connection synchronization） ・エラーサブコード 2 （bad length） ・エラーサブコード 3 （bad message type） 2. エラーコード 2 （Open Message Error） ・エラーサブコード 0 （unspecified error） ・エラーサブコード 1 （unsupported version） ・エラーサブコード 2 （bad AS number） ・エラーサブコード 3 （bad BGP ID） ・エラーサブコード 4 （unsupported optional parameter） ・エラーサブコード 6 （unacceptable holdtime） ・エラーサブコード 7 （unsupported capability） 3. エラーコード 3 （Update Message Error） ・エラーサブコード 1 （invalid attribute list） ・エラーサブコード 2 （unknown well known attribute） ・エラーサブコード 3 （missing well known attribute） ・エラーサブコード 4 （attribute flags error） ・エラーサブコード 5 （bad attribute length） ・エラーサブコード 6 （bad ORIGIN attribute） ・エラーサブコード 7 （AS loop detected） ・エラーサブコード 8 （invalid NEXT_HOP） ・エラーサブコード 9 （error with optional attribute） ・エラーサブコード 10 （bad address/prefix field） ・エラーサブコード 11 （AS path attribute problem） 4. エラーコード 4 （Hold Timer Expired Error） 5. エラーコード 5 （Finite State Machine Error） 6. エラーコード 6 （Cease） ・不正な <code> の場合 <code string> は "invalid" を，不正な <subcode> の場合 <subcode string> は "unknown" を表示します。 ・<value> または <data> に NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報を表示します。 <value>　10 進表示 <data>　16 進表示 [対応] ネットワーク構成およびコンフィグレーションを調査してください。
91	BGP:	ワーニング（相手装置）

項番	メッセージテキスト	内容
	No MD5 digest from <source ipv4>+<port no.> to <destination ipv4>+<port no.> [VRF <vrf id>]	BGP4 コネクションで受信した TCP セグメントに MD5 認証オプションが設定されていません。 この運用メッセージは，次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは，すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は，256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は，上記 1.，2. の契機で出力されます。 ただし，上記回数には，「BGP: Invalid MD5 digest from <source ipv4>+<port no.> to <destination ipv4>+<port no.>」の回数を含みます。 [メッセージテキストの表示説明] <source ipv4>　送信元 IPv4 アドレス <port no.>　TCP ポート番号 <destination ipv4>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] 相手装置の BGP4 で MD5 認証が設定されているか調査してください。 設定されていない場合は，MD5 認証の設定が一致するように設定してください。 設定が一致している場合は，送信元 BGP4 ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか調査してください。
92	BGP: Invalid MD5 digest from <source ipv4>+<port no.> to <destination ipv4>+<port no.> [VRF <vrf id>]	ワーニング（自装置／相手装置） BGP4 コネクションで受信した TCP セグメントの MD5 認証オプションが不正です。 この運用メッセージは，次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは，すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は，256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は，上記 1.，2. の契機で出力されます。 ただし，上記回数には，「BGP: No MD5 digest from <source ipv4>+<port no.> to <destination ipv4>+<port no.>」の回数を含みます。 [メッセージテキストの表示説明] <source ipv4>　送信元 IPv4 アドレス <destination ipv4>　宛先 IPv4 アドレス <port no.>　TCP ポート番号 <vrf id>　VRF ID [対応] 自装置と相手装置の BGP4 で MD5 認証キーが一致しているか調査してください。 MD5 認証キーが一致していない場合は，MD5 認証キーが一致するように設定してください。 MD5 認証キーが一致している場合は，送信元 BGP4 ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか調査してください。
93	BGP:	ワーニング（相手装置）

項番	メッセージテキスト	内容
	Number of prefix received from <bgp name> [(<description>)]: reached <routes1>, limit <routes2>	該当ピアから学習した経路数（アクティブ経路と非アクティブ経路の合計）が閾値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <routes1>　ピアから学習した経路数 <routes2>　ピアから学習する経路数の上限値 [対応] 該当ピアから学習する経路がさらに増加する場合は，ピアが広告する経路数を調査してください。
94	BGP:	ワーニング（相手装置）
	Number of prefix received from <bgp name> [(<description>)]: <routes1> exceed limit <routes2>	該当ピアから学習した経路数（アクティブ経路と非アクティブ経路の合計）が上限値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <routes1>　ピアから学習した経路数 <routes2>　ピアから学習する経路数の上限値 [対応] 該当ピアが広告する経路数を調査してください。
95	BGP:	情報（相手装置）
	Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by maximum-prefix	学習経路数の制限によって BGP4 コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] 該当ピアが広告する経路数を調査してください。ピアを再接続する場合は，ピアが広告する経路数が上限値以下になることを確認してから，clear ip bgp コマンドを入力してください。
96	bgp_pp_recv:	ワーニング（相手装置）
	Peer <bgp name> as receiving-speaker failed to retain stale routes, the packets forwarded to the peer may be discarded.	レシーブルータとして動作中のピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアへ転送されたパケットが廃棄される可能性があります。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 [対応] グレースフル・リスタート機能のネゴシエーションで，フォワーディングの不可状態を通知されました。ピアルータで障害が発生していないか調査してください。
97	bgp_recv_open:	ワーニング（相手装置）
	Peer <bgp name> as receiving-speaker failed to retain stale routes, the packets forwarded to the peer may be discarded.	レシーブルータとして動作中のピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアへ転送されたパケットが廃棄される可能性があります。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 [対応] グレースフル・リスタート機能のネゴシエーションで，フォワーディングの不可状態を通知されました。ピアルータで障害が発生していないか調査してください。
98	BGP:	情報（自装置）
	Completed the learning from receiving-speakers	レシーブルータからの経路学習が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
99	BGP: Start advertisement, giving up learning from several receiving-speakers	情報（自装置） 一部のレシーブルータからの経路学習を中断して，経路広告を開始します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
100	BGP: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE included attribute type code (0) [- AS Path (<as number>): <aspath>]	ワーニング（相手装置） 該当ピアからタイプコードが 0 のパス属性を含む UPDATE メッセージを受信しました。 本運用メッセージは同一ピアにおいて前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <as number>　AS 番号の数 <aspath>　AS パス • AS 番号列：AS_SEQ • {AS 番号列}：AS_SET • (AS 番号列)：AS_CONFED_SEQUENCE なお，一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため，すべての AS パスが出力されない（AS 番号の途中までしか出力されない）ことがあります。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を調査してください。

2.1.4　IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通

IPv4 ユニキャストルーティング共通情報（RTM）のイベント情報を次の表に示します。

表 2-4　IPv4 ユニキャストルーティング共通イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	*** Give up gdump. Because of no enough memory.	ワーニング（自装置） dump protocols unicast コマンドによるユニキャストルーティングプログラムの制御情報ダンプ収集中に，システムのメモリ残量が一時的に既定値を下回ったため，ダンプ収集を中断しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] コマンド実行するために必要な空きメモリが不足しています。収容条件を見直してください。
2	Rtm: Graceful Restart terminated because this system failed to retain the routes.	ワーニング（自装置） 経路を保持できなかったため，グレースフルリスタートに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] グレースフルリスタート中に再び系切替やユニキャストルーティングプログラムの再起動が発生していないか調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
3	The number of IPv4 unicast routes on global network exceeded the limit.	ワーニング（自装置）
		グローバルネットワークの IPv4 ユニキャスト経路数が最大経路数を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1.　不要な経路を削除してください。 2.　コンフィグレーションで指定した最大経路数を見直してください。
4	The number of IPv4 unicast routes on VRF <vrf id> exceeded the limit.	ワーニング（自装置）
		VRF <vrf id> の IPv4 ユニキャスト経路数が最大経路数を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID [対応] 1.　不要な経路を削除してください。 2.　コンフィグレーションで指定した最大経路数を見直してください。
5	The number of IPv4 unicast routes on global network exceeded the warning threshold.	情報（自装置）
		グローバルネットワークの IPv4 ユニキャスト経路数が警告閾値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 経路を追加する場合は，最大経路数を超えないように注意してください。
6	The number of IPv4 unicast routes on VRF <vrf id> exceeded the warning threshold.	情報（自装置）
		VRF <vrf id> の IPv4 ユニキャスト経路数が警告閾値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID [対応] 経路を追加する場合は，最大経路数を超えないように注意してください。

2.2　IPv6 ルーティングプロトコル情報 (RTM)

IPv6 ルーティングプロトコルのイベント情報について説明します。

2.2.1　RIPng

IPv6 ルーティングプロトコル情報（RTM）のイベント情報を次の表に示します。

表 2-5　IPv6 ルーティングプロトコル (RIPng) イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	ripng_recv: Bad metric (<metric>) for net <prefix> from <source address>	エラー（相手装置）
		不正なメトリック値（0 または 17 以上のメトリック）を持つ経路情報を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <metric>　経路情報のメトリック値 <prefix>　経路情報の宛先プレフィックス <source address>　送信元ゲートウェイアドレス [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
2	ripng_recv: Bad prefixlen (<prefixlen>) for net <prefix> from <source address>	エラー（相手装置）
		不正なプレフィックス長を持つ経路情報を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <prefixlen>　経路情報のプレフィックス長 <prefix>　経路情報の宛先 <source address>　送信元ゲートウェイアドレス [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
3	ripng_recv: Ignoring RIPng <ripng command> packet from <source address> - ignoring invalid version packet	エラー（相手装置）
		バージョンフィールドが不正のため，受信した RIPng パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <ripng command>　受信メッセージタイプ • Request，Response <source address>　送信元ゲートウェイアドレス [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
4	ripng_recv: Packet hoplimit is <hoplimit> hop limit must be 255.	エラー（相手装置）
		ホップリミットが不正なため，受信した RIPng パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <hoplimit>　受信ホップリミット [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
5	ripng_init: Old copy of rtm is running	エラー（自装置）
		すでにユニキャストルーティングプログラムが動作している可能性があります。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従い，処置してください。
6	ripng_recv: Ignoring RIPng <ripng command> from<source address> - source address is not link-local.	エラー（相手装置）
		ソースアドレスがリンクローカルアドレスではないため，受信した RIPng パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <ripng command>　受信メッセージタイプ <source address>　送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
7	ripng_recv: Ignoring RIPng <ripng command> from<source address> - source port is not valid.	エラー（相手装置）
		不正なソースポートのため，受信した RIPng パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <ripng command>　受信メッセージタイプ <source address>　送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
8	ripng_recv: Ignoring RIPng <ripng command> packet from <source address> - invalid or not implemented command	エラー（相手装置）
		無効または実装されていないコマンドのため，受信したパケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <ripng command>　受信メッセージタイプ <source address>　送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
9	ripng_recv: Ignoring RIPng packet from <source address> - too short packet (<size>)	エラー（相手装置）
		RIPng ヘッダよりもパケット長が短いため，受信したパケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元ゲートウェイ <size>　パケット長 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
10	ripng_recv: Ignoring RIPng request packet from <source address> - the routing entries of improper length	エラー（相手装置）
		不正な長さの経路情報が含まれているため，受信した request パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
11	ripng_recv: Ignoring a routing entry of improper length - packet from <source address>	エラー（相手装置）
		不正な長さの経路情報を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIPng）を調査してください。
12	RIPng: The total number of RIPng targets is more than the maximum permitted	エラー（自装置）
		RIPng ターゲット（隣接）の総数が最大許容数をオーバしています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 隣接ルータの最大数が収容条件を超えないように RIPng の設定を見直してください。

2.2.2　OSPFv3

IPv6 ルーティングプロトコル情報（RTM）のイベント情報を次の表に示します。

表 2-6　IPv6 ルーティングプロトコル (OSPFv3) イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	OSPFv3 SENT <source address> (<interface name>) -> <destination address>: <error string>	ワーニング（自装置）
		OSPFv3 パケットの送信に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv6 アドレス <interface name>　インタフェース名称 <destination address>　宛先 IPv6 アドレス <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
2	OSPFv3: Helper to adjacency <router id> [(VRF <vrf id>)] failed because network topology is changed.	ワーニング（自装置／ネットワーク）
		トポロジー変更のため，ヘルパールータの動作を停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id>　隣接ルータのルータ ID <vrf id>　VRF ID [対応] なし。
3	OSPFv3: Helper to adjacency <router id> [(VRF <vrf id>)] failed because restart time is up.	情報（相手装置）
		リスタート待ち時間が経過したため，ヘルパールータの動作を停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id>　隣接ルータのルータ ID <vrf id>　VRF ID [対応] 隣接ルータがリスタート動作を停止していないか確認してください。停止していない場合，隣接ルータのリスタート時間を調整してください。
4	OSPFv3 RECV [Area <area id>] RouterID <source id> [(<interface name>)] -> <destination address>: <log type>	ワーニング（自装置／相手装置）
		受信した OSPFv3 パケットが不正です。 ただし，OSPFv3 インタフェースとして設定していないブロードキャスト型インタフェースから受信したマルチキャストパケットは，ログ採取せずに廃棄します。

項番	メッセージテキスト	内容
		[メッセージテキストの表示説明] <area id>　エリア ID <source id>　送信元ルータ ID <interface name>　インタフェース名称 <destination address>　宛先 IPv6 アドレス <log type>　ログ種別 • IP: received my own packet • bad packet type • bad version • bad checksum • packet too small • packet size > ip length • unknown neighbor • area mismatch • bad virtual link • interface down • HELLO: hello timer mismatch • HELLO: dead timer mismatch • HELLO: extern option mismatch • DD: extern option mismatch • HELLO: router id confusion • DD: router id confusion • DD: MTU mismatch • LS ACK: Unknown LSA type • LS REQ: empty request • LS REQ: bad request • LS UPD: LSA checksum bad • LS UPD: Unknown LSA type [対応] ログ種別によって，対応が異なります。 • IP: received my own packet • bad packet type • bad version • bad checksum • packet too small • packet size > ip length 隣接ルータが不正なパケットを送信しています。隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム（OSPFv3）を調査してください。 • unknown neighbor Hello で認識していない隣接ルータから，Hello 以外のパケットを受信していますが対応不要です。 • area mismatch • bad virtual link 新規の隣接ルータからパケットを受信している場合，エリアの設定を修正してください。それ以外は対応不要です。 • interface down なし。 • HELLO: hello timer mismatch • HELLO: dead timer mismatch OSPFv3 インタフェースの設定を修正してください。 • HELLO: extern option mismatch • DD: extern option mismatch スタブエリアの設定を修正してください。

項番	メッセージテキスト	内容
		• HELLO: router id confusion • DD: router id confusion ルータ ID の設定を修正してください。 • DD: MTU mismatch 隣接ルータと MTU 長が不一致であるため，経路情報の交換に失敗する場合があります。MTU 長を合わせてください。 • LS ACK: Unknown LSA type • LS REQ: empty request • LS REQ: bad request • LS UPD: LSA checksum bad • LS UPD: Unknown LSA type 隣接ルータが不正なパケットを送信しています。隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム（OSPFv3）を調査してください。
5	OSPFv3: Conflict between LSDB <lsid> and route <prefix> /<prefixlen> - Export to OSPFASE Bypassed.	エラー（自装置）
		LSDB<lsid> と経路間で矛盾があります。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <lsid>　LSA の LSID <prefix>　経路情報の宛先アドレス <prefixlen>　経路情報のプレフィックス長 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って処置してください。
6	OSPFv3: Lost adjacency <router id> with interfaceID <id> (<interface name>) because no Hello received recently.	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		隣接ルータから定期的に送信されるはずの Hello パケットを一定時間受信しなかったため，隣接関係を打ち切りました。隣接ルータが動作を停止した場合，または本装置－隣接ルータ間の通信に不具合がある場合に発生します。 [メッセージテキストの表示説明] <router id>　隣接ルータのルータ ID <id>　隣接ルータのインタフェース ID <interface name>　インタフェース名称 [対応] 頻発する場合，Hello パケット送信間隔（hellointerval）を短くし，Hello パケット最大許容受信間隔（routerdeadinterval）を長くしてください。
7	OSPFv3: Lost adjacency <router id> with interfaceID <id> (<interface name>) because neighbor didn't receive my Hello recently.	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		隣接ルータが本装置を認識しなくなったため，隣接関係を打ち切りました。隣接ルータが再起動した場合，および本装置が送信した Hello パケットを隣接ルータが適切に受信していない場合に発生します。 [メッセージテキストの表示説明] <router id>　隣接ルータのルータ ID <id>　隣接ルータのインタフェース ID <interface name>　インタフェース名称 [対応] 頻発する場合 Hello パケット送信間隔（hellointerval），Hello パケット最大許容受信間隔（routerdeadinterval）を長くしてください。

項番	メッセージテキスト	内容
8	OSPFv3: Lost adjacency <router id1> with interfaceID <id> (<interface name>) due to bad LS Request (<lsid> <router id2> <ls type>).	エラー（相手装置）
		不正な LS リクエストによって隣接ルータを失いました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id1>　隣接ルータのルータ ID <id>　隣接ルータのインタフェース ID <interface name>　インタフェース名称 <lsid>　LSA の LSID <router id2>　LSA の広告ルータ ID <ls type>　LSA の LS タイプコード [対応] 隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム（OSPFv3）を調査してください。
9	OSPFv3: Lost adjacency <router id> with interfaceID <id> (<interface name>) due to sequence mismatch (<sequence1> versus <sequence2>)	ワーニング（自装置／相手装置）
		シーケンス（またはオプション）の不一致によって隣接ルータを失いました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id>　隣接ルータのルータ ID <id>　隣接ルータのインタフェース ID <interface name>　インタフェース名称 <sequence1>　制御データ上のシーケンス番号 <sequence2>　DD メッセージ内のシーケンス番号 [対応] 頻発する場合は OSPFv3 パケット再送間隔（retransmitinterval）を長くしてください。
10	OSPFv3: Adjacency <router id> interface <interface name> is established.	情報（自装置／相手装置）
		OSPFv3 の隣接ルータとの接続に成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] <router id>　隣接ルータのルータ ID <interface name>　インタフェース名称 [対応] なし。
11	OSPFv3: Checksum failed at LSA type <ls type> ID <lsid> adv-router <router id> in this system's LSDB that belongs to Area <area id>, Domain <domain id> [on VRF <vrf id>].	エラー（自装置）
		LSDB のチェックサムが不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <ls type>　LSA の LS タイプコード <lsid>　LSA の LSID <router id>　LSA の広告ルータ ID <area id>　LSA のエリア ID <domain id>　LSA の Domain_ID <vrf id>　VRF ID [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従い，処置してください。
12	OSPFv3: Recovered from stub router (in [(VRF <vrf id>)] domain <domain id>).	情報（自装置）
		スタブルータ動作を終了します。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID <domain id>　OSPFv3 の Domain ID [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
13	OSPFv3: Graceful restart failed (in [(VRF <vrf id>)] domain <domain id>) because adjacency <router id> doesn't help me.	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		隣接ルータがヘルパールータとして動作していないため，グレースフル・リスタートに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID <domain id>　OSPFv3 のドメイン ID <router id>　隣接ルータのルータ ID [対応] 隣接ルータのグレースフル・リスタートのコンフィグレーションを確認してください。
14	OSPFv3: Graceful restart failed (in [(VRF <vrf id>)] domain <domain id>) because adjacency <router id> gives up me.	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		隣接ルータがヘルパールータの動作を停止したため，グレースフル・リスタートに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID <domain id>　OSPFv3 のドメイン ID <router id>　隣接ルータのルータ ID [対応] 頻発する場合は，隣接ルータの OSPF 状態とヘルパー機能の停止要因を調査してください。
15	OSPFv3: Graceful restart failed (in [(VRF <vrf id>)] domain <domain id>) because restart time is up.	ワーニング（自装置）
		リスタート時間内に再起動前に接続していた全隣接ルータとの再接続および LSA 同期ができなかったため，グレースフル・リスタートに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID <domain id>　OSPFv3 のドメイン ID [対応] リスタート時間のコンフィグレーションを確認してください。
16	OSPFv3: Graceful restart finished successfully (in [(VRF <vrf id>)] domain <domain id>).	情報（自装置）
		グレースフル・リスタートに成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID <domain id>　OSPFv3 のドメイン ID [対応] なし。

2.2.3　BGP4+【OP-BGP】

IPv6 ルーティングプロトコル情報（RTM）のイベント情報を次の表に示します。

表 2-7　IPv6 ルーティングプロトコル (BGP4+) イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	bgp4+_check_auth: Synchronization failure with BGP task <task name>	エラー（相手装置）
		BGP4+ タスクが受信したメッセージのヘッダマーカーの値が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <task name>　BGP4+ タスク名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
2	bgp4+_trace: Unsupported BGP version <version>!!!	エラー（自装置） 制御データ上の BGP バージョン番号が不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <version>　制御データ上の BGP バージョン番号 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って，処置してください。
3	bgp4+_log_notify: Notify message received from <bgp name> [(<description>)] is truncated (length <length>)	エラー（相手装置） 該当ピアから受信した NOTIFICATION メッセージのメッセージ長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
4	bgp4+_send: Sending <length> bytes to <bgp name> [(<description>)] blocked (no spooling requested): <error string>	ワーニング（自装置） ソケットバッファが一杯となったため該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length>　送信要求メッセージ長 <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
5	bgp4+_send: Sending <length> bytes to <bgp name> [(<description>)] failed: <error string>	ワーニング（自装置） 該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length>　送信要求メッセージ長 <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
6	bgp4+_send: Sending <length> bytes to <bgp name> [(<description>)]: connection closed	ワーニング（自装置／相手装置／ネットワーク） コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length>　送信要求メッセージ長 <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 [対応] 頻発する場合は，コネクションの切断原因を調査してください。
7	bgp4+_send: sending to <bgp name> [(<description>)] looping: <error string>	ワーニング（自装置） 該当ピアへのメッセージ送信がリトライアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
8	bgp4+_send_open: Internal error! peer <bgp name> [(<description>)], version <version>	エラー（自装置）
		該当ピアに送信する OPEN メッセージの BGP バージョン番号が不正です。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <version>　送信メッセージ内の BGP バージョン番号 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って，処置してください。
9	bgp4+_path_attr_error from <routine>: Update error subcode <code> (<error string>) for peer <bgp name> [(<description>)] detected. <length> bytes error data - 1st five:<error data>	エラー（相手装置）
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージでエラーを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <routine>　内部ルーチン名称 <code>(<error string>)　エラー要因 <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　エラーデータ長 <error data>　エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
10	bgp4+_recv: Read from peer <bgp name> [(<description>)] failed: <error string>	ワーニング（自装置）
		該当ピアからのメッセージ受信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
11	bgp4+_recv: Peer <bgp name> [(<description>)]: Received unexpected EOF	ワーニング（自装置／相手装置／ネットワーク）
		コネクションの切断によって該当ピアからのメッセージ受信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] 頻発する場合は，コネクションの切断原因を調査してください。
12	bgp4+_read_message: Peer <bgp name> [(<description>)]: <message type> message arrived with length <length>	エラー（相手装置）
		該当ピアから不正なメッセージ長のメッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <message type>　受信メッセージタイプ • invalid，Open，Update，Notification，KeepAlive <length>　受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
13	bgp4+_read_message: Peer <bgp name> [(<description>)]: <message type1> arrived, expected <message type2> [or <message type 2>]	エラー（相手装置） 該当ピアから状態に適切でないメッセージタイプのメッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <message type1>　受信メッセージタイプ • invalid，Open，Update，Notification，KeepAlive <message type2>　状態に適切なメッセージタイプ • invalid，Open，Update，Notification，KeepAlive [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
14	bgp4+_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: Received short version <version> message (<length> octets)	エラー（相手装置） 該当ピアからメッセージ長が不正な OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <version>　受信メッセージ内の BGP バージョン番号 <length>　受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
15	bgp4+_get_open: Received unsupported version <version> message from peer <bgp name> [(<description>)]	ワーニング（相手装置） 該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <version>　受信メッセージの BGP バージョン番号 <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアが BGP バージョン 4 をサポートしているか調査してください。
16	bgp4+_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: Hold time too small (<holdtime>)	エラー（相手装置） 該当ピアからホールドタイムが 3 秒より小さい OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <holdtime>　受信メッセージ内のホールドタイム [対応] ピアのコンフィグレーションを調査してください。
17	bgp4+_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: Invalid BGP4+ identifier <router id>	エラー（相手装置） 該当ピアから不正な BGP4+ 識別子の OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <router id>　受信メッセージ内の BGP4+ 識別子 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
18	bgp4+_get_open: Peer <bgp name> [(<description>)]: Unsupported optional parameter <option>	エラー（相手装置）
		該当ピアから不正なオプションコードを含む OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <option>　受信メッセージ内のオプションコード [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください
19	bgp4+_recv_open: Peer <bgp name> [(<description>)] claims AS <as1>, <as2> configured	ワーニング（自装置／相手装置）
		該当ピアから構成された AS 番号と異なる AS 番号の OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <as1>　受信メッセージの AS 番号 <as2>　コンフィグレーション上のピアの AS 番号 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
20	bgp4+_recv_open: Peer <bgp name> [(<description>)] accepted mismatched versions: Peer <version1> this system <version2>	ワーニング（相手装置）
		該当ピアから BGP バージョン番号が不一致の状態で KEEPALIVE メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <version1>　相手側の BGP バージョン番号 <version2>　自側の BGP バージョン番号 [対応] ピアが BGP4+ をサポートしているか調査してください。
21	bgp4+_pp_recv: No group for <bgpp name> found, dropping peer	ワーニング（自装置／相手装置）
		設定されていないピアから OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgpp name>　送信元ピア名称 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
22	bgp4+_pp_recv: Rejecting connection from <bgp name> [(<description>)], peer in state <state>	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		Idle，OpenConfirm，Established 状態中に該当ピアから OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <state>　ピア状態 • Idle，OpenConfirm，Established [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は，不安定要因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
23	bgp4+_pp_recv: Dropping <bgpp name> version <version>, <bgp name> [(<description>)] wants version 4	ワーニング（相手装置） 該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgpp name>，<bgp name>　送信元ピア名称 <version>　受信メッセージの BGP バージョン番号 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアがサポートしている BGP バージョンを調査してください。
24	bgp4+_pp_recv: Peer <bgp name> [(<description>)] sent unexpected extra data, probably insane	エラー（相手装置） 該当ピアからのメッセージに不要なデータが付加されています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
25	bgp4+_check_capability_match: Capability of peer <bgp name> [(<description>)] is unmatched	ワーニング（相手装置） 本装置に設定されている Capability の設定が，該当ピアに設定されていません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
26	bgp4+_write_flush: Sending <length1> (sent <length2>) bytes to <bgp name> [(<description>)] failed: <error string>	ワーニング（自装置） 該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length1>　送信要求データ長 <length2>　送信済データ長 <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
27	bgp4+_write_flush: Sending <length1> (sent <length2>) bytes to <bgp name> [(<description>)]: Connection closed	ワーニング（自装置／相手装置／ネットワーク） コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージ送信が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length1>　送信要求データ長 <length2>　送信済データ長 <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 [対応] 頻発する場合はコネクションの切断原因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
28	bgp4+_write_flush: Sending to <bgp name> [(<description>)] (sent <length1>, <length2> remain[s]) looping: <error string>	ワーニング（自装置）
		該当ピアへのメッセージ送信がリトライアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <length1>　送信済データ長 <length2>　送信残データ長 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
29	bgp4+_peer_connected: task_get_addr_local(<bgp name> [(<description>)]): <error string>	ワーニング（自装置）
		該当ピアへのコネクション接続に使用するローカルアドレス取り出しに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
30	bgp4+_connect_start: Peer <bgp name> [(<description>)] local address <ipv6 address> unavailable, connection failed	ワーニング（自装置）
		該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスが利用できない（バインド失敗）ためにコネクション接続が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 <ipv6 address>　ピアリングに使用するローカルアドレス [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
31	bgp4+_traffic_timeout: Holdtime expired for <bgp name> [(<description>)]	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		該当ピアに対するホールドタイムアウトが発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
32	bgp4+_traffic_timeout: Error sending KEEPALIVE to <bgp name> [(<description>)]: <error string>	ワーニング（自装置）
		該当ピアへの KEEPALIVE メッセージの送信に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。
33	bgp4+_listen_accept: accept(<socket>): <error string>	ワーニング（自装置）
		コネクションの受付が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <socket>　ソケットのディスクリプタ番号 <error string>　エラー要因 [対応] 頻発する場合は，エラー要因を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
34	bgp4+_listen_accept: bgp4+_get_peer_if() failed, terminating!!	エラー（自装置）
		コネクション接続に使用するリンクローカルアドレス取り出しに失敗しました。コネクション接続をいったん終了します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 頻発する場合は，ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
35	bgp4+_listen_accept: task_get_addr_local() failed, terminating!!	エラー（自装置）
		コネクション接続に使用するローカルアドレス取り出しに失敗しました。コネクション接続をいったん終了します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 頻発する場合は，ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
36	bgp4+_listen_start: Couldn't get BGP listen socket!!	エラー（自装置）
		コネクション接続のためのソケット生成に失敗しました。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って，処置してください。
37	bgp4+_listen_start: listen: <error string>	エラー（自装置）
		コネクションの受付準備が失敗しました。ユニキャストルーティングプログラムを自動的に再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] <error string>　エラー要因 [対応] ログ「rtm aborted」の対応に従って，処置してください。
38	bgp4+_set_peer_if: BGP peer <bgp name> [(<description>)] interface not found. Leaving peer idled	ワーニング（自装置）
		該当ピアと接続されたインタフェースが見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] コンフィグレーションを調査してください。
39	bgp4+_set_peer_if: BGP peer <bgp name> [(<description>)] local address <ipv6 address> not on shared net. Leaving peer idled	ワーニング（自装置）
		該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスが同一ネットワーク上にありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 <ipv6 address>　コネクション接続に使用するローカルアドレス [対応] コンフィグレーションを調査してください。
40	bgp4+_pp_timeout: Peer <bgpp name> timed out waiting for OPEN	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		該当ピアとの OPEN メッセージ待ちタイマがタイムアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgpp name>　接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
41	bgp4+_peer_init: BGP peer <bgp name> [(<description>)] local address <ipv6 address> not found. Leaving peer idled	ワーニング（自装置）
		該当ピアとのコネクション接続に使用するローカルアドレスに対するインタフェースが見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 <ipv6 address>　コネクション接続に使用するローカルアドレス [対応] コンフィグレーションを調査してください。
42	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)]: Strange message header length <length>	エラー（相手装置）
		該当ピアからの受信メッセージはメッセージヘッダ内のメッセージ長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信メッセージのヘッダのメッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
43	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] unrecognized message type <type>	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージはメッセージタイプが不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <type>　メッセージタイプ [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
44	bgp4+_recv _update: Received OPEN message from <bgp name> [(<description>)], state is ESTABLISHED	ワーニング（相手装置／ネットワーク）
		ESTABLISHED 状態で該当ピアから OPEN メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は不安定要因を調査してください。
45	bgp4+_recv _update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE length <length> too small	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージ長が小さ過ぎます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
46	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE unreachable prefix length <length1> exceeds packet length <length2>	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長がパケット長を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length1>　受信メッセージ内の非到達経路情報のプレフィックス長 <length2>　受信パケット長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
47	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE unreachable prefix length <length> too long	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が 128 ビットを超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信メッセージ内のプレフィックス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください
48	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE prefix length <length1> exceeds unreachable prefix data remaining (<length2> bytes)	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が非到達経路情報のプレフィックスデータを超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length1>　受信メッセージ内のプレフィックス長 <length2>　実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
49	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE zero attribute length followed by <length> bytes of garbage	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの属性長が 0 であるが，実体のデータが存在します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
50	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE path attribute length <length1> too large (<length2> bytes remaining)	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージのパス属性長が実体のパス属性の長さより大き過ぎます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length1>　受信メッセージのパス属性長 <length2>　実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
51	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE no next hop found	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージにネクストホップ属性が見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
52	bgp4+_recv_update: External peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE included LOCALPREF attribute	エラー（相手装置）
		該当外部ピアからの UPDATE メッセージに LOCALPREF 属性を含んでいます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
53	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE no LOCALPREF attribute found	エラー（相手装置）
		該当内部ピアからの UPDATE メッセージに LOCALPREF 属性が見つかりません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア番号 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
54	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE has path attributes but no reachable prefixes!	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージはパス属性を持っていますが，対応する経路情報を持っていません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
55	bgp4+_recv_update: Peer <bgp name> [(<description>)] AS <as1> received path with first AS <as2>	エラー（相手装置）
		AS 番号 <as1> のピアから次ホップの AS 番号が <as2> の AS パスを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <as1>　送信元ピアの AS 番号 <as2>　受信メッセージ内の次ホップ AS 番号 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
56	bgp4+_recv_update: Ignores prefix from peer <bgp name> [(<description>)] in RFC-1771's NLRI field	ワーニング（相手装置） RFC2858 に従わないで RFC1771 に従ったフォーマットの経路情報を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
57	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No address family	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。アドレスファミリがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
58	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No nexthop length	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップ長がありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
59	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No nexthop	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
60	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No reserved	エラー（相手装置） 該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。Reserved フィールドがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
61	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No snpa length	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA 長がありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
62	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_REACH_NLRI attribute(<length>) : No snpa	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA がありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_REACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
63	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE multi-protocol prefix length <length1> exceeds prefix data remaining (<length2> bytes)	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの経路のプレフィックス長が残データ量と比較して長すぎます。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length1>　受信メッセージ内のプレフィックス長 <length2>　実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
64	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE multi-protocol prefix length <length> too long	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの経路のプレフィックス長が 128 ビットを超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元のピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
65	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] bad next hop address length <length>	エラー（相手装置）
		該当ピアからの経路のネクストホップアドレス長が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　ネクストホップアドレス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
66	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] next hop <ipv6 address> improper, ignoring routes in this update	エラー（相手装置）
		該当ピアからの経路のネクストホップアドレスが同一ネットワーク上ありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <ipv6 address>　ネクストホップアドレス [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
67	bgp4+_recv_reach: Peer <bgp name> [(<description>)] unknown family/subfamily <family>/ <subfamily>	エラー（相手装置）
		該当ピアから IPv6 ユニキャスト以外の経路情報を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <family>　アドレスファミリ <subfamily>　サブアドレスファミリ [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
68	bgp4+_recv_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE: Invalid length of MP_UNREACH_NLRI attribute(<length>) : No address family	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_UNREACH_NLRI 属性長が不正です。アドレスファミリがありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信した MP_UNREACH_NLRI 属性長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
69	bgp4+_recv_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE prefix length <length> exceeds unreachable multi-protocol prefix data remaining (<length> bytes)	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長で残りの到達経路情報のデータ長を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　ネクストホップアドレス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
70	bgp4+_recv_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE unreachable multi-protocol prefix length <length> too long	エラー（相手装置）
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が 128 ビットを超えています。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <length>　受信メッセージ内のプレフィックス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
71	bgp4+_recv_unreach: Peer <bgp name> [(<description>)] unknown family/subfamily <family>/ <subfamily>	エラー（相手装置）
		該当ピアから IPv6 ユニキャスト以外の非到達経路情報を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <family>　アドレスファミリ <subfamily>　サブアドレスファミリ [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
72	bgp4+_peer_established: Peer <bgp name> [(<description>)] connection established	情報（自装置／相手装置）
		該当ピアと BGP4+ コネクションが確立しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] なし。
73	bgp4+_ifachange: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by changing interface state	情報（自装置／相手装置）
		インタフェース状態の変化によって，BGP4+ コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] インタフェースの状態変化要因を調査してください。
74	bgp4+_terminate: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by terminating bgp4+	情報（自装置）
		BGP4+ タスクの停止によって，BGP4+ コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] BGP4+ タスク停止要因を調査してください。
75	bgp4+_peer_delete: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by changing configuration	情報（自装置）
		コンフィグレーション変更（ピア情報の削除）によって，BGP4+ コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] なし。
76	bgp4+_init: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by changing configuration	情報（自装置）
		コンフィグレーションの変更によって，BGP4+ コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
77	bgp4+_peer_clear: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by clearing peer	情報（自装置） clear ipv6 bgp コマンドの投入によって，BGP4+ コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] なし。
78	bgp4+_pp_recv: Peer <bgp name> in graceful-restart failed to retain stale routes, deleting all the stale routes from the peer	エラー（相手装置） グレースフル・リスタートを実行したピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
79	bgp4+_recv_open: Peer <bgp name> in graceful-restart failed to retain stale routes, deleting all the stale routes from the peer	エラー（相手装置） グレースフル・リスタートを実行したピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
80	bgp4+_restart_ timeout: Peer <bgp name> [(<description>)]: Timed out waiting for reconnect.	エラー（自装置／相手装置） グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから指定された restart-time 以内にピアルータに接続できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] ピアルータと通信できるかどうかを確認してください。ピアルータで BGP4+ が動作しているかどうかを確認してください。ピアルータが動作している場合は，ピアルータの restart-time の値を，ピアルータが復旧し接続できる時間まで延ばしてください。
81	bgp4+_restart_ timeout: Peer <bgp name> [(<description>)]: Timed out waiting for End-Of-RIB marker from restart router.	エラー（相手装置） グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから End-Of-RIB を受信できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] 該当ピアルータで BGP4+ が動作しているかどうかを確認してください。動作している場合は，stalepath-time の値を延ばしてください。
82	bgp4+_peer_established: Peer <bgp name> [(<description>)] connection established with graceful restart.	情報（自装置／相手装置） 該当ピアと BGP コネクションを再確立しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
83	bgp4+_receive_End-Of-RIB: End-Of-RIB marker received from <bgp name> [(<description>)].	情報（自装置）
		End-Of-RIB を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 [対応] なし。
84	bgp4+_send_End-Of-RIB: End-Of-RIB marker sent to <bgp name> [(<description>)].	情報（自装置）
		End-Of-RIB を送信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 [対応] なし。
85	BGP4+: NOTIFICATION sent to <bgp name> [(<description>)]: code <code> (<code string>) [subcode <subcode> (<subcode string>)] [value <value>] [data <data>]	ワーニング（相手装置）
		該当ピアに NOTIFICATION メッセージを送信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信先ピア名称 <description>　送信先ピア description 名称 <code> (<code string>)，<subcode> (<subcode string>)　エラーコード，エラーサブコード 1. エラーコード 1 （Message Header Error） ・エラーサブコード 1 （lost connection synchronization） ・エラーサブコード 2 （bad length） ・エラーサブコード 3 （bad message type） 2. エラーコード 2 （Open Message Error） ・エラーサブコード 0 （unspecified error） ・エラーサブコード 1 （unsupported version） ・エラーサブコード 2 （bad AS number） ・エラーサブコード 3 （bad BGP ID） ・エラーサブコード 4 （unsupported optional parameter） ・エラーサブコード 6 （unacceptable holdtime） 3. エラーコード 3 （Update Message Error） ・エラーサブコード 1 （invalid attribute list） ・エラーサブコード 2 （unknown well known attribute） ・エラーサブコード 3 （missing well known attribute） ・エラーサブコード 4 （attribute flags error） ・エラーサブコード 5 （bad attribute length） ・エラーサブコード 6 （bad ORIGIN attribute） ・エラーサブコード 9 （error with optional attribute） ・エラーサブコード 10 （bad address/prefix field） ・エラーサブコード 11 （AS path attribute problem） 4. エラーコード 4 （Hold Timer Expired Error） 5. エラーコード 5 （Finite State Machine Error） 6. エラーコード 6 （Cease） ・不正な <code> の場合 <code string> は "invalid" を，不正な <subcode> の場合 <subcode string> は "unknown" を表示します。 ・<value> または <data> に NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報を表示します。 <value>　10 進表示 <data>　16 進表示

項番	メッセージテキスト	内容
		[対応] ネットワーク構成およびピアのコンフィグレーションを調査してください。ネットワーク構成およびピアのコンフィグレーションに問題がない場合はピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。
86	BGP4+: NOTIFICATION received from <bgp name> [(<description>)]: code <code> (<code string>) [subcode <subcode> (<subcode string>)] [value <value>] [data <data>]	ワーニング（自装置） 該当ピアから NOTIFICATION メッセージを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <code> (<code string>)，<subcode> (<subcode string>)　エラーコード，エラーサブコード 1. エラーコード 1 （Message Header Error） ・エラーサブコード 1 （lost connection synchronization） ・エラーサブコード 2 （bad length） ・エラーサブコード 3 （bad message type） 2. エラーコード 2 （Open Message Error） ・エラーサブコード 0 （unspecified error） ・エラーサブコード 1 （unsupported version） ・エラーサブコード 2 （bad AS number） ・エラーサブコード 3 （bad BGP ID） ・エラーサブコード 4 （unsupported optional parameter） ・エラーサブコード 6 （unacceptable holdtime） ・エラーサブコード 7 （unsupported capability） 3. エラーコード 3 （Update Message Error） ・エラーサブコード 1 （invalid attribute list） ・エラーサブコード 2 （unknown well known attribute） ・エラーサブコード 3 （missing well known attribute） ・エラーサブコード 4 （attribute flags error） ・エラーサブコード 5 （bad attribute length） ・エラーサブコード 6 （bad ORIGIN attribute） ・エラーサブコード 7 （AS loop detected） ・エラーサブコード 8 （invalid NEXT_HOP） ・エラーサブコード 9 （error with optional attribute） ・エラーサブコード 10 （bad address/prefix field） ・エラーサブコード 11 （AS path attribute problem） 4. エラーコード 4 （Hold Timer Expired Error） 5. エラーコード 5 （Finite State Machine Error） 6. エラーコード 6 （Cease） ・不正な <code> の場合 <code string> は "invalid" を，不正な <subcode> の場合 <subcode string> は "unknown" を表示します。 ・<value> または <data> に NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報を表示します。 <value>　10 進表示 <data>　16 進表示 [対応] ネットワーク構成およびコンフィグレーションを調査してください。
87	BGP4+:	ワーニング（相手装置）

項番	メッセージテキスト	内容
	No MD5 digest from <source ipv6>+<port no.> to <destination ipv6>+<port no.> [VRF <vrf id>]	BGP4+ コネクションで受信した TCP セグメントに MD5 認証オプションが設定されていません。 この運用メッセージは，次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは，すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は，256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は，上記 1.，2. の契機で出力されます。 ただし，上記回数には，「BGP4+: Invalid MD5 digest from <source ipv6>+<port no.> to <destination ipv6>+<port no.>」の回数を含みます。 [メッセージテキストの表示説明] <source ipv6>　送信元 IPv6 アドレス <port no.>　TCP ポート番号 <destination ipv6>　宛先 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] 相手装置の BGP4+ で MD5 認証が設定されているか調査してください。 設定されていない場合は，MD5 認証の設定が一致するように設定してください。 設定が一致している場合は，送信元 BGP4+ ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか調査してください。
88	BGP4+: Invalid MD5 digest from <source ipv6>+<port no.> to <destination ipv6>+<port no.> [VRF <vrf id>]	ワーニング（自装置／相手装置） BGP4+ コネクションで受信した TCP セグメントの MD5 認証オプションが不正です。 この運用メッセージは，次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは，すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は，256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は，上記 1.，2. の契機で出力されます。 ただし，上記回数には，「BGP4+: No MD5 digest from <source ipv6>+<port no.> to <destination ipv6>+<port no.>」の回数を含みます。 [メッセージテキストの表示説明] <source ipv6>　送信元 IPv6 アドレス <port no.>　TCP ポート番号 <destination ipv6>　宛先 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] 自装置と相手装置の BGP4+ で MD5 認証キーが一致しているか調査してください。 MD5 認証キーが一致していない場合は，MD5 認証キーが一致するように設定してください。 MD5 認証キーが一致している場合は，送信元 BGP4+ ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか調査してください。
89	BGP4+: Number of prefix received from <bgp name> [(<description>)]: reached <routes1>, limit <routes2>	ワーニング（相手装置） 該当ピアから学習した経路数（アクティブ経路と非アクティブ経路の合計）が閾値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <routes1>　ピアから学習した経路数 <routes2>　ピアから学習する経路数の上限値 [対応] 該当ピアから学習する経路がさらに増加する場合は，ピアが広告する経路数を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
90	BGP4+: Number of prefix received from <bgp name> [(<description>)]: <routes1> exceed limit <routes2>	ワーニング（相手装置） 該当ピアから学習した経路数（アクティブ経路と非アクティブ経路の合計）が上限値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <routes1>　ピアから学習した経路数 <routes2>　ピアから学習する経路数の上限値 [対応] 該当ピアが広告する経路数を調査してください。
91	BGP4+: Peer <bgp name> [(<description>)]: Closed connection by maximum-prefix	情報（相手装置） 学習経路数の制限によって BGP4+ コネクションをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 <description>　接続先ピア description 名称 [対応] 該当ピアが広告する経路数を調査してください。 ピアを再接続する場合は，ピアが広告する経路数が上限値以下になることを確認してから，clear ipv6 bgp コマンドを入力してください。
92	bgp4+_pp_recv: Peer <bgp name> as receiving-speaker failed to retain stale routes, the packets forwarded to the peer may be discarded.	ワーニング（相手装置） レシーブルータとして動作中のピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアへ転送されたパケットが廃棄される可能性があります。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 [対応] グレースフル・リスタート機能のネゴシエーションで，フォワーディングの不可状態を通知されました。ピアルータで障害が発生していないか調査してください。
93	bgp4+_recv_open: Peer <bgp name> as receiving-speaker failed to retain stale routes, the packets forwarded to the peer may be discarded.	ワーニング（相手装置） レシーブルータとして動作中のピアがフォワーディング経路を保存できませんでした。該当ピアへ転送されたパケットが廃棄される可能性があります。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　接続先ピア名称 [対応] グレースフル・リスタート機能のネゴシエーションで，フォワーディングの不可状態を通知されました。ピアルータで障害が発生していないか調査してください。
94	BGP4+: Completed the learning from receiving-speakers	情報（自装置） レシーブルータからの経路学習が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
95	BGP4+: Start advertisement, giving up learning from several receiving-speakers	情報（自装置） 一部のレシーブルータからの経路学習を中断して，経路広告を開始します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
96	BGP4+:	ワーニング（相手装置）

項番	メッセージテキスト	内容
	Peer <bgp name> [(<description>)] UPDATE included attribute type code (0) [- AS Path (<as number>): <aspath>]	該当ピアからタイプコードが 0 のパス属性を含む UPDATE メッセージを受信しました。 本運用メッセージは同一ピアにおいて前回の出力から 1 時間以内は再度出力しません。 [メッセージテキストの表示説明] <bgp name>　送信元ピア名称 <description>　送信元ピア description 名称 <as number>　AS 番号の数 <aspath>　AS パス • AS 番号列：AS_SEQ • {AS 番号列}：AS_SET • (AS 番号列)：AS_CONFED_SEQUENCE なお，一つの運用メッセージで出力できる文字数には制限があるため，すべての AS パスが出力されない（AS 番号の途中までしか出力されない）ことがあります。 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4+）を調査してください。

2.2.4　IPv6 ユニキャストルーティングプロトコル共通

IPv6 ユニキャストルーティング共通情報（RTM）のイベント情報を次の表に示します。

表 2-8　IPv6 ユニキャストルーティング共通イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	*** Give up gdump. Because of no enough memory.	ワーニング（自装置）
		dump protocols unicast コマンドによるユニキャストルーティングプログラムの制御情報ダンプ収集中に，システムのメモリ残量が一時的に既定値を下回ったため，ダンプ収集を中断しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] コマンド実行するために必要な空きメモリが不足しています。収容条件を見直してください。
2	Rtm: Graceful Restart terminated because this system failed to retain the routes.	ワーニング（自装置）
		経路を保持できなかったため，グレースフルリスタートに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] グレースフルリスタート中に再び系切替やユニキャストルーティングプログラムの再起動が発生していないか調査してください。
3	The number of IPv6 unicast routes on global network exceeded the limit.	ワーニング（自装置）
		グローバルネットワークの IPv6 ユニキャスト経路数が最大経路数を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 不要な経路を削除してください。 2. コンフィグレーションで指定した最大経路数を見直してください。

項番	メッセージテキスト	内容
4	The number of IPv6 unicast routes on VRF <vrf id> exceeded the limit.	ワーニング（自装置）
		VRF <vrf id> の IPv6 ユニキャスト経路数が最大経路数を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID [対応] 1.　不要な経路を削除してください。 2.　コンフィグレーションで指定した最大経路数を見直してください。
5	The number of IPv6 unicast routes on global network exceeded the warning threshold.	情報（自装置）
		グローバルネットワークの IPv6 ユニキャスト経路数が警告閾値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 経路を追加する場合は，最大経路数を超えないように注意してください。
6	The number of IPv6 unicast routes on VRF <vrf id> exceeded the warning threshold.	情報（自装置）
		VRF <vrf id> の IPv6 ユニキャスト経路数が警告閾値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID [対応] 経路を追加する場合は，最大経路数を超えないように注意してください。

2.3　IPv6 ルーティング情報 (RTM)

2.3.1　RA

IPv6 ルーティング情報（RTM）のイベント情報を次の表に示します。

表 2-9　IPv6 ルーティング (RA) イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	rs_input: Cannot locate interface for RS from <address1> to <address2>	エラー（自装置）
		受信したルータ要求に対応するインタフェースを見つけることができないので，そのルータ要求を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <address1>　ルータ要求送信元アドレス <address2>　ルータ要求宛先アドレス [対応] 頻繁に出る場合は，そのインタフェースの状態を調査してください。
2	rs_input: ND option check failed for an RS from <address> on <interface name>	エラー（相手装置）
		該当アドレスからのルータ要求に対する ND オプションチェックに失敗したので，そのルータ要求を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <address>　ルータ要求送信元アドレス <interface name>　ルータ要求受信インタフェース名称 [対応] ルータ要求送信元端末で，ルータ要求の設定を調査してください。
3	rs_input: RS from unspecified src on <interface name> has a link-layer address option	エラー（相手装置）
		未指定アドレス (::) からのルータ要求にリンクレイヤアドレスオプションが設定されているので，そのルータ要求を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　ルータ要求受信インタフェース名称 [対応] ルータ要求送信元端末で，ルータ要求の設定を調査してください。
4	rs_input: RS received on non advertising interface(<interface name>)	ワーニング（自装置）
		ルータ広告を行わないインタフェースでルータ要求を受信したので，そのルータ要求を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　ルータ要求受信インタフェース名称 [対応] そのルータ要求に応答する必要がある場合は，そのインタフェースでルータ広告を有効にしてください。
5	rs_input: RS with invalid hop limit (<hoplimit>) received from <address> on <interface name>	エラー
		受信したルータ要求パケットの Hoplimit が正しい値（255）ではないため，ルータ要求を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <hoplimit>　受信ルータ要求メッセージホップリミット値 <address>　ルータ要求送信元アドレス <interface name>　ルータ要求受信インタフェース名称 [対応] ルータ要求を送信する端末の設定を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
6	rs_input: RS with invalid ICMP6 code(<code>) received from <address> on <interface name>	エラー 受信したルータ要求パケットの ICMP6 コードが正しい値（0）ではないため，ルータ要求を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <code>　受信ルータ要求メッセージ ICMP6 コード値 <address>　ルータ要求送信元アドレス <interface name>　ルータ要求受信インタフェース名称 [対応] ルータ要求を送信する端末の設定を調査してください。
7	rs_input: RS from <address> on <interface name> does not have enough length (len = <length>)	エラー 受信したルータ要求パケットが短いため，ルータ要求を無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <address>　ルータ要求送信元アドレス <interface name>　ルータ要求受信インタフェース名称 <length>　受信ルータ要求パケット長 [対応] ルータ要求を送信する端末の設定を調査してください。
8	ra_nd6_options: bad ND option length(0) (type = <type>)	エラー（相手装置） ND オプションの長さが不正です。 [メッセージテキストの表示説明] <type>　受信した ND オプションタイプ番号 [対応] 付随して出力される rs_input，ra_input のエラーの対応をしてください。
9	ra_output: Cannot send RA for I/F <interface name> (lack of active linklocal addr)	エラー（自装置） 該当するインタフェースに有効なリンクローカルアドレスが存在しないので，ルータ広告が送信できません。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　ルータ広告送信インタフェース名称 [対応] 頻繁に発生する場合は，そのインタフェースの状態を確認してください。
10	ra_output: Cannot send RA for I/F <interface name>	エラー（自装置） 該当するインタフェースよりルータ広告が送信できません。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　ルータ広告送信インタフェース名称 [対応] 頻繁に発生する場合は，そのインタフェースの状態を確認してください。
11	ra_output: not send RA for I/F <interface name> (linkmtu <value own> is greater than the physical interface MTU <phymtu>)	ワーニング（自装置） 該当インタフェースの MTU 長を超える値を指定しているので，ルータ広告は出力されません。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　ルータ広告送信インタフェース名称 <value own>　自装置の MTU オプション値 <phymtu>　該当インタフェースの物理 MTU 長 [対応] ルータ広告を送信するルータの設定を調査してください。

2.4　IPv4 マルチキャストルーティング情報 (MRP)

2.4.1　PIM-SM/PIM-DM

IPv4 ルーティング情報（MRP）のイベント情報を次の表に示します。

表 2-10　IPv4 マルチキャストルーティング（PIM-SM/PIM-DM）イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	IGMP: received packet too short (<length> bytes) for IP header [on VRF <vrf id>]	エラー（相手装置）
		IP ヘッダよりも小さいパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length>　受信サイズ <vrf id>　VRF ID [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPV4v4 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
2	IGMP: received packet (<length1> bytes) from <source address> shorter than header + data length (<length2> + <length3> bytes) [on VRF <vrf id>]	エラー（相手装置）
		IP ヘッダ内で設定されているデータ長より小さいパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length1>　受信サイズ <source address>　送信元 IPv4 アドレス <length2>　受信した IP ヘッダのサイズ <length3>　受信した IP パケットのデータサイズ <vrf id>　VRF ID [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
3	IGMP: received IP data field too short (<length> bytes) for IGMP header, from <source address> to <destination address> [on VRF <vrf id>]	エラー（相手装置）
		IGMP ヘッダ長（8）より小さいパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length>　受信した IP パケットのデータサイズ <source address>　送信元 IPv4 アドレス <destination address>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
4	IGMP: ignoring packet from <source address> to <destination address> [on VRF <vrf id>] - invalid igmp header checksum (data '<data>', length '<length>')	エラー（相手装置）
		IGMP ヘッダのチェックサムエラーによって，受信 IGMP パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv4 アドレス <destination address>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID <data>　IGMP 受信データの先頭 1 バイト（パケット種別）の内容 <length>　IGMP 受信データ長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
5	IGMP: ignoring <packet> from <source address> to <destination address> [on VRF <vrf id>] - invalid group address '<group address>'	エラー（相手装置） パケット内のグループアドレスが不正のため，受信 IGMP パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet>　パケット種別 • "Group Membership Report", "Group Leave Report" <source address>　送信元 IPv4 アドレス <destination address>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID <group address>　受信グループアドレス [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
6	IGMP: Querier was changed on interface <interface name> [of VRF <vrf id>] - new querier <querier ip address>（was <old querier ip address>）	イベント（自装置） インタフェース上で，Querier ルータが変わりました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　インタフェース名 <vrf id>　VRF ID <querier ip address>　Querier IPv4 アドレス <old querier ip address>　前回の Querier IPv4 アドレス [対応] なし。
7	PIM: received packet too short (<length> bytes) for IP header [on VRF <vrf id>]	エラー（相手装置） IP ヘッダよりも小さいパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length>　受信サイズ <vrf id>　VRF ID [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM または PIM-DM）を調査してください。
8	PIM: received packet (<length1> bytes) from <source address> shorter than header + data length (<length2> + <length3> bytes) [on VRF <vrf id>]	エラー（相手装置） IP ヘッダ内で設定されているデータ長より小さいパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length1>　受信サイズ <source address>　送信元 IPv4 アドレス <length2>　受信した IP ヘッダのサイズ <length3>　受信した IP パケットのデータサイズ <vrf id>　VRF ID [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM または PIM-DM）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
9	PIM: received IP data field too short (<length> bytes) for PIM header, from <source address> to <destination address> [on VRF <vrf id>]	エラー（相手装置）
		PIM ヘッダ長（4）より小さいパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <length>　受信した IP パケットのデータサイズ <source address>　送信元 IPv4 アドレス <destination address>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM または PIM-DM）を調査してください。
10	PIM: ignoring packet from <source address> to <destination address> [on VRF <vrf id>] - invalid pim header checksum (data '<data>', length '<length>')	エラー（相手装置）
		PIM ヘッダのチェックサムエラーによって，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv4 アドレス <destination address>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID <data>　PIM 受信データの先頭バイト（パケット種別）の内容 <length>　PIM 受信データ長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM または PIM-DM）を調査してください。
11	PIM: ignoring <packet> message from <source address> to <destination address> [on VRF <vrf id>] - packet too short (<length> bytes)	エラー（相手装置）
		パケットサイズが最小パケット長より小さいため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet>　パケット種別 • "Register", "Register-Stop", "Join/Prune", "Assert", "Bootstrap", "Candidate-RP-Advertisement" <source address>　送信元 IPv4 アドレス <destination address>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID <length>　PIM 受信データ長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
12	PIM: ignoring <packet> message from <source address> to <destination address> [on VRF <vrf id>] - invalid encoded unicast address (<cause>)	エラー（相手装置） パケット内のエンコーディングユニキャストアドレスが不正のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet>　パケット種別 • "Register-Stop"，"Join/Prune"，"Assert"，"Bootstrap"，"Candidate-RP-Advertisement" <source address>　送信元 IPv4 アドレス <destination address>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID <cause>　詳細要因 • address family '<value>'　アドレスファミリ <value> が不正 (1 以外) • encoding type '<value>'　エンコーディングタイプ <value> が不正 (0 以外) • source address '<address>'　送信元 IPv4 アドレス <address> が不正 • upstream neighbor address '<address>'　上流隣接 IPv4 アドレス <address> が不正 • BSR address '<address>'　BSR アドレス <address> が不正 • RP address '<address>'　ランデブーポイントアドレス <address> が不正 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
13	PIM: ignoring <packet> message from <source address> to <destination address> [on VRF <vrf id>] - invalid encoded source address (<cause>)	エラー（相手装置） パケット内のエンコーディング送信元 IPv4 アドレスが不正のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet>　パケット種別 • "Join/Prune" <source address>　送信元 IPv4 アドレス <destination address>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID <cause>　詳細要因 • address family '<value>'　アドレスファミリ <value> が不正（1 以外） • encoding type '<value>'　エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外） [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
14	PIM: ignoring <packet> message from <source address> to <destination address> [on VRF <vrf id>] - invalid encoded group address (<cause>)	エラー（相手装置）
		パケット内のエンコーディンググループアドレスが不正のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet>　パケット種別 • "Register-Stop"，"Join/Prune"，"Assert"，"Bootstrap"，"Candidate-RP-Advertisement" <source address>　送信元 IPv4 アドレス <destination address>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID <cause>　詳細要因 • address family '<value>'　アドレスファミリ <value> が不正（1 以外） • encoding type '<value>'　エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外） • mask length '<value>'　グループマスク長 <value> が不正（4 以上 32 以下ではない） • group address '<address>'　グループアドレス <address> が不正 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
15	PIM: ignoring Hello message from <source address> [on VRF <vrf id>] - invalid holdtime option length (<length>)	エラー（相手装置）
		Hello パケット内の holdtime オプション長が不正（2 以外）のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID <length>　受信 holdtime オプション長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM または PIM-DM）を調査してください。
16	PIM: ignoring Hello message from <source address> [on VRF <vrf id>] - no holdtime option	エラー（相手装置）
		Hello パケット内に holdtime オプションがないため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM または PIM-DM）を調査してください。
17	PIM: ignoring Register message from <source address> to <destination address> [on VRF <vrf id>] - invalid inner source address '<inner source address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IP パケットの送信元 IPv4 アドレスが不正のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv4 アドレス <destination address>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID <inner source address>　カプセル化内送信元 IPv4 アドレス [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv4 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
18	PIM: ignoring Register message from <source address> to <destination address> [on VRF <vrf id>] - invalid inner group address '<inner group address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IP パケットのグループアドレスが不正のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv4 アドレス <destination address>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID <inner group address>　カプセル化内グループアドレス [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv4 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。 カプセル化内グループアドレスが PIM-SSM の範囲に含まれる場合，相手装置の PIM-SSM 設定を調査してください。
19	PIM: ignoring Bootstrap message from <source address> to <destination address> [on VRF <vrf id>] - invalid hash mask length '<value>'	エラー（相手装置）
		Bootstrap パケット内のハッシュマスク長が不正（33 以上）のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv4 アドレス <destination address>　宛先 IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID <value>　受信パケットに設定されたハッシュマスク長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv4 マルチキャストルーティングプログラム（PIM-SM）を調査してください。
20	PIM: BSR information was changed [on VRF <vrf id>] - lost BSR information	ワーニング（相手装置）
		Bootstrap ルータからの広告がなくなったため，BSR 情報をクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID [対応] Bootstrap ルータからの広告がなくなった要因を調査してください。
21	PIM: BSR information was changed [on VRF <vrf id>] - new BSR address <ip address>	イベント（自装置）
		BSR アドレスが変更されました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID <ip address>　BSR アドレス BSR アドレスが本装置の場合は，IPv4 アドレスの後に "(this system)" が表示されます。 [対応] なし。
22	PIM: started learning IPv4 multicast routing entries due to a system change (learning time is about <time> seconds)	イベント（自装置）
		待機系システムから運用系システムへの系切替による，IPv4 マルチキャスト経路情報の学習を開始しました（学習時間は約 <time> 秒です）。 [メッセージテキストの表示説明] <time>　再学習時間 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
23	PIM: completed learning IPv4 multicast routing entries after the system change	イベント（自装置）
		待機系システムから運用系システムへの系切替による，IPv4 マルチキャスト経路情報の学習が終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。

2.5　IPv6 マルチキャストルーティング情報 (MR6)

2.5.1　IPv6 PIM-SM

IPv6 ルーティング情報（MR6）のイベント情報を次の表に示します。

表 2-11　IPv6 マルチキャストルーティング（PIM-SM）イベント情報

項番	メッセージテキスト	内容
1	MLD: ignoring <packet> from <source address> [on VRF <vrf id>] - invalid scope <group address>	エラー（相手装置） MLD パケットに含まれるグループアドレスが不適切なスコープ（ノードローカル，リンクローカル）のため，MLD パケットを無視します。 [メッセージテキストの表示説明] <packet>　パケット種別 • "Multicast Listener Query"，"Multicast Listener Report"，"Multicast Listener Done"，"MLDv2 Multicast Listener Report" <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <group address>　MLD グループアドレス [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
2	MLD: ignoring <packet> from <source address> [on VRF <vrf id>] - message received from a non linklocal address	エラー（相手装置） 非リンクローカルアドレスをソースに持つ MLD パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet>　パケット種別 • "Multicast Listener Query" <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
3	MLD: Querier was changed on interface <interface name> [of VRF <vrf id>] - new querier <querier ipv6 address> (was <old querier ipv6 address>)	イベント（自装置） インタフェース上で，Querier ルータが変わりました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　インタフェース名 <vrf id>　VRF ID <querier ipv6 address>　Querier IPv6 アドレス • Querier IPv6 アドレスが本装置の場合は，"(this system)" を表示します。 <old querier ipv6 address>　前回の Querier IPv6 アドレス • 前回の Querier IPv6 アドレスが本装置の場合は，"(this system)" を表示します。 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
4	PIM: ignoring <packet> message from <source address> [on VRF <vrf id>] - packet too short (<length> bytes)	エラー（相手装置）
		パケットサイズが最小パケット長より小さいため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet>　パケット種別 • "Hello"，"Register"，"Register-Stop"，"Join/Prune"，"Assert"，"Bootstrap"，"Candidate-RP-Advertisement" <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <length>　PIM 受信データ長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
5	PIM: ignoring <packet> message from <source address> [on VRF <vrf id>] - invalid encoded unicast address (<cause>)	エラー（相手装置）
		パケット内のエンコーディングユニキャストアドレスが不正のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet>　パケット種別 • "Hello"，"Register-Stop"，"Join/Prune"，"Assert"，"Bootstrap"，"Candidate-RP-Advertisement" <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <cause>　詳細要因 • address family '<value>'　アドレスファミリ <value> が不正（2 以外） • encoding type '<value>'　エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外） • source address '<address>'　送信元アドレス <address> が不正 • upstream neighbor address'<address>'　上流隣接アドレス <address> が不正 • BSR address'<address>'　BSR アドレス <address> が不正 • RP address'<address>'　ランデブーポイントアドレス <address> が不正 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
6	PIM: ignoring <packet> message from <source address> [on VRF <vrf id>] - invalid encoded source address (<cause>)	エラー（相手装置） パケット内のエンコーディングソースアドレスが不正のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet>　パケット種別 • "Join/Prune" <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <cause>　詳細要因 • address family '<value>'　アドレスファミリ <value> が不正（2 以外） • encoding type '<value>'　エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外） [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
7	PIM: ignoring <packet> message from <source address> [on VRF <vrf id>] - invalid encoded group address (<cause>)	エラー（相手装置） パケット内のエンコーディンググループアドレスが不正のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <packet>　パケット種別 • "Register-Stop", "Join/Prune", "Assert", "Bootstrap", "Candidate-RP-Advertisement" <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <cause>　詳細要因 • address family '<value>'　アドレスファミリ <value> が不正（2 以外） • encoding type '<value>'　エンコーディングタイプ <value> が不正（0 以外） • mask length '<value>'　グループマスク長 <value> が不正（8 以上 128 以下でない） • group address '<address>'　グループアドレス <address> が不正 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
8	PIM: ignoring Hello message from <source address> [on VRF <vrf id>] - invalid holdtime option length (<length>)	エラー（相手装置） Hello パケット内の holdtime オプション長が不正 (2 以外) のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <length>　受信 holdtime オプション長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
9	PIM: ignoring Hello message from <source address> [on VRF <vrf id>] - no holdtime option	エラー（相手装置）
		Hello パケット内に holdtime オプションがないため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
10	PIM: ignoring Register message from <source address> [on VRF <vrf id>] - invalid inner source address '<inner source address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットのソースアドレスが不正のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <inner source address>　カプセル化内送信元アドレス [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
11	PIM: ignoring Register message from <source address> [on VRF <vrf id>] - invalid inner source address scope '<inner source address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットの送信元アドレスのスコープが不正のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <inner source address>　カプセル化内送信元アドレス [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
12	PIM: ignoring Register message from <source address> [on VRF <vrf id>] - invalid inner group address '<inner group address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットのグループアドレスが不正のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <inner group address>　カプセル化内グループアドレス [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
13	PIM: ignoring Register message from <source address> [on VRF <vrf id>] - invalid inner group address scope '<inner group address>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットのグループアドレスのスコープが不正のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <inner group address>　カプセル化内グループアドレス [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
14	PIM: ignoring Register message from <source address> [on VRF <vrf id>] - invalid inner IP version '<version>'	エラー（相手装置）
		Register パケットでカプセル化された IPv6 パケットのバージョンが 6 ではないため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <version>　カプセル化内 IP パケットバージョン [対応] マルチキャストデータ送信元が不正なパケットを送信しています。 マルチキャストデータ送信元の IPv6 マルチキャスト通信プログラムを調査してください。
15	PIM: ignoring Bootstrap message from <source address> [on VRF <vrf id>] - invalid hash mask length '<value>'	エラー（相手装置）
		Bootstrap パケット内のハッシュマスク長が不正（129 以上）のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <value>　受信パケットに設定されたハッシュマスク長 [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
16	PIM: ignoring Bootstrap message from <source address> [on VRF <vrf id>] - invalid BSR address '<ipv6 address>'	エラー（相手装置）
		Bootstrap パケット内の BSR アドレス不正のため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <ipv6 address>　BSR アドレス [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。
17	PIM: ignoring Bootstrap message from <source address> [on VRF <vrf id>] - cannot find a route to the BSR(<ipv6 address>)	ワーニング（自装置）
		Bootstrap パケット内の BSR アドレスへのユニキャスト経路が見つからないため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <ipv6 address>　BSR アドレス [対応] Bootstrap パケット内の BSR アドレスへの経路が存在するか確認してください。
18	PIM: ignoring Candidate-RP-Advertisement message from <source address> [on VRF <vrf id>] - non global address(<ipv6 address>) as RP	エラー（相手装置）
		Candidate-RP-Advertisement パケット内に含まれるランデブーポイントアドレスが不正なため，受信 PIM パケットを無視しました。 [メッセージテキストの表示説明] <source address>　送信元 IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <ipv6 address>　ランデブーポイントアドレス [対応] 相手装置が不正なパケットを送信しています。 相手装置の IPv6 マルチキャストルーティングプログラム（IPv6 PIM-SM）を調査してください。

項番	メッセージテキスト	内容
19	PIM: BSR information was changed [on VRF <vrf id>] - lost BSR information	ワーニング（相手装置） Bootstrap ルータからの広告がなくなったため，BSR 情報をクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID [対応] Bootstrap ルータからの広告がなくなった要因を調査してください。
20	PIM: BSR information was changed [on VRF <vrf id>] - new BSR address <ipv6 address>	イベント（自装置） BSR アドレスが変更されました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID <ipv6 address>　BSR アドレス BSR アドレスが本装置の場合は，IPv6 アドレスの後に "(this system)" が表示されます。 [対応] なし。
21	PIM: Add interface <interface name> [of VRF <vrf id>] to the output interface list of (S,G)=(<source address>, <group address>)	イベント（自装置） マルチキャストルーティングキャッシュ（S,G）の出力インタフェースリストにインタフェース <interface name> を追加しました（本メッセージは syslog 専用イベント情報の出力が有効なときだけ syslog インタフェースへ出力します。syslog 専用イベント情報は debug protocols ipv6-multicast コマンドで有効にできます）。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　インタフェース名 <vrf id>　VRF ID <source address>　送信元 IPv6 アドレス <group address>　IPv6 グループアドレス [対応] なし。
22	PIM: Delete interface <interface name> [of VRF <vrf id>] from the output interface list of (S,G)=(<source address>, <group address>)	イベント（自装置） マルチキャストルーティングキャッシュ（S,G）の出力インタフェースリストからインタフェース <interface name> を削除しました（本メッセージは syslog 専用イベント情報の出力が有効なときだけ syslog インタフェースへ出力します。syslog 専用イベント情報は debug protocols ipv6-multicast コマンドで有効にできます）。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　インタフェース名 <vrf id>　VRF ID <source address>　送信元 IPv6 アドレス <group address>　IPv6 グループアドレス [対応] なし。
23	PIM: started learning IPv6 multicast routing entries due to a system change (learning time is about <time> seconds)	イベント（自装置） 待機系システムから運用系システムへの系切替による，IPv6 マルチキャストエントリ学習を開始しました（学習時間は約 <time> 秒です）。 [メッセージテキストの表示説明] <time>　再学習時間 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
24	PIM: completed learning IPv6 multicast routing entries after the system change	イベント（自装置）
		待機系システムから運用系システムへの系切替による，IPv6 マルチキャストエントリ学習が終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。

3 装置関連の障害およびイベント情報

この章では，装置関連の障害およびイベント情報の内容について説明します。装置関連の障害およびイベント情報は，すべてのメッセージを運用端末に画面出力します。障害重度またはイベントの内容によって，イベントレベルと呼ばれる E3 ～ E9 の 7 段階にレベル分けされています。set logging console コマンドでイベントレベルを指定すると，指定したレベル以下のメッセージの画面出力を抑止できます。

3.1 コンフィグレーション

3.2 アクセス

3.3 プロトコル

3.4 装置の各部位

3.5 ポート

3.6 オプション機構

3.7 基本制御機構【AX6700S】

3.8 基本スイッチング機構【AX6700S】

3.9 制御スイッチング機構【AX6600S】

3.10 管理スイッチング機構【AX6300S】

3.11 AX6700S および AX6600S のネットワークインタフェース機構【AX6700S】【AX6600S】

3.12 AX6300S のネットワークインタフェース機構【AX6300S】

3.1　コンフィグレーション

3.1.1　イベント発生部位＝ CONFIG

イベント発生部位 =CONFIG の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-1　イベント発生部位 =CONFIG の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	CONFIG	00010005	0100	**There is mismatch between active and standby configuration.**
	運用系システムと待機系システムのコンフィグレーションが異なっています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. コンフィグレーションの編集中の場合は，問題ありません。 2. 上記以外の場合，コンフィグレーションコマンド save を実行し，運用系システムと待機系システムのコンフィグレーションを一致させてください（待機系システムのコンフィグレーションが運用系システムのコンフィグレーションと同じになります）。 ただし，運用系システムと待機系システムのソフトウェアバージョンが不一致の場合，コンフィグレーションコマンド save を実行できないことがあります。その場合は，ソフトウェアバージョンを一致させた後に，コンフィグレーションコマンド save を実行してください。				
2	E3	CONFIG	00010006	0100	**Active and standby configuration is identical.**
	運用系システムと待機系システムのコンフィグレーションが一致しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
3	E3	CONFIG	09200001	0100	**Active and standby configuration failed in synchronization.**
	冗長化運用開始時に，運用系システムと待機系システムの間でランニングコンフィグレーションファイルの同期に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] コンフィグレーションコマンド save を実行し，運用系システムと待機系システムのコンフィグレーションを一致させてください。				
4	E3	CONFIG	09200002	0100	**Active and standby configuration successfully synchronized.**
	冗長化運用開始時に，運用系システムと待機系システムの間でランニングコンフィグレーションファイルの同期に成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
5	E3	CONFIG	09300001	0100	**This system started with the default configuration file. because the startup configuration file is not found or broken.**
	次のどちらかの理由によって，デフォルト設定情報で運用を開始しました。 • スタートアップコンフィグレーションファイルがない，または読み込めない • BCU/CSU/MSU の障害が発生して自動復旧した回数が，一定時間内に 6 回に達した [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. コンフィグレーションファイルを待避している場合は copy コマンドを使用し，保存しているコンフィグレーションファイルをスタートアップコンフィグレーションファイルに反映してください。 2. コンフィグレーションファイルを待避していない場合は，新しくコンフィグレーションファイルを作成してください。 3. show logging コマンドでログを確認し，BCU/CSU/MSU の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置をしてください。				
6	E3	CONFIG	09300002	0100	**Configuration command syntax error. line <line number> : "<error syntax>"**
	スタートアップコンフィグレーションファイルで構文誤りを検出したのでランニングコンフィグレーションへの反映をスキップしました。 [メッセージテキストの表示説明] <line number>　対象のコンフィグレーションコマンドの行番号 <error syntax>　対象のコンフィグレーションコマンドの構文 [対応] ソフトウェアのアップデートで古いソフトウェアバージョンへ戻した場合に本ログを出力したときは，変更後のソフトウェアバージョンでは未サポートのコンフィグレーションコマンドとなります。冗長構成で運用している場合，運用系システムと待機系システムのコンフィグレーションに差分が発生しています。本状態で系切替が発生した場合，系切替後の新運用系は再起動します。系切替時に装置が再起動しないようにするには，ソフトウェアバージョンをいったん戻したあと，本ログの該当するコンフィグレーションコマンドを削除してから再度ソフトウェアのアップデートをしてください。				
7	E3	CONFIG	09300003	0100	**Cannot change the interface configuration commands of NIF<nif no.>.**
	ボード交換によって実装と不一致になった NIF の interface コンフィグレーションの変更ができませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] 再度 NIF ボードを抜き差ししてください。				
8	E3	CONFIG	09300005	0100	**The interface configuration commands of NIF <nif no.> changed, because NIF <nif no.> board connected.**
	NIF ボードが接続されたので，NIF の interface コンフィグレーションを変更しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。				
9	E3	CONFIG	09300006	0100	**The interface configuration commands of NIF<nif no.> deleted, because NIF<nif no.> slot not exist.**
	本装置に存在しない NIF スロットの interface コンフィグレーションを削除しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
10	E3	CONFIG	09300007	0100	**Configuration edit status forcedly finished.**
	コンフィグレーションの状態を編集可能状態から編集終了状態に強制的に変更しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] コンフィグレーションコマンドモードにいる全ユーザを，コンフィグレーションモードから exit したあと，再度編集を開始してください。				
11	E3	CONFIG	09300008	0100	**Cannot set the automatic setting configuration command.：<command>**
	コンフィグレーションコマンドの自動設定に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <command>　コマンド名 [対応] 該当コマンドを手動で設定してください。				
12	E3	CONFIG	09600006	0100	**Configuration access management error. process<process name>:pid<process id>:time <time>**
	コンフィグレーションに長時間アクセスしているプロセスがいたため，ロックを解放し自動的に復旧しました。 [メッセージテキストの表示説明] <process name>　発生プロセス名 <process id>　発生プロセス ID <time>　発生時刻（曜日 月 日 時 : 分 : 秒 年） [対応] なし。				
13	E5	CONFIG	00010007	0100	**There is mismatch between active and standby configuration.**
	運用系システムと待機系システムのコンフィグレーションが異なっています。 この状態では，redundancy force-switchover コマンドによる系切替は実行できません。 この状態で致命的障害発生，リセットボタン押下，ACH スイッチ押下または reload active コマンド実行などによって系切替が発生した場合，系切替後の新運用系システムは再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. コンフィグレーションの編集中に本メッセージが出力される場合があります。その場合，編集完了後に show logging コマンドを実行し，「Active and standby configuration is identical.」メッセージが出力されているかどうかを確認してください。出力されている場合は，自動回復しているため対応不要です。 2. 上記以外の場合，コンフィグレーションコマンド save を実行し，運用系システムと待機系システムのコンフィグレーションを一致させてください（待機系システムのコンフィグレーションが運用系システムのコンフィグレーションと同じになります）。 3. ただし，運用系システムと待機系システムのソフトウェアバージョンが不一致の場合，コンフィグレーションコマンド save を実行できないことがあります。その場合は，ソフトウェアバージョンを一致させた後に，コンフィグレーションコマンド save を実行してください。				
14	R5	CONFIG	00010007	0100	**Active and standby configuration is identical.**
	運用系システムと待機系システムのコンフィグレーションが一致しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.2　アクセス

3.2.1　イベント発生部位＝ ACCESS

イベント発生部位 =ACCESS の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-2　イベント発生部位 =ACCESS の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	ACCESS	00000001	0201 0205 0207	**Unknown host address <ip address> [on VRF <vrf id>].**
	telnet，ftp，または SSH で接続しようとしましたが，<ip address> からの接続を許可しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address>　IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] 1. 本装置に対して不正なアクセス（コンフィグレーションで許可された以外のリモートホストからのアクセス）が行われた可能性があります。IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスが <ip address> のリモートホストをチェックしてください。 2. <ip address> からのリモートアクセスを許可している場合はコンフィグレーションに誤りがある可能性があります。コンフィグレーションをチェックしてください。 3. <ip address> からのリモートアクセスを許可したい場合はコンフィグレーションでアクセス許可の指定を行ってください。 4. VRF <vrf id> からのリモートアクセスを許可している場合はコンフィグレーションに誤りがある可能性があります。コンフィグレーションをチェックしてください。 5. VRF <vrf id> からのリモートアクセスを許可したい場合はコンフィグレーションでアクセス許可の指定を行ってください。				
2	E3	ACCESS	00000002	0201 0205 0207	**Login incorrect <user name>.**
	<user name> のアカウントでログインしようとしましたが，ログインを許可しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <user name>　ユーザ名 [対応] 1. 本装置に対してコンソールまたはコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセス（アカウント，パスワード認証で失敗）が行われた可能性があります。コンソールまたはコンフィグレーションで許可したリモートホストの運用状況を確認してください。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作をした場合にも収集されます。したがって，このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。 3. 本装置に adduser コマンドにより登録済みのアカウントかどうかを確認してください。 （確認方法：ls /usr/home でホームディレクトリがあるか確認）				
3	E3	ACCESS	00000003	0201 0205 0207	**Login refused for too many users logged in.**
	telnet または SSH で接続しようとしましたが，ログインユーザ数をオーバしたため，接続を許可しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 現在ログインしているユーザ数を確認してください。 2. 必要であれば，コンフィグレーションでログインできるユーザ数の制限を増加させてください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
4	E3	ACCESS	00005002	0200	**Login <user name> from <host> [on VRF <vrf id>] (<term>).**
	ユーザがログインしました。 [メッセージテキストの表示説明] <user name>　ユーザ名 <host>　ホスト識別子 • リモート運用端末の場合：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス • コンソール端末の場合：console • AUX 端末の場合：aux <vrf id>　VRF ID <term>　端末名 • リモート運用端末の場合：ttyp0 ～ • コンソール端末の場合：tty00 • AUX 端末の場合：tty01 [対応] なし。				
5	E3	ACCESS	00005003	0200	**Logout <user name> from <host> [on VRF <vrf id>] (<term>).**
	ユーザがログアウトしました。 [メッセージテキストの表示説明] <user name>　ユーザ名 <host>　ホスト識別子 • リモート運用端末の場合：IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス • コンソール端末の場合：console • AUX 端末の場合：aux <vrf id>　VRF ID <term>　端末名 • リモート運用端末の場合：ttyp0 ～ • コンソール端末の場合：tty00 • AUX 端末の場合：tty01 [対応] なし。				
6	E3	ACCESS	00010001	0204	**SNMP agent program received packet from <ip address>[on VRF <vrf id>] with unexpected community name <community name>.**
	SNMP エージェントは，<ip address> から，期待していないコミュニティ名 <community name> のパケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address>　SNMP マネージャの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID <community name>　コミュニティ名 [対応] 本装置に対してコンフィグレーションで許可している SNMP マネージャ以外からアクセスが行われました。このメッセージは，SNMP マネージャの IP アドレスとコミュニティ名がコンフィグレーションで許可している SNMP マネージャの IP アドレスとコミュニティ名と一致していない場合に出力します。本装置にアクセスする SNMP マネージャの IP アドレスとコミュニティ名が <ip address> と <community name> に一致しているかコンフィグレーションを確認してください。一致していない場合，不正なアクセスが行われている可能性があります。<ip address> の SNMP マネージャに対して，アクセスしないよう SNMP マネージャの管理者に連絡してください。 本装置では不正な IP アドレスまたはコミュニティからのアクセスに対して，運用ログの連続出力を抑止しています。最大 16 個の不正アクセス IP アドレス情報を保持し，保持されている IP アドレスからの不正アクセスログは 128 回に 1 回出力します。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
7	E3	ACCESS	00020001	0206	**Login incorrect <user name> for AUX port.**
	<user name> のアカウントで AUX ポート経由の PPP リンクを確立しようとしましたが，許可しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <user name>　ユーザ名 [対応] 1. AUX ポートに対する PPP アクセス時に，不正なアクセス（アカウント，パスワード認証で失敗）が行われた可能性があります。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作をした場合にも収集されます。したがって，このログが収集されても運用状況に問題がない場合もあります。				
8	E3	ACCESS	00020002	0206	**AUX port no Configuration.**
	interface async コンフィグレーションが未設定のため，AUX ポート経由のリンクを確立できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] interface async コンフィグレーションを確認してください。				
9	E3	ACCESS	00030001	0201 0205 0207 0208 0209	**Local authentication succeeded.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，ローカル認証を行い認証に成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
10	E3	ACCESS	00030002	0201 0205 0207 0208 0209	**Local authentication failed.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，ローカル認証を行い認証に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセスが行われた可能性があります。リモートホストの運用状況を確認してください。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作（パスワード入力間違いなど）をした場合にも収集されます。したがって，このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。				
11	E3	ACCESS	00030003	0201 0205 0207 0208 0209	**RADIUS authentication accepted from <host>.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，RADIUS 認証を行い認証に成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
12	E3	ACCESS	00030004	0201 0205 0207 0208 0209	**RADIUS authentication rejected from <host>. "<message>"**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，RADIUS 認証を行いましたが，RADIUS サーバによって否認されました。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 <message>　RADIUS サーバからの応答メッセージ [対応] 1. 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセスが行われた可能性があります。リモートホストの運用状況を確認してください。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作（パスワード入力間違いなど）をした場合にも収集されます。したがって，このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。 3. RADIUS サーバの設定を確認してください。				
13	E3	ACCESS	00030005	0201 0205 0207 0208 0209	**RADIUS server (<host>) didn't response.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，RADIUS 認証を行おうとしましたが，RADIUS サーバが応答を返しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. RADIUS サーバの IP アドレスが誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 2. RADIUS サーバのポート番号が誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 3. RADIUS サーバが起動していることを確認してください。 4. RADIUS サーバ側のクライアント IP アドレスに本装置の IP アドレスが登録されていることを確認してください。				
14	E3	ACCESS	00030006	0201 0205 0207 0208 0209	**RADIUS server configuration is not defined.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，RADIUS 認証を行おうとしましたが，RADIUS サーバに関するコンフィグレーションがありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. RADIUS コンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2. RADIUS コンフィグレーションで，acct-only が指定され認証が抑止されていないか確認してください。				
15	E3	ACCESS	00030007	0201 0205 0207 0208 0209	**Invalid response received from <host>.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，RADIUS/TACACS+ 認証を行いましたが，RADIUS/TACACS+ サーバからの応答が不正でした。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　RADIUS/TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] RADIUS/TACACS+ 鍵が本装置と RADIUS/TACACS+ サーバ間で一致していることを確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
16	E3	ACCESS	00030008	0201 0205 0207 0208 0209	**RADIUS authentication failed.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，RADIUS 認証を行い認証に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本メッセージの他に RADIUS 認証に関する運用ログが出力されている場合は，そのメッセージを参照してください。				
17	E3	ACCESS	0003000a	0201 0205 0207 0208 0209	**Can't communicate with RADIUS server (<host>).**
	RADIUS サーバと通信できません。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. RADIUS サーバまでの経路があることを確認してください。 2. RADIUS サーバをホスト名で指定している場合は，名前解決ができることを確認してください。				
18	E3	ACCESS	0003000b	0201 0207 0208	**RADIUS authorization response with no contents.**
	RADIUS コマンド承認を行いましたが，RADIUS サーバから正常に取得できたコマンドリストが一つもありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] RADIUS サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）に Class，Alaxala-Allow-Commands，Alaxala-Deny-Commands が正しく設定されていることを確認してください。				
19	E3	ACCESS	00030013	0201 0205 0207 0208 0209	**TACACS+ authentication accepted from <host>.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，TACACS+ 認証を行い認証に成功しました。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
20	E3	ACCESS	00030014	0201 0205 0207 0208 0209	**TACACS+ authentication rejected from <host>.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，TACACS+ 認証を行いましたが，TACACS+ サーバにより否認されました。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正なアクセスが行われた可能性があります。リモートホストの運用状況を確認してください。 2. 本ログは正規のユーザがログイン時に誤った操作（パスワード入力間違いなど）をした場合にも収集されます。したがって，本ログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がない場合もあります。 3. TACACS+ サーバの設定を確認してください。				
21	E3	ACCESS	00030015	0201 0205 0207 0208 0209	**TACACS+ server (<host>) didn't response.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，TACACS+ 認証，コマンド承認（TACACS+ コンフィグレーションでコマンド承認指定有りの場合）を行おうとしましたが，TACACS+ サーバが応答を返しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. TACACS+ サーバの IP アドレスが誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 2. TACACS+ サーバが起動していることを確認してください。				
22	E3	ACCESS	00030016	0201 0205 0207 0208 0209	**TACACS+ server configuration is not defined.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，TACACS+ 認証を行おうとしましたが，TACACS+ サーバに関するコンフィグレーションがありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. TACACS+ コンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2. TACACS+ コンフィグレーションで，acct-only が指定され認証が抑止されていないか確認してください。				
23	E3	ACCESS	00030018	0201 0205 0207 0208 0209	**TACACS+ authentication failed.**
	ユーザからのログイン要求または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対し，TACACS+ 認証を行い認証に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 他に TACACS+ 認証に関する運用ログが出力されている場合は，そのメッセージを参照してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
24	E3	ACCESS	0003001a	0201 0205 0207 0208 0209	**Can't communicate with TACACS+ server (<host>).**
	TACACS+ サーバと通信できません。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. TACACS+ サーバまでの経路があることを確認してください。 2. TACACS+ サーバをホスト名で指定している場合は，名前解決ができることを確認してください。 3. TACACS+ サーバのポート番号が誤っていないかコンフィグレーションを確認してください。 4. TACACS+ サーバが起動していることを確認してください。 5. TACACS+ サーバ側のクライアント IP アドレスに本装置の IP アドレスが登録されていることを確認してください。				
25	E3	ACCESS	0003001b	0201 0207 0208	**TACACS+ authorization response with no contents.**
	TACACS+ コマンド承認を行いましたが，TACACS+ サーバから正常に取得できたコマンドリストが一つもありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] TACACS+ サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）に class，allow-commands，deny-commands が正しく設定してあることを確認してください。				
26	E3	ACCESS	0003001c	0201 0207 0208	**TACACS+ authorization rejected from <host>.**
	TACACS+ コマンド承認を行いましたが，TACACS+ サーバにより否認されました。 [メッセージテキストの表示説明] <host>　TACACS+ サーバの IP アドレスまたはホスト名 [対応] 1. TACACS+ サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）の service 名が正しいことを確認してください。 2. TACACS+ サーバ側のその他の設定を確認してください。				
27	E3	ACCESS	0003001d	0201 0207 0208	**Local authorization response with no contents.**
	ローカルコマンド承認を行いましたが，ユーザ名とユーザ名に対応したコマンドクラスまたはコマンドリストの設定がありませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ローカルログインで認証されたユーザに，コマンドクラス（username view-class）またはコマンドリスト（username view・parser view・commands exec）が正しく設定されていることを確認してください。				

3.3　プロトコル

3.3.1　イベント発生部位＝ IP

イベント発生部位 =IP の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-3　イベント発生部位 =IP の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E4	IP	2b080b50	0600	**Multicast routing entries was beyond 80 percent at total interface capacity.**
	マルチキャスト経路情報の総インタフェース数が本装置の収容条件の 80% を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 今後，経路情報のインタフェース数を増加する場合は，総インタフェース数が収容条件を超えないように注意してください。				
2	E4	IP	2b080b51	0600	**Multicast routing entries exceeded capacity at total interface capacity.**
	マルチキャスト経路情報の総インタフェース数が本装置の収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show ip mroute コマンドおよび show ipv6 mroute コマンドで，現在のマルチキャスト経路情報の総インタフェース数が本装置の収容条件を超えていないか確認してください。 収容条件を超えている場合は，次に示す対応を行ってください。 1. マルチキャスト経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し，マルチキャスト経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。				
3	E4	IP	2b090b00	0600	**IPv4 unicast routing entries was beyond 80 percent of capacity.**
	IPv4 ユニキャストルーティングエントリ数が収容条件の 80% を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IPv4 ユニキャストルーティングエントリ（ARP 含む）の使用量が収容条件の 80% を超えたので注意してください。 収容条件を超えない運用をしてください。				
4	E4	IP	2b090b01	0600	**IPv4 unicast routing entries exceeded capacity.**
	IPv4 ユニキャストルーティングエントリ数が収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IPv4 ユニキャストルーティングエントリの資源は，IPv4 ユニキャストルーティングエントリと ARP エントリで使用します。 show system コマンドで，IPv4 ユニキャストルーティングエントリの使用量が装置の収容条件に達していないか確認してください。 収容条件に達している場合は，システム構成を見直してください。 上記を実施してもエントリ数が減らない場合は，clear ip route コマンドですべての経路情報を更新してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
5	E4	IP	2b090b10	0600	**IPv6 unicast routing entries was beyond 80 percent of capacity.**
	IPv6 ユニキャストルーティングエントリ数が収容条件の 80% を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IPv6 ユニキャストルーティングエントリ（NDP 含む）の使用量が収容条件の 80% を超えたので注意してください。 収容条件を超えない運用をしてください。				
6	E4	IP	2b090b11	0600	**IPv6 unicast routing entries exceeded capacity.**
	IPv6 ユニキャストルーティングエントリ数が収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IPv6 ユニキャストルーティングエントリの資源は，IPv6 ユニキャストルーティングエントリと NDP エントリで使用します。 show system コマンドで，IPv6 ユニキャストルーティングエントリの使用量が装置の収容条件に達していないか確認してください。 収容条件に達している場合は，システム構成を見直してください。 上記を実施してもエントリ数が減らない場合は，clear ipv6 route コマンドですべての経路情報を更新してください。				
7	E4	IP	2b090b20	0600	**IPv4 multicast routing entries was beyond 80 percent of capacity.**
	IPv4 マルチキャスト経路情報のエントリ数が本装置の収容条件の 80% を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 今後，経路情報のエントリ数を増加する場合は，エントリ数が収容条件を超えないように注意してください。				
8	E4	IP	2b090b21	0600	**IPv4 multicast routing entries exceeded capacity.**
	IPv4 マルチキャスト経路情報のエントリ数が本装置の収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show system コマンドで，現在の IPv4 マルチキャスト経路情報のエントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。 収容条件を超えている場合は，次に示す対応を行ってください。 1. IPv4 マルチキャスト経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し，IPv4 マルチキャスト経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。				
9	E4	IP	2b090b30	0600	**IPv6 multicast routing entries was beyond 80 percent of capacity.**
	IPv6 マルチキャスト経路情報のエントリ数が本装置の収容条件の 80% を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 今後，経路情報のエントリ数を増加する場合は，エントリ数が収容条件を超えないように注意してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
10	E4	IP	2b090b31	0600	**IPv6 multicast routing entries exceeded capacity.**
	IPv6 マルチキャスト経路情報のエントリ数が本装置の収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show system コマンドで，現在の IPv6 マルチキャスト経路情報のエントリ数が収容条件を超えていないか確認してください。 収容条件を超えている場合は，次に示す対応を行ってください。 1. IPv6 マルチキャスト経路情報に不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し，IPv6 マルチキャスト経路情報を削減できるようなシステム構成に変更してください。				
11	E4	IP	50000003	0600	**Duplication of IPv4 address <ipv4 address> with the node of MAC address <mac address> was detected.**
	IPv4 アドレス <ipv4 address> が，MAC アドレス <mac address> を持つ装置と競合しています。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv4 address>　本装置のインタフェースに設定した IPv4 アドレス <mac address>　上記 IPv4 アドレスとの重複を検出した装置の MAC アドレス [対応] 1. 自 IPv4 アドレスまたは MAC アドレス <mac address> を持つ装置の IPv4 アドレスを変更してください。 2. VRRP 使用時，CPU の負荷が高い状況では，本メッセージが頻発する場合があります。その場合には，該当 VRRP を構成している装置間で，VRRP コンフィグレーションの timers advertise の値を大きくしてください。				
12	E4	IP	50000006	0600	**Because the number of pieces of the ARP entry exceeds the capacity of this system, the old entry was deleted and the new entry was added.**
	ARP テーブルのエントリ数が本装置の収容条件を超えたため，古いエントリを削除して，新しいエントリを追加しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本メッセージが頻発する場合は，次に示す対応を行ってください。 1. arp コンフィグレーションに不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は，clear arp-cache コマンドを実行し，エントリを削除してください。 3. ネットワークシステム構成を見直し，ARP テーブルのエントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。				
13	E4	IP	50000007	0600	**Because the number of pieces of the ARP entry exceeds the capacity of <vrf>, the old entry was deleted and the new entry was added.**
	<vrf> で ARP テーブルのエントリ数が VRF ごとの上限値を超えたため，古いエントリを削除して，新しいエントリを追加しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf>　ARP 上限値を超えた VRF • VRF <vrf id>　VRF ID が <vrf id> の VRF • global network　グローバルネットワーク [対応] 本メッセージが頻発する場合は，次に示す対応を行ってください。 1. arp コンフィグレーションに不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は，clear arp-cache コマンドを実行し，エントリを削除してください。 3. ネットワークシステム構成を見直し，ARP テーブルのエントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
14	E4	IP	60000002	0600	**Because the number of pieces of the NDP entry exceeds the capacity of this system, the old entry was deleted and the new entry was added.**
	NDP テーブルのエントリ数が本装置の収容条件を超えたため，古いエントリを削除して，新しいエントリを追加しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本メッセージが頻発する場合は，次に示す対応を行ってください。 1. ndp コンフィグレーションに不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は，clear ipv6 neighbors コマンドを実行し，エントリを削除してください。 3. ネットワークシステム構成を見直し，NDP テーブルのエントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。				
15	E4	IP	60000003	0600	**Duplication of IPv6 address <ipv6 address> with the node of MAC address <mac address> was detected.**
	アドレス重複検出処理で IPv6 アドレスの重複を検出しました。本装置に設定した <ipv6 address> が，<mac address> の装置と競合しています。自装置の <ipv6 address> は使用不能となります。使用不能状態となった IPv6 アドレスは変更もしくは削除後，再設定するまで使用できなくなります。アドレス重複により使用不能となっているアドレスは，show ipv6 interface コマンドで確認してください。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv6 address>　アドレス重複検出によって使用不能となった本装置のインタフェースの IPv6 アドレス <mac address>　アドレス重複検出によって検出されたアドレスが重複している装置の MAC アドレス [対応] 1. 本装置に設定した <ipv6 address> が誤っている場合は，本装置の <ipv6 address> を変更してください。 2. 他装置の <ipv6 address> が誤っている場合は，競合している他装置の <ipv6 address> を修正してください。その後，本装置の <ipv6 address> を削除し，再設定してください。 3. VRRP 使用時，CPU の負荷が高い状況では，本メッセージが頻発する場合があります。その場合には，該当 VRRP を構成している装置間で，VRRP コンフィグレーションの timers advertise の値を大きくしてください。				
16	E4	IP	60000004	0600	**Because the number of pieces of the NDP entry exceeds the capacity of <vrf>, the old entry was deleted and the new entry was added.**
	<vrf> で NDP テーブルのエントリ数が VRF ごとの上限値を超えたため，古いエントリを削除して，新しいエントリを追加しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf>　NDP 上限値を超えた VRF • VRF <vrf id>　VRF ID が <vrf id> の VRF • global network　グローバルネットワーク [対応] 本メッセージが頻発する場合は，次に示す対応を行ってください。 1. ndp コンフィグレーションに不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は，clear ipv6 neighbors コマンドを実行し，エントリを削除してください。 3. ネットワークシステム構成を見直し，NDP テーブルのエントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。				

3.3.2　イベント発生部位＝ VLAN

イベント発生部位 =VLAN の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-4　イベント発生部位 =VLAN の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	VLAN	20110002	0700	**STP(<mode>): This bridge becomes the Root Bridge.**
	本装置がルートブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID [対応] なし。				
2	E3	VLAN	20110003	0700	**STP(<mode>): This bridge becomes the Designated Bridge.**
	本装置が指定ブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID [対応] なし。				
3	E3	VLAN	20110006	0700	**STP(<mode>): Topology change detected - BPDU Timeout detected on the root port(<nif no.>/<port no.>).**
	ルートポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
4	E3	VLAN	20110007	0700	**STP(<mode>): Topology change detected - Topology Change Notification BPDU received on the port(<nif no.>/<port no.>).**
	トポロジ変更 BPDU を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST　マルチプルスパニングツリー <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
5	E3	VLAN	20110011	0700	**STP(<mode>): Spanning Tree Protocol enabled - BPDU received on the Port Fast(<nif no.>/<port no.>).**
	PortFast 機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，スパニングツリー対象ポートになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST　マルチプルスパニングツリー <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
6	E3	VLAN	20110012	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the root port(ChGr:<channel group number>).**
	ルートポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
7	E3	VLAN	20110013	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - Topology Change Notification BPDU received on the port(ChGr:<channel group number>).**
	トポロジ変更 BPDU を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST　マルチプルスパニングツリー <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
8	E3	VLAN	20110014	0700	**STP (<mode>) : Spanning Tree Protocol enabled - BPDU received on the Port Fast(ChGr:<channel group number>).**
	PortFast 機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，スパニングツリー対象ポートになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST　マルチプルスパニングツリー <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
9	E3	VLAN	20110022	0700	**STP : Cleared MAC Address Table entry.**
	トポロジ変更 BPDU を受信したため，MAC Address Table のエントリをクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
10	E3	VLAN	20110023	0700	**STP(<mode>): Topology change detected - BPDU Timeout detected on the alternate port(<nif no.>/<port no.>).**
	代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
11	E3	VLAN	20110024	0700	**STP(<mode>): Topology change detected - BPDU Timeout detected on the backup port(<nif no.>/<port no.>).**
	バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
12	E3	VLAN	20110025	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the alternate port(ChGr:<channel group number>).**
	代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
13	E3	VLAN	20110026	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the backup port(ChGr:<channel group number>).**
	バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
14	E3	VLAN	20110027	0700	**STP(MST): This bridge becomes the CIST Root Bridge.**
	本装置が CIST ルートブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
15	E3	VLAN	20110028	0700	**STP(CIST): This bridge becomes the CIST Regional Root Bridge.**
	本装置が CIST 内部ルートブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
16	E3	VLAN	20110029	0700	**STP(MST Instance <mst instance id>): This bridge becomes the MSTI Regional Root Bridge.**
	本装置が MSTI 内部ルートブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mst instance id>　MST インスタンス ID [対応] なし。				
17	E3	VLAN	20110031	0700	**STP(CIST): This bridge becomes the CIST Regional Designated Bridge.**
	本装置が CIST 内部指定ブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
18	E3	VLAN	20110032	0700	**STP(MST Instance <mst instance id>): This bridge becomes the MSTI Regional Designated Bridge.**
	本装置が MSTI 内部指定ブリッジになりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mst instance id>　MST インスタンス ID [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
19	E3	VLAN	20110042	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the root port(VLID:<link id>).**
	ルートポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <link id>　仮想リンク ID [対応] 回線の状態を確認してください。				
20	E3	VLAN	20110043	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - Topology Change Notification BPDU received on the port(VLID:<link id>).**
	トポロジ変更 BPDU を受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <link id>　仮想リンク ID [対応] 回線の状態を確認してください。				
21	E3	VLAN	20110044	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the alternate port(VLID:<link id>).**
	代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <link id>　仮想リンク ID [対応] 回線の状態を確認してください。				
22	E3	VLAN	20110045	0700	**STP (<mode>) : Topology change detected - BPDU Timeout detected on the backup port(VLID:<link id>).**
	バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <link id>　仮想リンク ID [対応] 回線の状態を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
23	E3	VLAN	20130019	0700	**MAC Address Table entry cleared, because flush request received on port <port list>, Source MAC address <mac address>.**
	Flush Request フレームを受信し，MAC アドレステーブルをクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] <port list>　ポート番号の範囲 <mac address>　フレーム送信元の装置 MAC アドレス [対応] なし。				
24	E3	VLAN	21100001	0700	**IGMP snooping: IGMP querier changed on VLAN <vlan id> - lost IGMP querier address <ipv4 address>.**
	VLAN <vlan id> 上の IGMP クエリア <ipv4 address> からの広告（IGMP Query）がなくなったため，IGMP クエリア情報を削除しました。IPv4 マルチキャストグループメンバー（受信ホスト）の有無を正しく確認できないため，IPv4 マルチキャストデータ中継が正しく行われません。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <ipv4 address>　IPv4 アドレス [対応] 1. IGMP クエリア <ipv4 address> との接続を確認してください。 2. メッセージ識別子が 21100002 である IGMP クエリア変更メッセージが出力されているか確認してください。 3. IGMP クエリアとの接続が確認できない場合は，コンフィグレーションコマンド ip igmp snooping querier を実行して本装置の IGMP クエリア機能を有効にしてください。				
25	E3	VLAN	21100002	0700	**IGMP snooping: IGMP querier changed on VLAN <vlan id> - new IGMP querier address <ipv4 address>.**
	VLAN <vlan id> 上に新たな IGMP クエリアを確認したため，IGMP クエリアを <ipv4 address> に変更しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <ipv4 address>　IPv4 アドレス [対応] なし。				
26	E3	VLAN	21100003	0700	**IGMP snooping: IPv4 address not defined on VLAN <vlan id>,IGMP querier function stopped.**
	VLAN <vlan id> 上の IGMP クエリアは IPv4 アドレスが設定されていないため停止しています。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID [対応] 1. 該当 VLAN に IPv4 アドレスを設定してください。 2. show igmp-snooping コマンドを実行し，該当 VLAN に設定した IPv4 アドレスが表示されるか確認してください。				
27	E3	VLAN	21100004	0700	**IGMP snooping:The number of the IGMP snooping entry exceeded the capacity of this system.**
	IGMP snooping で使用している学習エントリ数が装置の収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IGMP snooping で使用している学習エントリ数が，装置の収容条件に達していないか確認してください。装置の収容条件は，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」の各機種の「IGMP snooping/MLD snooping」で確認してください。 収容条件に達している場合は，エントリ数を削減できるようシステム構成を見直してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
28	E3	VLAN	21200001	0700	**MLD snooping: MLD querier changed on VLAN <vlan id> - lost MLD querier address <ipv6 address>.**
	VLAN <vlan id> 上の MLD クエリア <ipv6 address> からの広告（MLD Query）がなくなったため，MLD クエリア情報を削除しました。IPv6 マルチキャストグループリスナ（受信ホスト）の有無を正しく確認できないため，IPv6 マルチキャストデータ中継が正しく行われません。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <ipv6 address>　IPv6 アドレス [対応] 1. MLD クエリア <ipv6 address> との接続を確認してください。 2. メッセージ識別子が 21200002 である MLD クエリア変更メッセージが出力されているか確認してください。 3. MLD クエリアとの接続が確認できない場合は，コンフィグレーションコマンド ipv6 mld snooping querier を実行して本装置の MLD クエリア機能を有効にしてください。				
29	E3	VLAN	21200002	0700	**MLD snooping: MLD querier changed on VLAN <vlan id> - new MLD querier address <ipv6 address>.**
	VLAN <vlan id> 上に新たな MLD クエリアを確認したため，MLD クエリアを <ipv6 address> に変更しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <ipv6 address>　IPv6 アドレス [対応] なし。				
30	E3	VLAN	21200003	0700	**MLD snooping: IPv6 address not defined on VLAN <vlan id>,MLD querier function stopped.**
	VLAN <vlan id> 上の MLD クエリアは IPv6 アドレスが設定されていないため停止しています。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID [対応] 1. 該当 VLAN に IPv6 アドレスを設定してください。 2. show mld-snooping コマンドを実行し，該当 VLAN に設定した IPv6 アドレスが表示されるか確認してください。				
31	E3	VLAN	21200004	0700	**MLD snooping:The number of the MLD snooping entry exceeded the capacity of this system.**
	MLD snooping で使用している学習エントリ数が装置の収容条件を超えています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MLD snooping で使用している学習エントリ数が，装置の収容条件に達していないか確認してください。装置の収容条件は，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」の各機種の「IGMP snooping/MLD snooping」で確認してください。 収容条件に達している場合は，エントリ数を削減できるようシステム構成を見直してください。				
32	E3	VLAN	25100016	0700	**The memory of the nimd is a tendency of lack.**
	ネットワークインタフェース管理プログラム内のメモリが不足傾向です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] メモリ不足解消のメッセージが出力されるまで，コンフィグレーションやネットワーク構成を変更しないでください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
33	E3	VLAN	25100017	0700	**The memory of the nimd recovered from a tendency of lack.**
	ネットワークインタフェース管理プログラム内のメモリ不足が解消されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
34	E3	VLAN	25100018	0700	**Because of the memory of the nimd is a lack, the nimd may not operate normally.**
	メモリ不足のため，ネットワークインタフェース管理プログラムが正常に動作しない可能性があります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] restart vlan コマンドで，ネットワークインタフェース管理プログラムを再起動してください。				
35	E3	VLAN	2510001b	0700	**Sum of number of VLAN on ports exceeded capacity..**
	ポートごと VLAN 数の合計が装置の収容条件を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 次に示す処置のどれかを行ってください。 • ポートごと VLAN 数の合計が収容条件内のコンフィグレーションファイルを，copy コマンドでランニングコンフィグレーションファイルに反映する。 • ポートごと VLAN 数の合計を収容条件内に変更し，restart vlan コマンドを実行する。 • ポートごと VLAN 数の合計を収容条件内に変更し，装置を再起動する。				
36	E4	VLAN	20110008	0700	**STP(<mode>): Port status becomes Forwarding on the port(<nif no.>/<port no.>).**
	ポートがフォワーディング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				
37	E4	VLAN	20110009	0700	**STP(<mode>): Port status becomes Blocking on the port(<nif no.>/<port no.>).**
	ポートがブロッキング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
38	E4	VLAN	20110010	0700	**STP(<mode>): Port status becomes Down- BPDU received on the BPDU GUARD port(<nif no.>/<port no.>).**
	BPDU ガード機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，ポートを DOWN させました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST　マルチプルスパニングツリー <nif no.>/<port no.>：NIF 番号 / ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
39	E4	VLAN	20110015	0700	**STP (<mode>) : Port status becomes Forwarding on the port(ChGr:<channel group number>).**
	ポートがフォワーディング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
40	E4	VLAN	20110016	0700	**STP (<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(ChGr:<channel group number>).**
	ポートがブロッキング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
41	E4	VLAN	20110017	0700	**STP (<mode>) : Port status becomes Down- BPDU received on the BPDU GUARD port(ChGr:<channel group number>).**
	BPDU ガード機能を設定しているポートで BPDU を受信したため，ポートを DOWN させました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • MST　マルチプルスパニングツリー <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>付加情報上位 4 桁</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="5">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">42</td><td>E4</td><td>VLAN</td><td>20110039</td><td>0700</td><td>STP : Exceeded the number of the maximum spanning tree.</td></tr>
<tr><td colspan="5">スパニングツリーで収容できるツリー数を超えました。今後はツリーの追加ができません。
[メッセージテキストの表示説明]
なし。
[対応]
ネットワーク構成を見直すか，シングルスパニングツリーまたはマルチプルスパニングツリーを使用してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">43</td><td>E4</td><td>VLAN</td><td>20110040</td><td>0700</td><td>STP (<mode>) : Port status becomes Blocking - BPDU that priority is high was received on the ROOT GUARD port(<nif no.>/<port no.>).</td></tr>
<tr><td colspan="5">ルートガード機能を設定しているポートで優先度の高い BPDU を受信したため，Blocking にしました。
[メッセージテキストの表示説明]
<mode>　スパニングツリー種別
• single　シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID
<nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号
[対応]
対向装置の設定を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">44</td><td>E4</td><td>VLAN</td><td>20110041</td><td>0700</td><td>STP (<mode>) : Port status becomes Blocking - BPDU that priority is high was received on the ROOT GUARD port(ChGr:<channel group number>).</td></tr>
<tr><td colspan="5">ルートガード機能を設定しているポートで優先度の高い BPDU を受信したため，Blocking にしました。
[メッセージテキストの表示説明]
<mode>　スパニングツリー種別
• single　シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID
<channel group number>　チャネルグループ番号
[対応]
対向装置の設定を確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">45</td><td>E4</td><td>VLAN</td><td>20110047</td><td>0700</td><td>STP (<mode>) : Port status becomes Forwarding on the port(VLID:<link id>).</td></tr>
<tr><td colspan="5">ポートがフォワーディング状態になりました。
[メッセージテキストの表示説明]
<mode>　スパニングツリー種別
• single　シングルスパニングツリー
• PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID
• CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST）
• MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID
<link id>　仮想リンク ID
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
46	E4	VLAN	20110048	0700	**STP (<mode>) : Port status becomes Blocking on the port(VLID:<link id>).**
	ポートがブロッキング状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <mode>　スパニングツリー種別 • single　シングルスパニングツリー • PVST+:VLAN <vlan id>　PVST+ スパニングツリーおよび VLAN ID • CIST　マルチプルスパニングツリー（CIST） • MST Instance <mst instance id>　マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID <link id>　仮想リンク ID [対応] なし。				
47	E4	VLAN	21100005	0700	**The IGMP snooping entry can't be registered at hardware tables.**
	IGMP snooping エントリが MAC アドレステーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MAC アドレステーブルの使用量の合計が，装置の収容条件に達していないか確認してください。show system コマンドで MAC アドレステーブルの使用状況を確認できます。 収容条件に達している場合は，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」の各機種の「MAC アドレステーブル」の記述を参照し，システム構成を見直してください。				
48	E4	VLAN	21200005	0700	**The MLD snooping entry can't be registered at hardware tables.**
	MLD snooping エントリが MAC アドレステーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MAC アドレステーブルの使用量の合計が，装置の収容条件に達していないか確認してください。show system コマンドで MAC アドレステーブルの使用状況を確認できます。 収容条件に達している場合は，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」の各機種の「MAC アドレステーブル」の記述を参照し，システム構成を見直してください。				
49	E4	VLAN	25100001	0700	**VLAN (<vlan id>) Status is Up.**
	VLAN 状態が UP 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID [対応] なし。				
50	E4	VLAN	25100002	0700	**VLAN (<vlan id>) Status is Down.**
	VLAN 状態が DOWN 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID [対応] VLAN に属している各回線の状態を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
51	E4	VLAN	25100007	0700	**Protocol based VLAN (<vlan id>) registration failed on the port(<nif no.>/<port no.>).**
	プロトコル VLAN を設定できませんでした。ポートに設定済みのプロトコルを指定しているほかの VLAN を重複して設定しようとしています。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] システム構成を見直してください。				
52	E4	VLAN	25100012	0700	**The number of learning MAC addresses exceeded the configured number on the port(<nif no.>/<port no.>).**
	MAC アドレス学習数がコンフィグレーションの制限値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				
53	E4	VLAN	25100013	0700	**The number of learning MAC addresses exceeded the configured number on the Channel Group (ChGr:<channel group number>).**
	MAC アドレス学習数がコンフィグレーションの制限値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
54	E4	VLAN	25100014	0700	**The number of learning MAC addresses exceeded the configured number on the VLAN(<vlan id>).**
	MAC アドレス学習数がコンフィグレーションの制限値を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID [対応] なし。				
55	E4	VLAN	25100015	0700	**MAC address table entries exceeded capacity.**
	MAC アドレステーブルのエントリ数が装置の収容条件を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MAC アドレステーブルの使用量の合計が，装置の収容条件に達していないか確認してください。show system コマンドで MAC アドレステーブルの使用状況を確認できます。 収容条件に達している場合は，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」の各機種の「MAC アドレステーブル」の記述を参照し，システム構成を見直してください。				
56	E4	VLAN	25100019	0700	**The vlan mapping entry can't be registered at VLAN classification table (VLAN <vlan id>, port(<nif no.>/<port no.>)).**
	Tag 変換情報エントリを VLAN 識別テーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] 設定できなかった Tag 変換情報エントリを削除し，VLAN 識別テーブルの不要なエントリを削除してから，再度 Tag 変換情報エントリを設定してください。VLAN 識別テーブルの収容条件については，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」を参照してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
57	E4	VLAN	2510001a	0700	**The protocol based VLAN can't be registered at VLAN classification table (VLAN <vlan id>, port(<nif no.>/<port no.>)).**
	プロトコルポートへのプロトコル VLAN 設定時，プロトコル VLAN エントリを VLAN 識別テーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] 設定できなかったプロトコル VLAN エントリを削除し，VLAN 識別テーブルの不要なエントリを削除してから，再度プロトコル VLAN 情報エントリを設定してください。VLAN 識別テーブルの収容条件については，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」を参照してください。				
58	E4	VLAN	2510001b	0700	**Sum of number of VLAN on ports exceeded capacity.**
	ポートごと VLAN 数の合計が装置の収容条件を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 次に示す処置のどれかを行ってください。 1. ポートごと VLAN 数の合計が収容条件内のコンフィグレーションファイルを，copy コマンドで running-config ファイルに反映してください。 2. ポートごと VLAN 数の合計を収容条件内に変更し，restart vlan コマンドを実行してください。 3. ポートごと VLAN 数の合計を収容条件内に変更し，装置を再起動してください。				
59	E4	VLAN	2510001c	0700	**MAC address table entries was beyond 80 percent of capacity.**
	MAC アドレステーブルのエントリ数が装置の収容条件の 80% を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MAC アドレステーブルの使用量が収容条件の 80% を超えたので注意してください。収容条件を超えない運用をしてください。				
60	E4	VLAN	2510001e	0700	**VLAN classification table entries was beyond 80 percent of capacity.**
	VLAN 識別テーブルエントリが装置の収容条件の 80% を超えました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VLAN 識別テーブルのエントリ数が収容条件を超えないよう注意してください。VLAN 識別テーブルの収容条件については，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」を参照してください。				
61	E4	VLAN	2510001f	0700	**The static MAC address entry can't be registered at MAC address table. (VLAN <vlan id>, mac <mac>)**
	スタティック MAC アドレスを MAC アドレステーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <mac>　MAC アドレス [対応] MAC アドレステーブルの使用量の合計が，装置の収容条件に達していないか確認してください。show system コマンドで MAC アドレステーブルの使用状況を確認できます。 収容条件に達している場合は，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」の各機種の「MAC アドレステーブル」の記述を参照し，システム構成を見直してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
62	E4	VLAN	25100020	0700	**The no MAC address table learning entry can't be registered at MAC address table. (VLAN <vlan id>)**
	MAC アドレス学習抑止機能に必要なエントリを MAC アドレステーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID [対応] MAC アドレステーブルの使用量の合計が，装置の収容条件に達していないか確認してください。show system コマンドで MAC アドレステーブルの使用状況を確認できます。 収容条件に達している場合は，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」の各機種の「MAC アドレステーブル」の記述を参照し，システム構成を見直してください。				
63	E4	VLAN	25100021	0700	**The vlan-protocol <protocol name> registration failed on the VLAN <vlan id>.**
	プロトコル VLAN へのプロトコルの設定が失敗しました。ポートに設定済みのプロトコルを重複して設定しようとしています。 [メッセージテキストの表示説明] <protocol name>　追加しようとしたプロトコル名称 <vlan id>　VLAN ID [対応] 「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」を参照し，システム構成を見直してください。				
64	E4	VLAN	25100022	0700	**Protocol <frame type> registration failed on the vlan-protocol <protocol name>.**
	VLAN プロトコル用のプロトコル値の設定が失敗しました。ポートに設定済みのプロトコルを重複して設定しようとしています。 [メッセージテキストの表示説明] <frame type>　追加しようとしたプロトコルのフレーム種別 • ethertype <hex>　EthrenetV2 形式フレームの EtherType 値 • llc <hex>　802.3 形式フレームの LLC 値（DSAP，SSAP） • snap-ethertype <hex>　802.3 形式フレームの EtherType 値 <protocol name>　プロトコル名称 [対応] システム構成を見直してください。				
65	E4	VLAN	25100023	0700	**The vlan mapping entry can't be registered at VLAN classification table (VLAN <vlan id>, Channel Group <channel group number>).**
	Tag 変換情報エントリを VLAN 識別テーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 設定できなかった Tag 変換情報エントリを削除し，VLAN 識別テーブルの不要なエントリを削除してから，再度 Tag 変換情報エントリを設定してください。VLAN 識別テーブルの収容条件については，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」を参照してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
66	E4	VLAN	25100024	0700	**The protocol based VLAN entry can't be registered at VLAN classification table (VLAN <vlan id>, Channel Group<channel group number>).**
	リンクアグリゲーションのプロトコルポートへのプロトコル VLAN 設定時，プロトコル VLAN エントリを VLAN 識別テーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <vlan id>　VLAN ID <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 設定できなかったプロトコル VLAN エントリを削除し，VLAN 識別テーブルの不要なエントリを削除してから，再度プロトコル VLAN 情報エントリを設定してください。VLAN 識別テーブルの収容条件については，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」を参照してください。				
67	E4	VLAN	25100025	0700	**The protocol based VLAN entry can't be registered at VLAN classification table (protocol <frame type>,VLAN <vlan id>).**
	プロトコル VLAN へのプロトコル追加時，プロトコル VLAN エントリを VLAN 識別テーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <frame type>　追加しようとしたプロトコルのフレーム種別 • ethertype <hex>　EthrenetV2 形式フレームの EtherType 値 • llc <hex>　802.3 形式フレームの LLC 値（DSAP，SSAP） • snap-ethertype <hex>　802.3 形式フレームの EtherType 値 <vlan id>　VLAN ID [対応] 設定できなかったプロトコル VLAN エントリを削除し，VLAN 識別テーブルの不要なエントリを削除してから，再度プロトコル VLAN 情報エントリを設定してください。VLAN 識別テーブルの収容条件については，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」を参照してください。				
68	E4	VLAN	25100026	0700	**The protocol based VLAN entry can't be registered at VLAN classification table (protocol <frame type>,Vlan-Protocol <protocol name>).**
	プロトコル VLAN 用プロトコルへのプロトコル値の追加時，プロトコル VLAN エントリを VLAN 識別テーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <frame type>　追加しようとしたプロトコルのフレーム種別 • ethertype <hex>　EthrenetV2 形式フレームの EtherType 値 • llc <hex>　802.3 形式フレームの LLC 値（DSAP，SSAP） • snap-ethertype <hex>　802.3 形式フレームの EtherType 値 <protocol name>　プロトコル名称 [対応] 設定できなかったプロトコル VLAN エントリを削除し，VLAN 識別テーブルの不要なエントリを削除してから，再度プロトコル VLAN 情報エントリを設定してください。VLAN 識別テーブルの収容条件については，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」を参照してください。				

3.3.3　イベント発生部位＝ VLAN（Ring Protocol）

イベント発生部位 =VLAN（Ring Protocol）の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-5　イベント発生部位 =VLAN（Ring Protocol）の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	VLAN	20170001	0700	**AXRP <ring id>：activated state monitoring.**
	Ring Protocol の状態監視を開始しました。このメッセージは，Ring Protocol の初期化が完了した場合，および Ring Protocol のコンフィグレーションの動作モードをマスタモードに設定した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] なし。				
2	E3	VLAN	20170002	0700	**AXRP <ring id>：detected fault recovery by receiving health check frames.**
	Ring Protocol の状態監視で障害復旧を検出しました。このメッセージは，マスタノードでヘルスチェックフレームを受信し，障害復旧を検出した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] なし。				
3	E3	VLAN	20170003	0700	**AXRP <ring id>：cleared MAC address table by receiving flush request frames.**
	フラッシュ制御フレームを受信し，MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは，出力先がリングポートであるデータ転送用リング VLAN グループに関する MAC アドレステーブルだけをクリアした場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] なし。				
4	E3	VLAN	20170005	0700	**AXRP <ring id>：cleared MAC address table by timeout of forwarding-shift-timer.**
	forwarding-shift-time のタイムアウトによって，MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは，トランジットノードで forwarding-shift-time によってタイムアウトを検出し，MAC アドレステーブルをクリアした場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] なし。				
5	E3	VLAN	20170014	0700	**AXRP(virtual-link <link id>)：cleared MAC address table by receiving flush frames.**
	Ring Protocol で仮想リンクのフラッシュフレームを受信し，MAC アドレステーブルエントリをクリアしました。このメッセージは，すべてのリングポートで学習している MAC アドレステーブルエントリをクリアした場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <link id>　仮想リンク ID [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
6	E3	VLAN	20170016	0700	**AXRP <ring id>：detected fault recovery by receiving health check frames, but suspended the fault recovery process.**
	Ring Protocol の状態監視で障害復旧を検出しましたが，設定によって経路の切り戻しが抑止されました。このメッセージは，マスタノードで障害復旧を検出した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] コンフィグレーションコマンド preempt-delay で指定した抑止時間のタイムアウトを待つか，clear axrp preempt-delay コマンドで手動で経路切り戻し抑止状態を解除してください。				
7	E3	VLAN	20170017	0700	**AXRP <ring id>：canceled the suspension of the fault recovery process.**
	Ring Protocol の経路切り戻し抑止状態の解除が実行されました。このメッセージは，マスタノードで経路切り戻し抑止中に経路切り戻し抑止状態が解除された場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] なし。				
8	E4	VLAN	20170004	0700	**AXRP <ring id>：detected fault by health check timeout.**
	Ring Protocol の状態監視で障害を検出しました。このメッセージは，マスタノードでヘルスチェックタイムアウトを検出した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] 該当リング内のリンクまたはノードに障害が発生している可能性があります。リンクおよびノードの状態を確認してください。				
9	E4	VLAN	20170006	0700	**AXRP <ring id>：The MAC address entry can't be registered at hardware tables.**
	Ring Protocol で使用する MAC アドレスが MAC アドレステーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <ring id>　リング ID [対応] 1. 制御 VLAN で使用する VLAN が設定されているか確認してください。VLAN が設定されていない場合は設定してください。VLAN 設定後，いったん Ring Protocol を無効化（disable）し，再度有効化（no disable）してください。 2. MAC アドレステーブルの使用量の合計が，装置の収容条件に達していないか確認してください。show system コマンドで MAC アドレステーブルの使用状況を確認できます。 収容条件に達している場合は，「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」の各機種の「MAC アドレステーブル」の記述を参照し，システム構成を見直してください。				

3.3.4　イベント発生部位＝ VLAN（GSRP）

イベント発生部位 =VLAN（GSRP）の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-6　イベント発生部位 =VLAN(GSRP) の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	VLAN	20130002	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Backup.**
	GSRP の状態がバックアップへ遷移しました。このメッセージは，GSRP の初期化が完了した場合，GSRP のコンフィグレーションの backup-lock を削除した場合，または GSRP の状態がマスタで対向装置を認識していないときに restart vlan コマンドを実行した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
2	E3	VLAN	20130003	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Master, because the number of active ports was more than neighbor's.**
	自装置のアクティブポート数が隣接の GSRP スイッチより多かったため，GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
3	E3	VLAN	20130004	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Master, because the priority was higher than neighbor's.**
	自装置のプライオリティが隣接の GSRP スイッチより高かったため，GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
4	E3	VLAN	20130005	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned to Master, because the MAC address was larger than neighbor's.**
	自装置の MAC アドレスが隣接の GSRP スイッチより大きかったため，GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
5	E3	VLAN	20130008	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> : state transitioned from Master to Backup, because the number of active ports was less than neighbor's.**
	自装置のアクティブポート数が隣接の GSRP スイッチより少なかったため，GSRP の状態がマスタからバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
6	E3	VLAN	20130009	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>：state transitioned from Master to Backup, because the priority was lower than neighbor's.**
	自装置のプライオリティが隣接の GSRP スイッチより低かったため，GSRP の状態がマスタからバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
7	E3	VLAN	20130010	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>：state transitioned from Master to Backup, because the MAC address was smaller than neighbor's.**
	自装置の MAC アドレスが隣接の GSRP スイッチより小さかったため，GSRP の状態がマスタからバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
8	E3	VLAN	20130013	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>：advertise timeout detected on Master.**
	GSRP Advertise フレームの受信タイムアウトを検出しました。このメッセージは GSRP の状態がマスタの場合だけ出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] ダイレクトリンクのポートが正しく実装されており，動作していることを確認してください。また，現在の GSRP の状態をコンフィグレーション，および運用コマンドで確認してください。				
9	E3	VLAN	20130015	0700	**GSRP aware：MAC Address Table entry cleared, because GSRP flush request received on port <port list>, GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> Source MAC address <mac address>.**
	GSRP flush request フレームを受信し，MAC Address Table をクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] <port list>　ポート番号の範囲 <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID <mac address>　MAC アドレス [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
10	E3	VLAN	20130017	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id> VLAN id <vlan id>：removed from vlan-group, because configuration is a disagreement, Ring protocol and GSRP.**
	Ring Protocol との併用時に，Ring Protocol と GSRP の構成不一致によって，該当 VLAN が vlan-group の対象外になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID <vlan id>　VLAN ID [対応] Ring Protocol の vlan-mapping と GSRP の vlan-group の内容が一致するように構成を変更してください。				
11	E4	VLAN	20130006	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>：state transitioned to Master, because "set gsrp master" command was executed.**
	set gsrp master コマンドの実行により，GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
12	E4	VLAN	20130007	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>：state transitioned to Master, because the direct link failure was detected.**
	ダイレクトリンク障害を検出したため，GSRP の状態がマスタへ遷移しました。このメッセージは GSRP のコンフィグレーションコマンド no-neighbor-to-master に direct-down パラメータを設定していた場合に，GSRP の状態がバックアップ（隣接不明）のときにダイレクトリンクのダウンを検出したことにより，マスタへ遷移する際出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				
13	E4	VLAN	20130011	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>：state transitioned to Backup(No Neighbor).**
	GSRP の状態がバックアップ（隣接不明）へ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] ダイレクトリンクのポートが正しく実装されており，動作していることを確認してください。また，現在の GSRP の状態をコンフィグレーション，および運用コマンドで確認してください。				
14	E4	VLAN	20130012	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>：state transitioned from Backup(No Neighbor) to Backup.**
	GSRP の状態がバックアップ（隣接不明）からバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
15	E4	VLAN	20130014	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>：advertise timeout detected on Backup(Lock).**
	GSRP Advertise フレームの受信タイムアウトを検出しました。このメッセージは GSRP の状態がバックアップ（ロック）の場合だけ出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] ダイレクトリンクのポートが正しく実装されており，動作していることを確認してください。また，現在の GSRP の状態をコンフィグレーション，および運用コマンドで確認してください。				
16	E4	VLAN	20130016	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>：state transitioned from Master to Backup, because the double Master detected.**
	自装置，および隣接装置の GSRP の状態が共にマスタであることを検出したため，マスタからバックアップへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] ダイレクトリンクのポートが正しく動作しているか確認してください。また，現在の GSRP の状態をコンフィグレーション，および運用コマンドで確認してください。				
17	E4	VLAN	20130018	0700	**GSRP <gsrp group id> VLAN group <vlan group id>：state transitioned to Master, because forced shift time was expired.**
	自動マスタ遷移待ち時間の設定を経過したことによって，GSRP の状態がマスタへ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <gsrp group id>　GSRP グループ ID <vlan group id>　VLAN グループ ID [対応] なし。				

3.3.5　イベント発生部位＝ VLAN（L2 ループ検知）

イベント発生部位 =VLAN（L2 ループ検知）の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-7　イベント発生部位 =VLAN（L2 ループ検知）の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E4	VLAN	20800001	0700	**L2LD：Port(<nif no.>/<port no.>) inactivated because of loop detection from port(<nif no.>/<port no.>).**
	ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
2	E4	VLAN	20800002	0700	**L2LD : Port(<nif no.>/<port no.>) inactivated because of loop detection from ChGr(<channel group number>).**
	ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				
3	E4	VLAN	20800003	0700	**L2LD : ChGr(<channel group number>) inactivated because of loop detection from port(<nif no.>/<port no.>).**
	ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				
4	E4	VLAN	20800004	0700	**L2LD : ChGr(<channel group number>) inactivated because of loop detection from ChGr(<channel group number>).**
	ループ障害を検出したため，ポートを閉塞しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				
5	E4	VLAN	20800005	0700	**L2LD : Port(<nif no.>/<port no.>) loop detection from port(<nif no.>/<port no.>).**
	ループ障害を検出しました。 ループ障害検出ログ（20800005 ～ 20800008）の出力後 1 分間は，同一ポートまたはチャネルグループでループ障害検出ログを出力しません。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				
6	E4	VLAN	20800006	0700	**L2LD : Port(<nif no.>/<port no.>) loop detection from ChGr(<channel group number>).**
	ループ障害を検出しました。 ループ障害検出ログ（20800005 ～ 20800008）の出力後 1 分間は，同一ポートまたはチャネルグループでループ障害検出ログを出力しません。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
7	E4	VLAN	20800007	0700	**L2LD : ChGr(<channel group number>) loop detection from port(<nif no.>/<port no.>).**
	ループ障害を検出しました。 ループ障害検出ログ（20800005 ～ 20800008）の出力後 1 分間は，同一ポートまたはチャネルグループでループ障害検出ログを出力しません。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				
8	E4	VLAN	20800008	0700	**L2LD : ChGr(<channel group number>) loop detection from ChGr(<channel group number>).**
	ループ障害を検出しました。 ループ障害検出ログ（20800005 ～ 20800008）の出力後 1 分間は，同一ポートまたはチャネルグループでループ障害検出ログを出力しません。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				
9	E4	VLAN	20800009	0700	**L2LD : Port(<nif no.>/<port no.>) activate by automatic restoration of the L2loop detection function.**
	L2 ループ検知機能の自動復旧によって，ポートの inactive 状態を解除します。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 [対応] なし。				
10	E4	VLAN	20800010	0700	**L2LD : ChGr(<channel group number>) activate by automatic restoration of the L2loop detection function.**
	L2 ループ検知機能の自動復旧によって，ポートの inactive 状態を解除します。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
11	E4	VLAN	20800011	0700	**L2LD : L2loop detection frame cannot be sent in the port where capacity was exceeded.**
	L2 ループ検知フレームを送信できるポート数が収容条件を超えています。収容条件を超えたポートで L2 ループ検知フレームを送信できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2 ループ検知フレームを送信するポート数を減らしてください。				

3.3.6　イベント発生部位＝ VLAN（CFM）

イベント発生部位 =VLAN（CFM）の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-8　イベント発生部位 =VLAN（CFM）の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E4	VLAN	20900003	0700	**MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of OtherCCM in MEP <mepid>.**
	該当 MEP で障害（OtherCCM）を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level>　ドメインレベル <no.>　MA 識別番号 <mepid>　MEP ID [対応] 対向装置を同一 MA として認識していません。 ドメインレベル，MA 識別番号，ドメイン名称，MA 名称が対向装置と一致しているか確認してください。				
2	E4	VLAN	20900004	0700	**MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of ErrorCCM in MEP <mepid>.**
	該当 MEP で障害（ErrorCCM）を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level>　ドメインレベル <no.>　MA 識別番号 <mepid>　MEP ID [対応] 対向装置と構成が一致していません。 MEP ID が対向装置と異なっているか，送信間隔（interval）が対向装置と一致しているか確認してください。				
3	E4	VLAN	20900005	0700	**MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of Timeout in MEP <mepid>.**
	該当 MEP で障害（Timeout）を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level>　ドメインレベル <no.>　MA 識別番号 <mepid>　MEP ID [対応] 対向装置から CCM を受信していません。 ネットワークの状態を確認してください。				
4	E4	VLAN	20900006	0700	**MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of PortState in MEP <mepid>.**
	該当 MEP で障害（PortState）を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level>　ドメインレベル <no.>　MA 識別番号 <mepid>　MEP ID [対応] 対向装置の回線障害またはポートのブロッキング状態を検出しました。 対向装置の状態を確認してください。				
5	E4	VLAN	20900007	0700	**MD Level <level> MA <no.>: detected on fault of RDI in MEP <mepid>.**
	該当 MEP で障害（RDI）を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <level>　ドメインレベル <no.>　MA 識別番号 <mepid>　MEP ID [対応] 対向装置で障害を検出しています。 対向装置の状態を確認してください。				

3.3.7　イベント発生部位＝ MAC

イベント発生部位 =MAC の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-9　イベント発生部位 =MAC の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	MAC	20120005	0800	**Channel Group(<channel group number>) disabled administratively.**
	コンフィグレーションによってチャネルグループは運用停止に指定されました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
2	E3	MAC	20120006	0800	**Channel Group(<channel group number>) enabled administratively.**
	コンフィグレーションによってチャネルグループは運用停止を解除しました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
3	E3	MAC	20120007	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Different Partner System ID is detected.**
	LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて相手装置の System ID がポート間で一致しなかったためチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 以下を確認してください。 1.　相手装置と正しく接続しているか 2.　相手装置の System ID 設定は正しいか				
4	E3	MAC	20120008	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Different Partner Key is detected.**
	LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて相手装置の Key がポート間で一致しなかったためチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 以下を確認してください。 1.　相手装置と正しく接続しているか 2.　相手装置の Key 設定は正しいか				
5	E3	MAC	20120009	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) removed from Channel Group(<channel group number>).**
	コンフィグレーションのリンク削除によりチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
6	E3	MAC	20120010	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Port down.**
	回線が DOWN 状態になりチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。				
7	E3	MAC	20120011	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Different Port data rate.**
	速度の異なる回線がチャネルグループ内に存在し，速度の遅い回線をチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 離脱された回線に関し，本装置および相手装置の設定状態を確認してください。				
8	E3	MAC	20120012	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Half-duplex port.**
	半二重で動作中の回線をチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 離脱された回線に関し，本装置および相手装置の設定状態を確認してください。				
9	E3	MAC	20120013	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Denied by the LACP partner.**
	LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて，LACP により相手装置から接続拒否されチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 相手装置の設定を確認してください。				
10	E3	MAC	20120014	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - LACPDU timeout.**
	LACP モードのリンクアグリゲーションにおいて，相手装置からの LACPDU を受信せずタイムアウトによりチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 相手装置の設定，active 状態を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
11	E3	MAC	20120015	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Configuration is changed.**
	コンフィグレーション変更によりチャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
12	E3	MAC	20120016	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Port moved is detected.**
	チャネルグループ内でポートが移動したことにより，チャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
13	E3	MAC	20120017	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Partner Aggregation bit is FALSE.**
	LACP モードで相手装置のアグリゲーションビットが FALSE のため，チャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
14	E3	MAC	20120018	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Partner Port number is changed.**
	相手装置のポート番号が変更したため，チャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
15	E3	MAC	20120019	0800	**Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Partner Port priority is changed.**
	相手装置のポート優先度値が変更したため，チャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
16	E3	MAC	20120020	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - Operation of detach port limit.
	離脱ポート制限により，チャネルグループから離脱しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
17	E3	MAC	20120021	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) added to Channel Group(<channel group number>).
	チャネルグループにポートが追加されました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
18	E3	MAC	20120022	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) attached to Channel Group(<channel group number>).
	チャネルグループにポートが集約されました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
19	E3	MAC	20120023	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) attached to Channel Group(<channel group number>) - A standby port became active.
	スタンバイリンクによる運転を開始しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
20	E3	MAC	20120024	0800	Port(<nif no.>/<port no.>) detached from Channel Group(<channel group number>) - This port became a standby port.
	スタンバイリンクによる運転を停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号 <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				
21	E4	MAC	20120002	0800	Channel Group(<channel group number>) is Up.
	チャネルグループが UP 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
22	E4	MAC	20120003	0800	**Channel Group(<channel group number>) is Down - All port detached.**
	チャネルグループ内のすべてのポートが離脱されチャネルグループが DOWN 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 相手装置との接続回線の状態に関し，以下を確認してください。 1.　回線が DOWN していないか 2.　回線が半二重になっていないか 3.　相手装置の LACP 設定および回線の状態は正常か				
23	E4	MAC	20120004	0800	**Channel Group(<channel group number>) is Down - The number of the detached port exceeded the configured number.**
	チャネルグループ内の離脱ポート数が設定された制限を超えてチャネルグループが DOWN 状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <channel group number>　チャネルグループ番号 [対応] 相手装置との接続回線の状態に関し，以下を確認してください。 1.　回線が DOWN していないか 2.　回線が半二重になっていないか 3.　相手装置の LACP 設定および回線の状態は正常か				

3.4　装置の各部位

3.4.1　イベント発生部位＝ SOFTWARE

イベント発生部位 =SOFTWARE の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-10　イベント発生部位 =SOFTWARE の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	SOFTWARE	00003001	1000	System restarted due to abort reset operation.
	装置が再起動されました。要因は RESET スイッチ押下です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
2	E3	SOFTWARE	00003002	1000	System restarted due to default reset operation.
	装置が再起動されました。要因はデフォルトスイッチ押下です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
3	E3	SOFTWARE	00003003	1000	System restarted due to fatal error detected by software.
	致命的障害をソフトウェアが検出し装置を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。				
4	E3	SOFTWARE	00003004	1000	System restarted due to user operation.
	装置が再起動されました。要因は reload コマンドです。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
5	E3	SOFTWARE	00003005	1000	System restarted due to fatal error detected by kernel.
	致命的障害をカーネルが検出し装置を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
6	E3	SOFTWARE	00003006	1000	**System restarted due to WDT timeout.**
	装置が再起動されました。要因は WDT（ウォッチドッグタイマ）タイムアウトです。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。				
7	E3	SOFTWARE	00003007	1000	**System restarted due to hardware error detected by kernel.**
	装置が再起動されました。要因はハードウェア障害です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。				
8	E3	SOFTWARE	00003008	1000	**System restarted due to hardware error detected.**
	装置が再起動されました。要因はハードウェア障害です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置を交換してください。				
9	E3	SOFTWARE	0000300a	1000	**System restarted due to auto restart detected by software.**
	装置が再起動されました。要因はソフトウェアによる自動再起動です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
10	E3	SOFTWARE	00003301	1000	**CPU congestion detected.**
	CPU で処理するパケットの輻輳を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 本メッセージに同期して，ほかの障害およびイベントを示すメッセージ（レイヤ 2 プロトコルや IPv4 ／ IPv6 ルーティングプロトコルに関する障害およびイベントを示すメッセージなど）が発生している場合は，そのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. ネットワーク管理装置からのアクセスが多い場合，必要最小限のアクセス以外は抑止してください。 3. 上記 2 で回復しない場合，マニュアル「トラブルシューティングガイド」の CPU で処理するパケットの輻輳が回復しない場合の記述を参照して対応してください。 4. ping などパケットを送受信するコマンドを多数実行した場合にこのメッセージが出力されることがあります。				
11	E3	SOFTWARE	00003302	1000	**CPU has recovered from congestion.**
	CPU が輻輳から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
12	E3	SOFTWARE	00008601	1001	**NTP lost synchronization with <ip address>[on VRF <vrf id>].**
	NTP サーバ <ip address> との同期状態が失われました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address>　NTP サーバの IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] show ntp associations コマンドで NTP の状態を確認してください。 同期が取れていない状態が継続するようであれば，NTP コンフィグレーションと NTP サーバの動作状況，通信可否を確認してください。				
13	E3	SOFTWARE	00008602	1001	**NTP detected an invalid packet from <ip address>[on VRF <vrf id>].**
	NTP サーバ <ip address> からの不正なパケットを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address>　NTP サーバの IPv4 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] NTP サーバを確認してください。				
14	E3	SOFTWARE	00008603	1001	**NTP could not find the server which synchronize with.**
	同期できる NTP サーバがありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NTP コンフィグレーションと NTP サーバの動作状況，通信可否を確認してください。				
15	E3	SOFTWARE	01200123	1001	**VRF information defined by the configuration file is ignored, since VRF function license is not given.**
	スタートアップコンフィグレーションファイルで設定された VRF 情報はライセンスが与えられていないため無効となります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VRF 機能を動作させたい場合は，set license コマンドでオプションライセンス OP-NPAR を設定し，装置を再起動してください。				
16	E3	SOFTWARE	01200187	1001	**The temperature logging file can't be written.**
	温度ロギング情報の書き込みに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 内蔵フラッシュメモリのユーザ領域を確認してください。 2. 空き領域が不足している場合は，不要なファイルを削除して空き領域（約 8kB）を確保してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
17	E3	SOFTWARE	01300462	1001	**There is mismatch between active and standby software version.**
	運用系システムと待機系システムのソフトウェアバージョンが異なっています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. ソフトウェアのアップデート作業中の場合は，問題ありません。 2. 上記以外の場合，ソフトウェアのアップデートを行い，運用系システムと待機系システムのソフトウェアバージョンを一致させてください。ソフトウェアのアップデートの方法については，「ソフトウェアインストールガイド」を参照してください。				
18	E3	SOFTWARE	01300463	1001	**Active and standby software version is identical.**
	運用系システムと待機系システムのソフトウェアバージョンが一致しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
19	E3	SOFTWARE	01300464	1001	**There is mismatch between active and standby license key.**
	運用系システムと待機系システムのライセンスキー情報が異なっています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 運用系システムから synchronize コマンドを実行し，運用系システムと待機系システムのライセンスキー情報を一致させてください。 2. synchronize コマンドが終了したあと，運用系システムから reload コマンドで standby パラメータを指定し，待機系システムを再起動してください。				
20	E3	SOFTWARE	01300465	1001	**Active and standby license key is identical.**
	運用系システムと待機系システムのライセンスキー情報が一致しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
21	E3	SOFTWARE	01700501	1001	**Statistics table initialized.**
	set clock コマンドによって装置の時刻が変更されたため，CPU 使用率を保持している統計情報テーブルを初期化しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
22	E3	SOFTWARE	01700502	1001	**CPU overloaded. There is the possibility of software failure in responding to user command input or sending notification to SNMP agent.**
	ユーザコマンド入力に対する応答か，SNMP エージェントに対する通知が失敗したかもしれません。CPU が過負荷状態である可能性があります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 必要なら再度コマンドの入力または MIB の取得を行ってください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
23	E3	SOFTWARE	01700503	1001	**There is the possibility of software failure in responding to user command input or sending notification to SNMP agent.**
	ユーザコマンド入力に対する応答か，SNMP エージェントに対する通知が失敗したかもしれません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 必要なら再度コマンドの入力または MIB の取得を行ってください。				
24	E3	SOFTWARE	01900250	1001	**Software started up.**
	ソフトウェアの起動を開始しました。 本ログは UTC 時間で採取されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
25	E3	SOFTWARE	01910201	1001	**System started collecting new "error.log".**
	種別ログを新規に採取し始めました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
26	E3	SOFTWARE	01910202	1001	**System restarted by user operation.**
	ユーザ操作による装置再起動を行います。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
27	E3	SOFTWARE	01910203	1001	**System restarted after hardware reset.**
	リセットスイッチによる装置再起動を行います。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
28	E3	SOFTWARE	02002010	1001	**System failed switching to admin mode.**
	MIB Set 時の Admin mode への変更に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 他の管理者が admin になっています。show sessions コマンドで，ログインユーザおよび admin ユーザを確認してください。				
29	E3	SOFTWARE	02002012	1001	**Specified MIB doesn't exist, or it does not have read/write attribute.**
	設定した MIB は存在しないか，または，read/write 属性の MIB ではありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 「MIB レファレンス」を参照し，設定した MIB が read/write 属性であることを確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
30	E3	SOFTWARE	02002013	1001	**Incorrect instance value specified.**
	MIB Set 時に設定したインスタンス値は，正しくありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] インスタンス値を確認して設定してください。				
31	E3	SOFTWARE	02002014	1001	**MIB value specified was out of range.**
	MIB Set 時に MIB 値を，設定範囲外の値で設定しようとしています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MIB 値の範囲については，「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2　24. SNMP」を参照してください。				
32	E3	SOFTWARE	02002015	1001	**Data length of the MIB value was too long.**
	MIB Set 時に設定した MIB 値のデータ長が長過ぎます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MIB 値として設定できる文字数は，「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.2　24. SNMP」を参照してください。				
33	E3	SOFTWARE	02002016	1001	**MIB Set failed due to the lack of necessary MIBs.**
	設定する上で必要な MIB が足りないために，MIB Set を行うことができませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 「MIB レファレンス」を参照し，設定時に必要な項目が満たされていることを確認してください。				
34	E3	SOFTWARE	02002017	1001	**Illegal character used in MIB setting.**
	設定できない文字を使用して，MIB Set を行おうとしています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1　1. このマニュアルの読み方」の文字コード一覧を確認して設定してください。				
35	E3	SOFTWARE	02002018	1001	**MIB Set failed to configured the configuration file because the preliminary configuration file is under editing.**
	バックアップコンフィグレーションファイルが編集中のため，スタートアップコンフィグレーションファイルに，MIB の Set を行うことができませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] バックアップコンフィグレーションファイルの編集を中止してください。				
36	E3	SOFTWARE	02002019	1001	**Failed in contact the configuration file while setting up MIB.**
	MIB 設定のための，スタートアップコンフィグレーションファイルへのアクセスに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] スタートアップコンフィグレーションファイルへのアクセスエラーになる要因を取り除いてから再度実行してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
37	E3	SOFTWARE	02002020	1001	**MIB value has failed to establish. Errors occurred in the "config" command.**
	MIB Set 時にコンフィグレーション編集時のエラーが発生したため，MIB を設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] コンフィグレーションのエラーについては，「コンフィグレーションコマンドレファレンス」の「コンフィグレーション編集時のエラーメッセージ」を参照して対応してください。				
38	E3	SOFTWARE	02002021	1001	**Not all MIB configured.**
	MIB Set に失敗したため，MIB 値は途中までしか設定されていません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 再度設定してください。また，それでもできない場合には，telnet などでログインし，MIB 値を設定してください。				
39	E3	SOFTWARE	02002023	1001	**System failed to save the configuration while processing MIB settings.**
	snmp マネージャからの MIB set 時に，コンフィグレーションの save 処理でエラーが発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] コンフィグレーションが save されていないので，telnet などで save してください。				
40	E3	SOFTWARE	02002024	1001	**<object name> set as <mib value> at the request of <ip address> [on VRF <vrf id>].**
	<object name> は，<ip address> からの要求によって，<mib value> に設定されました。 [メッセージテキストの表示説明] <object name>　MIB オブジェクトのニーモニック <mib value>　MIB 値 <ip address>　SNMP マネージャの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] なし。				
41	E3	SOFTWARE	02002025	1001	**SNMP: MAC address table entry cleared at the request of <ip address> [on VRF <vrf id>].**
	SNMP マネージャ <ip address> からの MAC アドレステーブルクリア要求により MAC アドレステーブルをクリアしました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address>　SNMP マネージャの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] なし。				
42	E3	SOFTWARE	05001002	1001	**BGP information defined by the configuration file is ignored, since BGP function license is not given.**
	スタートアップコンフィグレーションで設定された BGP4 または BGP4+ 情報は，ライセンスが与えられていないため無効となります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] BGP4 または BGP4+ 機能を使用する場合は，set license コマンドでオプションライセンス OP-BGP を設定し，装置を再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
43	E3	SOFTWARE	0d10b002	1001	**The not used IP address which a dhcp_server can lease out is not a subnet <subnet address>.**
	dhcp_server が貸し出す未使用の IP アドレスが subnet<subnet address> にありません。 [メッセージテキストの表示説明] <subnet address>　割り当て範囲サブネットアドレス [対応] dhcp_server が割り当てることができる subnet のクライアントの最大数を調査してください。				
44	E3	SOFTWARE	0d10b003	1001	**The dhcp_server reused the abandoned IP address <ip address>.**
	dhcp_server は，廃棄された IP アドレスを再利用しました。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address>　割り当て IP アドレス [対応] なし。				
45	E3	SOFTWARE	0d10b004	1001	**The IP address <ip address> which the dhcp_server schedule to lease out is already used by others.**
	dhcp_server が貸し出そうとした IP アドレス <ip address> は，すでに他で使用されています。 [メッセージテキストの表示説明] <ip address>　割り当て予定 IP アドレス [対応] 貸出し IP アドレスの範囲と固定割り当て IP アドレスが重複していないか調査してください。				
46	E3	SOFTWARE	0d10b005	1001	**Failed in NS UPDATE by dhcp_server.：<map>**
	dhcp_server による NS UPDATE 処理が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <map>　エラーが発生したマップ [対応] 本装置のゾーン設定，および認証キー設定と DNS サーバ側の設定を確認してください。 また，認証キーを使用する場合は本装置と DNS サーバの時刻情報が合っていることを確認してください。				
47	E3	SOFTWARE	0d10b0e4	1001	**dhcp_server: Invalid network address.**
	DHCP サーバが不正なコンフィグレーションを検出しました。無効なネットワークアドレスの指定です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 直前に入力した設定を削除してから，正しいネットワークアドレスを設定し直してください。				
48	E3	SOFTWARE	0d10b0ec	1001	**dhcp_server: Invalid key.(ip dhcp key ... secret-hmac-md5 ...)**
	DHCP サーバが不正なコンフィグレーションを検出しました。無効なキーです。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 直前に入力した設定を削除してから，正しいキーを設定し直してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
49	E3	SOFTWARE	0d10b0ee	1001	**dhcp_server: Invalid IP address. (ip dhcp excluded-address ...)**
	DHCP サーバが不正なコンフィグレーションを検出しました。除外アドレス範囲の指定が不正です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 直前に入力した設定を削除してから，正しい除外アドレス範囲を設定し直してください。				
50	E3	SOFTWARE	0e008001	1000	**Virtual router <vrid> of <interface name> state has transitioned to <state>.**
	仮想ルータの active 状態が <State> へ遷移しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid>　仮想ルータ ID <interface name>　VRRP を設定したインタフェース名 <state>　仮想ルータの状態 [対応] なし。				
51	E3	SOFTWARE	0e008002	1000	**Virtual router <vrid> of <interface name> received VRRP packet with IP TTL not equal to 255.**
	IP ヘッダの TTL（Time-to-Live）が 255 ではない VRRP ADVERTISEMENT パケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid>　仮想ルータ ID <interface name>　VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置を確認してください。				
52	E3	SOFTWARE	0e008003	1000	**Virtual router <vrid> of <interface name> received VRRP packet that length less than the length of the VRRP header.**
	パケット長が不正の VRRP ADVERTISEMENT パケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid>　仮想ルータ ID <interface name>　VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置を確認してください。				
53	E3	SOFTWARE	0e008004	1000	**Virtual router <vrid> of <interface name> received VRRP packet that does not pass the authentication check.**
	受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットの認証に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid>　仮想ルータ ID <interface name>　VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置のパスワードの設定と，本装置のパスワードの設定を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
54	E3	SOFTWARE	0e008005	1000	**Virtual router <vrid> of <interface name> received VRRP packet for which the address list does not match the locally configured list for the virtual router.**
	受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットで指定された仮想ルータの IP アドレスと本装置の設定が一致しません。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid>　仮想ルータ ID <interface name>　VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置の仮想ルータの IP アドレスと，本装置の仮想ルータの IP アドレスの設定を確認してください。				
55	E3	SOFTWARE	0e008006	1000	**Virtual router <vrid> of <interface name> received VRRP packet for which the advertisement interval is different than the one configured for local virtual router.**
	受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットで指定された送信間隔と本装置の設定が一致しません。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid>　仮想ルータ ID <interface name>　VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置の送信間隔と，本装置の送信間隔の設定を確認してください。				
56	E3	SOFTWARE	0e008007	1000	**VRRP packet received with unsupported version number.**
	受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットで指定された VRRP のバージョンが本装置の VRRP バージョンと一致しません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本装置と仮想ルータを構成する場合は，相手装置の VRRP のバージョンと本装置の VRRP のバージョンを合わせてください。				
57	E3	SOFTWARE	0e008008	1000	**Virtual router <vrid> of <interface name> priority was changed to <priority>.**
	VRRP の優先度を <Priority> に変更しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid>　仮想ルータ ID <interface name>　VRRP を設定したインタフェース名 <priority>　仮想ルータの優先度 [対応] なし。				
58	E3	SOFTWARE	0e008012	1000	**Virtual router <vrid> of <interface name> was finished.**
	仮想ルータを終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid>　仮想ルータ ID <interface name>　VRRP を設定したインタフェース名 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
59	E3	SOFTWARE	0e008015	1000	**Virtual router <vrid> of <interface name> received VRRP packet with IP HopLimit not equal to 255.**
	IP ヘッダの HopLimit が 255 ではない VRRP ADVERTISEMENT パケットを受信しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid>　仮想ルータ ID <interface name>　VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置を確認してください。				
60	E3	SOFTWARE	0e008016	1000	**Virtual router <vrid> of <interface name> priority changed to <priority>, because error detected on line by vrrp-polling.**
	VRRP ポーリングによって，回線障害を検出したため，VRRP の優先度を <priority> に変更しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrid>　仮想ルータ ID <interface name>　VRRP を設定したインタフェース名 <priority>　仮想ルータの優先度 [対応] 切り替えが頻繁に発生する場合は，コンフィグレーションを調整することで解決できる場合があります。				
61	E3	SOFTWARE	0e008017	1000	**<interface name> assigned virtual router <vrid> is down because of error detected by track.**
	トラッキング機能によって，障害を検出したため，VRRP を設定しているインタフェースをダウンしました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　VRRP を設定したインタフェース名 <vrid>　仮想ルータ ID [対応] 切り替えが頻繁に発生する場合は，コンフィグレーションを調整することで解決できる場合があります。				
62	E3	SOFTWARE	0e008018	1000	**<interface name> assigned virtual router <vrid> is up because of recovery detected by track.**
	トラッキング機能によって，障害回復を検出したため，VRRP を設定しているインタフェースをアップしました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　VRRP を設定したインタフェース名 <vrid>　仮想ルータ ID [対応] なし。				
63	E3	SOFTWARE	0e008019	1000	**Critical interface of <interface name> is down.**
	障害監視インタフェースがダウンしました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　障害監視対象のインタフェース名 [対応] なし。				
64	E3	SOFTWARE	0e008020	1000	**Critical interface of <interface name> is up.**
	障害監視インタフェースがアップしました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　障害監視対象のインタフェース名 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
65	E3	SOFTWARE	0e008022	1000	**Virtual router <VRID> of <Interface Name> advertisement interval set default advertisement interval (1 second) because not supported Advertisement interval configured.**
	ADVERTISEMENT パケットの送信間隔にサポートしていない値が設定されています。Advertisement Interval は，デフォルトの値で動作します。 [メッセージテキストの表示説明] <VRID>　仮想ルータ ID <Interface Name>　インタフェース名 [対応] 1. VRRP 動作モード（ietf-ipv6-spec-07-mode，ietf-unified-spec-02-mode）のコンフィグレーションが設定されている場合，40 秒以下の値に設定してください。 2. ADVERTISEMENT パケット送信間隔にミリ秒を指定する場合は，VRRP 動作モード（ietf-ipv6-spec-07-mode，ietf-unified-spec-02-mode）を設定してください。				
66	E3	SOFTWARE	0e008023	1000	**Virtual router <VRID> of <Interface Name> disabled because Primary virtual router is not running.**
	プライマリ仮想ルータが設定されていないため，フォロー仮想ルータは無効です。 [メッセージテキストの表示説明] <VRID>　仮想ルータ ID <Interface Name>　インタフェース名 [対応] プライマリ仮想ルータを設定してください。				
67	E3	SOFTWARE	0e008024	1000	**Virtual router <VRID> of <Interface Name> enabled because Primary virtual router started.**
	プライマリ仮想ルータが設定されたため，フォロー仮想ルータが有効になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <VRID>　仮想ルータ ID <Interface Name>　インタフェース名 [対応] なし。				
68	E3	SOFTWARE	0e008025	1000	**Critical interface of <interface type> <interface number> is down.**
	障害監視インタフェースがダウンしました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface type>　障害監視インタフェースに指定したインタフェース • gigabitethernet　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T，1000BASE-X • tengigabitethernet　10GBASE-R • port-channel　channel-group <interface number>　障害監視インタフェースに指定したインタフェース番号 • <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号（gigabitethernet または tengigabitethernet の場合） • <channel group number>　チャネルグループ番号（port-channel の場合） [対応] なし。				

<table>
<tr><th rowspan="2">項番</th><th>イベントレベル</th><th>イベント発生部位</th><th>メッセージ識別子</th><th>付加情報上位 4 桁</th><th>メッセージテキスト</th></tr>
<tr><th colspan="5">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">69</td><td>E3</td><td>SOFTWARE</td><td>0e008026</td><td>1000</td><td>Critical interface of <interface type> <interface number> is up.</td></tr>
<tr><td colspan="5">障害監視インタフェースがアップしました。
[メッセージテキストの表示説明]
<interface type>　障害監視インタフェースに指定したインタフェース
• gigabitethernet　10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T，1000BASE-X
• tengigabitethernet　10GBASE-R
• port-channel　channel-group
<interface number>　障害監視インタフェースに指定したインタフェース番号
• <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号（gigabitethernet または tengigabitethernet の場合）
• <channel group number>　チャネルグループ番号（port-channel の場合）
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">70</td><td>E3</td><td>SOFTWARE</td><td>0e008027</td><td>1000</td><td>Critical interface of <interface number> is up. But priority not changed because of different interface type.</td></tr>
<tr><td colspan="5">障害監視インタフェースが異速度でアップしました。優先度は変更しません。
[メッセージテキストの表示説明]
<interface number>　障害監視インタフェースに指定したインタフェース番号
• <nif no.>/<port no.>　NIF 番号 / ポート番号
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">71</td><td>E3</td><td>SOFTWARE</td><td>0f306003
0f406003</td><td>1001</td><td>The multicast routing program will restart, because the multicast (PIM) max-interfaces configuration changed.</td></tr>
<tr><td colspan="5">ランニングコンフィグレーションの IP マルチキャスト（PIM）情報がコンフィグレーションコマンド ip pim max-interface で変更されたため，IP マルチキャストルーティングプログラムを再起動します。
[メッセージテキストの表示説明]
なし。
[対応]
なし。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">72</td><td>E3</td><td>SOFTWARE</td><td>0f406004</td><td>1001</td><td>IPv4 multicast routing entry had exceeded maximum value <number> for limit, entry has discarded[on VRF <vrf id>].</td></tr>
<tr><td colspan="5">IPv4 マルチキャスト経路情報が制限により最大値 <number> を超えたため，エントリを廃棄しています。
[メッセージテキストの表示説明]
<number>　IPv4 マルチキャスト経路情報の最大数
<vrf id>　VRF ID
[対応]
不正アクセスが発生した可能性があります。
• 想定以上のマルチキャスト経路情報追加要求が発生していないか確認してください。マルチキャスト経路情報が制限により最大値を超えています。
• コンフィグレーション（ip pim mroute-limit コマンド）を確認してください。
• ネットワーク構成を確認の上，本装置の構成を再検討してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">73</td><td>E3</td><td>SOFTWARE</td><td>0f406005</td><td>1001</td><td>IPv4 multicast routing entry has recovered from the state of discard[on VRF <vrf id>].</td></tr>
<tr><td colspan="5">IPv4 マルチキャスト経路情報を廃棄する状態から回復しました。
[メッセージテキストの表示説明]
<vrf id>　VRF ID
[対応]
なし。</td></tr>
</table>

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
74	E3	SOFTWARE	0f406006	1001	**IGMP source-limit <number> has been exceeded on interface <interface name> [of VRF <vrf id>] due to over-request. Request have been discarded.**
	インタフェース <interface name> で，IGMP ソース制限値 <number> を超える要求がありました。要求を廃棄しています。 [メッセージテキストの表示説明] <number>　IGMP グループ数制限値 <interface name>　インタフェース名称 <vrf id>　VRF ID [対応] 不正アクセスが発生した可能性があります。 • 想定以上の IGMP グループに属するソース追加要求が発生していないか確認してください。 • コンフィグレーション（ip igmp source-limit コマンド）を確認してください。 • ネットワーク構成を確認の上，本装置の構成を再検討してください。				
75	E3	SOFTWARE	0f406007	1001	**IGMP source-limit on requests on interface <interface name> [of VRF <vrf id>] has recovered from state of discard.**
	インタフェース <interface name> で，IGMP グループに属するソースを廃棄する状態から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　インタフェース名称 <vrf id>　VRF ID [対応] なし。				
76	E3	SOFTWARE	0f406008	1001	**IGMP group-limit <number> has been exceeded on interface <interface name> [of VRF <vrf id>] due to over-request. Request have been discarded.**
	インタフェース <interface name> で，IGMP グループ制限値 <number> を超える要求がありました。要求を廃棄しています。 [メッセージテキストの表示説明] <number>　IGMP グループ数制限値 <interface name>　インタフェース名称 <vrf id>　VRF ID [対応] 不正アクセスが発生した可能性があります。 • 想定以上の IGMP グループ追加要求が発生していないか確認してください。 • コンフィグレーション（ip igmp group-limit コマンド）を確認してください。 • ネットワーク構成を確認の上，本装置の構成を再検討してください。				
77	E3	SOFTWARE	0f406009	1001	**IGMP group-limit on requests on interface <interface name> [of VRF <vrf id>] has recovered from state of discard.**
	インタフェース <interface name> で，IGMP グループを廃棄する状態から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] <interface name>　インタフェース名称 <vrf id>　VRF ID [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
78	E3	SOFTWARE	0f40600a	1001	**IPv4 multicast forwarding entry had exceeded maximum value <number> for limit, entry has discarded[on VRF <vrf id>].**
	IPv4 マルチキャスト中継エントリが制限により最大値 <number> を超えたためエントリを廃棄しています。 [メッセージテキストの表示説明] <number>　IPv4 マルチキャスト中継エントリの最大数 <vrf id>　VRF ID [対応] 不正アクセスが発生した可能性があります。 • 想定以上のマルチキャスト中継エントリ追加要求が発生していないか確認してください。マルチキャスト中継エントリが制限により最大値を超えています。 • 中継しないマルチキャストパケット受信により，ネガティブキャッシュが生成されていないか確認してください。 • コンフィグレーション（ip pim mcache-limit コマンド）を確認してください。 • ネットワーク構成を確認の上，本装置の構成を再検討してください。				
79	E3	SOFTWARE	0f40600b	1001	**IPv4 multicast forwarding entry has recovered from the state of discard[on VRF <vrf id>].**
	IPv4 マルチキャスト中継エントリを廃棄する状態から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID [対応] なし。				
80	E3	SOFTWARE	0f40600c	1001	**Accept-bootstrap configuration defined by the configuration file is ignored, since accept-bootstrap license is not given.**
	スタートアップコンフィグレーションファイルで設定された accept-bootstrap コンフィグレーションはライセンスが与えられていないため無効となります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ブートストラップメッセージ受信抑止機能を使用する場合は，set license コマンドでオプションライセンス OP-MBSE を設定し，装置を再起動してください。				
81	E3	SOFTWARE	11010001	1001	**The list number <policy list no.> of the policy base routing changed to the sequence number <sequence>.**
	ポリシーベースルーティングのリスト番号 <policy list no.> 内で，優先度 <sequence> の経路を選択しました。 [メッセージテキストの表示説明] <policy list no.>　ポリシーベースルーティングのリスト番号 <sequence>　リスト内の経路情報の優先度 [対応] なし。				
82	E3	SOFTWARE	11010002	1001	**The list number <policy list no.> of the policy base routing changed to the default operation.**
	ポリシーベースルーティングのリスト番号 <policy list no.> 内で，デフォルト動作を選択しました。 [メッセージテキストの表示説明] <policy list no.>　ポリシーベースルーティングのリスト番号 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
83	E3	SOFTWARE	11020001	1001	**The list number <policy switch list no.> of the policy base switching changed to the sequence number <sequence>.**
	ポリシーベーススイッチングのリスト番号 <policy switch list no.> 内で，優先度 <sequence> の送信先インタフェースを選択しました。 [メッセージテキストの表示説明] <policy switch list no.>　ポリシーベーススイッチングのリスト番号 <sequence>　リスト内の送信先インタフェースの優先度 [対応] なし。				
84	E3	SOFTWARE	11020002	1001	**The list number <policy switch list no.> of the policy base switching changed to the default operation.**
	ポリシーベーススイッチングのリスト番号 <policy switch list no.> 内で，デフォルト動作を選択しました。 [メッセージテキストの表示説明] <policy switch list no.>　ポリシーベーススイッチングのリスト番号 [対応] なし。				
85	E3	SOFTWARE	1920a003	1001	**The multicast routing program will restart, because the multicast (PIM6) max-interfaces configuration changed.**
	ランニングコンフィグレーションの IPv6 マルチキャスト（PIM6）情報がコンフィグレーションコマンド ipv6 pim max-interface で変更されたため，IPv6 マルチキャストルーティングプログラムを再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
86	E3	SOFTWARE	1920a005	1001	**IPv6 multicast routing entry had exceeded maximum value <number> for limit, entry has discarded[on VRF <vrf id>].**
	IPv6 マルチキャスト経路情報が制限により最大値 <number> を超えたためエントリを廃棄しています。 [メッセージテキストの表示説明] <number>　IPv6 マルチキャスト経路情報の最大数 <vrf id>　VRF ID [対応] 不正アクセスが発生した可能性があります。 • 想定以上のマルチキャスト経路情報追加要求が発生していないか確認してください。マルチキャスト経路情報が制限により最大値を超えています。 • コンフィグレーション（ipv6 pim mroute-limit コマンド）を確認してください。 • ネットワーク構成を確認の上，本装置の構成を再検討してください。				
87	E3	SOFTWARE	1920a006	1001	**IPv6 multicast routing entry has recovered from the state of discard[on VRF <vrf id>].**
	IPv6 マルチキャスト経路情報を廃棄する状態から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
88	E3	SOFTWARE	1920a007	1001	**IPv6 multicast forwarding entry had exceeded maximum value <number> for limit, entry has discarded[on VRF <vrf id>].**
	IPv6 マルチキャスト中継エントリが制限により最大値 <number> を超えたためエントリを廃棄しています。 [メッセージテキストの表示説明] <number>　IPv6 マルチキャスト中継エントリの最大数 <vrf id>　VRF ID [対応] 不正アクセスが発生した可能性があります。 • 想定以上のマルチキャスト中継エントリ追加要求が発生していないか確認してください。マルチキャスト中継エントリが制限により最大値を超えています。 • 中継しないマルチキャストパケット受信により，ネガティブキャッシュが生成されていないか確認してください。 • コンフィグレーション（ipv6 pim mcache-limit コマンド）を確認してください。 • ネットワーク構成を確認の上，本装置の構成を再検討してください。				
89	E3	SOFTWARE	1920a008	1001	**IPv6 multicast forwarding entry has recovered from the state of discard[on VRF <vrf id>].**
	IPv6 マルチキャスト中継エントリを廃棄する状態から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] <vrf id>　VRF ID [対応] なし。				
90	E3	SOFTWARE	1f01b024	1001	**IPv6 DHCP packet discarded by relay agent, because prefix entry exceeded the maximum.**
	プレフィックスのエントリが最大数を超えたため，リレーエージェントで IPv6 DHCP パケットを破棄しました。また，本メッセージ出力後，5 分間は同じメッセージが連続で出力されないよう抑止されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 収容クライアント数を show ipv6 dhcp relay binding コマンドで確認してください。 2. 本装置の収容クライアント数が収容条件を超えている場合，収容クライアント数を再検討して変更してください。 なお，実際に破棄された IPv6 DHCP パケット数を確認したい場合は，show ipv6 dhcp traffic コマンドを実行して IPv6 DHCP リレーの統計情報を表示し，lease prefix over の項目を確認してください。				
91	E3	SOFTWARE	1f01b025	1001	**IPv6 DHCP relay information defined by the configuration file is ignored, since IPv6 DHCP relay function license is not given.**
	スタートアップコンフィグレーションファイルで設定された IPv6 DHCP リレー情報は，ライセンスが与えられていないため無効となります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IPv6 DHCP リレーを使用する場合は，set license コマンドでオプションライセンス OP-DH6R を設定し，装置を再起動してください。				
92	E3	SOFTWARE	25090001	1001	**The change of power control mode was started.**
	電力制御モードの変更を開始しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 「The change of power control mode was completed.」とログが表示されるまで，BSU または CSU を抜去しないでください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
93	E3	SOFTWARE	25090002	1001	**The change of power control mode was completed.**
	電力制御モードの変更が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
94	E3	SOFTWARE	25090003	1001	**System changes to the schedule power control because it became schedule time.**
	省電力のスケジュール時間になりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
95	E3	SOFTWARE	25090004	1001	**System changes from the schedule power control because it ended schedule time.**
	省電力のスケジュール時間が終わりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
96	E3	SOFTWARE	25090011	1001	**System changes from the adaptive power control.**
	通信量の増加，またはトラフィック量による省電力機能のコンフィグレーションの変更に伴い，トラフィック量による省電力機能を解除します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
97	E3	SOFTWARE	25090012	1001	**System changes to the adaptive power control.**
	通信量の減少に伴いトラフィック量による省電力機能を起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
98	E3	SOFTWARE	25090101	1001	**The change of power control mode could not be started.**
	電力制御モードの変更を開始できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show system コマンドで装置構成を見直してください。BSU または CSU が冗長構成になっていない場合，スケジュール時間になっても normal から mode2 への変更，または mode2 から normal への変更はできません。BSU または CSU を冗長構成にしてください。 2. show system コマンドで装置構成を見直してください。BSU または CSU が冗長構成になっていない場合，トラフィック量による省電力機能が設定されていても，通信量の増減によって normal から mode2 への変更，または mode2 から normal への変更はできません。BSU または CSU を冗長構成にしてください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
99	E3	SOFTWARE	3000b042	1001	**Discard of packets occurred by a reception rate limit of DHCP packets and ARP packets.**
	DHCP パケットと ARP パケットの受信レート制限によるパケット廃棄が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
100	E3	SOFTWARE	3000b043	1001	**Failed in binding database generate by binding entry exceeded(<mac address>/<vlan id>/<ip address>).**
	データベースエントリ不足によってバインディングデータベース生成に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mac address>/<vlan id>/<ip address>　DHCP クライアント端末情報 • <mac address>　MAC アドレス • <vlan id>　VLAN ID • <ip address>　IP アドレス [対応] 装置の収容条件を超えました。システム構成を見直してください。また，スタティックエントリの追加によって本メッセージが表示された場合は該当するスタティックエントリを削除してください。				
101	E3	SOFTWARE	3000b044	1001	**The binding database can't be restored(<reason>).**
	バインディングデータベースを復元できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] <reason>　失敗理由 • File is not found.（ファイルが見つかりません） • May be broken.（バインディングデータベースが壊れているおそれがあります） • The data is not saved.（復元できるデータがありません） [対応] バインディングデータベースの保存先を確認してください。				
102	E3	SOFTWARE	3000b045	1001	**The binding database can't be stored(<reason>).**
	バインディングデータベースを保存できません。 [メッセージテキストの表示説明] <reason>　失敗理由 • File is not writing.（ファイルに書き込みができません） [対応] バインディングデータベースの保存先を確認してください。				
103	E3	SOFTWARE	3000b046	1001	**The binding database was restored from <url>.**
	バインディングデータベースを復元しました。 [メッセージテキストの表示説明] <url>　読み込んだバインディングデータベース • previous process　リスタート前のプロセス • flash　内蔵フラッシュメモリ • mc　MC [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
104	E3	SOFTWARE	3000b047	1001	**Failed in source guard setting by DHCP snooping (<mac address>/<vlan id>/<ip address>/<nif no.>/<port no.>).**
	端末フィルタの設定に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <mac address>/<vlan id>/<ip address>/<nif no.>/<port no.>　端末フィルタ設定情報 • <mac address>　MAC アドレス • <vlan id>　VLAN ID • <ip address>　IP アドレス • <nif no.>　NIF 番号 • <port no.>　ポート番号 [対応] 装置の収容条件を超えました。システム構成を見直してください。				
105	E4	SOFTWARE	20160002	1001	**The MAC-VLAN MAC Address entry can't be registered at hardware tables.**
	MAC VLAN にコンフィグレーションコマンドで設定した MAC アドレスが，ハードウェアに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし，ハードウェアの制限によって収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
106	E4	SOFTWARE	20400003	1001	**The 802.1X Supplicant MAC address can't be registered at hardware tables.**
	IEEE802.1X で認証に成功した端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし，ハードウェアの制限により収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
107	E4	SOFTWARE	20400004	1001	**The 802.1X Supplicant MAC address of MAC VLAN can't be registered at hardware tables.**
	IEEE802.1X で MAC VLAN での認証に成功した端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。 ただし，ハードウェアの制限により収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				
108	E4	SOFTWARE	20420002	1001	**The wad MAC Address entry can't be registered at hardware tables.**
	Web 認証機能で，端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。ただし，ハードウェアの制限により収容条件の最大数まで設定できない場合があります。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
109	E4	SOFTWARE	20420003	1001	**The wad MAC Address entry failed in the deletion.**
	Web 認証機能で，登録した端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルから削除できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2MAC 管理プログラム（L2MacManager）を再起動してください。				
110	E4	SOFTWARE	20430002	1001	**The macauthd MAC address entry can't be registered at hardware tables.**
	MAC 認証で，端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルに設定できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 収容条件を見直してください。MAC アドレステーブルの MAC アドレス登録総数が多い場合は，不要な MAC アドレスを削除してください。				
111	E4	SOFTWARE	20430003	1001	**The macauthd MAC address entry failed in the deletion.**
	MAC 認証で，登録した端末の MAC アドレスがハードウェアテーブルから削除されませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2MacManager を再起動してください。				
112	E4	SOFTWARE	27000013	0000	**System accounting failed (<number> times).**
	ログイン・ログアウト・コマンドのアカウンティングが失敗しました。このメッセージは，アカウンティングが失敗した場合に，間隔をあけて出力されます。なお，1 回でも成功した場合や，1 時間失敗が起きなかった場合には，失敗回数はクリアされます。 [メッセージテキストの表示説明] <number>　連続して失敗した回数 [対応] 1. RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバのコンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2. RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバの IP アドレスに誤りがないかコンフィグレーションを確認してください。 3. RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバのポート番号に誤りがないかコンフィグレーションを確認してください。				
113	E5	SOFTWARE	01300479	1001	**There is mismatch between active and standby license key.**
	運用系システムと待機系システムのライセンスキー情報が異なっています。 この状態では，redundancy force-switchover コマンドによる系切替は実行できません。 この状態で致命的障害発生，リセットボタン押下，ACH スイッチ押下，reload コマンドで active パラメータ指定などによって系切替が発生した場合，系切替後の新運用系システムは再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 運用系システムから synchronize コマンドを実行し，運用系システムと待機系システムのライセンスキー情報を一致させてください。 2. synchronize コマンドが終了したあと，運用系システムから reload コマンドで standby パラメータを指定し，待機系システムを再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
114	E7	SOFTWARE	00003101	1000	Memory exhausted. Possibly too many users logged in, or too many sessions(via ftp,http,...) established.
	CPU のメモリが不足しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 多数のユーザがログインしている場合，必要最小限のユーザ以外はログアウトしてください。 2. ftp からの利用が多い場合，必要最小限のコネクション以外は切断してください。 3. ネットワーク管理装置からのアクセスが多い場合，必要最小限のアクセス以外は抑止してください。 4. 上記 1，2，3 で回復しない場合，本装置の収容条件を満たしていない可能性があります。「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」を参照してネットワーク構成を見直してください。				
115	E7	SOFTWARE	01100001 01200001 01300001 01400001 01600001 01700001 01800001 01900001 01910001 03000001 04000001 05000001 06100001 06200001 06300001 06400001 06500001 07000001 08000001 09100001 09200001 09300001 09400001 09500001 09600001 09700001 09800001	1001	Software failure occurred during operation.
	運用中にソフトウェアに障害が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 正常な運用ができない可能性があります。次に示す処置を行ってください。 1. show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. reload コマンドで装置を再起動してください。 3. reload コマンドで再起動しても同一の障害が発生する場合は，装置を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
116	E7	SOFTWARE	01100002 01200002 01300002 01400002 01600002 01700002 01800002 01900002 01910002 03000002 04000002 05000002 06100002 06200002 06300002 06400002 06500002 07000002 08000002 09100002 09200002 09300002 09400002 09500002 09600002	1001	Software failure occurred during operation.
	運用中にソフトウェアに障害が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 正常な運用ができない可能性があります。次に示す処置を行ってください。 1. show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. reload コマンドで装置を再起動してください。 3. reload コマンドで再起動しても同一の障害が発生する場合は，装置を交換してください。				
117	E7	SOFTWARE	01100004 01200004 01300004 01400004 01600004 01700004 01800004 01900004 01910004 03000004 04000004 05000004 06100004 06200004 06300004 06400004 06500004 07000004 08000004 09100004 09200004 09300004 09400004 09500004 09600004	1001	Software failure occurred during operation.

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
	運用中にソフトウェアに障害が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 正常な運用ができない可能性があります。次に示す処置を行ってください。 1. show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。 2. reload コマンドで装置を再起動してください。 3. reload コマンドで再起動しても同一の障害が発生する場合は，装置を交換してください。				
118	E7	SOFTWARE	02002001	1001	**snmpd aborted.**
	SNMP エージェントプログラム（snmpd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] SNMP エージェントプログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル snmpd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，SNMP エージェントプログラムは自動的に再起動されます。SNMP エージェントプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
119	E7	SOFTWARE	02002003	1001	**rmon aborted.**
	RMON プログラム（rmon）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] RMON の障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル rmon.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，RMON プログラムは自動的に再起動されます。RMON プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
120	E7	SOFTWARE	05001001	1001	**Rtm aborted [:<error string>].**
	ユニキャストルーティングプログラム（rtm）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] <error string>　エラー要因 • Cannot allocate memory　メモリ不足による強制終了 • 空白　その他の要因による強制終了 [対応] • エラー要因が，「メモリ不足による強制終了」の場合 メモリ領域が枯渇したことが原因です。使用制限（「コンフィグレーションガイド Vol.1　3. 収容条件」参照）をオーバしていないか確認してください。使用制限内である場合は，次の「エラー要因：その他の要因による強制終了」の対応を行ってください。 • エラー要因が，「その他の要因による強制終了」の場合 (1) ユニキャストルーティングプロトコルに関する他のログ（ログ種別：RTM）が発生していないかを確認し，対応する処置を行ってください。 (2) ユニキャストルーティングプログラムは自動的に再起動されます。ユニキャストルーティングプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
121	E7	SOFTWARE	0d00b001	1001	**dhcpd aborted.**
	DHCP リレープログラム（dhcpd）を強制終了しました。DHCP リレーが，メモリ領域不足などの異常を検出し動作継続を断念し強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] DHCP リレープログラムは自動的に再起動します。DHCP リレープログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置の再起動を行ってください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
122	E7	SOFTWARE	0d10b001	1001	**dhcp_server aborted.**
	DHCP サーバプログラム（dhcp_server）を強制終了しました。DHCP サーバが，メモリ領域不足などの異常を検出し動作継続を断念し強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] DHCP サーバプログラムは自動的に再起動します。DHCP サーバプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置の再起動を行ってください。				
123	E7	SOFTWARE	0e008014	1000	**vrrpd aborted.**
	VRRP プログラム（vrrpd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VRRP プログラムは自動的に再起動します。VRRP プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
124	E7	SOFTWARE	0f406001	1001	**mrp aborted.**
	IP マルチキャストルーティングプログラムを強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. IP マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MRP）が発生していないかを確認し，対応する処置を行ってください。 2. IP マルチキャストルーティングプログラムは自動的に再起動します。IP マルチキャストルーティングプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置の再起動を行ってください。				
125	E7	SOFTWARE	11109901	1001	**policyd aborted.**
	ポリシーベースプログラム（policyd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ポリシーベースプログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル policyd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，ポリシーベースプログラムは自動的に再起動されます。ポリシーベースプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
126	E7	SOFTWARE	1920a002	1001	**mr6 aborted.**
	IPv6 マルチキャストルーティングプログラムを強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. IPv6 マルチキャストルーティングプログラム関連の他のログ（ログ種別：MR6）が発生していないかを確認し，対応する処置を行ってください。 2. IPv6 マルチキャストルーティングプログラムは自動的に再起動します。IPv6 マルチキャストルーティングプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置の再起動を行ってください。				
127	E7	SOFTWARE	1e001000	1001	**flowd aborted.**
	フロー統計エージェントプログラム（flowd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] フロー統計エージェントプログラムは自動的に再起動します。フロー統計エージェントプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
128	E7	SOFTWARE	1f00b011	1001	**dhcp6_server aborted.**
	IPv6 DHCP サーバプログラム（dhcp6_server）を強制終了しました。 IPv6 DHCP サーバが，メモリ領域不足などの異常を検出し，動作継続を断念して強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IPv6 DHCP サーバプログラムは自動的に再起動します。IPv6 DHCP サーバプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください				
129	E7	SOFTWARE	1f01b021	1001	**dhcp6_relay aborted.**
	IPv6 DHCP リレープログラム（dhcp6_relay）を強制終了しました。 IPv6 DHCP リレーが，メモリ領域不足などの異常を検出したため，動作継続を断念し，強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IPv6 DHCP リレープログラムは自動的に再起動します。IPv6 DHCP リレープログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
130	E7	SOFTWARE	20110000	1001	**stpd aborted**
	スパニングツリープログラム（STPd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] スパニングツリープログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル stpd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，スパニングツリープログラムは自動的に再起動されます。スパニングツリープログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
131	E7	SOFTWARE	20120001	1001	**LAd aborted**
	リンクアグリゲーションプログラム（LAd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] リンクアグリゲーションプログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル LAd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，リンクアグリゲーションプログラムは自動的に再起動されます。リンクアグリゲーションプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
132	E7	SOFTWARE	20130001	1001	**gsrpd aborted.**
	GSRP プログラム（gsrpd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] GSRP プログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル gsrpd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，GSRP プログラムは自動的に再起動されます。GSRP プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
133	E7	SOFTWARE	20140001	1001	**lldpd aborted.**
	LLDP プログラム（lldpd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] LLDP プログラムは自動的に再起動します。LLDP プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
134	E7	SOFTWARE	20150001	1001	**oadpd aborted.**
	OADP プログラム（oadpd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] OADP プログラムは自動的に再起動します。OADP プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
135	E7	SOFTWARE	20160001	1001	**L2MacManager aborted.**
	L2MAC 管理プログラム（L2MacManager）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2MAC 管理プログラムは自動的に再起動します。L2MAC 管理プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
136	E7	SOFTWARE	20170001	1001	**axrpd aborted.**
	Ring Protocol プログラム（axrpd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] Ring Protocol プログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル axrpd.core），ログ情報，およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，Ring Protocol プログラムは自動的に再起動されます。Ring Protocol プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
137	E7	SOFTWARE	20400001	1001	**dot1xd aborted**
	IEEE802.1X プログラム（dot1xd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IEEE802.1X プログラムは自動的に再起動します。IEEE802.1X プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
138	E7	SOFTWARE	20420001	1001	**wad aborted.**
	Web 認証プログラム（wad）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] Web 認証プログラムは自動的に再起動します。Web 認証プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
139	E7	SOFTWARE	20430001	1001	macauthd aborted.
	MAC 認証プログラムを強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MAC 認証プログラムは自動的に再起動します。MAC 認証プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
140	E7	SOFTWARE	20700001	1001	efmoamd aborted.
	IEEE802.3ah/OAM プログラム（efmoamd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IEEE802.3ah/OAM プログラムは自動的に再起動します。IEEE802.3ah/OAM プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
141	E7	SOFTWARE	20800001	1001	l2ldd aborted.
	L2 ループ検知プログラム（l2ldd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] L2 ループ検知プログラムは自動的に再起動します。L2 ループ検知プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
142	E7	SOFTWARE	20900001	1001	cfmd aborted.
	CFM プログラム（cfmd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] CFM プログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル cfmd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。 収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，CFM プログラムは自動的に再起動します。CFM プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
143	E7	SOFTWARE	21000001	1001	snoopd aborted.
	IGMP snooping/MLD snooping プログラム（snoopd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] IGMP snooping/MLD snooping プログラム（snoopd）は自動的に再起動します。IGMP snooping/MLD snooping プログラム（snoopd）が再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
144	E7	SOFTWARE	25300000	1001	nimd aborted.
	ネットワークインタフェース管理プログラム（nimd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ネットワークインタフェース管理プログラムは自動的に再起動します。ネットワークインタフェース管理プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
145	E7	SOFTWARE	27000001	0000	**accountingd aborted.**
	アカウンティングプログラム（accountingd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] アカウンティングプログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル acctd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。なお，アカウンティングプログラムは自動的に再起動されます。アカウンティングプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
146	E7	SOFTWARE	27000011	0000	**System accounting temporary stopped because accounting event congestion detected.**
	アカウンティングイベント送信が輻輳したため，ログイン・ログアウト・コマンドのアカウンティングを一時停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show accounting コマンドで，エラーが発生している RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバがないかを確認してください。エラーが発生している RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバのコンフィグレーションの設定を確認してください。また，RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバ側の設定も正しいことを確認してください。 輻輳状態は次のどれかの契機で回復します。 1. RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバとの通信が復旧後，送信待ちアカウンティングイベント数が 256 まで減少したとき。 送信待ちアカウンティングイベント数は，show accounting コマンドの表示項目「InQueue」で確認できます。 2. restart accounting コマンド実行時。 3. 次に示すアカウンティング関連のコンフィグレーション変更時。 aaa accounting exec，aaa accounting commands，radius-server 関連コマンド，tacacs-server 関連コマンド，interface loopback モードの ip address				
147	E7	SOFTWARE	2a001000	1001	**httpd aborted.**
	HTTP プログラム（httpd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] HTTP プログラムは自動的に再起動します。HTTP プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
148	E7	SOFTWARE	2d000001	1001	**acllogd aborted.**
	アクセスリストロギングプログラム（acllogd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] アクセスリストロギングプログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル acllogd.core）を収集してください。 収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，アクセスリストロギングプログラムは自動的に再起動します。アクセスリストロギングプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
149	E7	SOFTWARE	3000b041	1001	**dhcp_snoopingd aborted.**
	DHCP snooping プログラム（dhcp_snoopingd）を強制終了しました。 DHCP snooping が，メモリ領域不足などの異常を検出したため，動作継続を断念し，強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] DHCP snooping プログラムは自動的に再起動します。DHCP snooping プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
150	E7	SOFTWARE	32001001	1001	**trackobjd aborted.**
	トラックオブジェクトプログラム（trackobjd）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] トラックオブジェクトプログラムは自動的に再起動します。トラックオブジェクトプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
151	E9	SOFTWARE	01100003 01200003 01300003 01400003 01600003 01700003 01800003 01900003 01910003 03000003 04000003 05000003 06100003 06200003 06300003 06400003 06500003 07000003 08000003 09100003 09200003 09300003 09400003 09500003 09600003	1001	**System restarted due to software failure occurred during initialization.**
	初期化中にソフトウェアに障害が発生し，装置を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
152	E9	SOFTWARE	01100005 01200005 01300005 01400005 01600005 01700005 01800005 01900005 01910005 03000005 04000005 05000005 06100005 06200005 06300005 06400005 06500005 07000005 08000005 09100005 09200005 09300005 09400005 09500005 09600005 09700005 09800005	1001	**System restarted due to software failure occurred during operation.**
	運用中にソフトウェアに障害が発生し，装置を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。				
153	E9	SOFTWARE	25040d05	1001	**System restarted due to software failure occurred during operation.**
	運用中にソフトウェアに障害が発生し，装置を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドでログを確認し，他の障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置を行ってください。				
154	R5	SOFTWARE	01300479	1001	**Active and standby license key is identical.**
	運用系システムと待機系システムのライセンスキー情報が一致しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
155	R7	SOFTWARE	00003101	1000	**Recovered from memory exhaustion.**
	CPU のメモリ不足が回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
156	R7	SOFTWARE	02002001	1001	**snmpd restarted.**
	SNMP エージェントプログラム（snmpd）を再起動しました。 このメッセージは，SNMP エージェントプログラムの強制終了から自動的に再起動した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] SNMP エージェントプログラムの障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル snmpd.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，SNMP エージェントプログラムは自動的に再起動されます。SNMP エージェントプログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
157	R7	SOFTWARE	02002003	1001	**rmon restarted.**
	RMON プログラム（rmon）を再起動しました。 このメッセージは，RMON プログラムの強制終了から自動的に再起動した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] RMON の障害待避情報（/usr/var/core 下のファイル rmon.core）およびログ情報，コンフィグレーションを収集してください。収集方法については，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお，RMON プログラムは自動的に再起動されます。RMON プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
158	R7	SOFTWARE	05001001	1001	**Rtm restarted.**
	ユニキャストルーティングプログラム（rtm）を再起動しました。 このメッセージは，ユニキャストルーティングプログラムが自動的に再起動した場合，または restart unicast コマンドによって再起動を実行した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
159	R7	SOFTWARE	0d00b001	1001	**dhcpd restarted.**
	DHCP リレープログラム（dhcpd）を再起動しました。このメッセージは DHCP リレープログラムが自動的に再起動した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
160	R7	SOFTWARE	0d10b001	1001	**dhcp_server restarted.**
	DHCP サーバプログラム（dhcp_server）を再起動しました。このメッセージは DHCP サーバプログラムが自動的に再起動した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
161	R7	SOFTWARE	0e008014	1000	**vrrpd restarted.**
	VRRP プログラム（vrrpd）を再起動しました。 このメッセージは VRRP プログラムが自動的に再起動した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位4桁	メッセージテキスト
	内容				
162	R7	SOFTWARE	0f406001	1001	**mrp restarted.**
	IP マルチキャストルーティングプログラムを再起動しました。このメッセージは，IP マルチキャストルーティングプログラムが自動的に再起動した場合，または restart ipv4-multicast コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
163	R7	SOFTWARE	11109901	1001	**policyd restarted.**
	ポリシーベースプログラム（policyd）を再起動しました。 このメッセージは，ポリシーベースプログラムが自動的に再起動した場合，または restart policy コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
164	R7	SOFTWARE	1920a002	1001	**mr6 restarted.**
	IPv6 マルチキャストルーティングプログラムを再起動しました。このメッセージは，IPv6 マルチキャストルーティングプログラムが自動的に再起動した場合，または restart ipv6-multicast コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
165	R7	SOFTWARE	1e001000	1001	**flowd restarted.**
	フロー統計エージェントプログラム（flowd）を再起動しました。このメッセージはフロー統計エージェントプログラムが自動的に再起動した場合，または restart sflow コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
166	R7	SOFTWARE	1f00b011	1001	**dhcp6_server restarted.**
	IPv6 DHCP サーバプログラム（dhcp6_server）を再起動しました。 このメッセージは，IPv6 DHCP サーバプログラムが自動的に再起動した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
167	R7	SOFTWARE	1f01b021	1001	**dhcp6_relay restarted.**
	IPv6 DHCP リレープログラム（dhcp6_relay）を再起動しました。 このメッセージは，IPv6 DHCP リレープログラムが自動的に再起動した場合，または restart ipv6-dhcp relay コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
168	R7	SOFTWARE	20110001	1001	**stpd restarted**
	スパニングツリープログラム（stpd）を再起動しました。このメッセージは，スパニングツリープログラムが自動的に再起動した場合，または restart spanning-tree コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
169	R7	SOFTWARE	20120001	1001	**LAd restarted.**
	リンクアグリゲーションプログラム（LAd）を再起動しました。このメッセージは，リンクアグリゲーションプログラムが自動的に再起動した場合，または restart link-aggregation コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
170	R7	SOFTWARE	20130002	1001	**gsrpd restarted.**
	GSRP プログラム（gsrpd）を再起動しました。このメッセージは GSRP プログラムが自動的に再起動した場合，または restart gsrp コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
171	R7	SOFTWARE	20140001	1001	**lldpd restarted.**
	LLDP プログラム（lldpd）を再起動しました。このメッセージは LLDP プログラムが自動的に再起動した場合，または restart lldp コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
172	R7	SOFTWARE	20150001	1001	**oadpd restarted.**
	OADP プログラム（oadpd）を再起動しました。このメッセージは OADP プログラムが自動的に再起動した場合，または restart oadp コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
173	R7	SOFTWARE	20160001	1001	**L2MacManager restarted.**
	L2MAC 管理プログラム（L2MacManager）を再起動しました。このメッセージは L2MAC 管理プログラムが自動的に再起動した場合，または restart vlan コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
174	R7	SOFTWARE	20170001	1001	**axrpd restarted.**
	Ring Protocol プログラム（axrpd）を再起動しました。このメッセージは Ring Protocol プログラムが自動的に再起動した場合，または restart axrp コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
175	R7	SOFTWARE	20400001	1001	**dot1xd restarted.**
	IEEE802.1X プログラム（dot1xd）を再起動しました。このメッセージは IEEE802.1X プログラムが自動的に再起動した場合，または restart dot1x コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
176	R7	SOFTWARE	20420001	1001	**wad restarted.**
	Web 認証プログラム（wad）を再起動しました。 このメッセージは Web 認証プログラムが自動的に再起動した場合，または restart web-authentication コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証クライアント側で再度認証を行ってください。				
177	R7	SOFTWARE	20430001	1001	**macauthd restarted.**
	MAC 認証プログラムを再起動しました。 このメッセージは MAC 認証プログラムが自動的に再起動した場合，または restart mac-authentication コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証クライアント側で再度認証作業を行ってください。				
178	R7	SOFTWARE	20700001	1001	**efmoamd restarted.**
	IEEE802.3ah/OAM プログラム（efmoamd）を再起動しました。 このメッセージは IEEE802.3ah/OAM プログラムが自動的に再起動した場合，または restart efmoam コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
179	R7	SOFTWARE	20800001	1001	**l2ldd restarted.**
	L2 ループ検知プログラム（l2ldd）を再起動しました。 このメッセージは L2 ループ検知プログラムが自動的に再起動した場合，または restart loop-detection コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
180	R7	SOFTWARE	20900001	1001	**cfmd restarted.**
	CFM プログラム（cfmd）を再起動しました。 このメッセージは CFM プログラムが自動的に再起動した場合，または restart cfm コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
181	R7	SOFTWARE	21000001	1001	**snoopd restarted.**
	IGMP snooping/MLD snooping プログラム（snoopd）を再起動しました。このメッセージは IGMP snooping/MLD snooping プログラムが自動的に再起動した場合，または restart snooping コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
182	R7	SOFTWARE	25300000	1001	**nimd restarted.**
	ネットワークインタフェース管理プログラム（nimd）を再起動しました。このメッセージは，ネットワークインタフェース管理プログラムが自動的に再起動した場合，または restart vlan コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
183	R7	SOFTWARE	27000001	0000	**accountingd restarted.**
	アカウンティングプログラム（accountingd）を再起動しました。このメッセージはアカウンティングプログラムが自動的に再起動した場合，または restart accounting コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
184	R7	SOFTWARE	27000011	0000	**System accounting recovered from congestion.**
	アカウンティングイベント送信が輻輳から回復したため，ログイン・ログアウト・コマンドのアカウンティングを再開しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
185	R7	SOFTWARE	2a001000	1001	**httpd restarted.**
	HTTP プログラム（httpd）を再起動しました。このメッセージは HTTP プログラムが自動的に再起動した場合，または restart web-authentication コマンドによって HTTP プログラムの再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
186	R7	SOFTWARE	2d000001	1001	**acllogd restarted.**
	アクセスリストロギングプログラム（acllogd）を再起動しました。このメッセージはアクセスリストロギングプログラムが自動的に再起動した場合，または restart access-log コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
187	R7	SOFTWARE	3000b041	1001	**dhcp_snoopingd restarted.**
	DHCP snooping プログラム（dhcp_snoopingd）を再起動しました。 このメッセージは DHCP snooping プログラムが自動的に再起動した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
188	R7	SOFTWARE	32001001	1001	**trackobjd restarted.**
	トラックオブジェクトプログラム（trackobjd）を再起動しました。 このメッセージはトラックオブジェクトプログラムが自動的に再起動した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.4.2　イベント発生部位＝ SOFTWARE(認証 VLAN)【OP-VAA】

イベント発生部位 =SOFTWARE の認証 VLAN 関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-11　イベント発生部位 =SOFTWARE の認証 VLAN 関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	SOFTWARE	20410002	1001	**vaad connection closed<ipv4 address>.**
	VAA と認証サーバ <ipv4 address> とのコネクションが切断しました。 このメッセージは VAA と認証サーバ間の TCP コネクションが何らかの要因で切断された場合，または VAA を停止した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv4 address>　認証サーバの IPv4 アドレス [対応] VAA が起動状態の場合は，自動的に再接続します。				
2	E3	SOFTWARE	20410003	1001	**vaad connection was established<ipv4 address>.**
	VAA と認証サーバ <ipv4 address> とのコネクションが確立しました。 このメッセージは，VAA と認証サーバ間の TCP コネクションが確立された場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] <ipv4 address>　認証サーバの IPv4 アドレス [対応] なし。				
3	E3	SOFTWARE	20410004	1001	**vaad Server protocol version is not supported.**
	認証サーバのプロトコルバージョンが，VAA でサポートしているバージョンではありません。 このメッセージは，認証サーバのプロトコルバージョンが ” 1.0 ” 以外の場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証サーバのプロトコルバージョンを ” 1.0 ” に変更してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
4	E3	SOFTWARE	20410005	1001	**vaad Since L2MacManager restarted, all MAC was deleted.**
	L2MacManager が VAA とのソケットをクローズしたため，認証登録してあるすべての MAC アドレスを削除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証クライアント側で再度認証作業を行ってください。				
5	E3	SOFTWARE	20410006	1001	**vaad all MAC address were cleared.**
	VAA と認証サーバ間のすべての TCP コネクションが，指定されたリトライ回数内で確立できなかったため，認証登録してあるすべての MAC アドレスを削除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本装置と認証サーバ間でネットワーク的に導通できるか確認してください。				
6	E3	SOFTWARE	20410007	1001	**vaad The socket with L2MacManager was closed.**
	VAA と L2MacManager 間のソケットをクローズしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] このエラーが頻発する場合は，L2MacManager を再起動してください。				
7	E3	SOFTWARE	20410012	1001	**VAA information defined by the configuration file is ignored,since VAA function license is not given.**
	スタートアップコンフィグレーションファイルで設定された VAA 情報は，ライセンスが与えられていないため無効となります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] set license コマンドでオプションライセンス OP-VAA を設定し，装置を再起動してください。				
8	E4	SOFTWARE	20410009	1001	**vaad failed to get configuration data.**
	装置内部で VAA 機能のコンフィグレーションデータの取得に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VAA 機能のコンフィグレーションを削除し，VAA のコンフィグレーションを再設定してください。				
9	E4	SOFTWARE	20410010	1001	**vaad failed to make temporary file.**
	装置内部で VAA 機能のテンポラリファイルの作成に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VAA 機能のコンフィグレーションを削除し，VAA のコンフィグレーションを再設定してください。				
10	E4	SOFTWARE	20410011	1001	**vaad was not able to get enough memory.**
	装置のメモリ容量が足りないため，VAA のメモリ確保に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VAA 機能のコンフィグレーションを削除し，VAA のコンフィグレーションを再設定してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
11	E7	SOFTWARE	20410001	1001	**vaad aborted.**
	VAA プログラム（vaad）を強制終了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] VAA プログラムは自動的に再起動します。VAA プログラムが再起動しない場合，または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。				
12	R7	SOFTWARE	20410001	1001	**vaad restarted.**
	VAA プログラム（vaad）を再起動しました。このメッセージは VAA プログラムが自動的に再起動した場合，または restart vaa コマンドによって再起動を要求した場合に出力します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 認証クライアント側で再度認証作業を行ってください。				

3.4.3　イベント発生部位＝ BSU【AX6700S】

イベント発生部位 =BSU の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-12　イベント発生部位 =BSU の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	BSU	01200174	1681	**Failed in accumulated running time access to BSU.**
	BSU への通算稼働時間のアクセスに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし，通算稼働時間の管理機能が使用できませんので，使用したい場合は BSU を交換してください。				
2	E3	BSU	23000162	1681	**BSU inactivated because of SOP operation.**
	システム操作パネルからの inactivate 指示によって，BSU を inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
3	E3	BSU	23000166	1681	**BSU activated because of SOP operation.**
	システム操作パネルからの activate 指示によって，BSU は inactive 状態を解除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
4	E3	BSU	25070000	1681	**BSU enabled administratively.**
	コンフィグレーションコマンド power enable によって，BSU は disable を解除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
5	E3	BSU	25070001	1681	**BSU board connected.**
	BSU ボードの挿入を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	E3	BSU	25070003	1681	**BSU activated administratively.**
	activate コマンドによって BSU は inactive 状態を解除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
7	E3	BSU	25070100	1681	**BSU disabled administratively.**
	コンフィグレーションコマンドで no power enable を設定したことによって，BSU は disable されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
8	E3	BSU	25070101	1681	**BSU board notconnected.**
	BSU ボードの抜去を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] BSU ボードが実装されていない，または半挿し状態です。BSU を実装してください。				
9	E3	BSU	25070103	1681	**BSU inactivated administratively.**
	inactivate コマンドによって BSU は inactive 状態にされました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
10	E3	BSU	25070700	1681	**BSU online dump command executed.**
	BSU ダンプ（BSU 再起動なし）コマンド実行による，メモリダンプの収集が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
11	E3	BSU	25070701	1681	**Can't execute dump command(other dump executing).**
	ほかのダンプ処理を実行中です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 時間をおいて再度実行してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
12	E3	BSU	25070702	1681	**BSU dump canceled.**
	ダンプ採取が中断されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show system コマンドで，user area の空き容量（推奨空き容量は 30MB）があるか確認し，空き容量がない場合にはダンプファイル等を削除してから再度実行してください。 2. 他のダンプ採取完了後に再度実行してください。				
13	E3	BSU	25070800	1681	**BSU offline dump command executed.**
	BSU ダンプ（BSU 再起動あり）コマンド実行による，メモリダンプの収集が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
14	E3	BSU	25070900	1681	**This BSU changed to active.**
	この BSU は運用系に系切替しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. BSU のログを確認し，発生している障害に応じた処理をしてください。 2. コマンドにより系切替した場合は，対応は不要です。				
15	E3	BSU	25070901	1681	**This BSU changed from active.**
	この BSU は運用系から系切替しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. BSU のログを確認し，発生している障害に応じた処理をしてください。 2. コマンドにより系切替した場合は，対応は不要です。				
16	E3	BSU	25070a01	1681	**BSU restarted because of its HDC update done.**
	HDC（Hardware Dependent Code）を更新したので，BSU を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
17	E3	BSU	25070a02	1681	**HDC on BSU will updated.Do not pull out BSU.**
	HDC（Hardware Dependent Code）を更新します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 「BSU restarted because of its HDC update done.」とログが表示されるまで，BSU を抜去しないでください。				
18	E3	BSU	25070b00	1681	**BSU is not initialized because the number or location of BSU is different from "max-bsu" configuration.**
	BSU の実装数または実装したスロットの位置が "max-bsu" のコンフィグレーションと異なるため，BSU は起動しませんでした。show system コマンドで，Redundancy bsu-mode と装置に実装している BSU の状態を参照し，コンフィグレーションと不一致がないか確認してください。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
19	E5	BSU	25070203	1681	**Fatal error detected on standby BSU.**
	待機系 BSU で障害が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] BSU のログを確認し，発生している障害に応じた処理をしてください。				
20	E5	BSU	25070204	1681	**Fatal error detected on active BSU.**
	運用系 BSU で障害が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] BSU のログを確認し，発生している障害に応じた処理をしてください。				
21	E6	BSU	25070200	1681	**BSU restarted because its hardware failure detected during the self diagnosis.**
	BSU の自己診断中に障害を検出しました。BSU を再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 再起動後に，障害の回復に成功したか失敗したかをログ情報で確認してください。成功の場合は継続して運用できます。 失敗の場合は BSU を交換してください。				
22	E6	BSU	25070201	1681	**BSU stopped because its hardware failure detected.**
	BSU でハードウェア障害を検出しました。BSU を停止します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] BSU を交換してください。				
23	E6	BSU	25070400	1681	**BSU restarted, but not recovered from hardware failure.**
	BSU を再起動しましたが，以下のどれかから回復しませんでした。 • ハードウェア障害 • 自己診断中に検出した障害 • ヘルスチェックエラー [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] BSU を交換してください。				
24	E6	BSU	25070500	1681	**BSU not initialized because it is unavailable configuration.**
	使用できないコンフィグレーションのため，初期化できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 以下のコンフィグレーションを正しく変更してください。 • フィルタ・QoS 機能のフロー配分パターン • 装置当たりの最大エントリ数配分パターン				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
25	E6	BSU	25070501	1681	**BSU not initialized because it is unknown BSU.**
	不明な BSU ボードのため，初期化できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. BSU ボードが半挿し状態です。BSU ボードを正しく挿入してください。 2. ソフトウェアバージョンでサポートされていない BSU ボードです。BSU ボード種別とソフトウェアのバージョンを確認し，BSU ボードの交換，またはソフトウェアのアップデートをしてください。 3. 本装置でサポートされていない BSU ボードです。BSU ボードを交換してください。				
26	E6	BSU	25070502	1681	**BSU not initialized because it is mismatch BSU.**
	異なる BSU ボードが混在しているため，初期化できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ほかの BSU ボードと同じ BSU ボードに交換してください。				
27	E6	BSU	25070902	1681	**System cannot execute BSU swap. All BSU restarted.**
	BSU の系切替ができませんでした。すべての BSU を再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
28	E6	BSU	25070903	1681	**Health check error detected on standby BSU. This system (BCU1) is active.**
	運用系 BCU1 から待機系 BSU へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. このログに対応する回復ログ「Health check error recovered.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 2. 半挿しの可能性があります。ボードの交換直後の場合は実装を確認してください。 3. 上記の対応でも回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
29	E6	BSU	25070904	1681	**Health check error detected on standby BSU. This system (BCU2) is active.**
	運用系 BCU2 から待機系 BSU へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. このログに対応する回復ログ「Health check error recovered.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 2. 半挿しの可能性があります。ボードの交換直後の場合は実装を確認してください。 3. 上記の対応でも回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
30	E6	BSU	25070a00	1681	**BSU restarted because of its HDC update failure.**
	HDC（Hardware Dependent Code）の更新に失敗したので，BSU を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] BSU を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
31	R6	BSU	25070002	1681	**BSU initialized.**
	BSU の初期化が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
32	R6	BSU	25070200	1681	**BSU recovered from hardware failure detected during the self diagnosis.**
	BSU の自己診断中に検出したハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
33	R6	BSU	25070903	1681	**Standby BSU health check error recovered. This system (BCU1) is active.**
	運用系 BCU1 から待機系 BSU へのヘルスチェックエラーが回復しました。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
34	R6	BSU	25070904	1681	**Standby BSU health check error recovered. This system (BCU2) is active.**
	運用系 BCU2 から待機系 BSU へのヘルスチェックエラーが回復しました。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
35	R6	BSU	25070905	1681	**BSU event initialized as a result of changing this system from active to standby.**
	本装置は運用系 BCU から待機系 BCU に系切替したため，過去の BSU イベント情報を初期化しました。本ログは待機系 BCU でだけ表示します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.4.4　イベント発生部位＝ NIF

イベント発生部位 =NIF の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-13　イベント発生部位 =NIF の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	NIF	01200174	1240	**Failed in accumulated running time access to NIF.**
	NIF への通算稼働時間のアクセスに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 通信および通常運用に影響はありません。 ただし，通算稼働時間の管理機能が使用できませんので，使用したい場合は NIF を交換してください。				
2	E3	NIF	23000163	1240	**NIF inactivated because of SOP operation.**
	システム操作パネルからの inactivate 指示によって，NIF を inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
3	E3	NIF	23000167	1240	**NIF activated because of SOP operation.**
	システム操作パネルからの activate 指示によって，NIF は inactive 状態を解除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
4	E3	NIF	25000000	1240	**NIF enabled administratively.**
	コンフィグレーションコマンド power enable，no schedule-power-control shutdown によって NIF は disable を解除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
5	E3	NIF	25000001	1240	**NIF board connected.**
	NIF ボードの挿入を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	E3	NIF	25000003	1240	**NIF activated administratively.**
	activate コマンドによって，NIF は inactive 状態を解除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
7	E3	NIF	25000004	1240	**Redundancy NIF Group <nif group no.>:This NIF changed to active.**
	この NIF は冗長グループの運用系に変わりました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif group no.>　NIF 冗長グループ番号 [対応] 1.　NIF，またはポートのログを確認し，発生している障害に応じた処理をしてください。 2.　コマンド，またはスケジューリングによって動作状態を変更した場合は，対応は不要です。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
8	E3	NIF	25000100	1240	**NIF disabled administratively.**
	コンフィグレーションコマンドで no power enable，schedule-power-control shutdown を設定したことによって NIF は disable されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
9	E3	NIF	25000101	1240	**NIF board notconnected.**
	NIF ボードの抜去を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF ボードが抜去された，または半挿し状態です。NIF を挿入してください。				
10	E3	NIF	25000103	1240	**NIF inactivated administratively.**
	inactivate コマンドによって，NIF を inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
11	E3	NIF	25000104	1240	**Redundancy NIF Group <nif group no.>:This NIF changed from active.**
	この NIF は冗長グループの運用系から変わりました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif group no.>　NIF 冗長グループ番号 [対応] 1. NIF，またはポートのログを確認し，発生している障害に応じた処理をしてください。 2. コマンド，またはスケジューリングによって動作状態を変更した場合は，対応は不要です。				
12	E3	NIF	25000700	1240	**NIF online dump command executed.**
	NIF ダンプ（NIF 再起動なし）コマンドの実行によって，メモリダンプの収集が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
13	E3	NIF	25000701	1240	**Can't execute dump command(other dump executing).**
	ほかのダンプ処理を実行中です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 時間をおいて再度実行してください。				
14	E3	NIF	25000702	1240	**NIF dump canceled.**
	ダンプ採取が中断されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show system コマンドで，user area の空き容量（推奨空き容量は 30MB）があるか確認し，空き容量がない場合にはダンプファイル等を削除してから再度実行してください。 2. 他のダンプ採取完了後に再度実行してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
15	E3	NIF	25000800	1240	**NIF offline dump command executed.**
	NIF ダンプ（NIF 再起動あり）コマンドの実行によって，メモリダンプの収集が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
16	E3	NIF	25000a01	1240	**NIF restarted because of its HDC update done.**
	HDC（Hardware Dependent Code）を更新したので，NIF を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
17	E3	NIF	25000a02	1240	**HDC on NIF will updated. Do not pull out NIF.**
	HDC（Hardware Dependent Code）を更新します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 「NIF restarted because of its HDC update done.」とログが表示されるまで，NIF を抜去しないでください。				
18	E3	NIF	25000a03	1240	**HDC on NIF update required, but not updated by configuration.**
	HDC（Hardware Dependent Code）の更新が必要ですが，コンフィグレーションコマンドで no system nif-hdc restart を設定したことによって，更新されませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を再起動してください。				
19	E3	NIF	2523000c	1240	**The nif does not support the specified shaper mode.**
	この NIF は指定したシェーパモードをサポートしていません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 該当 NIF に指定したシェーパモードを見直してください。				
20	E3	NIF	2523000d	1240	**The nif does not support hierarchical shaper.**
	この NIF は階層化シェーパ機能をサポートしていません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションから階層化シェーパ情報を削除してください。				
21	E6	NIF	25000200	1240	**NIF restarted because its hardware failure detected during the self diagnosis.**
	NIF の自己診断中に障害を検出しました。NIF を再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 再起動後に，障害の回復に成功したか失敗したかをログ情報で確認してください。成功の場合は継続して運用できます。失敗の場合は NIF を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
22	E6	NIF	25000201	1240	**NIF stopped because its hardware failure.**
	NIF でハードウェア障害を検出しました。NIF を停止します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
23	E6	NIF	25000400	1240	**NIF restarted, but not recovered from hardware failure.**
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
24	E6	NIF	25000500	1240	**NIF not initialized because of its unknown NIF.**
	不明な NIF ボードのため，初期化できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. NIF ボードが半挿し状態です。NIF ボードを正しく挿入してください。 2. ソフトウェアバージョンでサポートされていない NIF ボードです。NIF ボード種別とソフトウェアのバージョンを確認し，NIF ボードを交換するか，ソフトウェアをアップデートしてください。 3. 本装置でサポートされていない NIF ボードです。NIF ボードを交換してください。				
25	E6	NIF	25000a00	1240	**NIF restarted because of its HDC update failure.**
	HDC（Hardware Dependent Code）の更新に失敗したので，NIF を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
26	R6	NIF	25000002	1240	**NIF initialized.**
	NIF の初期化が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
27	R6	NIF	25000200	1240	**NIF recovered from hardware failure detected during the self diagnosis.**
	NIF の自己診断中に検出した障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
28	R6	NIF	25000900	1240	**NIF event initialized as a result of changing this system from active to standby.**
	本装置は運用系システムから待機系システムに系切替したため，過去の NIF イベント情報を初期化しました。本ログは待機系システムでだけ表示します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.5　ポート

3.5.1　イベント発生部位＝ PORT

イベント発生部位 =PORT の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-14　イベント発生部位 =PORT の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	PORT	25011000	1350 1353	Port enabled administratively.
	コンフィグレーションコマンドで no shutdown，no schedule-power-control shutdown を設定したことによって，ポートは disable を解除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
2	E3	PORT	25011006	1350 1353	Port activated administratively.
	activate コマンドによって，ポートは inactive 状態を解除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
3	E3	PORT	25011100	1350 1353	Port disabled administratively.
	コンフィグレーションコマンド shutdown，schedule-power-control shutdown によって，ポートは disable されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
4	E3	PORT	25011106	1350 1353	Port inactivated administratively.
	inactivate コマンドによって，ポートは inactive 状態にされました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
5	E3	PORT	25011301	1350	Port does not support 10BASE-T half.
	10BASE-T の半二重をサポートしていません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 該当ポートに対するコンフィグレーションの duplex を half 以外に変更してください。詳細は「コンフィグレーションガイド Vol.1　16.4.1 機能一覧」の 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 接続仕様を参照してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
6	E3	PORT	25011302	1350	**Port does not support 100BASE-TX half.**
	100BASE-TX の半二重をサポートしていません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 該当ポートに対するコンフィグレーションの duplex を half 以外に変更してください。詳細は「コンフィグレーションガイド Vol.1　16.4.1 機能一覧」の 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 接続仕様を参照してください。				
7	E3	PORT	25230002	1350	**Port half duplex does not support traffic-shape rate feature.**
	半二重回線では，ポート帯域制御を使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. ポート帯域制御を使用する場合，全二重回線に変更してください。 2. 半二重回線で使用する場合，コンフィグレーションコマンドで no traffic-shape rate を設定してポート帯域制御を削除してください。				
8	E3	PORT	25230008	1350	**Port does not support traffic-shape rate feature.**
	ポート帯域制御をサポートしていません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ポート帯域制御の動作条件については，コンフィグレーションコマンド traffic-shape rate の［注意事項］で確認してください。確認後，以下のどちらかを実施してください。 1. ポート帯域制御を使用する場合，ポート帯域制御をサポートしているボードに交換する。 2. ポート帯域制御を使用しない場合，コンフィグレーションコマンドで no traffic-shape rate を設定してポート帯域制御を削除する。				
9	E3	PORT	25230009	1350	**Port does not support <scheduling mode> scheduling mode.**
	スケジューリングモード "<scheduling mode>" をサポートしていません。 [メッセージテキストの表示説明] <scheduling mode>　コンフィグレーションコマンド qos-queue-group および qos-queue-list で指定したスケジューリングモード [対応] スケジューリングモードの動作条件については，qos-queue-list コマンドの［注意事項］で確認してください。確認後，以下のどちらかを実施してください。 1. 本メッセージのスケジューリングモード "<scheduling mode>" で使用する場合，そのスケジューリングモードをサポートしているボードに交換する。 2. 本メッセージのスケジューリングモード "<scheduling mode>" で使用しない場合，qos-queue-group コマンドおよび qos-queue-list コマンドで，動作可能なスケジューリングモードに変更する。				
10	E3	PORT	2523000a	1350	**Port does not support <number of queue> queue.**
	キュー数 "<number of queue>" をサポートしていません。 [メッセージテキストの表示説明] <number of queue>　コンフィグレーションコマンド qos-queue-group および qos-queue-list で指定したキュー数 [対応] キュー数の動作条件については，qos-queue-list コマンドの［注意事項］で確認してください。確認後，以下のどちらかを実施してください。 1. 本メッセージのキュー数 "<number of queue>" で使用する場合，そのキュー数をサポートしているボードに交換する。 2. 本メッセージのキュー数 "<number of queue>" で使用しない場合，qos-queue-group コマンドまたは qos-queue-list コマンドで number_of_queue パラメータを変更する。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
11	E3	PORT	2523000b	1350	**Unable to use traffic-shape rate feature because value exceeding setting range was specified.**
	設定範囲外の値が指定されたため，ポート帯域制御を使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] traffic-shape rate の帯域を設定範囲内の帯域に変更してください。設定範囲については，コンフィグレーションコマンド traffic-shape rate の rate パラメータの説明を参照してください。				
12	E3	PORT	2523000e	1350	**Port does not support legacy shaper.**
	この NIF はレガシーシェーパ機能をサポートしていません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからレガシーシェーパ情報を削除してください。				
13	E3	PORT	2523000f	1350	**The specified shaper port-rate exceeded the interface bandwidth.**
	本ポートに指定した階層化シェーパ機能のポート帯域制御，またはユーザ帯域制御の最大帯域制御で，回線速度を超えた帯域を設定したため，帯域制御を使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ポート帯域制御設定値またはユーザ帯域制御の最大帯域制御設定値を，回線帯域値以下となるよう適切な値に変更してください。				
14	E3	PORT	25230010	1350	**The specified sum of shaper min-rate exceeded the interface bandwidth.**
	本ポートに指定した階層化シェーパで，最低帯域の総和が回線速度を超えた帯域であるため，最低帯域制御を使用できません。 なお，llrlq1，llrlq2 ユーザでは最大帯域が該当します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 最低帯域の設定帯域の総和が回線帯域値以下となるよう各ユーザの最低帯域と llrlq1，llrlq2 ユーザの最大帯域を見直して，適切な値に変更してください。				
15	E3	PORT	25230011	1350	**Cannot configure all the shaper users, because there is an inconsistency in the number of shaper users or shaper nif parameters.**
	本ポートに指定した階層化シェーパのユーザのうち，いくつかのユーザは設定できませんでした。 ユーザが設定できなかった要因を次に示します。 • 指定先ポートでの指定可能なユーザ数を超えています。 • 指定先シェーパモードで必要なパラメータが設定されていません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 以下の手順を実施してください。 1. コンフィグレーションの shaper 情報で指定したユーザ数を確認し，指定ユーザ数が収容条件を超えていないかを確認してください。超えている場合は収容条件以内となるようユーザ数を見直してください。収容条件以内の場合は次の手順を実施してください。 2. show shaper コマンドを実行し，本ポートに適用した全ユーザのうち，反映されていないユーザを確認してください。なお，show shaper コマンドで表示されないユーザは本ポートに反映されていません。 3. 反映されていないユーザの user-list 情報で，指定先ポートのシェーパモードに対してユーザを適用する場合に必要なパラメータがすべて設定されているかを確認してください。シェーパモードごとに必要なパラメータについては，「コンフィグレーションガイド Vol.2　6.4 階層化シェーパの解説」を参照してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
16	E3	PORT	25230012	1350	**Some of the shaper user parameters reduced to their maximum values, because they exceeded the upper limit.**
	本ポートに指定したいくつかの階層化シェーパユーザのパラメータ値を上限値に変更しました。 変更した要因は，適用したポートに指定できる値の範囲を超えていたためです。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本ポートに適用したユーザに指定した以下のパラメータ値が，指定先ポートのシェーパモードでの上限値を超えていないか見直してください。上限値については，次のコンフィグレーションコマンドを参照してください。 • shaper port buffer • shaper user-list　weight パラメータ				
17	E3	PORT	25230013	1350	**Some of the shaper parameters reset to the default values, because they are not supported in the shaper mode of the target nif.**
	本ポートに指定したいくつかの階層化シェーパのパラメータ値を初期値に変更しました。 変更した要因は，本ポートでは設定できないためです。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本ポートに適用したユーザに指定した以下のパラメータが，指定先ポートに指定されているシェーパモードで指定可能な値となっているか見直してください。シェーパモードごとに指定できる値については，コンフィグレーションコマンド shaper user-list　スケジューリングモードを参照してください。				
18	E3	PORT	25230014	1350	**Cannot specify the shaper parameters, because they are inconsistent with the shaper mode of the target nif.**
	本ポートに設定した階層化シェーパのパラメータのうち，設定条件と不一致のものは無効としました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 以下のパラメータは指定先 NIF 種別や指定先 NIF に設定されているシェーパモードごとに，設定条件があります。 詳細は「コンフィグレーションガイド Vol.2　6.10 NIF 種別と送信制御機能との対応」を参照してください。 • shaper wgq-group rate-limit • shaper user-list peak-rate • shaper user-list llpq-peak-rate • shaper user-list min-rate • shaper user-list weight • shaper user				
19	E3	PORT	25230015	1350	**The nif does not support the specified shaper mode.**
	この NIF は指定したシェーパモードをサポートしていません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 該当 NIF に指定したシェーパモードを見直してください。				
20	E3	PORT	25230016	1350	**The min-rate of all shaper users is not guaranteed because the specified llpq-peak-rate exceeded the min-rate.**
	本ポートに設定した階層化シェーパのユーザリストの LLPQ 帯域制御が最低帯域を超えたため，本ポートに設定した階層化シェーパのユーザおよびデフォルトユーザの最低帯域が保証されません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 各ユーザの最低帯域を保証する場合は，LLPQ 帯域制御値を最低帯域値以下に設定してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
21	E3	PORT	25230017	1350	**Unable to use traffic-shape rate feature because its setting unit was an unjust value.**
	設定単位が不当であったため，ポート帯域制御を使用できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] traffic-shape rate の単位を指定可能な設定単位に変更してください。指定可能な設定単位については，コンフィグレーションコマンド traffic-shape rate の rate パラメータの説明を参照してください。				
22	E4	PORT	25011001	1350 1353	**Port up.**
	ポートが up しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
23	E4	PORT	25011002	1350	**Transceiver connected.**
	トランシーバの挿入を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
24	E4	PORT	25011101	1350 1353	**Error detected on the port.**
	ポートで障害を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の場合 1. 指定のケーブルを正しく接続しているか確認してください。 2. 相手装置の立ち上げが完了しているか確認してください。 3. test interfaces コマンドを実行し，装置，ケーブルに問題が無いことを確認してください。 1000BASE-X/10GBASE-R の場合 1. 指定のケーブルを正しく接続しているか確認してください。また，ケーブルの端面が汚れていないか確認してください。汚れている場合は，汚れをふき取ってください。 2. 光アッテネータ（光減衰器）を使用している場合，減衰値を確認してください。 3. 相手装置の立ち上げが完了しているか確認してください。 4. test interfaces コマンドを実行し，装置，ケーブルに問題が無いことを確認してください。				
25	E4	PORT	25011102	1350	**Transceiver notconnected.**
	トランシーバの抜去を検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] トランシーバを正しく挿入してください。				
26	E4	PORT	25011103	1350	**Auto negotiation failed.**
	オートネゴシエーションが失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. オートネゴシエーションの設定を確認してください。 2. test interfaces コマンドを実行し，装置に問題がないことを確認してください。 3. 装置またはケーブルが正常な場合，接続先の機器を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
27	E4	PORT	25011104	1350	**Many failures occurred in receiving frames to the targeted port due to the port troubles. Execute the Line tests to check the port condition.**
	ノイズなどによるエラーのため，該当ポートでのフレーム受信失敗が多発しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. test interfaces コマンドを実行し，ケーブルに問題がないことを確認してください。 2. 装置またはケーブルが正常な場合，接続先の機器を確認してください。				
28	E4	PORT	25011105	1350	**Many failures occurred in sending frames to the targeted port due to the port troubles. Execute the Line tests to check the port condition.**
	ノイズなどによるエラーのため，該当ポートでのフレーム送信失敗が多発しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. test interfaces コマンドを実行し，装置またはケーブルに障害がないことを確認してください。 2. 装置またはケーブルが正常な場合，接続先の機器を確認してください。				
29	E4	PORT	25011200	1350	**Transceiver stopped because its hardware failure.**
	トランシーバでトランシーバ障害を検出しました。トランシーバを停止します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] トランシーバを交換してください。				
30	E4	PORT	25011500	1350	**Transceiver not supported.**
	未サポートのトランシーバを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] サポートしているトランシーバを挿入してください。 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP を使用している場合は,「コンフィグレーションガイド Vol.1　16.4.3 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP」を参照して，サポートしている NIF か確認してください。				
31	E4	PORT	25100012	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:inactivated because of uni-directional link detection.**
	片方向リンク障害を検出したため，ポートを inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 <port no.>　ポート番号 [対応] 1. 接続先で IEEE802.3ah/OAM 機能が有効であることを確認してください。 2. test interfaces コマンドを実行し，装置またはケーブルに障害がないことを確認してください。 3. 装置またはケーブルが正常な場合，接続先の機器を確認してください。 その後，activate コマンドでポートを active 状態にしてください。				
32	E4	PORT	25100013	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:inactivated because of loop detection.**
	ループを検出したため，ポートを inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 <port no.>　ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
33	E4	PORT	25100027	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:inactivated because of storm detection.**
	ストームを検出したため，ポートを inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 <port no.>　ポート番号 [対応] ストームから回復した後，activate コマンドでポートを active 状態にしてください。				
34	E4	PORT	25100028	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:storm detected.**
	ストームを検出しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 <port no.>　ポート番号 [対応] なし。				
35	E4	PORT	25100029	1350	**NIF <nif no.> Port <port no.>:storm recovered.**
	ストームが回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 <port no.>　ポート番号 [対応] なし。				

3.6　オプション機構

3.6.1　イベント発生部位＝ FAN

イベント発生部位 =FAN の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-15　イベント発生部位 =FAN の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	FAN	01200174	1800	**Failed in accumulated running time access to <fan unit no.>.**
	<fan unit no.> のファンユニットへの通算稼働時間のアクセスに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <fan unit no.>　通算稼働時間のアクセスに失敗したファンユニット番号（FAN1，FAN2，FAN3，FAN4 のどれかを表示） [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし，通算稼働時間の管理機能が使用できませんので，使用したい場合はファンユニットを交換してください。				
2	E8	FAN	00000001	1800	**Error detected on <fan no.>, Replace <fan unit no.>.**
	<fan no.> のファンで障害が発生しました。 [メッセージテキストの表示説明] <fan no.>　障害が発生したファン番号（FAN1(1)，FAN1(2)，FAN1(3)，FAN2(4)，FAN2(5)，FAN2(6)，FAN3(7)，FAN3(8)，FAN3(9)，FAN4(10)，FAN4(11)，FAN4(12) のうち，一つだけ表示） <fan unit no.>　障害が発生したファンユニット番号（FAN1，FAN2，FAN3，FAN4 のどれかを表示） 以下のようにファンユニットごとにメッセージが表示されます。 < 表示例 1> ファン番号 =FAN1(1) で障害が発生した場合 　Error detected on FAN1(1), Replace FAN1. < 表示例 2> ファン番号 =FAN1(1) と FAN2(1) で障害が発生した場合 　Error detected on FAN1(1), Replace FAN1. 　Error detected on FAN2(1), Replace FAN2. ファンの位置については，「運用コマンドレファレンス Vol.1　表 10-5 ファン番号と運用ログおよび筐体との対応」を参照してください。 [対応] <fan unit no.> のファンユニットを交換してください。				
3	E8	FAN	00000002	1800	**<fan no.> stopped. Replace <fan unit no.> immediately.**
	<fan no.> のファンが停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] <fan no.>　障害が発生したファン番号（FAN1(1)，FAN1(2)，FAN1(3)，FAN2(4)，FAN2(5)，FAN2(6)，FAN3(7)，FAN3(8)，FAN3(9)，FAN4(10)，FAN4(11)，FAN4(12) のうち，二つ以上を表示） <fan unit no.>　障害が発生したファンユニット番号（FAN1，FAN2，FAN3，FAN4 のどれかを表示） 以下のようにファンユニットごとにメッセージが表示されます。 < 表示例 1> ファン番号 =FAN1(1)，FAN1(2) で障害が発生した場合 　FAN1(1), FAN1(2) stopped. Replace FAN1 immediately. < 表示例 2> ファン番号 =FAN1(1), FAN1(2), FAN1(3), FAN2(4), FAN2(5) で障害が発生した場合 　FAN1(1), FAN1(2), FAN1(3) stopped. Replace FAN1 immediately. 　FAN2(4), FAN2(5) stopped. Replace FAN2 immediately. ファンの位置については，「運用コマンドレファレンス Vol.1　表 10-5 ファン番号と運用ログおよび筐体との対応」を参照してください。 [対応] 直ちに <fan unit no.> のファンユニットを交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
4	E8	FAN	00000003	1800	**<fan unit no.> is notconnect.**
	<fan unit no.> のファンユニットは未実装です。 [メッセージテキストの表示説明] <fan unit no.>　未実装のファンユニット番号（FAN1，FAN2，FAN3，FAN4 のどれかを表示） 以下のようにファンユニットごとにメッセージが表示されます。 < 例 1> ファンユニット番号 =FAN1 が未実装の場合 FAN1 is notconnect. < 例 2> ファンユニット番号 =FAN1 と FAN2 が未実装の場合 FAN1 is notconnect. FAN2 is notconnect. ファンの位置については，「運用コマンドレファレンス Vol.1　表 10-5 ファン番号と運用ログおよび筐体との対応」を参照してください。 [対応] 1. ファンユニットの交換作業中の場合は，交換作業を続けてください。 2. 交換作業中でない場合は実装状態を確認し，未実装の場合はファンユニットを実装してください。 3. 実装されている場合は半挿しの可能性がありますので，一度抜いてから再度実装させてください。 4. 上記 3 でも回復しない場合は別のファンユニットに交換してください。				
5	E8	FAN	00000004	1800	**Failed in speed change of <fan unit no.>.**
	<fan unit no.> のファン回転速度の変更に失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <fan unit no.>　速度変更に失敗したファンユニット番号（FAN1，FAN2，FAN3，FAN4 のどれかを表示） 以下のようにファンユニットごとにメッセージが表示されます。 < 例 1> ファンユニット番号 =FAN1 の速度変更に失敗した場合 Failed in speed change of FAN1. < 例 2> ファンユニット番号 =FAN1 と FAN2 の速度変更に失敗した場合 Failed in speed change of FAN1. Failed in speed change of FAN2. ファンの位置については，「運用コマンドレファレンス Vol.1　表 10-5 ファン番号と運用ログおよび筐体との対応」を参照してください。 [対応] <fan unit no.> のファンユニットを交換してください。				
6	E9	FAN	00000022	1800	**Fan unit is down.Replace fan and restart the device.**
	ファンユニットが停止しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] ファンユニットを交換し，装置を再起動してください。				
7	R8	FAN	00000001	1800	**<fan unit no.> is normal.**
	<fan unit no.> のファンユニットは正常状態になりました。 [メッセージテキストの表示説明] <fan unit no.>　障害が回復したファンユニット番号（FAN1，FAN2，FAN3，FAN4 のどれかを表示） 以下のようにファンユニットごとにメッセージが表示されます。 < 例 1> ファンユニット番号 =FAN1 が正常になった場合 FAN1 is normal. < 例 2> ファンユニット番号 =FAN1 と FAN2 が正常になった場合 FAN1 is normal. FAN2 is normal. ファンの位置については，「運用コマンドレファレンス Vol.1　表 10-5 ファン番号と運用ログおよび筐体との対応」を参照してください。 [対応] なし。				

3.6.2　イベント発生部位＝ PS

イベント発生部位 =PS の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-16　イベント発生部位 =PS の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	PS	01200174	2200	**Failed in accumulated running time access to <ps>.**
	電源機構への通算稼働時間のアクセスに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <ps>　通算稼働時間のアクセスに失敗した電源機構（PS1，PS2，PS3，PS4，PS5，PS6，PS7，PS8 のどれかを表示） [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし，通算稼働時間の管理機能が使用できませんので，使用したい場合は電源機構を交換してください。				
2	E8	PS	00000001	2200	**<ps> is power off. <ps> is notconnect.**
	表示された電源機構は電源 OFF です。表示された電源機構は未実装です。 電源 OFF の電源機構がない場合は，「<ps> is notconnect.」と表示されます。 未実装の電源機構がない場合は，「<ps> is power off.」と表示されます。 電源 OFF の電源機構と未実装の電源機構が存在した場合だけ，「<ps> is power off. <ps> is notconnect.」と表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ps>　電源 OFF または未実装の電源機構（PS1，PS2，PS3，PS4，PS5，PS6，PS7，PS8 のどれかを表示） 以下に AX6304S（AC モデル）使用時のログの表示例を示します。 < 表示例 1>PS1 が電源 OFF の場合 　PS1 is power off. < 表示例 2>PS2 が未実装の場合 　PS2 is notconnect. < 表示例 3>PS1 が電源 OFF，PS3 および PS4 が未実装の場合 　PS1 is power off. PS3, PS4 is notconnect. [対応] 1.　電源スイッチを確認し，ON にしてください。 2.　電源ケーブルの接続と電源供給元を確認し，正しく接続してください。 3.　電源機構の実装状態を確認してください。 4.　上記 1，2，3 で回復しない場合，電源機構を交換してください。				
3	E8	PS	00000102	2200	**Power unit isn't redundantly mounted.**
	電源が冗長実装ではありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 電源機構の実装状態を確認してください。電源実装が冗長構成ではない場合，コンフィグレーションコマンドで no power redundancy-mode を設定してください。				
4	E9	PS	00000201	2200	**Power supply unit for AC and for DC is consolidated.**
	AC 用と DC 用の電源機構が混載されています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] AC 用または DC 用のどちらかの電源機構だけを実装してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
5	R8	PS	00000001	2200	**<ps> is normal.**
	表示された電源機構は正常状態になりました。本メッセージは電源機構が正常状態であれば BCU，CSU または MSU 立ち上げ時にも出力されます。 [メッセージテキストの表示説明] <ps>　正常状態の電源機構（PS1，PS2，PS3，PS4，PS5，PS6，PS7，PS8 のどれかを表示） 以下に AX6304S（AC モデル）使用時のログの表示例を示します。 < 表示例 >PS1,PS2,PS3,PS4 は正常状態になった場合 PS1, PS2, PS3, PS4 is normal. [対応] なし。				
6	R8	PS	00000102	2200	**Power unit is mounted redundantly or mode changed.**
	電源が冗長実装になりました。または，運用モードが変更されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.7　基本制御機構【AX6700S】

3.7.1　イベント発生部位＝ BCU

イベント発生部位 =BCU の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-17　イベント発生部位 =BCU の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	BCU	00020106	2301	**The temperature of BCU reached the warning level (<temperature> degree).**
	ハードウェアの温度が，コンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level で設定した温度に達しました。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature>　装置の温度（摂氏） [対応] 装置の温度が指定した温度に達しているため，装置周辺の環境（ファンの状態，通風，熱源の有無など）を確認してください。				
2	E3	BCU	00020107	2301	**The temperature of BCU came down from the warning level.**
	ハードウェアの温度が，コンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level で設定した温度より 3 ℃以上下がりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
3	E3	BCU	01200160	2314	**Standby system inactivated because of SOP operation.**
	システム操作パネルからの inactivate 指示によって，待機系を inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
4	E3	BCU	01200164	2314	**Standby system activated because of SOP operation.**
	システム操作パネルからの activate 指示によって，待機系は inactive 状態を解除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
5	E3	BCU	01200174	2301	**Failed in accumulated running time access to <bcu>.**
	BCU への通算稼働時間のアクセスに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <bcu>　通算稼働時間のアクセスに失敗した BCU（BCU1 または BCU2 のどちらかを表示） [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし，通算稼働時間の管理機能が使用できませんので，使用したい場合は BCU を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
6	E3	BCU	01200180	2301	**Fan speed is high because temperature of BCU hardware exceeded tolerance level of high temperature.**
	ハードウェアの温度が許容範囲を上回ったので，ファンを高速回転にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。				
7	E3	BCU	01200181	2301	**Fan speed is normal because temperature of BCU hardware returned to normal level.**
	ハードウェアの温度が正常温度に戻ったので，ファンを通常回転にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
8	E3	BCU	01200182	2301	**Recovery due to the failure was restrained.**
	該当ボードは障害による復旧を抑止しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンド，または show logging コマンドで standby パラメータを指定しログを確認し，障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置をしてください。 運用系の復旧を抑止している場合，待機系の起動（復旧）も抑止されます。この場合は待機系に障害は発生していませんので，待機系の交換は必要ありません。				
9	E3	BCU	01300408	2314	**This system (BCU1) changed from standby to active.BCU2 is standby.**
	このシステム（BCU1）は待機系から運用系に系切替しました。BCU2 は待機系です。 本メッセージは，旧運用系 BCU で，致命的障害発生，リセットボタン押下，ACH スイッチ押下などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. リセットボタン押下，ACH スイッチ押下による系切替の場合は，問題ありません。 2. 上記以外の場合，show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。新待機系が立ち上がっていない場合には，しばらく待ってからご確認ください。				
10	E3	BCU	01300409	2314	**This system (BCU2) changed from standby to active.BCU1 is standby.**
	このシステム（BCU2）は，待機系から運用系に系切替しました。BCU1 は待機系です。 本メッセージは，旧運用系で，致命的障害発生，リセットボタン押下，ACH スイッチ押下などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. リセットボタン押下，ACH スイッチ押下による系切替の場合は，問題ありません。 2. 上記以外の場合，show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。新待機系が立ち上がっていない場合には，しばらく待ってからご確認ください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
11	E3	BCU	01300410	2314	**This system (BCU1) changed from active to standby.BCU2 is active.**
	このシステム（BCU1）は，運用系から待機系に系切替しました。BCU2 は運用系です。 本メッセージは，旧運用系で，致命的障害発生によって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。新待機系が立ち上がっていない場合には，しばらく待ってからご確認ください。				
12	E3	BCU	01300411	2314	**This system (BCU2) changed from active to standby.BCU1 is active.**
	このシステム（BCU2）は，運用系から待機系に系切替しました。BCU1 は運用系です。 本メッセージは，旧運用系で，致命的障害発生によって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。新待機系が立ち上がっていない場合には，しばらく待ってからご確認ください。				
13	E3	BCU	01300412	2314	**System status changed from duplex to simplex.**
	システムの運用状態が，二重化状態から一重化状態に変わりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
14	E3	BCU	01300413	2314	**System status changed from simplex to duplex.**
	システムの運用状態が，一重化状態から二重化状態に変わりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
15	E3	BCU	01300414	2314	**Time is matched at the time of active system.**
	時刻を運用系に合わせました。本メッセージは待機系にだけ表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
16	E3	BCU	01300417	2314	**This system (BCU1) changed from standby to active.BCU2 is standby.**
	このシステム（BCU1）は，待機系から運用系に系切替しました。BCU2 は待機系です。 本メッセージは，reload コマンドで active パラメータを指定，または redundancy force-switchover コマンドの実行などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
17	E3	BCU	01300418	2314	**This system (BCU2) changed from standby to active.BCU1 is standby.**
	このシステム（BCU2）は，待機系から運用系に系切替しました。BCU1 は待機系です。 本メッセージは，reload コマンドで active パラメータを指定，または redundancy force-switchover コマンドの実行などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
18	E3	BCU	01300419	2314	**This system (BCU1) changed from active to standby.BCU2 is active.**
	このシステム（BCU1）は，運用系から待機系に系切替しました。BCU2 は運用系です。 本メッセージは，reload コマンドで active パラメータを指定，または redundancy force-switchover コマンドの実行などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
19	E3	BCU	01300420	2314	**This system (BCU2) changed from active to standby.BCU1 is active.**
	このシステム（BCU2）は，運用系から待機系に系切替しました。BCU1 は運用系です。 本メッセージは，reload コマンドで active パラメータを指定，または redundancy force-switchover コマンドの実行などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
20	E3	BCU	01300421	2314	**This system (BCU1) will be changed from active to standby and restarted because of ACH SWITCH pressed.**
	ACH スイッチが押されたため，このシステム（BCU1）は，運用系から待機系に系切替し，再起動を行います。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
21	E3	BCU	01300422	2314	**This system (BCU2) will be changed from active to standby and restarted because of ACH SWITCH pressed.**
	ACH スイッチが押されたため，このシステム（BCU2）は，運用系から待機系に系切替し，再起動を行います。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
22	E3	BCU	01300442	2314	**Partial error detected on other system. Replace unit having error. This system (BCU1) is active.**
	待機系の BCU で部分障害が発生しました。障害部位を交換してください。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した部分障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
23	E3	BCU	01300443	2314	**Partial error detected on other system. Replace unit.having error. This system (BCU2) is active.**
	待機系の BCU で部分障害が発生しました。障害部位を交換してください。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した部分障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。				
24	E3	BCU	01300457	2314	**This system (BCU1) restarted with system changed.**
	このシステム（BCU1）は，系切替したので，再起動します。 このメッセージは，コンフィグレーション不一致，ライセンスキー不一致または二重化状態ではない場合のどれかの状態のときに，致命的障害発生，リセットボタン押下，ACH スイッチ押下，reload コマンドで active パラメータ指定，ppupdate コマンドで active パラメータ指定などによる系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
25	E3	BCU	01300458	2314	**This system (BCU2) restarted with system changed.**
	このシステム（BCU2）は，系切替したので，再起動します。 このメッセージは，コンフィグレーション不一致，ライセンスキー不一致または二重化状態ではない場合のどれかの状態のときに，致命的障害発生，リセットボタン押下，ACH スイッチ押下，reload コマンドで active パラメータ指定，ppupdate コマンドで active パラメータ指定などによる系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
26	E3	BCU	01300466	2314	**Other system stopped due to temperature trouble. This system (BCU1) is active.**
	待機系は温度障害により停止しました。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
27	E3	BCU	01300467	2314	**Other system stopped due to temperature trouble. This system (BCU1) is standby.**
	運用系は温度障害により停止しました。このシステム（BCU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
28	E3	BCU	01300468	2314	**Other system stopped due to temperature trouble. This system (BCU2) is active.**
	待機系は温度障害により停止しました。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
29	E3	BCU	01300469	2314	**Other system stopped due to temperature trouble. This system (BCU2) is standby.**
	運用系は温度障害により停止しました。このシステム（BCU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
30	E3	BCU	01300470	2314	**Standby system inactivated because BCU hardware error detected. This system (BCU1) is active.**
	ハードウェア障害を検出したので，待機系を inactivate しました。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の BCU を交換してください。				
31	E3	BCU	01300471	2314	**Standby system inactivated because BCU hardware error detected. This system (BCU2) is active.**
	ハードウェア障害を検出したので，待機系を inactivate しました。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の BCU を交換してください。				
32	E3	BCU	01300475	2314	**Standby system restarted because BCU hardware error detected. This system (BCU1) is active.**
	ハードウェア障害を検出したので，待機系を再起動しました。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の BCU を交換してください。				
33	E3	BCU	01300476	2314	**Standby system restarted because BCU hardware error detected. This system (BCU2) is active.**
	ハードウェア障害を検出したので，待機系を再起動しました。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の BCU を交換してください。				
34	E3	BCU	01300477	2314	**Standby system inactivated administratively.**
	inactivate コマンドによって，待機系を inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
35	E3	BCU	01300478	2314	**Standby system activated administratively.**
	activate コマンドによって，待機系を active 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
36	E3	BCU	01c00200	2301	**BCU restarted because of its HDC update done.**
	HDC（Hardware Dependent Code）を更新したので，BCU を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
37	E5	BCU	01300430	2314	**System cannot execute BCU force-switchover. This system (BCU1) is active.**
	系切替が実行できませんでした。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系と待機系の BCU を交換してください。				
38	E5	BCU	01300432	2314	**System cannot execute BCU force-switchover. This system (BCU2) is active.**
	系切替が実行できませんでした。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系と待機系の BCU を交換してください。				
39	E5	BCU	01300434	2314	**Health check error detected on other system. This system (BCU1) is active.**
	運用系 BCU1 から待機系 BCU2 へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show logging コマンドを実行し，このログに対応する回復ログ「Health check error recovered.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 2. 上記回復ログが出力されていない場合は，show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。 3. 待機系で障害が発生していない場合は，半挿しの可能性があります。ボード交換直後である場合は実装を確認してください。 4. 上記対応でも回復しない場合，運用系と待機系の BCU を交換してください。				
40	E5	BCU	01300435	2314	**Health check error detected on other system. This system (BCU1) is standby.**
	運用系 BCU2 から待機系 BCU1 へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show logging コマンドで standby パラメータを指定し，このログに対応する回復ログ「Health check error recovered.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 2. 上記回復ログが出力されていない場合は，show logging コマンドを実行し，運用系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。 3. 運用系で障害が発生していない場合は，半挿しの可能性があります。ボード交換直後である場合は実装を確認してください。 4. 上記対応でも回復しない場合，運用系と待機系の BCU を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
41	E5	BCU	01300436	2314	**Health check error detected on other system. This system (BCU2) is active.**
	運用系 BCU2 から待機系 BCU1 へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show logging コマンドを実行し，このログに対応する回復ログ「Health check error recovered.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 2. 上記回復ログが出力されていない場合は，show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。 3. 待機系で障害が発生していない場合は，半挿しの可能性があります。ボード交換直後である場合は実装を確認してください。 4. 上記対応でも回復しない場合，運用系と待機系の BCU を交換してください。				
42	E5	BCU	01300437	2314	**Health check error detected on other system. This system (BCU2) is standby.**
	運用系 BCU1 から待機系 BCU2 へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show logging コマンドで standby パラメータを指定し，このログに対応する回復ログ「Health check error recovered.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 2. 上記回復ログが出力されていない場合は，show logging コマンドを実行し，運用系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。 3. 運用系で障害が発生していない場合は，半挿しの可能性があります。ボード交換直後である場合は実装を確認してください。 4. 上記対応でも回復しない場合，運用系と待機系の BCU を交換してください。				
43	E5	BCU	01300438	2314	**Fatal error detected on other system. This system (BCU1) is active.**
	待機系 BCU で致命的障害が発生しました。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
44	E5	BCU	01300439	2314	**Fatal error detected on other system. This system (BCU1) is standby.**
	運用系 BCU で致命的障害が発生しました。このシステム（BCU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系が再起動した後，show logging コマンドを実行し，障害内容を確認した後，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
45	E5	BCU	01300440	2314	**Fatal error detected on other system. This system (BCU2) is active.**
	待機系 BCU で致命的障害が発生しました。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
46	E5	BCU	01300441	2314	**Fatal error detected on other system. This system (BCU2) is standby.**
	運用系 BCU で致命的障害が発生しました。このシステム（BCU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系が再起動した後，show logging コマンドを実行し，障害内容を確認した後，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
47	E5	BCU	25051911	2314	**Health check error detected on NIF <nif no.>. This system (BCU1) is active.**
	待機系 BCU2 から NIF へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] 待機系 BCU2 が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
48	E5	BCU	25051912	2314	**Health check error detected on NIF <nif no.>. This system (BCU2) is active.**
	待機系 BCU1 から NIF へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] 待機系 BCU1 が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
49	E5	BCU	25051913	2314	**Health check error detected on active BSU <bsu no.>. This system (BCU1) is active.**
	待機系 BCU2 から運用系 BSU へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] 待機系 BCU2 が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
50	E5	BCU	25051914	2314	**Health check error detected on active BSU <bsu no.>. This system (BCU2) is active.**
	待機系 BCU1 から運用系 BSU へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] 待機系 BCU1 が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
51	E5	BCU	25051915	2314	**Health check error detected on standby BSU <bsu no.>. This system (BCU1) is active.**
	待機系 BCU2 から待機系 BSU へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] 待機系 BCU2 が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
52	E5	BCU	25051916	2314	**Health check error detected on standby BSU <bsu no.>. This system (BCU2) is active.**
	待機系 BCU1 から待機系 BSU へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] 待機系 BCU1 が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
53	E7	BCU	00020102	2301	**BCU hardware exceeded tolerance level of low temperature(2 degree). Check room temperature.**
	ハードウェアの温度が許容温度範囲を下回りました（2 ℃以下）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（室温など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
54	E7	BCU	00020103	2301	**BCU hardware exceeded tolerance level of high temperature (43 degree). Check that room temperature and the fan is operating normally.**
	ハードウェアの温度が許容温度範囲を上回りました（43 ℃以上）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
55	E7	BCU	00020104	2301	**BCU hardware is becoming high temperature (58 degree). immediately, and check that room temperature and the fan is operating normally.**
	ハードウェアの温度は，装置の運用に支障をきたす高温値に接近しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置が誤動作を起こすおそれがありますので，早急に装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
56	E8	BCU	01200184	2301	**BCU not initialized because it is unknown BCU.**
	不明な BCU ボードのため，初期化できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. BCU ボードが半挿し状態です。BCU を正しく挿入してください。 2. ソフトウェアバージョンでサポートされていない BCU ボードです。BCU ボード種別とソフトウェアのバージョンを確認し，BCU ボードを交換するか，ソフトウェアをアップデートしてください。 3. 本装置でサポートされていない BCU ボードです。BCU ボードを交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
57	E9	BCU	00020105	2301	**BCU hardware is becoming high temperature which give damage to this system. (65 degree)**
	ハードウェアの温度が，装置の運用に致命的な障害を与える温度値（65 ℃）に達しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
58	E9	BCU	01200173 01300474 2b061200	2314	**System restarted because BCU hardware error detected.**
	ハードウェア障害を検出したので，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] BCU を交換してください。				
59	E9	BCU	01300472	2314	**This system (BCU1) inactivated because BCU hardware error detected.**
	ハードウェア障害を検出したので，このシステム（BCU1）を inactivate しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の BCU を交換してください。				
60	E9	BCU	01300473	2314	**This system (BCU2) inactivated because BCU hardware error detected.**
	ハードウェア障害を検出したので，このシステム（BCU2）を inactivate しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の BCU を交換してください。				
61	E9	BCU	01c00100	2301	**BCU restarted because of its HDC update failure.**
	HDC（Hardware Dependent Code）の更新に失敗したので，BCU を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] BCU を交換してください。				
62	E9	BCU	25051905	2314	**Health check error detected on active BSU <bsu no.>. This system (BCU1) is standby.**
	待機系 BCU1 から運用系 BSU へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] 1. 半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2. 1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
63	E9	BCU	25051906	2314	**Health check error detected on active BSU <bsu no.>. This system (BCU2) is standby.**
	待機系 BCU2 から運用系 BSU へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
64	E9	BCU	25051907	2314	**Health check error detected on standby BSU <bsu no.>. This system (BCU1) is standby.**
	待機系 BCU1 から待機系 BSU へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
65	E9	BCU	25051908	2314	**Health check error detected on standby BSU <bsu no.>. This system (BCU2) is standby.**
	待機系 BCU2 から待機系 BSU へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
66	E9	BCU	25051909	2314	**Health check error detected on NIF <nif no.>. This system (BCU1) is standby.**
	待機系 BCU1 から NIF へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
67	E9	BCU	25051910	2314	**Health check error detected on NIF <nif no.>. This system (BCU2) is standby.**
	待機系 BCU2 から NIF へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（BCU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
68	R5	BCU	01300430	2314	**BCU force-switchover available. This system (BCU1) is active.**
	系切替機能が回復しました。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
69	R5	BCU	01300431	2314	**BCU force-switchover available. This system (BCU1) is standby.**
	系切替機能が回復しました。このシステム（BCU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
70	R5	BCU	01300432	2314	**BCU force-switchover available. This system (BCU2) is active.**
	系切替機能が回復しました。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
71	R5	BCU	01300433	2314	**BCU force-switchover available. This system (BCU2) is standby.**
	系切替機能が回復しました。このシステム（BCU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
72	R5	BCU	01300434	2314	**Health check error recovered. This system (BCU1) is active.**
	ヘルスチェックエラーが回復しました。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
73	R5	BCU	01300435	2314	**Health check error recovered. This system (BCU1) is standby.**
	ヘルスチェックエラーが回復しました。このシステム（BCU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
74	R5	BCU	01300436	2314	**Health check error recovered. This system (BCU2) is active.**
	ヘルスチェックエラーが回復しました。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
75	R5	BCU	01300437	2314	**Health check error recovered. This system (BCU2) is standby.**
	ヘルスチェックエラーが回復しました。このシステム（BCU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
76	R5	BCU	01300438	2314	**Other system recovered from fatal error. This system (BCU1) is active.**
	待機系 BCU の致命的障害が回復しました。このシステム（BCU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
77	R5	BCU	01300439	2314	**Other system recovered from fatal error. This system (BCU1) is standby.**
	運用系 BCU の致命的障害が回復しました。このシステム（BCU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
78	R5	BCU	01300440	2314	**Other system recovered from fatal error. This system (BCU2) is active.**
	待機系 BCU の致命的障害が回復しました。このシステム（BCU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
79	R5	BCU	01300441	2314	**Other system recovered from fatal error. This system (BCU2) is standby.**
	運用系 BCU の致命的障害が回復しました。このシステム（BCU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
80	R7	BCU	00020102	2301	**The temperature of BCU hardware returned to normal level (5 degree).**
	ハードウェアの温度が正常温度（5 ℃）に戻りました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
81	R7	BCU	00020103	2301	**The temperature of BCU hardware returned to normal level (40 degree).**
	ハードウェアの温度が正常温度（40 ℃）に戻りました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
82	R7	BCU	00020104	2301	**BCU hardware recovered to normal from high temperature(55 degree). However, be careful until it is becoming temperature of tolerance level.**
	ハードウェアの温度は，装置運用に支障をきたす高温値から回復しました。しかし，まだ許容範囲を上回る温度なので注意が必要です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
83	R8	BCU	01300461	2314	**BCU initialized.**
	BCU の初期化が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.8　基本スイッチング機構【AX6700S】

3.8.1　イベント発生部位＝ BSU-LA

イベント発生部位 =BSU-LA の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-18　イベント発生部位 =BSU-LA の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	BSU-LA	25080200	3280	BSU restarted because of its hardware failure.
	BSU にハードウェア障害が発生したので，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 再起動後に，障害の回復に成功したか失敗したかをログ情報で確認してください。成功の場合は継続して運用できます。 失敗の場合は BSU を交換してください。				
2	E6	BSU-LA	25080400	3281	BSU restarted, but not recovered from hardware failure.
	BSU を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] BSU を交換してください。				
3	R6	BSU-LA	25080200	3280	BSU recovered from hardware failure.
	BSU のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.8.2　イベント発生部位＝ BSU-LB

イベント発生部位 =BSU-LB の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-19　イベント発生部位 =BSU-LB の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	BSU-LB	25080200	3380	BSU restarted because of its hardware failure.
	BSU にハードウェア障害が発生したので，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 再起動後に，障害の回復に成功したか失敗したかをログ情報で確認してください。成功の場合は継続して運用できます。 失敗の場合は BSU を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
2	E6	BSU-LB	25080400	3381	**BSU restarted, but not recovered from hardware failure.**
	BSU を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] BSU を交換してください。				
3	R6	BSU-LB	25080200	3380	**BSU recovered from hardware failure.**
	BSU のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.9　制御スイッチング機構【AX6600S】

3.9.1　イベント発生部位＝ CSU

イベント発生部位 =CSU の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-20　イベント発生部位 =CSU の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	CSU	00020106	2301	**The temperature of CSU reached the warning level (<temperature> degree).**
	ハードウェアの温度が，コンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level で設定した温度に達しました。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature>　装置の温度（摂氏） [対応] 装置の温度が指定した温度に達しているため，装置周辺の環境（ファンの状態，通風，熱源の有無など）を確認してください。				
2	E3	CSU	00020107	2301	**The temperature of CSU came down from the warning level.**
	ハードウェアの温度が，コンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level で設定した温度より 3 ℃以上下がりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
3	E3	CSU	01200160	2314	**Standby system inactivated because of SOP operation.**
	システム操作パネルからの inactivate 指示によって，待機系を inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
4	E3	CSU	01200164	2314	**Standby system activated because of SOP operation.**
	システム操作パネルからの activate 指示によって，待機系は inactive 状態を解除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
5	E3	CSU	01200171	2314	**This system (CSU1) restarted due to its failure.**
	このシステム（CSU1）は，障害により再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンド，または show logging コマンドで standby パラメータを指定し，このログの出力前に発生している障害内容を確認した後，その障害メッセージに対応した処理をしてください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
6	E3	CSU	01200172	2314	**This system (CSU2) restarted due to its failure.**
	このシステム（CSU2）は，障害により再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンド，または show logging コマンドで standby パラメータを指定し，このログの出力前に発生している障害内容を確認した後，その障害メッセージに対応した処理をしてください。				
7	E3	CSU	01200174	2301	**Failed in accumulated running time access to <csu>.**
	CSU への通算稼働時間のアクセスに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <csu>　通算稼働時間のアクセスに失敗した CSU（CSU1，CSU2 のどちらかを表示） [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし，通算稼働時間の管理機能が使用できませんので，使用したい場合は CSU を交換してください。				
8	E3	CSU	01200180	2301	**Fan speed is high because temperature of CSU hardware exceeded tolerance level of high temperature.**
	ハードウェアの温度が許容範囲を上回ったので，ファンを高速回転にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。				
9	E3	CSU	01200181	2301	**Fan speed is normal because temperature of CSU hardware returned to normal level.**
	ハードウェアの温度が正常温度に戻ったので，ファンを通常回転にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
10	E3	CSU	01200182	2301	**Recovery due to the failure was restrained.**
	該当ボードは障害による復旧を抑止しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンド，または show logging コマンドで standby パラメータを指定しログを確認し，障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置をしてください。 運用系の復旧を抑止している場合，待機系の起動（復旧）も抑止されます。この場合は待機系に障害は発生していませんので，待機系の交換は必要ありません。				
11	E3	CSU	01300408	2314	**This system (CSU1) changed from standby to active.CSU2 is standby.**
	このシステム（CSU1）は待機系から運用系に系切替しました。CSU2 は待機系です。 本メッセージは，旧運用系で，致命的障害発生，リセットボタン押下，ACH スイッチ押下などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. リセットボタン押下，ACH スイッチ押下による系切替の場合は，問題ありません。 2. 上記以外の場合，show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。新待機系が立ち上がっていない場合には，しばらく待ってからご確認ください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
12	E3	CSU	01300409	2314	**This system (CSU2) changed from standby to active.CSU1 is standby.**
	このシステム（CSU2）は，待機系から運用系に系切替しました。CSU1 は待機系です。 本メッセージは，旧運用系で，致命的障害発生，リセットボタン押下，ACH スイッチ押下などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. リセットボタン押下，ACH スイッチ押下による系切替の場合は，問題ありません。 2. 上記以外の場合，show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。新待機系が立ち上がっていない場合には，しばらく待ってからご確認ください。				
13	E3	CSU	01300410	2314	**This system (CSU1) changed from active to standby.CSU2 is active.**
	このシステム（CSU1）は，運用系から待機系に系切替しました。CSU2 は運用系です。 本メッセージは，旧運用系で，致命的障害発生によって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。新待機系が立ち上がっていない場合には，しばらく待ってからご確認ください。				
14	E3	CSU	01300411	2314	**This system (CSU2) changed from active to standby.CSU1 is active.**
	このシステム（CSU2）は，運用系から待機系に系切替しました。CSU1 は運用系です。 本メッセージは，旧運用系で，致命的障害発生によって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。新待機系が立ち上がっていない場合には，しばらく待ってからご確認ください。				
15	E3	CSU	01300412	2314	**System status changed from duplex to simplex.**
	システムの運用状態が，二重化状態から一重化状態に変わりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
16	E3	CSU	01300413	2314	**System status changed from simplex to duplex.**
	システムの運用状態が，一重化状態から二重化状態に変わりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
17	E3	CSU	01300414	2314	**Time is matched at the time of active system.**
	時刻を運用系に合わせました。 本メッセージは待機系にだけ表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
18	E3	CSU	01300417	2314	**This system (CSU1) changed from standby to active.CSU2 is standby.**
	このシステム（CSU1）は，待機系から運用系に系切替しました。CSU2 は待機系です。 本メッセージは，reload コマンドで active パラメータを指定，または redundancy force-switchover コマンドの実行などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
19	E3	CSU	01300418	2314	**This system (CSU2) changed from standby to active.CSU1 is standby.**
	このシステム（CSU2）は，待機系から運用系に系切替しました。CSU1 は待機系です。 本メッセージは，reload コマンドで active パラメータを指定，または redundancy force-switchover コマンドの実行などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
20	E3	CSU	01300419	2314	**This system (CSU1) changed from active to standby.CSU2 is active.**
	このシステム（CSU1）は，運用系から待機系に系切替しました。CSU2 は運用系です。 本メッセージは，reload コマンドで active パラメータを指定，または redundancy force-switchover コマンドの実行などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
21	E3	CSU	01300420	2314	**This system (CSU2) changed from active to standby.CSU1 is active.**
	このシステム（CSU2）は，運用系から待機系に系切替しました。CSU1 は運用系です。 本メッセージは，reload コマンドで active パラメータを指定，または redundancy force-switchover コマンドの実行などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
22	E3	CSU	01300421	2314	**This system (CSU1) will be changed from active to standby and restarted because of ACH SWITCH pressed.**
	ACH スイッチが押されたため，このシステム（CSU1）は，運用系から待機系に系切替し，再起動を行います。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
23	E3	CSU	01300422	2314	**This system (CSU2) will be changed from active to standby and restarted because of ACH SWITCH pressed.**
	ACH スイッチが押されたため，このシステム（CSU2）は，運用系から待機系に系切替し，再起動を行います。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
24	E3	CSU	01300442	2314	**Partial error detected on other system. Replace unit having error. This system (CSU1) is active.**
	待機系の CSU で部分障害が発生しました。障害部位を交換してください。このシステム（CSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した部分障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。				
25	E3	CSU	01300443	2314	**Partial error detected on other system. Replace unit.having error. This system (CSU2) is active.**
	待機系の CSU で部分障害が発生しました。障害部位を交換してください。このシステム（CSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した部分障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。				
26	E3	CSU	01300457	2314	**This system (CSU1) restarted with system changed.**
	このシステム（CSU1）は，系切替したので，再起動します。 このメッセージは，コンフィグレーション不一致，ライセンスキー不一致または二重化状態ではない場合のどれかの状態のときに，致命的障害発生，リセットボタン押下，ACH スイッチ押下，reload コマンドで active パラメータ指定，ppupdate コマンドで active パラメータ指定などによる系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
27	E3	CSU	01300458	2314	**This system (CSU2) restarted with system changed.**
	このシステム（CSU2）は，系切替したので，再起動します。 このメッセージは，コンフィグレーション不一致，ライセンスキー不一致または二重化状態ではない場合のどれかの状態のときに，致命的障害発生，リセットボタン押下，ACH スイッチ押下，reload コマンドで active パラメータ指定，ppupdate コマンドで active パラメータ指定などによる系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
28	E3	CSU	01300466	2314	**Other system stopped due to temperature trouble. This system (CSU1) is active.**
	待機系は温度障害により停止しました。このシステム（CSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
29	E3	CSU	01300467	2314	**Other system stopped due to temperature trouble. This system (CSU1) is standby.**
	運用系は温度障害により停止しました。このシステム（CSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
30	E3	CSU	01300468	2314	**Other system stopped due to temperature trouble. This system (CSU2) is active.**
	待機系は温度障害により停止しました。このシステム（CSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
31	E3	CSU	01300469	2314	**Other system stopped due to temperature trouble. This system (CSU2) is standby.**
	運用系は温度障害により停止しました。このシステム（CSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
32	E3	CSU	01300470	2314	**Standby system inactivated because CSU hardware error detected. This system (CSU1) is active.**
	ハードウェア障害を検出したので，待機系を inactivate しました。このシステム（CSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の CSU を交換してください。				
33	E3	CSU	01300471	2314	**Standby system inactivated because CSU hardware error detected. This system (CSU2) is active.**
	ハードウェア障害を検出したので，待機系を inactivate しました。このシステム（CSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の CSU を交換してください。				
34	E3	CSU	01300475	2314	**Standby system restarted because CSU hardware error detected. This system (CSU1) is active.**
	ハードウェア障害を検出したので，待機系を再起動しました。このシステム（CSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の CSU を交換してください。				
35	E3	CSU	01300476	2314	**Standby system restarted because CSU hardware error detected. This system (CSU2) is active.**
	ハードウェア障害を検出したので，待機系を再起動しました。このシステム（CSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の CSU を交換してください。				
36	E3	CSU	01300477	2314	**Standby system inactivated administratively.**
	inactivate コマンドによって，待機系を inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
37	E3	CSU	01300478	2314	**Standby system activated administratively.**
	activate コマンドによって，待機系を active 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
38	E3	CSU	01c00200	2301	**CSU restarted because of its HDC update done.**
	HDC（Hardware Dependent Code）の更新をしたので，CSU を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
39	E3	CSU	25070700	2301	**PSP online dump command executed.**
	PSP ダンプ（装置再起動なし）コマンド実行による，メモリダンプの収集が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
40	E3	CSU	25070701	2301	**Can't execute dump command(other dump executing).**
	他のダンプ処理実行中です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 時間をおいて再度実行してください。				
41	E3	CSU	25070702	2301	**PSP dump canceled.**
	ダンプ採取が中断されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show system コマンドで，user area の空き容量（推奨空き容量は 30MB）があるか確認し，空き容量がない場合にはダンプファイル等を削除してから再度実行してください。 2. ほかのダンプ採取完了後に再度実行してください。				
42	E3	CSU	25070800	2301	**PSP offline dump command executed.**
	PSP ダンプ（装置再起動あり）コマンド実行による，メモリダンプの収集が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
43	E3	CSU	25070911	2301	**PSP on this system (CSU1) changed to active.**
	このシステム（CSU1）の PSP は運用系に系切替しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] CSU のログを確認し，発生している障害に応じた処理をしてください。 コマンドで系切替した場合は，対応は不要です。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
44	E3	CSU	25070912	2301	PSP on this system (CSU1) changed from active.
	このシステム（CSU1）の PSP は運用系から系切替しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] CSU のログを確認し，発生している障害に応じた処理をしてください。 コマンドで系切替した場合は，対応は不要です。				
45	E3	CSU	25070913	2301	PSP on this system (CSU2) changed to active.
	このシステム（CSU2）の PSP は運用系に系切替しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] CSU のログを確認し，発生している障害に応じた処理をしてください。 コマンドで系切替した場合は，対応は不要です。				
46	E3	CSU	25070914	2301	PSP on this system (CSU2) changed from active.
	このシステム（CSU2）の PSP は運用系から系切替しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] CSU のログを確認し，発生している障害に応じた処理をしてください。 コマンドで系切替した場合は，対応は不要です。				
47	E3	CSU	25070915	2301	PSP on other system (CSU1) changed to active.
	待機系システム（CSU1）の PSP は運用系に系切替しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] CSU のログを確認し，発生している障害に応じた処理をしてください。 コマンドで系切替した場合は，対応は不要です。				
48	E3	CSU	25070916	2301	PSP on other system (CSU1) changed from active.
	待機系システム（CSU1）の PSP は運用系から系切替しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] CSU のログを確認し，発生している障害に応じた処理をしてください。 コマンドで系切替した場合は，対応は不要です。				
49	E3	CSU	25070917	2301	PSP on other system (CSU2) changed to active.
	待機系システム（CSU2）の PSP は運用系に系切替しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] CSU のログを確認し，発生している障害に応じた処理をしてください。 コマンドで系切替した場合は，対応は不要です。				
50	E3	CSU	25070918	2301	PSP on other system (CSU2) changed from active.
	待機系システム（CSU2）の PSP は運用系から系切替しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] CSU のログを確認し，発生している障害に応じた処理をしてください。 コマンドで系切替した場合は，対応は不要です。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
51	E5	CSU	01200183	2301	**Standby CSU is mismatch.**
	待機系 CSU は，ボード種別が異なっています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系と待機系の CSU ボード種別を一致させてください。				
52	E5	CSU	01200185	2301	**Standby CSU is unknown CSU.**
	待機系の CSU ボードは不明です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本装置でサポートされていない CSU ボードです。待機系の CSU ボードを交換してください。				
53	E5	CSU	01300430	2314	**System cannot execute CSU force-switchover. This system (CSU1) is active.**
	系切替が実行できませんでした。このシステム（CSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系と待機系の CSU を交換してください。				
54	E5	CSU	01300432	2314	**System cannot execute CSU force-switchover. This system (CSU2) is active.**
	系切替が実行できませんでした。このシステム（CSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系と待機系の CSU を交換してください。				
55	E5	CSU	01300434	2314	**Health check error detected on other system. This system (CSU1) is active.**
	運用系 CSU1 から待機系 CSU2 へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（CSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show logging コマンドを実行し，このログに対応する回復ログ「Health check error recovered.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 2. 上記回復ログが出力されていない場合は，show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。 3. 待機系で障害が発生していない場合は，半挿しの可能性があります。ボード交換直後である場合は実装を確認してください。 4. 上記対応でも回復しない場合，運用系と待機系の CSU を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
56	E5	CSU	01300435	2314	**Health check error detected on other system. This system (CSU1) is standby.**
	運用系 CSU2 から待機系 CSU1 へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（CSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show logging コマンドで standby パラメータを指定し，このログに対応する回復ログ「Health check error recovered.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 2. 上記回復ログが出力されていない場合は，show logging コマンドを実行し，運用系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。 3. 運用系で障害が発生していない場合は，半挿しの可能性があります。ボード交換直後である場合は実装を確認してください。 4. 上記対応でも回復しない場合，運用系と待機系の CSU を交換してください。				
57	E5	CSU	01300436	2314	**Health check error detected on other system. This system (CSU2) is active.**
	運用系 CSU2 から待機系 CSU1 へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（CSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show logging コマンドを実行し，このログに対応する回復ログ「Health check error recovered.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 2. 上記回復ログが出力されていない場合は，show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。 3. 待機系で障害が発生していない場合は，半挿しの可能性があります。ボード交換直後である場合は実装を確認してください。 4. 上記対応でも回復しない場合，運用系と待機系の CSU を交換してください。				
58	E5	CSU	01300437	2314	**Health check error detected on other system. This system (CSU2) is standby.**
	運用系 CSU1 から待機系 CSU2 へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（CSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show logging コマンドで standby パラメータを指定し，このログに対応する回復ログ「Health check error recovered.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 2. 上記回復ログが出力されていない場合は，show logging コマンドを実行し，運用系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。 3. 運用系で障害が発生していない場合は，半挿しの可能性があります。ボード交換直後である場合は実装を確認してください。 4. 上記対応でも回復しない場合，運用系と待機系の CSU を交換してください。				
59	E5	CSU	01300438	2314	**Fatal error detected on other system. This system (CSU1) is active.**
	待機系 CSU で致命的障害が発生しました。このシステム（CSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
60	E5	CSU	01300439	2314	**Fatal error detected on other system. This system (CSU1) is standby.**
	運用系 CSU で致命的障害が発生しました。このシステム（CSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系が再起動した後，show logging コマンドを実行し，障害内容を確認した後，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
61	E5	CSU	01300440	2314	**Fatal error detected on other system. This system (CSU2) is active.**
	待機系 CSU で致命的障害が発生しました。このシステム（CSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
62	E5	CSU	01300441	2314	**Fatal error detected on other system. This system (CSU2) is standby.**
	運用系 CSU で致命的障害が発生しました。このシステム（CSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系が再起動した後，show logging コマンドを実行し，障害内容を確認した後，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
63	E5	CSU	25070913	2301	**Health check error detected on active PSP. This system (CSU1) is active.**
	待機系 CSU2 から運用系 PSP へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（CSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系 CSU2 が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
64	E5	CSU	25070914	2301	**Health check error detected on active PSP. This system (CSU2) is active.**
	待機系 CSU1 から運用系 PSP へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（CSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系 CSU1 が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
65	E5	CSU	25070919	2301	**Health check error detected on NIF <nif no.>. This system (CSU1) is active.**
	待機系 CSU2 から NIF へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（CSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] 待機系 CSU2 が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
66	E5	CSU	25070920	2301	**Health check error detected on NIF <nif no.>. This system (CSU2) is active.**
	待機系 CSU1 から NIF へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（CSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] 待機系 CSU1 が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
67	E7	CSU	00020102	2301	**CSU hardware exceeded tolerance level of low temperature(2 degree). Check room temperature.**
	ハードウェアの温度が許容温度範囲を下回りました（2 ℃以下）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（室温など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
68	E7	CSU	00020103	2301	**CSU hardware exceeded tolerance level of high temperature (43 degree). Check that room temperature and the fan is operating normally.**
	ハードウェアの温度が許容温度範囲を上回りました（43 ℃以上）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
69	E7	CSU	00020104	2301	**CSU hardware is becoming high temperature (58 degree). immediately, and check that room temperature and the fan is operating normally.**
	ハードウェアの温度は，装置の運用に支障をきたす高温値に接近しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置が誤動作を起こすおそれがありますので，早急に装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
70	E8	CSU	01200178	2301	**PSP not initialized because it is unknown CSU.**
	不明な CSU ボードのため，PSP を初期化できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. CSU ボードが半挿し状態です。CSU を正しく挿入してください。 2. ソフトウェアバージョンでサポートされていない CSU ボードです。CSU ボード種別とソフトウェアのバージョンを確認し，CSU ボードを交換するか，ソフトウェアをアップデートしてください。 3. 本装置でサポートされていない CSU ボードです。CSU ボードを交換してください。				
71	E8	CSU	01200179	2301	**PSP not initialized because it is mismatch between active and standby CSU.**
	運用系と待機系の CSU ボード種別が異なっているため，PSP を初期化できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系と待機系の CSU ボード種別を一致させてください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
72	E8	CSU	25070200	2301	**CSU restarted because PSP hardware failure detected during the self diagnosis.**
	PSP の自己診断中に障害を検出しました。CSU を再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 再起動後に「PSP initialized.」とログが表示された場合は，継続して運用できます。				
73	E8	CSU	25070202	2301	**CSU restarted because of PSP hardware failure.**
	PSP にハードウェア障害が発生したので，CSU を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 再起動後に「PSP initialized.」とログが表示された場合は，継続して運用できます。				
74	E8	CSU	25070500	2301	**PSP not initialized because it is unavailable configuration.**
	使用できないコンフィグレーションのため，初期化できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 以下のコンフィグレーションを正しく変更してください。 • フィルタ・QoS 機能のフローの配分パターン • 装置当たりの最大エントリ数の配分パターン				
75	E8	CSU	25070903	2301	**Health check error detected on standby PSP. This system (CSU1) is standby.**
	運用系 CSU2 から待機系 PSP へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（CSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
76	E8	CSU	25070904	2301	**Health check error detected on standby PSP. This system (CSU2) is standby.**
	運用系 CSU1 から待機系 PSP へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（CSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
77	E8	CSU	25070908	2301	**System cannot execute PSP swap. All PSP restarted.**
	PSP の系切替ができませんでした。すべての PSP を再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
78	E9	CSU	00020105	2301	**CSU hardware is becoming high temperature which give damage to this system. (65 degree)**
	ハードウェアの温度が，装置の運用に致命的な障害を与える温度値（65 ℃）に達しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
79	E9	CSU	01200173 01300474 2b061200	2314	**System restarted because CSU hardware error detected.**
	ハードウェア障害を検出したので，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] CSU を交換してください。				
80	E9	CSU	01200186	2301	**CSU restarted because it is unknown CSU.**
	不明な CSU ボードのため，再起動します。 本メッセージは，運用系が不明な CSU ボードで，待機系が正常な CSU ボードであった場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本装置でサポートされていない CSU ボードです。CSU ボードを交換してください。				
81	E9	CSU	01300472	2314	**This system (CSU1) inactivated because CSU hardware error detected.**
	ハードウェア障害を検出したので，このシステム（CSU1）を inactivate しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の CSU を交換してください。				
82	E9	CSU	01300473	2314	**This system (CSU2) inactivated because CSU hardware error detected.**
	ハードウェア障害を検出したので，このシステム（CSU2）を inactivate しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の CSU を交換してください。				
83	E9	CSU	01c00100	2301	**CSU restarted because of its HDC update failure.**
	HDC（Hardware Dependent Code）の更新に失敗したので，CSU を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] CSU を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
84	E9	CSU	25070905	2301	**Health check error detected on active PSP. This system (CSU1) is standby.**
	待機系 CSU1 から運用系 PSP へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（CSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
85	E9	CSU	25070906	2301	**Health check error detected on active PSP. This system (CSU2) is standby.**
	待機系 CSU2 から運用系 PSP へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（CSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
86	E9	CSU	25070909	2301	**Health check error detected on NIF <nif no.>. This system (CSU1) is standby.**
	待機系 CSU1 から NIF へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（CSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
87	E9	CSU	25070910	2301	**Health check error detected on NIF <nif no.>. This system (CSU2) is standby.**
	待機系 CSU2 から NIF へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（CSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
88	R5	CSU	01200185	2301	**Standby unknown CSU is notconnect.**
	待機系の不明な CSU ボードが抜去されました。 本メッセージは，ログ「Standby CSU is unknown CSU.」を表示後に，待機系 CSU を未実装にした場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
89	R5	CSU	01300430	2314	**CSU force-switchover available. This system (CSU1) is active.**
	系切替機能が回復しました。このシステム（CSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
90	R5	CSU	01300431	2314	**CSU force-switchover available. This system (CSU1) is standby.**
	系切替機能が回復しました。このシステム（CSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
91	R5	CSU	01300432	2314	**CSU force-switchover available. This system (CSU2) is active.**
	系切替機能が回復しました。このシステム（CSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
92	R5	CSU	01300433	2314	**CSU force-switchover available. This system (CSU2) is standby.**
	系切替機能が回復しました。このシステム（CSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
93	R5	CSU	01300434	2314	**Health check error recovered. This system (CSU1) is active.**
	ヘルスチェックエラーが回復しました。このシステム（CSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
94	R5	CSU	01300435	2314	**Health check error recovered. This system (CSU1) is standby.**
	ヘルスチェックエラーが回復しました。このシステム（CSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
95	R5	CSU	01300436	2314	**Health check error recovered. This system (CSU2) is active.**
	ヘルスチェックエラーが回復しました。このシステム（CSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
96	R5	CSU	01300437	2314	**Health check error recovered. This system (CSU2) is standby.**
	ヘルスチェックエラーが回復しました。このシステム（CSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
97	R5	CSU	01300438	2314	**Other system recovered from fatal error. This system (CSU1) is active.**
	待機系 CSU の致命的障害が回復しました。このシステム（CSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
98	R5	CSU	01300439	2314	**Other system recovered from fatal error. This system (CSU1) is standby.**
	運用系 CSU の致命的障害が回復しました。このシステム（CSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
99	R5	CSU	01300440	2314	**Other system recovered from fatal error. This system (CSU2) is active.**
	待機系 CSU の致命的障害が回復しました。このシステム（CSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
100	R5	CSU	01300441	2314	**Other system recovered from fatal error. This system (CSU2) is standby.**
	運用系 CSU の致命的障害が回復しました。このシステム（CSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
101	R7	CSU	00020102	2301	**The temperature of CSU hardware returned to normal level (5 degree).**
	ハードウェアの温度が正常温度（5 ℃）に戻りました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
102	R7	CSU	00020103	2301	**The temperature of CSU hardware returned to normal level (40 degree).**
	ハードウェアの温度が正常温度（40 ℃）に戻りました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
103	R7	CSU	00020104	2301	**CSU hardware recovered to normal from high temperature(55 degree). However, be careful until it is becoming temperature of tolerance level.**
	ハードウェアの温度は，装置運用に支障をきたす高温値から回復しました。しかし，まだ許容範囲を上回る温度なので注意が必要です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
104	R8	CSU	01200179	2301	**Standby CSU is notconnect.**
	待機系 CSU は未実装です。 本メッセージは，以下のどちらかのログを表示後に，待機系 CSU を未実装にした場合に表示されます。 • 「PSP not initialized because it is mismatch between active and standby CSU.」 • 「Standby CSU is mismatch.」 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
105	R8	CSU	01300461	2314	**CSU initialized.**
	CSU の初期化が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
106	R8	CSU	25070002	2301	**PSP initialized.**
	PSP の初期化が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.10　管理スイッチング機構【AX6300S】

3.10.1　イベント発生部位＝ MSU

イベント発生部位 =MSU の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-21　イベント発生部位 =MSU の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E3	MSU	00020106	2301	**The temperature of MSU reached the warning level (<temperature> degree).**
	ハードウェアの温度が，コンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level で設定した温度に達しました。 [メッセージテキストの表示説明] <temperature>　装置の温度（摂氏） [対応] 装置の温度が指定した温度に達しているため，装置周辺の環境（ファンの状態，通風，熱源の有無など）を確認してください。				
2	E3	MSU	00020107	2301	**The temperature of MSU came down from the warning level.**
	ハードウェアの温度が，コンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level で設定した温度より 3 ℃以上下がりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
3	E3	MSU	01200160	2314	**Standby system inactivated because of SOP operation.**
	システム操作パネルからの inactivate 指示によって，待機系を inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
4	E3	MSU	01200164	2314	**Standby system activated because of SOP operation.**
	システム操作パネルからの activate 指示によって，待機系は inactive 状態を解除しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
5	E3	MSU	01200171	2314	**This system (MSU1) restarted due to its failure.**
	このシステム（MSU1）は，障害により再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンド，または show logging コマンドで standby パラメータを指定し，このログの出力前に発生している障害内容を確認した後，その障害メッセージに対応した処理をしてください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
6	E3	MSU	01200172	2314	**This system (MSU2) restarted due to its failure.**
	このシステム（MSU2）は，障害により再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンド，または show logging コマンドで standby パラメータを指定し，このログの出力前に発生している障害内容を確認した後，その障害メッセージに対応した処理をしてください。				
7	E3	MSU	01200174	2301	**Failed in accumulated running time access to <msu>.**
	MSU への通算稼働時間のアクセスに失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] <msu>　通算稼働時間のアクセスに失敗した MSU（MSU1，MSU2 のどちらかを表示） [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし，通算稼働時間の管理機能が使用できませんので，使用したい場合は MSU を交換してください。				
8	E3	MSU	01200180	2301	**Fan speed is high because temperature of MSU hardware exceeded tolerance level of high temperature.**
	ハードウェアの温度が許容範囲を上回ったので，ファンを高速回転にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。				
9	E3	MSU	01200181	2301	**Fan speed is normal because temperature of MSU hardware returned to normal level.**
	ハードウェアの温度が正常温度に戻ったので，ファンを通常回転にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
10	E3	MSU	01200182	2301	**Recovery due to the failure was restrained.**
	該当ボードは障害による復旧を抑止しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンド，または show logging コマンドで standby パラメータを指定しログを確認し，障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置をしてください。 運用系の復旧を抑止している場合，待機系の起動（復旧）も抑止されます。この場合は待機系に障害は発生していませんので，待機系の交換は必要ありません。				
11	E3	MSU	01300408	2314	**This system (MSU1) changed from standby to active.MSU2 is standby.**
	このシステム（MSU1）は待機系から運用系に系切替しました。MSU2 は待機系です。 本メッセージは，旧運用系で，致命的障害発生，リセットボタン押下，ACH スイッチ押下などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. リセットボタン押下，ACH スイッチ押下による系切替の場合は，問題ありません。 2. 上記以外の場合，show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。新待機系が立ち上がっていない場合には，しばらく待ってからご確認ください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
12	E3	MSU	01300409	2314	**This system (MSU2) changed from standby to active.MSU1 is standby.**
	このシステム（MSU2）は，待機系から運用系に系切替しました。MSU1 は待機系です。 本メッセージは，旧運用系で，致命的障害発生，リセットボタン押下，ACH スイッチ押下などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. リセットボタン押下，ACH スイッチ押下による系切替の場合は，問題ありません。 2. 上記以外の場合，show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。新待機系が立ち上がっていない場合には，しばらく待ってからご確認ください。				
13	E3	MSU	01300410	2314	**This system (MSU1) changed from active to standby.MSU2 is active.**
	このシステム（MSU1）は，運用系から待機系に系切替しました。MSU2 は運用系です。 本メッセージは，旧運用系で，致命的障害発生によって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。新待機系が立ち上がっていない場合には，しばらく待ってからご確認ください。				
14	E3	MSU	01300411	2314	**This system (MSU2) changed from active to standby.MSU1 is active.**
	このシステム（MSU2）は，運用系から待機系に系切替しました。MSU1 は運用系です。 本メッセージは，旧運用系で，致命的障害発生によって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。新待機系が立ち上がっていない場合には，しばらく待ってからご確認ください。				
15	E3	MSU	01300412	2314	**System status changed from duplex to simplex.**
	システムの運用状態が，二重化状態から一重化状態に変わりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
16	E3	MSU	01300413	2314	**System status changed from simplex to duplex.**
	システムの運用状態が，一重化状態から二重化状態に変わりました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
17	E3	MSU	01300414	2314	**Time is matched at the time of active system.**
	時刻を運用系に合わせました。 本メッセージは待機系にだけ表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
18	E3	MSU	01300417	2314	**This system (MSU1) changed from standby to active.MSU2 is standby.**
	このシステム（MSU1）は，待機系から運用系に系切替しました。MSU2 は待機系です。 本メッセージは，reload コマンドで active パラメータを指定，または redundancy force-switchover コマンドの実行などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
19	E3	MSU	01300418	2314	**This system (MSU2) changed from standby to active.MSU1 is standby.**
	このシステム（MSU2）は，待機系から運用系に系切替しました。MSU1 は待機系です。 本メッセージは，reload コマンドで active パラメータを指定，または redundancy force-switchover コマンドの実行などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
20	E3	MSU	01300419	2314	**This system (MSU1) changed from active to standby.MSU2 is active.**
	このシステム（MSU1）は，運用系から待機系に系切替しました。MSU2 は運用系です。 本メッセージは，reload コマンドで active パラメータを指定，または redundancy force-switchover コマンドの実行などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
21	E3	MSU	01300420	2314	**This system (MSU2) changed from active to standby.MSU1 is active.**
	このシステム（MSU2）は，運用系から待機系に系切替しました。MSU1 は運用系です。 本メッセージは，reload コマンドで active パラメータを指定，または redundancy force-switchover コマンドの実行などによって系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
22	E3	MSU	01300421	2314	**This system (MSU1) will be changed from active to standby and restarted because of ACH SWITCH pressed.**
	ACH スイッチが押されたため，このシステム（MSU1）は，運用系から待機系に系切替し，再起動を行います。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
23	E3	MSU	01300422	2314	**This system (MSU2) will be changed from active to standby and restarted because of ACH SWITCH pressed.**
	ACH スイッチが押されたため，このシステム（MSU2）は，運用系から待機系に系切替し，再起動を行います。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
24	E3	MSU	01300442	2314	**Partial error detected on other system. Replace unit having error. This system (MSU1) is active.**
	待機系の MSU で部分障害が発生しました。障害部位を交換してください。このシステム（MSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した部分障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。				
25	E3	MSU	01300443	2314	**Partial error detected on other system. Replace unit.having error. This system (MSU2) is active.**
	待機系の MSU で部分障害が発生しました。障害部位を交換してください。このシステム（MSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した部分障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。				
26	E3	MSU	01300457	2314	**This system (MSU1) restarted with system changed.**
	このシステム（MSU1）は，系切替したので，再起動します。 このメッセージは，コンフィグレーション不一致，ライセンスキー不一致または二重化状態ではない場合のどれかの状態のときに，致命的障害発生，リセットボタン押下，ACH スイッチ押下，reload コマンドで active パラメータ指定，ppupdate コマンドで active パラメータ指定などによる系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
27	E3	MSU	01300458	2314	**This system (MSU2) restarted with system changed.**
	このシステム（MSU2）は，系切替したので，再起動します。 このメッセージは，コンフィグレーション不一致，ライセンスキー不一致または二重化状態ではない場合のどれかの状態のときに，致命的障害発生，リセットボタン押下，ACH スイッチ押下，reload コマンドで active パラメータ指定，ppupdate コマンドで active パラメータ指定などによる系切替が発生した場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
28	E3	MSU	01300466	2314	**Other system stopped due to temperature trouble. This system (MSU1) is active.**
	待機系は温度障害により停止しました。このシステム（MSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
29	E3	MSU	01300467	2314	**Other system stopped due to temperature trouble. This system (MSU1) is standby.**
	運用系は温度障害により停止しました。このシステム（MSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
30	E3	MSU	01300468	2314	**Other system stopped due to temperature trouble. This system (MSU2) is active.**
	待機系は温度障害により停止しました。このシステム（MSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
31	E3	MSU	01300469	2314	**Other system stopped due to temperature trouble. This system (MSU2) is standby.**
	運用系は温度障害により停止しました。このシステム（MSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
32	E3	MSU	01300470	2314	**Standby system inactivated because MSU hardware error detected. This system (MSU1) is active.**
	ハードウェア障害を検出したので，待機系を inactivate しました。このシステム（MSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の MSU を交換してください。				
33	E3	MSU	01300471	2314	**Standby system inactivated because MSU hardware error detected. This system (MSU2) is active.**
	ハードウェア障害を検出したので，待機系を inactivate しました。このシステム（MSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の MSU を交換してください。				
34	E3	MSU	01300475	2314	**Standby system restarted because MSU hardware error detected. This system (MSU1) is active.**
	ハードウェア障害を検出したので，待機系を再起動しました。このシステム（MSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の MSU を交換してください。				
35	E3	MSU	01300476	2314	**Standby system restarted because MSU hardware error detected. This system (MSU2) is active.**
	ハードウェア障害を検出したので，待機系を再起動しました。このシステム（MSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の MSU を交換してください。				
36	E3	MSU	01300477	2314	**Standby system inactivated administratively.**
	inactivate コマンドによって，待機系を inactive 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
37	E3	MSU	01300478	2314	**Standby system activated administratively.**
	activate コマンドによって，待機系を active 状態にしました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
38	E3	MSU	01c00200	2301	**MSU restarted because of its HDC update done.**
	HDC（Hardware Dependent Code）の更新をしたので，MSU を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
39	E3	MSU	25070700	2301	**PSP online dump command executed.**
	PSP ダンプ（装置再起動なし）コマンド実行による，メモリダンプの収集が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
40	E3	MSU	25070701	2301	**Can't execute dump command(other dump executing).**
	他のダンプ処理実行中です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 時間をおいて再度実行してください。				
41	E3	MSU	25070702	2301	**PSP dump canceled.**
	ダンプ採取が中断されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show system コマンドで，user area の空き容量（推奨空き容量は 30MB）があるか確認し，空き容量がない場合にはダンプファイル等を削除してから再度実行してください。 2. ほかのダンプ採取完了後に再度実行してください。				
42	E3	MSU	25070800	2301	**PSP offline dump command executed.**
	PSP ダンプ（装置再起動あり）コマンド実行による，メモリダンプの収集が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
43	E5	MSU	01200183	2301	**Standby MSU is mismatch.**
	待機系 MSU は，ボード種別が異なっています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系と待機系の MSU ボード種別を一致させてください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
44	E5	MSU	01200185	2301	**Standby MSU is unknown MSU.**
	待機系の MSU ボードは不明です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本装置でサポートされていない MSU ボードです。待機系の MSU ボードを交換してください。				
45	E5	MSU	01300430	2314	**System cannot execute MSU force-switchover. This system (MSU1) is active.**
	系切替が実行できませんでした。このシステム（MSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系と待機系の MSU を交換してください。				
46	E5	MSU	01300432	2314	**System cannot execute MSU force-switchover. This system (MSU2) is active.**
	系切替が実行できませんでした。このシステム（MSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系と待機系の MSU を交換してください。				
47	E5	MSU	01300434	2314	**Health check error detected on other system. This system (MSU1) is active.**
	運用系 MSU1 から待機系 MSU2 へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（MSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show logging コマンドを実行し，このログに対応する回復ログ「Health check error recovered.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 2. 上記回復ログが出力されていない場合は，show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。 3. 待機系で障害が発生していない場合は，半挿しの可能性があります。ボード交換直後である場合は実装を確認してください。 4. 上記対応でも回復しない場合，運用系と待機系の MSU を交換してください。				
48	E5	MSU	01300435	2314	**Health check error detected on other system. This system (MSU1) is standby.**
	運用系 MSU2 から待機系 MSU1 へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（MSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show logging コマンドで standby パラメータを指定し，このログに対応する回復ログ「Health check error recovered.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 2. 上記回復ログが出力されていない場合は，show logging コマンドを実行し，運用系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。 3. 運用系で障害が発生していない場合は，半挿しの可能性があります。ボード交換直後である場合は実装を確認してください。 4. 上記対応でも回復しない場合，運用系と待機系の MSU を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
49	E5	MSU	01300436	2314	**Health check error detected on other system. This system (MSU2) is active.**
	運用系 MSU2 から待機系 MSU1 へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（MSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show logging コマンドを実行し，このログに対応する回復ログ「Health check error recovered.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 2. 上記回復ログが出力されていない場合は，show logging コマンドで standby パラメータを指定し，待機系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。 3. 待機系で障害が発生していない場合は，半挿しの可能性があります。ボード交換直後である場合は実装を確認してください。 4. 上記対応でも回復しない場合，運用系と待機系の MSU を交換してください。				
50	E5	MSU	01300437	2314	**Health check error detected on other system. This system (MSU2) is standby.**
	運用系 MSU1 から待機系 MSU2 へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（MSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. show logging コマンドで standby パラメータを指定し，このログに対応する回復ログ「Health check error recovered.」が出力されているかどうかを確認してください。回復ログが出力されている場合は対応不要です。 2. 上記回復ログが出力されていない場合は，show logging コマンドを実行し，運用系で発生した障害のメッセージを確認した後，そのメッセージに応じた対応を行ってください。 3. 運用系で障害が発生していない場合は，半挿しの可能性があります。ボード交換直後である場合は実装を確認してください。 4. 上記対応でも回復しない場合，運用系と待機系の MSU を交換してください。				
51	E5	MSU	01300438	2314	**Fatal error detected on other system. This system (MSU1) is active.**
	待機系 MSU で致命的障害が発生しました。このシステム（MSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
52	E5	MSU	01300439	2314	**Fatal error detected on other system. This system (MSU1) is standby.**
	運用系 MSU で致命的障害が発生しました。このシステム（MSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系が再起動した後，show logging コマンドを実行し，障害内容を確認した後，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
53	E5	MSU	01300440	2314	**Fatal error detected on other system. This system (MSU2) is active.**
	待機系 MSU で致命的障害が発生しました。このシステム（MSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
54	E5	MSU	01300441	2314	**Fatal error detected on other system. This system (MSU2) is standby.**
	運用系 MSU で致命的障害が発生しました。このシステム（MSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系が再起動した後，show logging コマンドを実行し，障害内容を確認した後，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
55	E5	MSU	25070913	2301	**Health check error detected on active PSP. This system (MSU1) is active.**
	待機系 MSU2 から運用系 PSP へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（MSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系 MSU2 が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
56	E5	MSU	25070914	2301	**Health check error detected on active PSP. This system (MSU2) is active.**
	待機系 MSU1 から運用系 PSP へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（MSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系 MSU1 が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
57	E5	MSU	25070919	2301	**Health check error detected on NIF <nif no.>. This system (MSU1) is active.**
	待機系 MSU2 から NIF へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（MSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] 待機系 MSU2 が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
58	E5	MSU	25070920	2301	**Health check error detected on NIF <nif no.>. This system (MSU2) is active.**
	待機系 MSU1 から NIF へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（MSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] 待機系 MSU1 が再起動した後，show logging コマンドで standby パラメータを指定して障害内容を確認し，その障害メッセージに対応した処理を行ってください。				
59	E7	MSU	00020102	2301	**MSU hardware exceeded tolerance level of low temperature(2 degree). Check room temperature.**
	ハードウェアの温度が許容温度範囲を下回りました（2 ℃以下）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1.　装置周辺の環境（室温など）を確認し，改善してください。 2.　ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
60	E7	MSU	00020103	2301	**MSU hardware exceeded tolerance level of high temperature (43 degree). Check that room temperature and the fan is operating normally.**
	ハードウェアの温度が許容温度範囲を上回りました（43 ℃以上）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
61	E7	MSU	00020104	2301	**MSU hardware is becoming high temperature (58 degree). immediately, and check that room temperature and the fan is operating normally.**
	ハードウェアの温度は，装置の運用に支障をきたす高温値に接近しています。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置が誤動作を起こすおそれがありますので，早急に装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
62	E8	MSU	01200178	2301	**PSP not initialized because it is unknown MSU.**
	不明な MSU ボードのため，PSP を初期化できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. MSU ボードが半挿し状態です。MSU を正しく挿入してください。 2. ソフトウェアバージョンでサポートされていない MSU ボードです。MSU ボード種別とソフトウェアのバージョンを確認し，MSU ボードを交換するか，ソフトウェアをアップデートしてください。 3. 本装置でサポートされていない MSU ボードです。MSU ボードを交換してください。				
63	E8	MSU	01200179	2301	**PSP not initialized because it is mismatch between active and standby MSU.**
	運用系と待機系の MSU ボード種別が異なっているため，PSP を初期化できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 運用系と待機系の MSU ボード種別を一致させてください。				
64	E8	MSU	25070200	2301	**MSU restarted because PSP hardware failure detected during the self diagnosis.**
	PSP の自己診断中に障害を検出しました。MSU を再起動します。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 再起動後に「PSP initialized.」とログが表示された場合は，継続して運用できます。				
65	E8	MSU	25070202	2301	**MSU restarted because of PSP hardware failure.**
	PSP にハードウェア障害が発生したので，MSU を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 再起動後に「PSP initialized.」とログが表示された場合は，継続して運用できます。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
66	E8	MSU	25070500	2301	**PSP not initialized because it is unavailable configuration.**
	使用できないコンフィグレーションのため，初期化できませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 以下のコンフィグレーションを正しく変更してください。 • フィルタ・QoS 機能のフローの配分パターン • 装置当たりの最大エントリ数の配分パターン				
67	E8	MSU	25070903	2301	**Health check error detected on standby PSP. This system (MSU1) is standby.**
	運用系 MSU2 から待機系 PSP へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（MSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2. 1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
68	E8	MSU	25070904	2301	**Health check error detected on standby PSP. This system (MSU2) is standby.**
	運用系 MSU1 から待機系 PSP へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（MSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2. 1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
69	E9	MSU	00020105	2301	**MSU hardware is becoming high temperature which give damage to this system. (65 degree)**
	ハードウェアの温度が，装置の運用に致命的な障害を与える温度値（65 ℃）に達しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
70	E9	MSU	01200173 01300474 2b061200	2314	**System restarted because MSU hardware error detected.**
	ハードウェア障害を検出したので，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MSU を交換してください。				
71	E9	MSU	01200186	2301	**MSU restarted because it is unknown MSU.**
	不明な MSU ボードのため，再起動します。 本メッセージは，運用系が不明な MSU ボードで，待機系が正常な MSU ボードであった場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 本装置でサポートされていない MSU ボードです。MSU ボードを交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
72	E9	MSU	01300472	2314	**This system (MSU1) inactivated because MSU hardware error detected.**
	ハードウェア障害を検出したので，このシステム（MSU1）を inactivate しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の MSU を交換してください。				
73	E9	MSU	01300473	2314	**This system (MSU2) inactivated because MSU hardware error detected.**
	ハードウェア障害を検出したので，このシステム（MSU2）を inactivate しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 待機系の MSU を交換してください。				
74	E9	MSU	01c00100	2301	**MSU restarted because of its HDC update failure.**
	HDC（Hardware Dependent Code）の更新に失敗したので，MSU を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] MSU を交換してください。				
75	E9	MSU	25070905	2301	**Health check error detected on active PSP. This system (MSU1) is standby.**
	待機系 MSU1 から運用系 PSP へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（MSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
76	E9	MSU	25070906	2301	**Health check error detected on active PSP. This system (MSU2) is standby.**
	待機系 MSU2 から運用系 PSP へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（MSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
77	E9	MSU	25070909	2301	**Health check error detected on NIF <nif no.>. This system (MSU1) is standby.**
	待機系 MSU1 から NIF へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（MSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
78	E9	MSU	25070910	2301	**Health check error detected on NIF <nif no.>. This system (MSU2) is standby.**
	待機系 MSU2 から NIF へのヘルスチェックで，エラーが発生しました。このシステム（MSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] 1.　半挿しの可能性があります。ボードを交換した直後の場合は実装を確認してください。 2.　1. の対応で回復しない場合は，マニュアル「トラブルシューティングガイド」を参照して対応してください。				
79	R5	MSU	01200185	2301	**Standby unknown MSU is notconnect.**
	待機系の不明な MSU ボードが抜去されました。 本メッセージは，ログ「Standby MSU is unknown MSU.」を表示後に，待機系 MSU を未実装にした場合に表示されます。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
80	R5	MSU	01300430	2314	**MSU force-switchover available. This system (MSU1) is active.**
	系切替機能が回復しました。このシステム（MSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
81	R5	MSU	01300431	2314	**MSU force-switchover available. This system (MSU1) is standby.**
	系切替機能が回復しました。このシステム（MSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
82	R5	MSU	01300432	2314	**MSU force-switchover available. This system (MSU2) is active.**
	系切替機能が回復しました。このシステム（MSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
83	R5	MSU	01300433	2314	**MSU force-switchover available. This system (MSU2) is standby.**
	系切替機能が回復しました。このシステム（MSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
84	R5	MSU	01300434	2314	**Health check error recovered. This system (MSU1) is active.**
	ヘルスチェックエラーが回復しました。このシステム（MSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
85	R5	MSU	01300435	2314	**Health check error recovered. This system (MSU1) is standby.**
	ヘルスチェックエラーが回復しました。このシステム（MSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
86	R5	MSU	01300436	2314	**Health check error recovered. This system (MSU2) is active.**
	ヘルスチェックエラーが回復しました。このシステム（MSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
87	R5	MSU	01300437	2314	**Health check error recovered. This system (MSU2) is standby.**
	ヘルスチェックエラーが回復しました。このシステム（MSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
88	R5	MSU	01300438	2314	**Other system recovered from fatal error. This system (MSU1) is active.**
	待機系 MSU の致命的障害が回復しました。このシステム（MSU1）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
89	R5	MSU	01300439	2314	**Other system recovered from fatal error. This system (MSU1) is standby.**
	運用系 MSU の致命的障害が回復しました。このシステム（MSU1）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
90	R5	MSU	01300440	2314	**Other system recovered from fatal error. This system (MSU2) is active.**
	待機系 MSU の致命的障害が回復しました。このシステム（MSU2）は運用系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
91	R5	MSU	01300441	2314	**Other system recovered from fatal error. This system (MSU2) is standby.**
	運用系 MSU の致命的障害が回復しました。このシステム（MSU2）は待機系です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
92	R7	MSU	00020102	2301	**The temperature of MSU hardware returned to normal level (5 degree).**
	ハードウェアの温度が正常温度（5 ℃）に戻りました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
93	R7	MSU	00020103	2301	**The temperature of MSU hardware returned to normal level (40 degree).**
	ハードウェアの温度が正常温度（40 ℃）に戻りました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
94	R7	MSU	00020104	2301	**MSU hardware recovered to normal from high temperature(55 degree). However, be careful until it is becoming temperature of tolerance level.**
	ハードウェアの温度は，装置運用に支障をきたす高温値から回復しました。しかし，まだ許容範囲を上回る温度なので注意が必要です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認し，改善してください。 2. ファンを確認し，障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。				
95	R8	MSU	01200179	2301	**Standby MSU is notconnect.**
	待機系 MSU は未実装です。 本メッセージは，以下のどちらかのログを表示後に，待機系 MSU を未実装にした場合に表示されます。 • 「PSP not initialized because it is mismatch between active and standby MSU.」 • 「Standby MSU is mismatch.」 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
96	R8	MSU	01300461	2314	**MSU initialized.**
	MSU の初期化が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
97	R8	MSU	25070002	2301	**PSP initialized.**
	PSP の初期化が完了しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.11　AX6700S および AX6600S のネットワークインタフェース機構【AX6700S】【AX6600S】

3.11.1　イベント発生部位＝ NK1G-24T

イベント発生部位 =NK1G-24T の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-22　イベント発生部位 =NK1G-24T の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NK1G-24T	25020200	5540	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NK1G-24T	25020201	5550	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
3	E6	NK1G-24T	25020400	5540	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
4	E6	NK1G-24T	25020401	5550	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
5	R6	NK1G-24T	25020200	5540	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
6	R6	NK1G-24T	25020201	5550	Port recovered from hardware failure.
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.11.2　イベント発生部位＝ NK1G-24S

イベント発生部位 =NK1G-24S の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-23　イベント発生部位 =NK1G-24S の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NK1G-24S	25020200	5640	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NK1G-24S	25020201	5650	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
3	E6	NK1G-24S	25020400	5640	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
4	E6	NK1G-24S	25020401	5650	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
5	R6	NK1G-24S	25020200	5640	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	R6	NK1G-24S	25020201	5650	Port recovered from hardware failure.
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.11.3　イベント発生部位＝ NK1GS-8M

イベント発生部位 =NK1GS-8M の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-24　イベント発生部位 =NK1GS-8M の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NK1GS-8M	25020200	5940	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NK1GS-8M	25020400	5940	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
3	R6	NK1GS-8M	25020200	5940	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.11.4　イベント発生部位＝ NK10G-4RX

イベント発生部位 =NK10G-4RX の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-25　イベント発生部位 =NK10G-4RX の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NK10G-4RX	25020200	5340	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NK10G-4RX	25020201	5350	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
3	E6	NK10G-4RX	25020400	5340	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
4	E6	NK10G-4RX	25020401	5350	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
5	R6	NK10G-4RX	25020200	5340	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	R6	NK10G-4RX	25020201	5350	Port recovered from hardware failure.
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.11.5　イベント発生部位＝ NK10G-4RXA

イベント発生部位 =NK10G-4RXA の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-26　イベント発生部位 =NK10G-4RXA の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NK10G-4RXA	25020200	6340	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NK10G-4RXA	25020201	6350	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
3	E6	NK10G-4RXA	25020400	6340	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
4	E6	NK10G-4RXA	25020401	6350	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
5	R6	NK10G-4RXA	25020200	6340	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	R6	NK10G-4RXA	25020201	6350	Port recovered from hardware failure.
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.11.6　イベント発生部位＝ NK10G-8RX

イベント発生部位 =NK10G-8RX の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-27　イベント発生部位 =NK10G-8RX の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NK10G-8RX	25020200	5440	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NK10G-8RX	25020201	5450	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
3	E6	NK10G-8RX	25020400	5440	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
4	E6	NK10G-8RX	25020401	5450	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
5	R6	NK10G-8RX	25020200	5440	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	R6	NK10G-8RX	25020201	5450	Port recovered from hardware failure.
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.11.7　イベント発生部位＝ NK10G-8RXA

イベント発生部位 =NK10G-8RXA の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-28　イベント発生部位 =NK10G-8RXA の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NK10G-8RXA	25020200	6440	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NK10G-8RXA	25020201	6450	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
3	E6	NK10G-8RXA	25020400	6440	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
4	E6	NK10G-8RXA	25020401	6450	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
5	R6	NK10G-8RXA	25020200	6440	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	R6	NK10G-8RXA	25020201	6450	Port recovered from hardware failure.
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.12　AX6300S のネットワークインタフェース機構【AX6300S】

3.12.1　イベント発生部位＝ NH1G-16S

イベント発生部位 =NH1G-16S の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-29　イベント発生部位 =NH1G-16S の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NH1G-16S	25020200	5140	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NH1G-16S	25020201	5150	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
3	E6	NH1G-16S	25020400	5140	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
4	E6	NH1G-16S	25020401	5150	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
5	R6	NH1G-16S	25020200	5140	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
6	R6	NH1G-16S	25020201	5150	Port recovered from hardware failure.
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.12.2　イベント発生部位＝ NH1G-24T

イベント発生部位 =NH1G-24T の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-30　イベント発生部位 =NH1G-24T の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NH1G-24T	25020200	5540	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NH1G-24T	25020201	5550	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
3	E6	NH1G-24T	25020400	5540	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
4	E6	NH1G-24T	25020401	5550	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
5	R6	NH1G-24T	25020200	5540	**NIF recovered from hardware failure.**
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	R6	NH1G-24T	25020201	5550	**Port recovered from hardware failure.**
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.12.3　イベント発生部位＝ NH1G-24S

イベント発生部位 =NH1G-24S の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-31　イベント発生部位 =NH1G-24S の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NH1G-24S	25020200	5640	**NIF restarted because of its hardware failure.**
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NH1G-24S	25020201	5650	**Port restarted because of its hardware failure.**
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
3	E6	NH1G-24S	25020400	5640	**NIF restarted, but not recovered from hardware failure.**
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
4	E6	NH1G-24S	25020401	5650	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
5	R6	NH1G-24S	25020200	5640	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	R6	NH1G-24S	25020201	5650	Port recovered from hardware failure.
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.12.4　イベント発生部位＝ NH1G-48T

イベント発生部位 =NH1G-48T の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-32　イベント発生部位 =NH1G-48T の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NH1G-48T	25020200	5040	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NH1G-48T	25020201	5050	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
3	E6	NH1G-48T	25020400	5040	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
4	E6	NH1G-48T	25020401	5050	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
5	R6	NH1G-48T	25020200	5040	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	R6	NH1G-48T	25020201	5050	Port recovered from hardware failure.
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.12.5　イベント発生部位＝ NH1GS-6M

イベント発生部位 =NH1GS-6M の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-33　イベント発生部位 =NH1GS-6M の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NH1GS-6M	25020200	5840	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
2	E6	NH1GS-6M	25020400	5840	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
3	R6	NH1GS-6M	25020200	5840	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.12.6　イベント発生部位＝ NH10G-1RX

イベント発生部位 =NH10G-1RX の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-34　イベント発生部位 =NH10G-1RX の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NH10G-1RX	25020200	5240	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NH10G-1RX	25020201	5250	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
3	E6	NH10G-1RX	25020400	5240	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
4	E6	NH10G-1RX	25020401	5250	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
5	R6	NH10G-1RX	25020200	5240	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	R6	NH10G-1RX	25020201	5250	Port recovered from hardware failure.
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.12.7　イベント発生部位＝ NH10G-4RX

イベント発生部位 =NH10G-4RX の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-35　イベント発生部位 =NH10G-4RX の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NH10G-4RX	25020200	5340	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NH10G-4RX	25020201	5350	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
3	E6	NH10G-4RX	25020400	5340	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
4	E6	NH10G-4RX	25020401	5350	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
5	R6	NH10G-4RX	25020200	5340	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	R6	NH10G-4RX	25020201	5350	Port recovered from hardware failure.
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.12.8　イベント発生部位＝ NH10G-4RXA

イベント発生部位 =NH10G-4RXA の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-36　イベント発生部位 =NH10G-4RXA の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NH10G-4RXA	25020200	6340	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
2	E6	NH10G-4RXA	25020201	6350	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
3	E6	NH10G-4RXA	25020400	6340	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
4	E6	NH10G-4RXA	25020401	6350	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
5	R6	NH10G-4RXA	25020200	6340	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	R6	NH10G-4RXA	25020201	6350	Port recovered from hardware failure.
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.12.9　イベント発生部位＝ NH10G-8RX

イベント発生部位 =NH10G-8RX の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-37　イベント発生部位 =NH10G-8RX の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NH10G-8RX	25020200	5440	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NH10G-8RX	25020201	5450	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
3	E6	NH10G-8RX	25020400	5440	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
4	E6	NH10G-8RX	25020401	5450	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
5	R6	NH10G-8RX	25020200	5440	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	R6	NH10G-8RX	25020201	5450	Port recovered from hardware failure.
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

3.12.10　イベント発生部位＝ NH10G-8RXA

イベント発生部位 =NH10G-8RXA の装置関連の障害およびイベント情報を次の表に示します。

表 3-38　イベント発生部位 =NH10G-8RXA の装置関連の障害およびイベント情報

項番	イベントレベル	イベント発生部位	メッセージ識別子	付加情報上位 4 桁	メッセージテキスト
	内容				
1	E6	NH10G-8RXA	25020200	6440	NIF restarted because of its hardware failure.
	NIF にハードウェア障害が発生したため，再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復成功，または障害回復失敗のログ情報を確認してください。 成功の場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
2	E6	NH10G-8RXA	25020201	6450	Port restarted because of its hardware failure.
	ポート部分にハードウェア障害が発生したため，ポート部分を再起動しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] これより後の障害回復ログ，または障害回復失敗のログを確認してください。 障害回復した場合は継続して運用可能です。失敗の場合は NIF を交換してください。				
3	E6	NH10G-8RXA	25020400	6440	NIF restarted, but not recovered from hardware failure.
	NIF を再起動しましたが，ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
4	E6	NH10G-8RXA	25020401	6450	Port restarted, but not recovered from hardware failure.
	ポート部分を再起動しましたが，ポート部分のハードウェア障害から回復しませんでした。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] NIF を交換してください。				
5	R6	NH10G-8RXA	25020200	6440	NIF recovered from hardware failure.
	NIF のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				
6	R6	NH10G-8RXA	25020201	6450	Port recovered from hardware failure.
	ポート部分のハードウェア障害から回復しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。				

4 アクセスリストログ

この章では，アクセスリストロギングが出力するログ内容について説明します。アクセスリストロギングが動作時，フィルタで廃棄したパケットの情報を出力します。

4.1 アクセスリストログ

4.1 アクセスリストログ

アクセスリストログについて次の表に示します。

表 4-1 アクセスリストログ

項番	メッセージテキスト	内容
1	ACL:denied:<denied filter point>:<protocol no.> <source ip address>(<source port>, <received interface>) -> <destination ip address>(<destination port>, <send interface>), <packets>	アクセスリストロギングで，フィルタで廃棄したフローを検知しました。 [メッセージテキストの表示説明] <denied filter point>　フィルタで廃棄したポイント（受信側・送信側） • IN　受信側フィルタで廃棄 • OUT　送信側フィルタで廃棄 <protocol no.>　上位プロトコル番号 <source ip address>　送信元 IPv4 アドレス <source port>　送信元ポート番号 <received interface>　受信インタフェース • vlan<vlan id>　VLAN ID • Ethernet<nif no.>/<port no.>　イーサネットインタフェース <destination ip address>　宛先 IPv4 アドレス <destination port>　宛先ポート番号 <send interface>　送信インタフェース • vlan<vlan id>　VLAN ID • Ethernet<nif no.>/<port no.>　イーサネットインタフェース <packets>　該当パケット数 • <packet>packet　表示パケット数が 1 以下の場合 • <packets>packets　表示パケット数が 2 以上の場合 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
2	ACL:denied:<denied filter point>:<next header> <source ip address>(<source port>, <received interface>) -> <destination ip address>(<destination port>, <send interface>), <packets>	アクセスリストロギングで，フィルタで廃棄したフローを検知しました。 [メッセージテキストの表示説明] <denied filter point>　フィルタで廃棄したポイント（受信側・送信側） • IN　受信側フィルタで廃棄 • OUT　送信側フィルタで廃棄 <next header>　次ヘッダ番号 <source ip address>　送信元 IPv6 アドレス <source port>　送信元ポート番号 <received interface>　受信インタフェース • vlan<vlan id>　VLAN ID • Ethernet<nif no.>/<port no.>　イーサネットインタフェース <destination ip address>　宛先 IPv6 アドレス <destination port>　宛先ポート番号 <send interface>　送信インタフェース • vlan<vlan id>　VLAN ID • Ethernet<nif no.>/<port no.>　イーサネットインタフェース <packets>　該当パケット数 • <packet>packet　表示パケット数が 1 以下の場合 • <packets>packets　表示パケット数が 2 以上の場合 [対応] なし。
3	ACL:denied:<denied filter point>:<source mac>(<received interface>) -> <destination mac>(<ethernet type> <send interface>), <packets>	アクセスリストロギングで，フィルタで廃棄したフローを検知しました。 [メッセージテキストの表示説明] <denied filter point>　フィルタで廃棄したポイント（受信側・送信側） • IN　受信側フィルタで廃棄 • OUT　送信側フィルタで廃棄 <source mac>　送信元 MAC アドレス <received interface>　受信インタフェース • vlan<vlan id>　VLAN ID • Ethernet<nif no.>/<port no.>　イーサネットインタフェース <destination mac>　宛先 MAC アドレス <ethernet type>　イーサネットタイプ <send interface>　送信インタフェース • vlan<vlan id>　VLAN ID • Ethernet<nif no.>/<port no.>　イーサネットインタフェース <packets>　該当パケット数 • <packet>packet　表示パケット数が 1 以下の場合 • <packets>packets　表示パケット数が 2 以上の場合 [対応] なし。

5 トラッキングオブジェクトログ

この章では，ポリシーベースルーティングのトラッキング機能が出力するログ内容について説明します。ポリシーベースルーティングのトラッキング機能の情報を出力します。

5.1 トラッキングオブジェクトログ

5.1　トラッキングオブジェクトログ

トラッキングオブジェクトログについて次の表に示します。

表 5-1　トラッキングオブジェクトログ

項番	メッセージテキスト	内容
1	Track object <track object id> is up. (type ICMP, address <destination address> [VRF <vrf id>])	イベント（自装置）
		ポリシーベースルーティングのトラッキングの状態が Down から Up に変化しました。 [メッセージテキストの表示説明] <track object id>　ポリシーベースルーティングのトラッキング ID <destination address>　ポーリング宛先アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] なし。
2	Track object <track object id> is down. (type ICMP, address <destination address> [VRF <vrf id>])	イベント（自装置）
		ポリシーベースルーティングのトラッキングの状態が Up から Down に変化しました。 [メッセージテキストの表示説明] <track object id>　ポリシーベースルーティングのトラッキング ID <destination address>　ポーリング宛先アドレス <vrf id>　VRF ID [対応] なし。

6 システム操作パネルの操作ログ情報

この章ではシステム操作パネルの操作ログ情報の内容について説明します。システム操作パネルの操作ログ情報では，システム操作パネルからの操作指示と，操作結果をログとして保存します。

6.1 **システム操作パネルの操作ログ情報** (KEY)【AX6700S】

6.2 **システム操作パネルの操作ログ情報** (KEY)【AX6600S】【AX6300S】

6.3 **システム操作パネルの操作ログ情報** (RSP)【AX6700S】

6.4 **システム操作パネルの操作ログ情報** (RSP)【AX6600S】【AX6300S】

6.1　システム操作パネルの操作ログ情報 (KEY)【AX6700S】

システム操作パネルの操作ログ情報（ログ種別が KEY の場合）について説明します。

システム操作パネルの操作ログ・メッセージを次の表に示します。

表 6-1　システム操作パネルの操作ログ・メッセージ（ログ種別：KEY）【AX6700S】

項番	メッセージテキスト	内容
1	SOP:Inactivate operation canceled.	情報（自装置）
		inactivate 指示の NO が選択されました（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
2	SOP:Inactivate operation confirmed.	情報（自装置）
		inactivate 指示の YES が選択されました（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
3	SOP:Inactivate operation of <board> selected.	情報（自装置）
		<board> の inactivate 指示が選択されました（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] <board>　ボード種別 • Standby system　待機系システム • BSU <bsu no.>　BSU 番号 • NIF <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
4	SOP:Activate operation canceled.	情報（自装置）
		activate 指示の NO が選択されました（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
5	SOP:Activate operation confirmed.	情報（自装置）
		activate 指示の YES が選択されました（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
6	SOP:Activate operation of <board> selected.	情報（自装置）

項番	メッセージテキスト	内容
		<board> の activate 指示が選択されました（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] <board>　ボード種別 • Standby system　待機系システム • BSU <bsu no.>　BSU 番号 • NIF <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
7	SOP:Shutdown operation canceled.	情報（自装置）
		shutdown 指示の NO が選択されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
8	SOP:Shutdown operation confirmed.	情報（自装置）
		shutdown 指示の YES が選択されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。

6.2　システム操作パネルの操作ログ情報 (KEY)【AX6600S】【AX6300S】

システム操作パネルの操作ログ情報（ログ種別が KEY の場合）について説明します。

システム操作パネルの操作ログ・メッセージを次の表に示します。

表 6-2　システム操作パネルの操作ログ・メッセージ（ログ種別：KEY）【AX6600S】【AX6300S】

項番	メッセージテキスト	内容
1	SOP:Inactivate operation canceled.	情報（自装置）
		inactivate 指示の NO が選択されました（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
2	SOP:Inactivate operation confirmed.	情報（自装置）
		inactivate 指示の YES が選択されました（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
3	SOP:Inactivate operation of <board> selected.	情報（自装置）
		<board> の inactivate 指示が選択されました（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] <board>　ボード種別 • Standby system　待機系システム • NIF <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
4	SOP:Activate operation canceled.	情報（自装置）
		activate 指示の NO が選択されました（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
5	SOP:Activate operation confirmed.	情報（自装置）
		activate 指示の YES が選択されました（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
6	SOP:Activate operation of <board> selected.	情報（自装置）

項番	メッセージテキスト	内容
		<board> の activate 指示が選択されました（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] <board>　ボード種別 • Standby system　待機系システム • NIF <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
7	SOP:Shutdown operation canceled.	情報（自装置）
		shutdown 指示の NO が選択されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
8	SOP:Shutdown operation confirmed.	情報（自装置）
		shutdown 指示の YES が選択されました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。

6.3　システム操作パネルの操作ログ情報 (RSP)【AX6700S】

システム操作パネルの操作ログ情報（ログ種別が RSP の場合）について説明します。

システム操作パネルの操作ログ・メッセージを次の表に示します。

表 6-3　システム操作パネルの操作ログ・メッセージ（ログ種別：RSP）【AX6700S】

項番	メッセージテキスト	内容
1	SOP:<board> will be stopped because of shutdown operation.	情報（自装置）
		shutdown 指示のため，間もなく <board> は停止します。 [メッセージテキストの表示説明] <board>　ボード種別 • Active system　運用系システム • Standby system　待機系システム • All system　運用系システムおよび待機系システム [対応] なし。
2	SOP:Canceled inactivate operation because activated board not found.	情報（自装置）
		activate されたボードが見つからなかったので inactivate 操作を行いませんでした（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
3	SOP:Canceled activate operation because inactivated board not found.	情報（自装置）
		inactivate されたボードが見つからなかったので activate 操作を行いませんでした（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
4	SOP:Can't accept command (system is busy).	ボードの inactivate または activate に対するエラー応答
		（システムビジーのため）inactivate または activate 操作は受け付けられません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
5	SOP:Can't display Line status because all NIF Not Active.	情報（自装置）
		すべての NIF が Not Active なので Line 状態表示は行いませんでした（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
6	SOP:Can't execute.	ボードの inactivate または activate に対するエラー応答
		ボードの inactivate または activate が実行できる状態ではありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
7	SOP:Can't execute this command in standby system.	ボードの inactivate または activate に対するエラー応答
		ボードの inactivate または activate は待機系システムでは実行できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
8	SOP:Illegal NIF -- <nif no.>.	NIF の inactivate または activate に対するエラー応答
		NIF 番号が範囲外です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
9	SOP:Illegal BSU -- <bsu no.>.	BSU の inactivate または activate に対するエラー応答
		BSU 番号が範囲外です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] なし。
10	SOP:NIF <nif no.> is already active.	NIF の activate に対するエラー応答
		指定 NIF は active 状態です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
11	SOP:NIF <nif no.> is already inactivated.	NIF の inactivate に対するエラー応答
		指定 NIF は inactive 状態です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
12	SOP:NIF <nif no.> is already initializing.	NIF の activate に対するエラー応答
		指定 NIF は初期化中です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
13	SOP:NIF <nif no.> is not connected.	NIF の inactivate または activate に対するエラー応答
		指定 NIF は未実装です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
14	SOP:NIF <nif no.> is during the inactivate process.	NIF の activate に対するエラー応答
		指定 NIF は inactivate 処理中です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
15	SOP:NIF <nif no.> is failed.	NIF の inactivate または activate に対するエラー応答
		指定 NIF は active 状態ではありません。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
16	SOP:NIF <nif no.> is disabled.	NIF の inactivate または activate に対するエラー応答
		指定 NIF がコンフィグレーションコマンド shutdown によって disable 状態です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
17	SOP:BSU <bsu no.> is already active.	BSU の activate に対するエラー応答
		指定 BSU は active 状態です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] なし。
18	SOP:BSU <bsu no.> is already inactivated.	BSU の inactivate に対するエラー応答
		指定 BSU は inactive 状態です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] なし。
19	SOP:BSU <bsu no.> is already initializing.	BSU の activate に対するエラー応答
		指定 BSU はすでに初期化中です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] なし。
20	SOP:BSU <bsu no.> is not connected.	BSU の inactivate または activate に対するエラー応答
		指定 BSU は未実装です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] なし。
21	SOP:BSU <bsu no.> is failed.	BSU の activate に対するエラー応答
		指定 BSU は active 状態ではありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
22	SOP:BSU <bsu no.> is disabled.	BSU の inactivate または activate に対するエラー応答
		指定 BSU がコンフィグレーションコマンド shutdown によって disable 状態です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 [対応] なし。
23	SOP:BSU <bsu no.> that controls NIF <nif no.> is inactivated.	NIF の inactivate または activate に対するエラー応答
		指定 NIF を制御する BSU が inactive 状態です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
24	SOP:BSU <bsu no.> that controls NIF <nif no.> is not connected.	NIF の inactivate または activate に対するエラー応答
		指定 NIF を制御する BSU が未実装です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
25	SOP:BSU <bsu no.> that controls NIF <nif no.> is failed.	NIF の inactivate または activate に対するエラー応答
		指定 NIF を制御する BSU が active 状態ではありません。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
26	SOP:BSU <bsu no.> that controls NIF <nif no.> is initializing.	NIF の inactivate または activate に対するエラー応答
		指定 NIF を制御する BSU が初期化中です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
27	SOP:BSU <bsu no.> that controls NIF <nif no.> is disabled.	NIF の inactivate または activate に対するエラー応答
		指定 NIF を制御する BSU がコンフィグレーションコマンド shutdown によって disable 状態です。 [メッセージテキストの表示説明] <bsu no.>　BSU 番号 <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
28	SOP:Rejected operation because of Standby.	情報（自装置）

項番	メッセージテキスト	内容
		待機系システムなので操作を行いませんでした（本メッセージは待機系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
29	SOP:Return to Main Menu because can't get the information.	ワーニング（自装置）
		情報を得ることができないため，メインメニューに戻ります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
30	SOP:Shutdown operation failed.	ワーニング（自装置）
		shutdown 指示が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
31	SOP:Standby system is already inactivated.	待機系システムの inactivate に対するエラー応答
		待機系システムはすでに inactive 状態です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
32	SOP:Standby system is not connected.	待機系システムの inactivate または activate に対するエラー応答
		待機系システムは未実装です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
33	SOP:Standby system is not inactivated.	待機系システムの activate に対するエラー応答
		待機系システムは inactive 状態ではありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。

6.4　システム操作パネルの操作ログ情報 (RSP)【AX6600S】【AX6300S】

システム操作パネルの操作ログ情報（ログ種別が RSP の場合）について説明します。

システム操作パネルの操作ログ・メッセージを次の表に示します。

表 6-4　システム操作パネルの操作ログ・メッセージ（ログ種別：RSP）【AX6600S】【AX6300S】

項番	メッセージテキスト	内容
1	SOP:<board> will be stopped because of shutdown operation.	情報（自装置）
		shutdown 指示のため，間もなく <board> は停止します。 [メッセージテキストの表示説明] <board>　ボード種別 • Active system　運用系システム • Standby system　待機系システム • All system　運用系システムおよび待機系システム [対応] なし。
2	SOP:Canceled inactivate operation because activated board not found.	情報（自装置）
		activate されたボードが見つからなかったので inactivate 操作を行いませんでした（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
3	SOP:Canceled activate operation because inactivated board not found.	情報（自装置）
		inactivate されたボードが見つからなかったので activate 操作を行いませんでした（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
4	SOP:Can't accept command (system is busy).	ボードの inactivate または activate に対するエラー応答
		（システムビジーのため）inactivate または activate 操作は受け付けられません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
5	SOP:Can't display Line status because all NIF Not Active.	情報（自装置）
		すべての NIF が Not Active なので Line 状態表示は行いませんでした（本メッセージは運用系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。

項番	メッセージテキスト	内容
6	SOP:Can't execute.	ボードの inactivate または activate に対するエラー応答
		ボードの inactivate または activate が実行できる状態ではありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
7	SOP:Can't execute this command in standby system.	ボードの inactivate または activate に対するエラー応答
		ボードの inactivate または activate は待機系システムでは実行できません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
8	SOP:Illegal NIF -- <nif no.>.	NIF の inactivate または activate に対するエラー応答
		NIF 番号が範囲外です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
9	SOP:NIF <nif no.> is already active.	NIF の activate に対するエラー応答
		指定 NIF は active 状態です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
10	SOP:NIF <nif no.> is already inactivated.	NIF の inactivate に対するエラー応答
		指定 NIF は inactive 状態です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
11	SOP:NIF <nif no.> is already initializing.	NIF の activate に対するエラー応答
		指定 NIF は初期化中です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
12	SOP:NIF <nif no.> is not connected.	NIF の inactivate または activate に対するエラー応答
		指定 NIF は未実装です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
13	SOP:NIF <nif no.> is during the inactivate process.	NIF の activate に対するエラー応答

項番	メッセージテキスト	内容
		指定 NIF は inactivate 処理中です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
14	SOP:NIF <nif no.> is failed.	NIF の inactivate または activate に対するエラー応答
		指定 NIF は active 状態ではありません。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
15	SOP:NIF <nif no.> is disabled.	NIF の inactivate または activate に対するエラー応答
		指定 NIF がコンフィグレーションコマンド shutdown によって disable 状態です。 [メッセージテキストの表示説明] <nif no.>　NIF 番号 [対応] なし。
16	SOP:Rejected operation because of Standby.	情報（自装置）
		待機系システムなので操作を行いませんでした（本メッセージは待機系システムだけ表示します）。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
17	SOP:Return to Main Menu because can't get the information.	ワーニング（自装置）
		情報を得ることができないため，メインメニューに戻ります。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
18	SOP:Shutdown operation failed.	ワーニング（自装置）
		shutdown 指示が失敗しました。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
19	SOP:Standby system is already inactivated.	待機系システムの inactivate に対するエラー応答
		待機系システムはすでに inactive 状態です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
20	SOP:Standby system is not connected.	待機系システムの inactivate または activate に対するエラー応答
		待機系システムは未実装です。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。
21	SOP:Standby system is not inactivated.	待機系システムの activate に対するエラー応答

項番	メッセージテキスト	内容
		待機系システムは inactive 状態ではありません。 [メッセージテキストの表示説明] なし。 [対応] なし。

索引

A

ACCESS 93
AX6300S のネットワークインタフェース機構 251
AX6700S および AX6600S のネットワークインタフェース機構 244

B

BCU 192
BGP4 22
BGP4+ 51
BSU 171
BSU-LA 207
BSU-LB 207

C

CONFIG 90
CSU 209

F

FAN 188

I

IP 100
IPv4 マルチキャストルーティング情報（MRP） 75
IPv4 ユニキャストルーティングプロトコル共通〔IPv4 ルーティング情報（RTM）〕 43
IPv4 ルーティングプロトコル情報（RTM） 14
IPv6 PIM-SM 82
IPv6 マルチキャストルーティング情報（MR6） 82
IPv6 ユニキャストルーティングプロトコル共通〔IPv6 ルーティング情報（RTM）〕 71
IPv6 ルーティング情報（RTM） 73
IPv6 ルーティングプロトコル情報（RTM） 45

M

MAC 128
MSU 227

N

NH10G-1RX 256
NH10G-4RX 257
NH10G-4RXA 258
NH10G-8RX 259
NH10G-8RXA 260
NH1G-16S 251
NH1G-24S 253
NH1G-24T 252
NH1G-48T 254
NH1GS-6M 255
NIF 176
NK10G-4RX 246
NK10G-4RXA 247
NK10G-8RX 248
NK10G-8RXA 249
NK1G-24S 245
NK1G-24T 244
NK1GS-8M 246

O

OSPF 17
OSPFv3 47

P

PIM-SM/PIM-DM 75
PORT 181
PS 190

R

RA 73
RIP 14
RIPng 45

S

SOFTWARE 133
SOFTWARE（認証 VLAN） 169

V

VLAN 103
VLAN（CFM） 126
VLAN（GSRP） 120
VLAN（L2 ループ検知） 124
VLAN（Ring Protocol） 118

あ

アクセス 93
アクセスリストログ 263

い

イベントレベル 9
イベント発生インタフェース識別子 10
イベント発生部位 9

う

運用メッセージとログ 1
運用メッセージの確認 2
運用メッセージの出力 3
運用メッセージの内容 2
運用メッセージのフォーマット 3
運用ログと種別ログの特徴 5
運用ログのフォーマット 6

お

オプション機構 188

か

該当イベントの最新および最旧の発生時刻 11
該当イベントの発生回数 11
管理スイッチング機構 227

き

基本スイッチング機構 207
基本制御機構 192

こ

コンフィグレーション 90

し

システム操作パネルの操作ログ情報 269
システム操作パネルの操作ログ情報(KEY)
【AX6600S】【AX6300S】272
システム操作パネルの操作ログ情報(KEY)
【AX6700S】270
システム操作パネルの操作ログ情報(RSP)
【AX6600S】【AX6300S】279
システム操作パネルの操作ログ情報(RSP)
【AX6700S】274
種別ログのフォーマット 7

せ

制御スイッチング機構 209

そ

装置関連の障害およびイベント情報 89
装置の各部位 133

と

トラッキングオブジェクトログ 267

ふ

付加情報 11
プロトコル 100

ほ

ポート 181

め

メッセージ識別子 11
メッセージの種類 2
メッセージの種類と参照先 2

り

リモートホストでのログ取得 12

る

ルーティングのイベント情報 13
ルーティングプロトコルのイベント情報のメッセージ出力 3

ろ

ログ種別 6
ログの E-Mail 送信機能 12
ログの確認 5
ログのコード情報 8
ログの参照とファイルの作成方法 12
ログの自動保存 11
ログの自動保存と参照 11
ログの種類 5
ログの内容 5